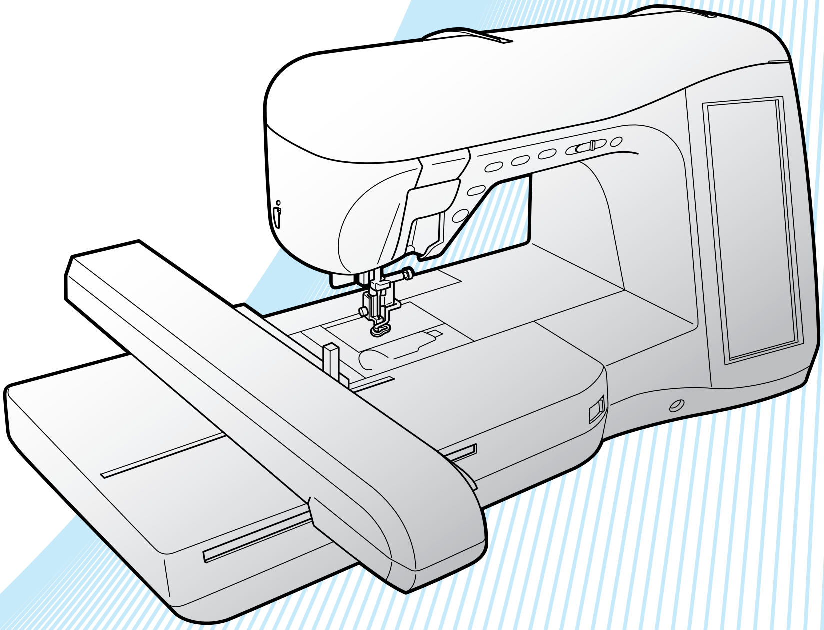
刺しゅう機付コンピュータミシン

取扱説明書

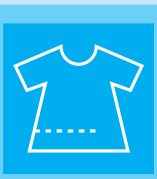
EMS92シリーズ



第１章
ぬう前の準備
ぬう前に必要な準備を説明します。

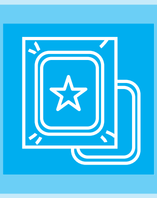
第２章
基本操作
基本のぬい方と上手にぬうコツなどを説明します。

第３章
実用ぬい
実用ぬいの手順を説明します。



第４章
文字・模様ぬい
文字・模様ぬいの手順を説明します。

第５章
刺しゅう
刺しゅうの手順を説明します。



第６章
編集刺しゅう
編集刺しゅうの手順を説明します。

第７章
マイイラスト機能
オリジナルの模様の作り方と保存のしかたを説明します。

第８章
付録
ミシンのお手入れと困ったときの対処方法などを紹介します。

- お使いになる前に必ず取扱説明書をお読みになり、正しくお使いください。
- 取扱説明書はなくさないように大切に保管し、いつでも手にとって見られるようにしてください。

はじめに

この度は、本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
お使いになる前に「安全にお使いいただくために」をよくお読みいただき、この取扱説明書で機能や使い方を十分にご理解のうえ、末永くご愛用ください。
また、お読みになった後はいつでもご覧になれるところに保証書とともに保管してください。

安全にお使いいただくために

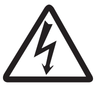
この取扱説明書およびミシン本体および刺しゅう機に使われている表示や絵文字は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになられる方や他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。
その表示や意味は次のとおりです。

警 告	この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
注 意	この表示を無視して誤った使い方をすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

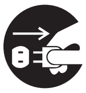
取扱説明書で使用されている絵文字の意味は次のとおりです。

特定しない
禁止事項

特定しない
義務行為


感電の危険が
あります

分解しては
いけません


電源プラグを
抜いてください

火災の危険が
あります

水に濡らしては
いけません

特定しない
危険通告

この製品を安全にお使いいただくために、以下の事柄を守ってください。

警 告	
	一般家庭用電源 AC100V の電源以外では、絶対に使用しないでください。 火災・感電・故障の原因となります。
	以下のようなときは電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。 火災・感電・故障の原因となります。 ・ミシンのそばを離れるとき ・ミシンを使用したあと ・運転中に停電したとき ・接触不良、断線などで正常に動作しないとき ・雷が鳴りはじめたとき

注 意	
	延長コードや分岐コンセントを使用した、たこ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
	電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。差込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。傷んだプラグ・緩んだコンセントは使用しないでください。
	電源プラグを抜くときはまず電源スイッチを切り、必ずプラグの部分を持って抜いてください。電源コードを引っ張って抜くとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。 電源コードまたは電源プラグが破損したときはミシンの使用をやめてお近くの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」0120-340-233 にご連絡ください。
	電源コードは、赤い印以上引き出さないでください。
	長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となります。
	電源コードやフットコントローラーのコードを巻き取るときは、プラグとコードを持って巻き取ってください。プラグが当たってけがの原因になります。
	直射日光の当たるところや、ストーブ、アイロンのそばなど温度の高いところでは使用しないでください。ミシンの使用温度は 0 ～ 40 ℃です。ミシン内部の温度が上がったり、ミシン本体や電源コードの被膜が溶けて火災・感電の原因となります。
	火の気のあるもののそばでは使用しないでください。（火の消えていないたばこ、ろうそくなど）火災の原因となります。
	野外でのご使用は避けてください。雨などが降り、本体が濡れて感電の原因となります。また濡れた時はお近くの販売店または「お客様相談室 (ミシン 119 番)」0120-340-233 にご連絡ください。
	温度や湿度の高い所でのご使用や保管は避けてください。
	スプレー製品などを使用する部屋では使用しないでください。スプレーへの引火によるやけどや火災の原因となります。
	ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所には置かないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下などしてケガをする原因となります。 ミシンは安定した平らなテーブルや机の上でご使用ください。
	ミシン本体の換気口をふさがないでください。換気口は、必ず壁から 30cm 以上離して使用してください。また、換気口やフットコントローラーに糸くずやほこりがたまらないようにしてください。火災の原因となります。
	ミシン本体の上に花びんや水の入った容器を置くなどして、ミシン本体に水をこぼさないでください。万一、内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」0120-340-233 にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	ミシン本体の換気口や内部に異物を入れたり、ドライバーなどを差し込まないでください。高圧部に触れて感電のおそれがあります。万一、異物が入った場合は、使用をやめてお近くの販売店または「お客様相談室 (ミシン 119 番)」0120-340-233 にご連絡ください。
	ミシン本体の重さは約 12kg あります。ミシン本体を持ち運びする際は急激または、不用意な動作をしないでください。腰や膝を痛める原因となります。

注 意
ミシン本体は、必ずハンドルを持って持ち運びをしてください。他の部分を持つとこわれたりすべって落としたりして、ケガの原因となります。
ミシン本体には取扱説明書に記載されている正規の部品を使用してください。他の部品を使用するとケガ・故障の原因となります。
お客様ご自身での分解、修理および改造は行わないでください。火災・感電およびケガの原因となります。指定以外の内部の点検・調整・掃除・修理は、お近くの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」0120-340-233 にご依頼ください。
取扱説明書に記載されている整備は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。ケガ・感電の原因となります。
ミシン操作中は、針の動きに十分ご注意ください。また、針、プーリー、天びんなどすべての動いている部品に手を近づけないでください。ケガの原因となります。
リッパーで穴を開ける方向に、手や指を置かないでください。すべったときにケガをするおそれがあります。本来の使用目的以外での使用はしないでください。
針や押え等の交換およびその他機能に関する使用については、取扱説明書の指示に従って正しく行ってください。
縫製中、布地を無理に引っ張ったり、押したりしないでください。ケガ・針折れの原因となります。
針の下などに指を入れないでください。ケガをするおそれがあります。
上糸、下糸等に関する操作については、取扱説明書の指示に従って正しく行ってください。取り扱いを誤ると、縫製中に糸がらみ等が発生し、針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。
曲がった針は絶対に使用しないでください。針折れの原因となります。
万一、ミシン本体を落としたり、破損したり、故障したりした場合は、ただちに使用をやめてお近くの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」0120-340-233 にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
万一、煙が出ている、異臭がする、異常音がするなどの状態のときはすぐに電源プラグをコンセントから抜いて、お近くの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」0120- 340-233 にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。
本製品が入っていた袋は、お子様がかぶって遊ばないように、お子様の手の届かないところに保管するか廃棄してください。かぶって遊ぶと窒息のおそれがあります。
お子様の玩具として使用しないでください。お子様が使用するときや、お子様の近くで使用するときは、お子様がケガをしないよう十分注意してください。
フットコントローラーの上に物を置かないでください。 ケガ・故障の原因となります。
USB ケーブルは付属のものを使用してください。

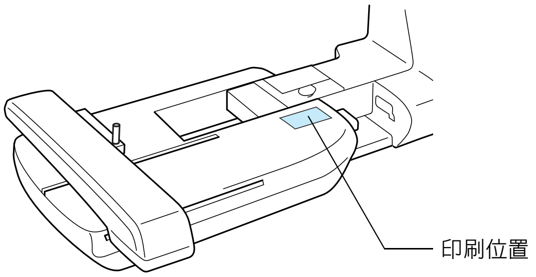
- このミシンは日本国内向け、家庭用です。外国では使用できません。
  This sewing machine can not be used in a foreign country as designed for Japan.
  職業用としてご使用になった場合の保証はいたしかねますので、ご了承ください。
- 仕様および外観は品質改良のため、予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 取扱説明書の内容を許可なく無断で複製することは禁じられておりますので、ご了承ください。
- 取扱説明書の内容は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 取扱説明書の内容について、万一不審な点や誤りなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。

警告表示について

刺しゅう機には下記の警告が表示されています。
警告表示の注意事項を守って作業を行ってください。

⚠ 注 意

刺しゅう機を取り付けたままミシンを移動させないでください。刺しゅう機が落下してケガをするおそれがあります。



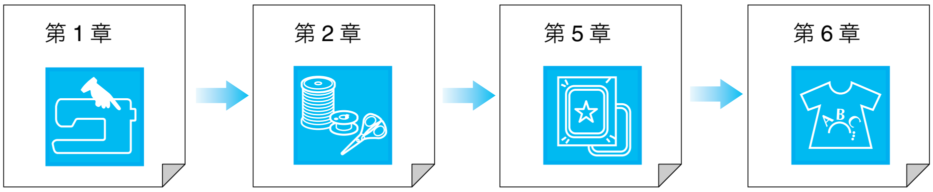
本書の構成と読み方

第1章、第2章はこのミシンを初めて使われる方を対象に、ミシンの基本的な操作方法を説明しています。

実用ぬいをしたい方は
続けて第 3 章へ進んでください。模様の選び方やいろいろなぬい方を学びます。

文字・模様ぬいをしたい方は
第 4 章へ進んでください。模様を選んでからぬうまでの基本操作と、模様の反転や大きさ変更などの模様の編集やいろいろな模様を組み合わせてぬう方法、組み合わせた模様の記憶のしかたなどを学びます。

刺しゅうをしたい方は
第 5 章へ進んでください。模様を選んでからぬうまでの刺しゅうの基本操作について学習し、その後、模様の回転、サイズ変更などの模様の編集やさらに便利な機能やテクニックについて学びます。第 6 章の編集刺しゅうではさらに高度な模様の編集と模様の組み合わせのしかたを学びます。



- 操作の手順の中では実際に操作する部分を □ で示しています。
  実際の画面やミシンを照らし合わせながら操作を進めてください。

- 操作中にわからない点が発生したとき、機能について知りたいときに該当箇所をすぐ参照できるよう索引がついていますので（P.254 参照）、目次と併せてご利用ください。

目次

安全にお使いいただくために 1
警告表示について 4
各部の名称とはたらき 8
主要部 8
針と押え部分 9
刺しゅう機 9
操作スイッチ 10
付属品 10
別売品 13

第 1 章　ぬう前の準備　15

電源の入れ方 16
液晶画面の操作 17
USB マウスで画面を操作する 20
設定キーを使う 22
使い方キーを使う 27
アドバイスキーを使う 28
下糸の準備 29
下糸を巻く 29
下糸をセットする 32
下糸を引き出す 34
上糸通し 35
自動糸通しスイッチを使って上糸を通す 35
手動で上糸を通す 37
2 本針を使用する 39
ほどけやすい糸を使用する場合 41
押えの交換 42
押えを取り外す 42
押えを取り付ける 42
ウォーキングフットを取り付ける 43
針の交換 44
正しい針の見分け方 44

第 2 章　基本操作　47

基本のぬい方 48
ぬってみましょう 48
試しぬいをする 50
ほつれ止めをする 50
カーブをぬう 50
ぬい方向を変える 51
厚い布地をぬう 51
特に厚い布地をぬう 52
薄い布地をぬう 52
伸びる布地をぬう 52
模様の設定 53
ジグザグの振り幅を調節する 53
ぬい目の長さを調節する 53
糸調子を調節する 54
便利な機能 55
自動止めぬいをする 55
自動糸切りをする 56
ピボット 57
自動押え圧補正 59
画面をロックする 59

第 3 章　実用ぬい　61

実用模様の選び方 62
模様を選ぶ 63
模様の設定を記憶する 64
ぬい方キーを使って模様を選ぶ 66
いろいろなぬい方 67
直線ぬい 67
ダーツ 71
ギャザー 71
折り伏せぬい 72
ピンタック 73
ジグザグぬい 74
点線ジグザグぬい 76
たちめかがり 77
キルトぬい 81
フリーモーションキルト 85
エコーキルト押え< E >を使用して、
エコーキルトをぬう 88
まつりぬい 90
アップリケぬい 91
シェルタックぬい 92
スカラップぬい 93
つき合わせぬい 93
スモッキングぬい 94
ファゴティングぬい 94
ゴムひもつけ 95
ヘアルーム 96
ボタン穴かがり 98
4 ステップのボタン穴かがり 102
かんどめ 106
ボタンつけ 108
アイレット 110
横送り（直線・ジグザグ） 111
ファスナーつけ 112

第 4 章　文字・模様ぬい　115

模様の選び方 116
大型飾り模様／ 7mm 飾り模様／大型サテンステッチ／
7mm サテンステッチ／クロスステッチ／実用飾り模様 ...118
アルファベット 118
ひらがな／カタカナ 119
文字・模様をぬってみましょう 122
きれいにぬうために 122
文字・模様のぬい方 122
模様の調整をする 123
模様の編集のしかた 125
模様の大きさを変える 126
模様の長さを変える（7mm サテンステッチのみ） 127
模様を上下反転させる 127
模様を左右反転させる 127
模様の連続ぬい / 単独ぬい 127
模様の糸密度を変える（大型サテンステッチのみ） 128
横書き／縦書きを切り替える 128
模様の始めに戻る 128
模様のイメージを確認する 129
模様の組み合わせ 130
模様の組み合わせをする前に 130
ちがう模様を組み合わせる 130
大きさを変えた模様を組み合わせる 132
反転模様を組み合わせる 132
長さを変えた模様を組み合わせる 133
ステップ模様を作る（7mm サテンステッチのみ） 134
模様の記憶 136
データに関する注意 136
模様を記憶する 138
模様を市販の USB メディアに記憶する 140
模様をパソコンに記憶する 141
模様を呼び出す 142
USB メディアから呼び出す 143
パソコンから呼び出す 144

第 5 章　刺しゅう　145

刺しゅうの準備 146
刺しゅうの手順 146
刺しゅう押え< W >を取り付ける 147
刺しゅう機を取り付ける 148

刺しゅう模様の選び方 150
ワンポイント / ヘアルーム模様 / ふち飾り /
クロスステッチ / 花アルファベットを選ぶ 152
アルファベット / ひらがな / カタカナを選ぶ 153
枠模様を選ぶ 154
刺しゅうカードの模様を選ぶ 155
縫製画面の見方 156
布地を張る 158
布地に芯を貼る 158
刺しゅう枠に布地を張る 159
小さい布や布の隅に刺しゅうする 161
刺しゅう枠をセットする 162
刺しゅう模様の確認 163
ぬう位置を確認する 163
刺しゅうイメージを確認する 164
刺しゅうしてみましょう 165
きれいに刺しゅうするために 165
刺しゅうする 166
アップリケ模様をぬう 168
こんなとき 170
下糸が少なくなったら 170
途中で糸が切れたときは 171
始めからぬい直したいときは 172
電源を切った後、刺しゅうを再開する 172
刺しゅうに関する設定の調整 174
糸調子を整える 174
自動糸切り機能 175
渡り糸切り機能 175
刺しゅうの速度を調節する 177
刺しゅうの糸番号、糸色名、時間を表示する 177
刺しゅうの枠表示を変える 178
刺しゅう模様の修正 180
ぬう位置を移動させる 180
模様と針を合わせる 180
大きさを変える 181
模様を回転させる 182
模様を左右反転させる 183
糸密度を変える（文字・枠模様のみ）............................183
1 文字ずつ色を変えてぬう 184
刺しゅう模様の記憶 185
刺しゅうデータに関する注意 185
刺しゅう模様を記憶させる 187
刺しゅう模様を市販の USB メディアに記憶させる 189
刺しゅう模様をパソコンに記憶させる 190
刺しゅう模様を呼び出す 191
USB メディアから刺しゅう模様を呼び出す 191
パソコンから刺しゅう模様を呼び出す 192
応用ぬい 194
枠模様を使ってアップリケをする（1）...........................194
枠模様を使ってアップリケをする（2）...........................195

第 6 章　編集刺しゅう　197

編集刺しゅうでできること 198
刺しゅう模様の選び方 199
ワンポイント / ヘアルーム模様 / ふち飾り /
クロスステッチ / 花アルファベット / 枠模様を選ぶ 200
文字模様を選ぶ 200
編集のしかた 202
ぬう位置を移動させる 204
模様を回転させる 204
模様の大きさを変える 205
模様を削除する 205
文字の配列を変える 206
文字の間隔を変える 206
文字の間隔を詰める 207
縦書き / 横書きを切り替える 207
1 文字ずつ色を変えてぬう 208
刺しゅうの糸色を変える 208
色パレットを作成する 209
色パレットから色を選ぶ 211
連続模様をつくる 212
編集が終わったら 215
模様の組み合わせ 216
組み合わせ模様を編集する 216
組み合わせ模様を刺しゅうする 218
編集刺しゅう模様の記憶 218

第 7 章　マイイラスト機能　219

イラストデザイン 220
イラストの入力 222
マイイラストの記憶 227
マイイラストをリストに保存する 227
保存した模様を呼び出す 228

第 8 章　付録　229

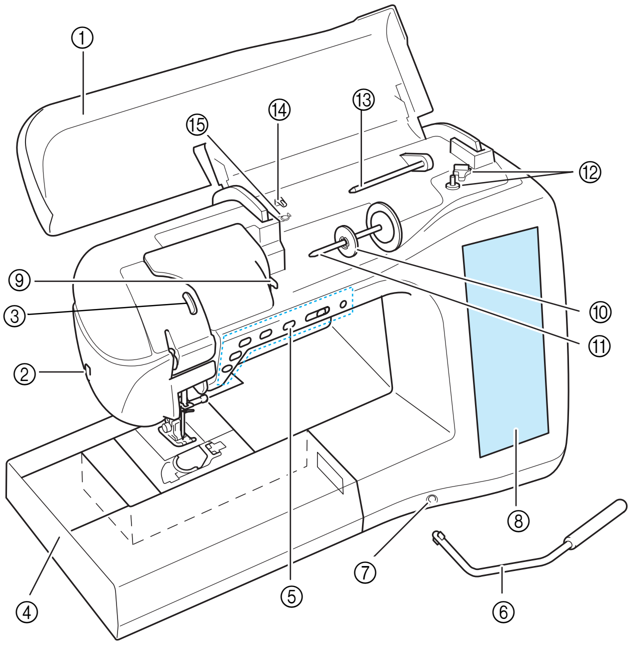
お手入れのしかた 230
画面の汚れの掃除 230
本体表面の汚れの掃除 230
かまの掃除 230
画面の調整 232
画面が見にくい 232
タッチパネルが反応しない 232
簡単なミシンの調整 234
エラーメッセージ 237
仕様 243
アップグレードの方法 244
USB メディアを使用してアップグレードする 244
パソコンを使用してアップグレードする 245
ぬい方早見表 247
索引 254

各部の名称とはたらき

ここでは、ミシンの各部の名称とはたらきを説明します。ミシンをお使いになる前に、よく読んで覚えておきましょう。

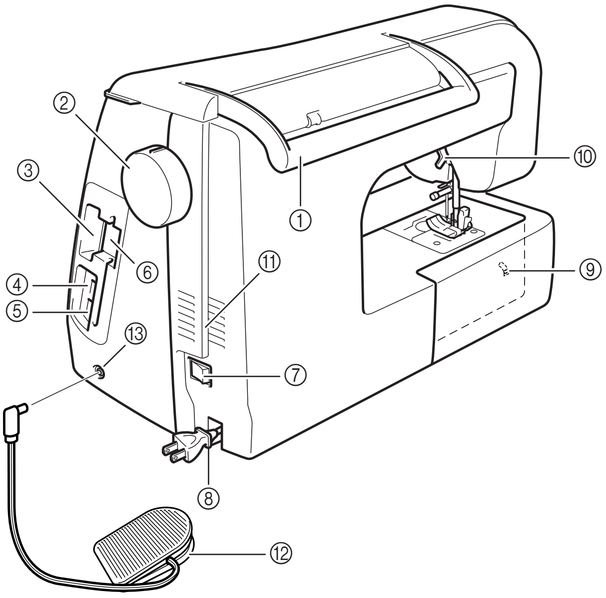
主要部

■ 正面



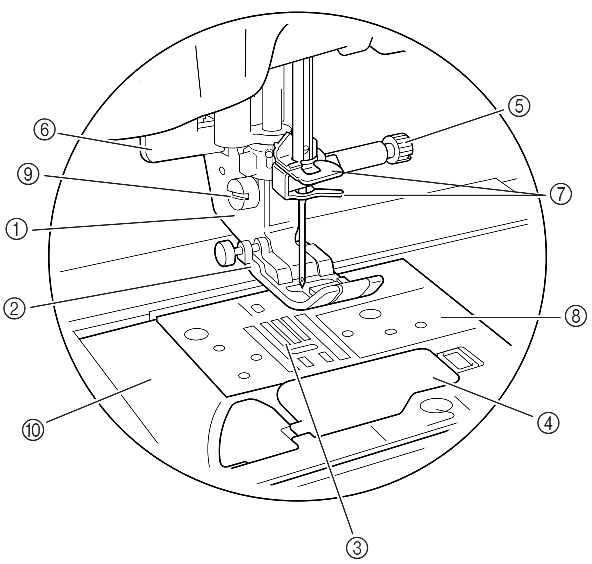
① **上ふた（→ P.35）**
上糸を通すときや下糸を巻くときに開けます。
② **糸切り（→ P.49）**
糸を引っかけて切ります。
③ **てんびん確認窓（→ P.38）**
てんびんを通っている上糸を確認します。
④ **補助テーブル（→ P.10）**
中に押えやボビンなどを収納します。袖口などの筒ものをぬうときには外します。
⑤ **操作スイッチ（6 つ）とスピードコントロールレバー（→ P.10）**
ミシンをスタートさせるときや針を上げ下げさせるときなど、ミシンのさまざまな操作に使います。
実用ぬいの模様はスピードコントロールレバーをスライドさせることによって、ぬう速さを調節することができます。
⑥ **ニーリフター（→ P.57）**
ひざで押えを上げ下げするときに使います。
⑦ **ニーリフター差し込み口（→ P.57）**
ニーリフターを差し込みます。
⑧ **液晶画面（→ P.17）**
選択した模様の設定やエラーメッセージが表示されます。
⑨ **糸案内板（→ P.36）**
上糸を通すときに糸をかけます。
⑩ **糸こま押え（→ P.29）**
糸こまが抜けないように押さえます。
⑪ **糸たて棒（→ P.35）**
糸こまを差し込みます。
⑫ **下糸巻き装置（→ P.29）**
下糸をボビンに巻くときに使います。
⑬ **補助糸たて棒（→ P.29）**
下糸を巻くときや 2 本針でぬうときに使います。
⑭ **糸案内（→ P.30）**
下糸を巻くときに糸をかけます。
⑮ **下糸巻き案内（→ P.30）**
下糸を巻くときに糸をかけます。

■ 背面図



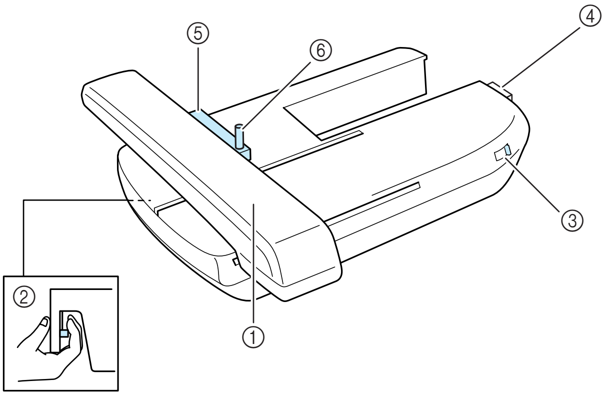
① **ハンドル（→ P.3）**
ミシンを持ち運ぶときに持ちます。
② **プーリー（→ P.37）**
針を上げ下げするときに手前に回します。
③ **刺しゅうカード差し込み口（→ P.155）**
刺しゅうカード（別売）を差し込みます。
④ **USB メディア用 USB ポートコネクター（→ P.140）**
USB メディアを差し込みます。
⑤ **パソコン用 USB ポートコネクター（→ P.141）**
USB ケーブルを差し込み、パソコンに接続します。
⑥ **タッチペンホルダー**
タッチペン（→ P.17）を収納します。
⑦ **電源スイッチ（→ P.16）**
ミシンの電源を「入」や「切」にするスイッチです。
⑧ **電源プラグ（→ P.16）**
電源コードを引き出し、コンセントに差し込みます。
⑨ **ドロップレバー（→ P.87）**
送り歯を下げるときに使います。
⑩ **押えレバー（→ P.37）**
押えを上げ下げします。
⑪ **換気口（→ P.2）**
ミシンを使用しているときはふさがないでください。
⑫ **フットコントローラー（→ P.50）**
ミシンを足で操作するときに使います。
⑬ **フットコントローラージャック（→ P.50）**
フットコントローラーのプラグを差し込みます。

針と押え部分



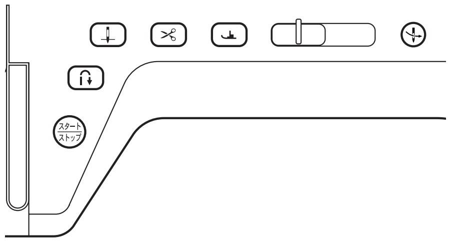
① **押えホルダー（→ P.42）**
押えを取り付けます。
② **押え（→ P.42）**
布地を押さえます。ぬい方に合った押えを取り付けてください。
③ **送り歯（→ P.87）**
ぬう方向に布地を送ります。
④ **針板ふた（→ P.32）**
開けて中のかまにボビンをセットします。
⑤ **針のとめネジ（→ P.43）**
針を固定します。
⑥ **ボタン穴かがりレバー（→ P.100）**
ボタン穴かがりやかんどめをするときに使います。
⑦ **針棒糸かけ（→ P.39）**
上糸をかけます。
⑧ **針板（→ P.69）**
まっすぐにぬうための目盛りがついています。
⑨ **押えホルダーのネジ（→ P.43）**
押えホルダーを固定します。
⑩ **針板カバー（→ P.230）**
かまの掃除をするときに取り外します。

刺しゅう機



① **キャリッジ（→ P.148）**
刺しゅうをぬうときに自動的に動きます。
② **刺しゅう機取り外しレバー（裏側）（→ P.149）**
刺しゅう機を取り外すときに押します。
③ **ドロップレバー（→ P.148）**
刺しゅう機を取り付けた状態で送り歯を下げるときに使います。
④ **コネクター（→ P.148）**
刺しゅう機を取り付けるときに、刺しゅう機差し込み口に差し込みます。
⑤ **刺しゅう枠ホルダー（→ P.162）**
刺しゅう枠を取り付けます。
⑥ **枠固定レバー（→ P.162）**
押し下げて刺しゅう枠を固定します。

操作スイッチ



① **スタート／ストップスイッチ**

このスイッチを押すと、数針ゆっくりとぬってから、スピードコントロールレバーで設定されている速度でぬい始めます。もう一度押すとストップします。このスイッチを押し続けると、非常にゆっくりとした速度でぬいます。スタート／ストップスイッチは、ミシンの状態によって色が変わります。

緑： スタートできる状態のときおよび縫製中

赤： スタートできない状態のとき

② **返しぬい / 止めぬいスイッチ**

ぬい始めやぬい終わりの返しぬい、または止めぬいをするときに使います。このスイッチを押すと、同じ場所で 3 ～ 5 針重ねてぬって止まります。返しぬいを行う直線またはジグザグ模様の場合、このスイッチを押している間だけ低速で返しぬいをします（逆方向にぬいます）。

③ **針上下スイッチ**

ぬい方向を変えるときや細かいところをぬうときに使います。このスイッチを押すと、針の位置が上下に切り換わります。繰り返し押すと、1 針ぬいができます。

④ **糸切りスイッチ**

ぬい終わった後にこのスイッチを押すと、上糸と下糸を自動的に切ります。

⑤ **押え上下スイッチ**

このスイッチを押すと、押えが下がり布地を押さえます。もう一度押すと押えが上がります。

⑥ **スピードコントロールレバー**

このレバーを左右に動かして、ぬう速さを調節します。右に動かすと速く、左に動かすと遅くなります。初心者の方はミシンに慣れるまで、遅い速度でぬってください。

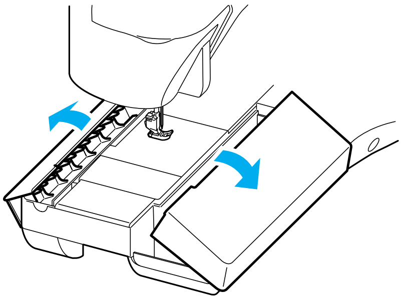
⑦ **自動糸通しスイッチ**

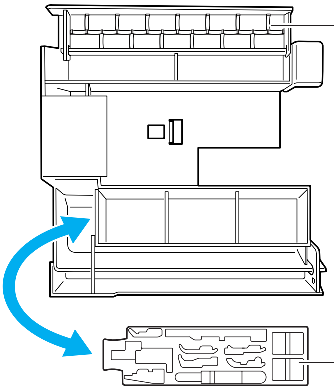
このスイッチを押すと、自動的に針の糸通しをします。

> **⚠ 注 意**
>
> **糸を切った後は、糸切り操作をくり返し行わないでください。針が折れたり糸がからまるおそれがあります。また、故障の原因となります。**

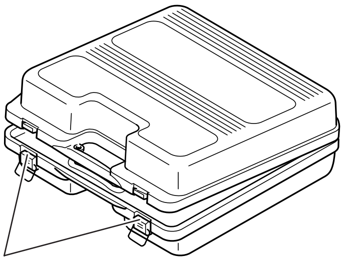
付属品

補助テーブルの中に付属品を収納することができます。図のようにふたを開いてください。

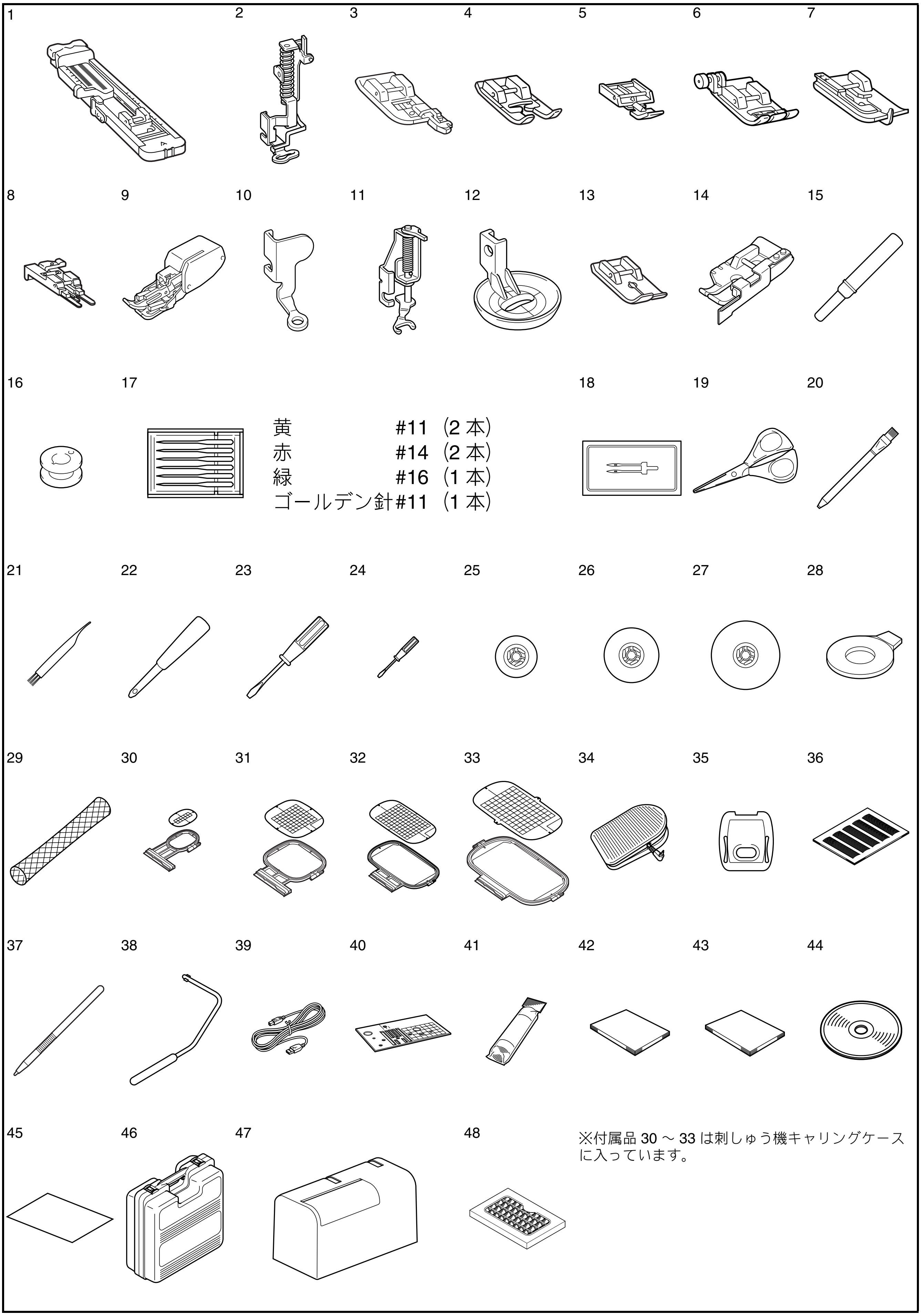




付属品 30 ～ 33 は、刺しゅう機キャリングケースに入っています。刺しゅう機キャリングケースの 2 つのつまみを外すと、ケースが開きます。ケースを閉じるときは、カチッと音がするまでつまみを押し下げてください。



付属品

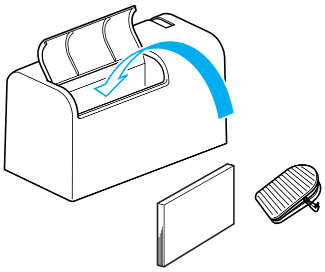


※付属品 30 ～ 33 は刺しゅう機キャリングケースに入っています。

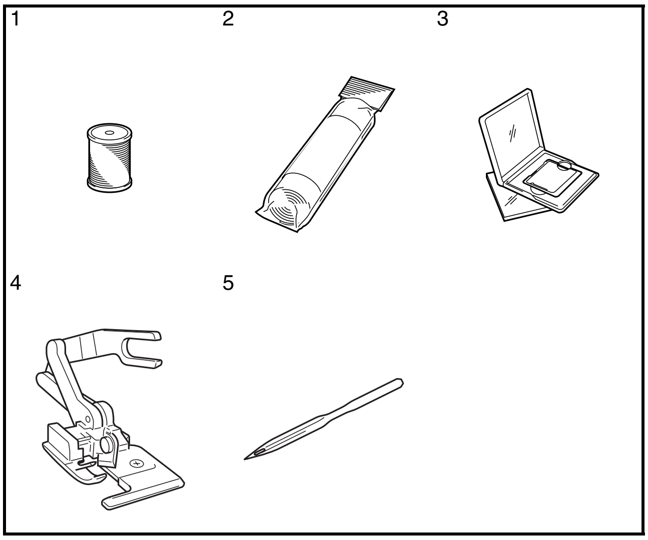
No.	部品名
1	ボタン穴かがり押え＜ A ＞
2	刺しゅう押え＜ W ＞
3	たち目かがり押え＜ G ＞
4	模様ぬい押え＜ N ＞
5	片押え＜ I ＞
6	ジグザグ押え＜ J ＞（ミシンに取り付けてあります）
7	まつりぬい押え＜ R ＞
8	ボタン付け押え＜ M ＞
9	ウォーキングフット
10	フリーモーションキルト押え＜ C ＞
11	オープントゥキルト押え＜ O ＞
12	エコーキルト押え＜ E ＞
13	直線押え
14	ガイド付きピーシング押え
15	リッパー
16	ボビン＜ 10 個＞
17	ミシン針セット
18	2 本針
19	はさみ
20	チャコペン
21	ミシンブラシ
22	はとめ穴パンチ
23	ドライバー（大）
24	ドライバー（小）
25	糸こま押え（小）
26	糸こま押え（中）＜ 2 個＞
27	糸こま押え（大）
28	ネジ回し
29	糸こまネット
30	刺しゅう枠（S）・刺しゅうシート 縫製範囲　縦 2cm ×横 6cm
31	刺しゅう枠（M）・刺しゅうシート 縫製範囲　縦 10cm ×横 10cm
32	刺しゅう枠（L）・刺しゅうシート 縫製範囲　縦 18cm ×横 13cm
33	刺しゅう枠（LL）・刺しゅうシート 縫製範囲　縦 30cm ×横 18cm
34	フットコントローラー
35	刺しゅう専用針板カバー
36	マイイラスト用紙
37	タッチペン
38	ニーリフター
39	USB ケーブル
40	直線針板
41	刺しゅう用接着芯
42	取扱説明書
43	操作早見表
44	取扱説明 DVD
45	保証書
46	刺しゅう機キャリングケース
47	ハードケース
48	刺しゅう糸（ウルトラポス）39 色セット

お知らせ

- 弊社推奨の付属品のみをご使用ください。
- 付属品のフットコントローラー、取扱説明書、操作早見表などは、ミシンのハードケースに収納できます。



別売品



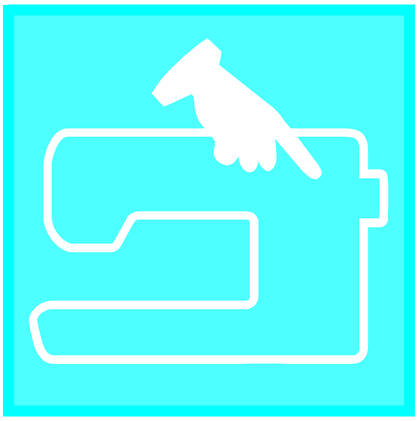
No.	部品名
1	刺しゅう専用下糸（EBT01）
2	刺しゅう用接着芯（L）（BM3）
	刺しゅう用水溶性シート（L）（BM4）
3	刺しゅうカード
4	サイドカッター（F054）
5	ウィングニードル（WN001）

お知らせ

- 仕様は予告なしに変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- オプション品・部品については、お買い上げの販売店、または「お客様相談室（ミシン 119 番）」0120-340-233 にお問い合わせください。

お願い

外国で売られている刺しゅうカードは使用できません。ご了承ください。



第 *1* 章
ぬう前の準備

電源の入れ方 16

液晶画面の操作 17

■キーのはたらき 18
USB マウスで画面を操作する 20
■キーのクリック 20
■ページの移動 21
設定キーを使う 22
■実用ぬい、文字模様ぬいの設定 22
■共通の設定 23
■刺しゅうの設定 24
■画面の明るさを調整する 25
■表示言語を変える 26
使い方キーを使う 27
アドバイスキーを使う 28

下糸の準備 29

下糸を巻く 29
■補助糸たて棒で下糸を巻く場合 29
■糸たて棒で下糸を巻く場合 31
下糸をセットする 32
下糸を引き出す 34

上糸通し 35

自動糸通しスイッチを使って上糸を通す 35
手動で上糸を通す 37
2 本針を使用する 39
ほどけやすい糸を使用する場合 41
■糸こまネットを使用する 41

押えの交換 42

押えを取り外す 42
押えを取り付ける 42
ウォーキングフットを取り付ける 43

針の交換 44

■針の種類と使い分け 45

電源の入れ方

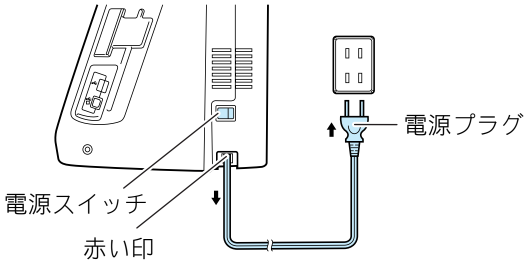
⚠ 警 告

- 一般家庭用電源 AC100V の電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 以下のようなときは電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。
  - ミシンのそばを離れるとき
  - ミシンを使用したあと
  - 使用中に停電したとき
  - 接触不良、断線などで正常に動作しないとき
  - 雷が鳴りはじめたとき

⚠ 注 意

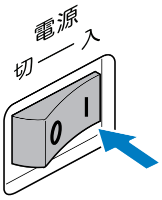
- 延長コードや分岐コンセントを使用した、たこ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 電源プラグを抜くときはまず電源スイッチを切り、必ずプラグの部分を持って抜いてください。電源コードを引っ張って抜くとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードやプラグが破損したときはミシンの使用をやめて、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」0120-340-233 にご連絡ください。
- 長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となります。
- また、ミシンから離れる場合も、電源スイッチを切るか、または電源プラグを抜いてください。
- ミシンを点検したり、ふたを外すときも、必ず電源コードを外してください。

1 本体右側面から電源コードを引き出し、電源プラグを家庭用電源コンセント（AC100V）に差し込みます。



お願い
電源コードの端には、赤いテープが巻いてあります。この印が見えたら、電源コードをそれ以上引き出さないでください。

2 電源スイッチの“ I ”側を押して「入」にします。



→ 電源が入り、ランプが点灯し、液晶画面に情報が表示されます。

3 電源を切るときは、電源スイッチの“○”側を押して「切」にします

→ 電源が切れ、ランプと液晶の表示が消えます。

お願い
運転中に停電が発生したときは、電源スイッチを切ってから電源プラグを抜いてください。再度ミシンを動かす場合は、手順に従って正しく操作してください。

液晶画面の操作

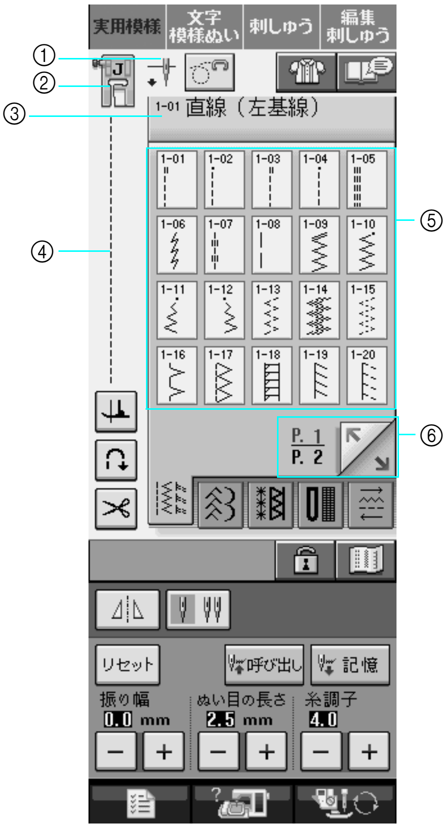
- 電源スイッチを入れると、オープニング画面が表示されます。画面を指で軽く押すと、実用ぬいの画面が表示されます。液晶画面で選択された設定により、「1-01 直線（左基線）」または「1-03 直線（中基線）」のいずれかが表示されます（P.22 参照）。
- 液晶画面上のキーは、模様や機能、またはキーに指示されている操作を選択する場合に押します。

お願い

直線針板がセットされている場合、針は自動的に中央位置に移動します。

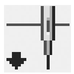
お知らせ

画面は必ず指または付属のタッチペンで押してください。シャープペンシル、ドライバーなどの先のとがったものや硬いもので押さないでください。画面を強い力で押したり、先のとがったもので押すと、故障の原因となります。

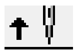


① 1 本針／2 本針の設定状態とミシンが停止したときの針の位置を示します。

1 本針のとき

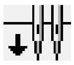


針下で止まります。

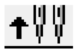


針上で止まります。

2 本針のとき



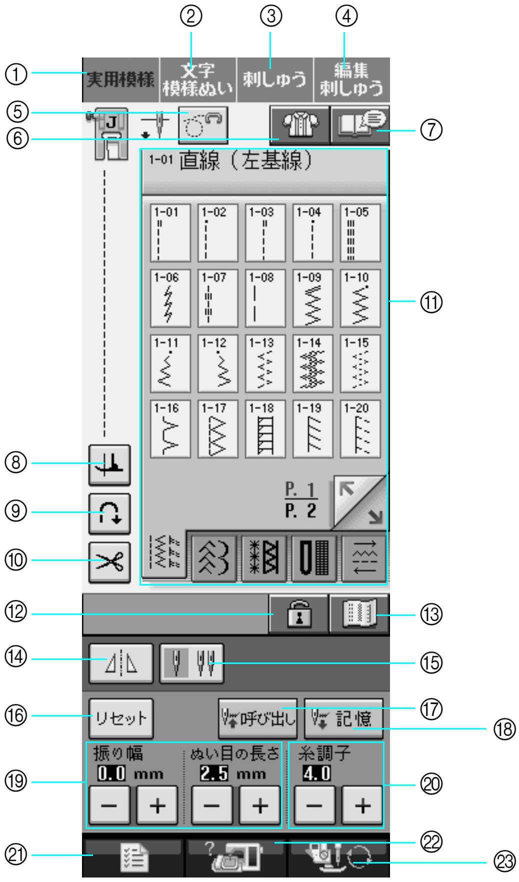
針下で止まります。

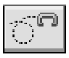
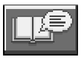
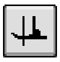


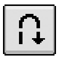
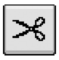
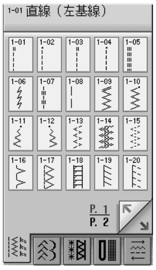
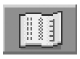
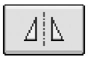
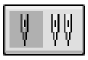
針上で止まります。

② 押え記号が表示されます。表示される押えを取り付けてからぬいます。
③ 選択した模様の名称と番号が表示されます。
④ 選択した模様が表示されます。
⑤ 各種の模様が表示されます。
⑥ 各模様選択画面の総ページ数と現在のページ数が表示されます。
- 液晶画面上のキーの機能は、次のページの「キーのはたらき」の表を参照してください。

■ キーのはたらき

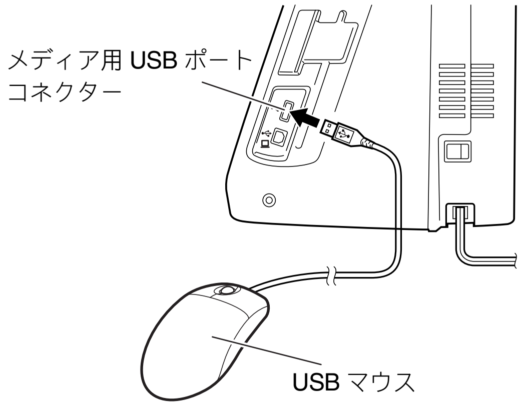


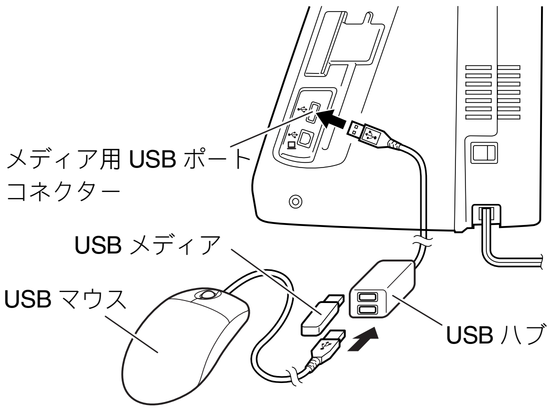
No.	表示	名称	はたらき	参照ページ
①		実用模様キー	直線ぬい、ジグザグ、ボタン穴かがり、まつりぬいなど洋裁によく使う模様（実用模様）を選ぶときに押します。	63
②		文字模様ぬいキー	ひらがな、カタカナ、アルファベットなど文字や飾りなどの模様を選ぶときに押します。	116
③		刺しゅうキー	刺しゅうをするときに押します。	150
④		編集刺しゅうキー	刺しゅうの模様を組み合わせるときに押します。編集刺しゅうでは、オリジナルの刺しゅう模様や枠模様を作ることができます。	199
⑤		フリーモーションモードキー	フリーモーションモードにするときに押します。 押えがフリーモーションキルトに最適な高さになります。	85
⑥		ぬい方キー	どの模様を選べばいいのか分からないときに押します。初心者の方でも、用途に応じて適切な実用模様を選ぶことができます。	66
⑦		アドバイスキー	選んだ模様の用途を知りたいときに押します。	28
⑧		ピボットキー	ピボット設定を選択するときに、このキーを押します。ピボット設定を選択してミシンを止めると、針が下がった状態でミシンは停止し、押えは自動的に正しい高さに上がります。再びぬい始めると、押えは自動的に下がります。 • の表示のときは、操作できません。	57

No.	表示	名称	はたらき	参照ページ
⑨		自動止めぬいキー	自動止めぬい（返しぬい）を設定するときに押します。自動止めぬいをあらかじめ設定しておくと、ぬい始めとぬい終わりに （返しぬい／止めぬいスイッチ）を押したときに自動的に止めぬい（模様によっては返しぬい）をします。	55
⑩		自動糸切りキー	自動糸切りを設定するときに押します。自動糸切りをあらかじめ設定しておくと、ぬい始めとぬい終わりに （返しぬい／止めぬいスイッチ）を押したときに自動的に止めぬい（模様によっては返しぬい）をし、糸を切りをします。	56
⑪		模様選択画面	お好みの模様のキーを押して、模様を選びます。 で模様選択画面を切り替えます。	63
⑫		画面ロックキー	画面をロックするときに押します。ミシンを使用するときに、誤って画面を押すのを防止します。もう一度押すと、解除します。	59
⑬		イメージキー	模様が拡大されたイメージで表示されます。	63
⑭		左右反転キー	模様が左右に反転します。キーが灰色で表示されているときは、操作できません。	63
⑮		2 本針キー	2 本針を使用するときに押します。押すごとに、1 本針と 2 本針の設定が切り替わります。キーが灰色で表示されているときは、操作できません。	39
⑯		リセットキー	記憶した設定を標準の設定に戻したいときに押します。	53-54
⑰		呼び出しキー	記憶した模様の設定を呼び出すときに押します。	65
⑱		記憶キー	模様の設定（ジグザグの振り幅やぬい目の長さ・糸調子・自動糸切りや自動止めぬいなどの設定）をお好みの数値に変更して、その内容を記憶しておくことができます。模様の設定は、1 つの模様について 5 セットまで記憶しておくことができます。	64
⑲		ぬい目調節キー	選択した模様のジグザグの振り幅（模様の幅）とぬい目の長さを示します。 − + を押すと、ジグザグの振り幅やぬい目の長さを調節することができます。 • -.- mm のときは調節できません。	53
⑳		糸調子キー	選択した模様の糸調子を示します。通常、糸調子は自動的に設定されます。 − + を押すと、糸調子を調節することができます。	54
㉑		設定キー	針の停止位置切り替え、ブザーの ON ／ OFF、模様の調整や画面の調整などミシンの設定を変更するときに押します。	22
㉒		ミシンの使い方キー	上糸通し、下糸巻き、押え交換など、ミシンの使い方を知りたいときに押します。	27
㉓		針・押え交換キー	針や押えを交換するときに押します。ミシンが作動しないように他のすべてのキーと操作スイッチがロックされます。	42-45

USB マウスで画面を操作する

USB マウス（コンピュータ販売店で別売）がミシンに接続されている場合、マウスを使って画面を操作できます。
さらに、USB ハブを接続して、USB メディアと USB マウスを同時に使用することができます。





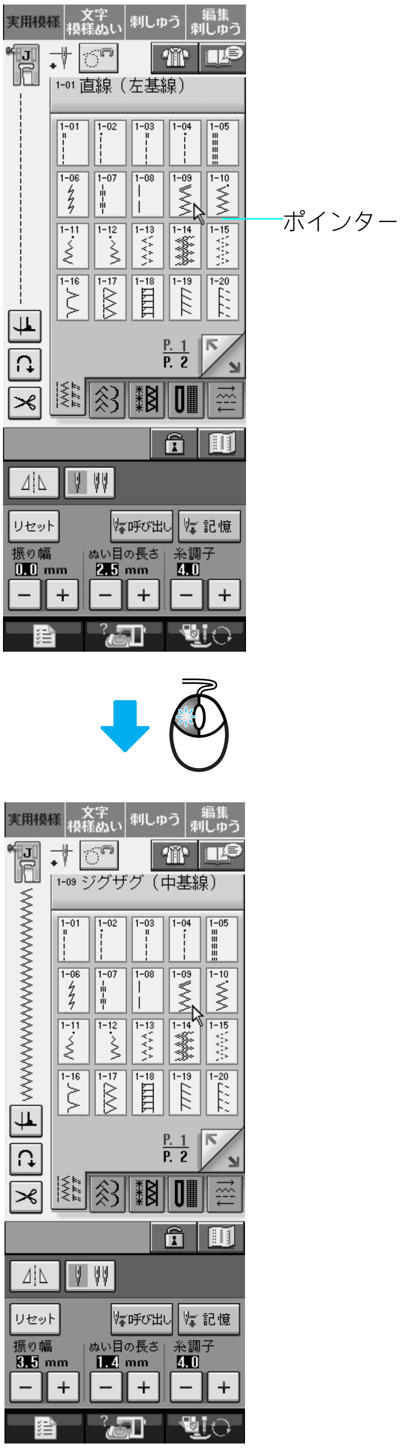
お願い

- マウスの種類によっては、ミシンを操作できない場合があります。使用できる USB マウスの種類については、ブラザーのホームページ（http://www.brother.co.jp）をご覧ください。
- 指または付属のタッチペンで画面を押しているときに、同時にマウスを操作しないでください。
- USB マウスと USB ハブは、いつでも接続と取り外しができます。
- 操作に使用できるのは、マウスの左ボタンとホイールのみです。他のボタンは使用できません。
- 1 つの USB ハブに 2 つ以上の USB メディアを挿入しないでください。1 つの USB メディアのみが認識されます。

■ キーのクリック

マウスを接続すると、ポインターが画面に表示されます。マウスを動かして、目的のキーの上にポインターを置いて、マウスの左ボタンをクリックします。

お知らせ
ダブルクリックは使用できません。

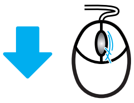


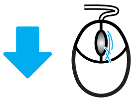
■ ページの移動

マウスホイールを前後に動かし、模様選択画面のタブを移動します。

お知らせ

他のページに移動するための が表示されている場合は、マウスホイールを前後に動かし次のページを表示できます。ぬい方（ ）やミシンの使い方（ ）で、ポインターを ▲ または ▼ に置いてマウスホイールを動かすと、ページの次の部分に移動します。





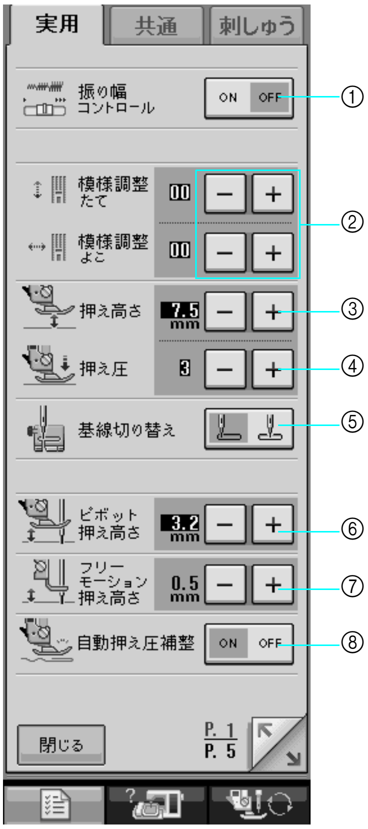
設定キーを使う

を押すと、針の停止位置切り替え、刺しゅうの速度、オープニング画面など、ミシンの標準設定を変えることができます。実用、共通 または 刺しゅう を押すと、機能ごとの設定画面が表示されます。

お知らせ

または を押すと、設定画面が切り替わります。

■ 実用ぬい、文字模様ぬいの設定



① （スピードコントロールレバー）をジグザグの振り幅調節レバーに切り替えます。（P.84 参照）

② 文字・模様ぬいの模様を調整します。（P.123 参照）

③ 押えの高さを調節します。（押えが上がった状態の、押えの高さを選択します。）

④ 押え圧を調節します。（数字が大きいほど押え圧は強くなります。通常は 3 に設定してください。）

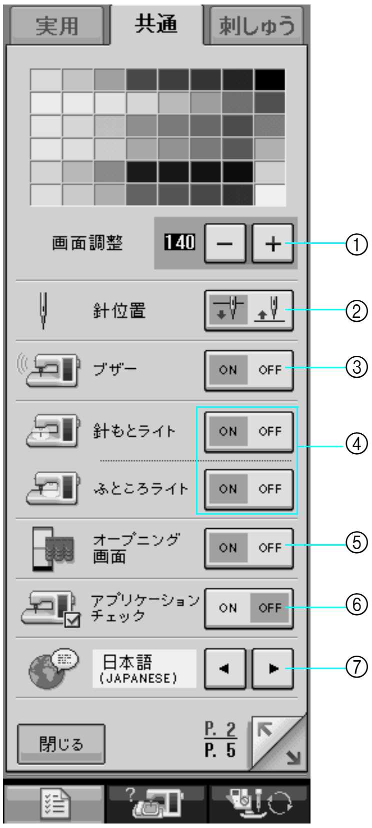
⑤ 電源スイッチを入れたときに自動的に選択される模様として、「1-01 直線（左基線）」または「1-03 直線（中基線）」のいずれかを選択します。

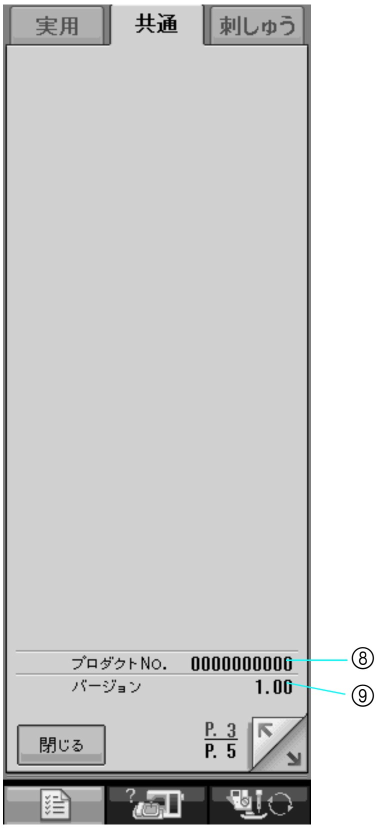
⑥ ピボット機能を有効にしたときの、縫製停止時の押えの高さを変更します。（P.57 参照）
3.2 mm、5.0 mm、7.5 mm の 3 段階のいずれかを選択します。

⑦ フリーモーションモードに設定したときの、押えの高さを変更します。（P.85 参照）

⑧ ON にすると、センサーが布地の厚さを自動的に読み取って、スムーズに布送りすることができます。（P.51、P.59 参照）

■ 共通の設定



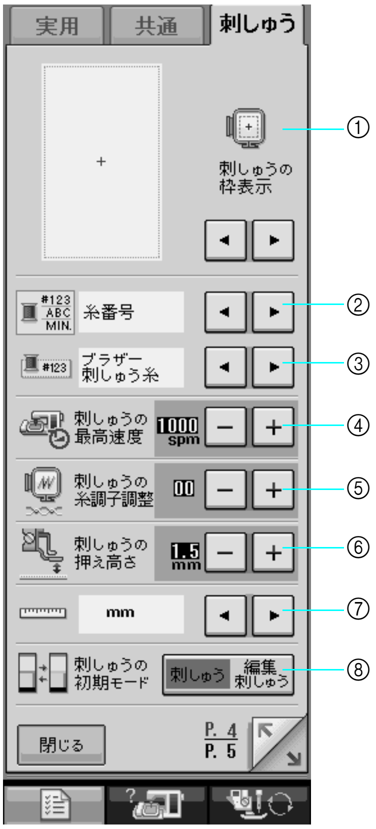


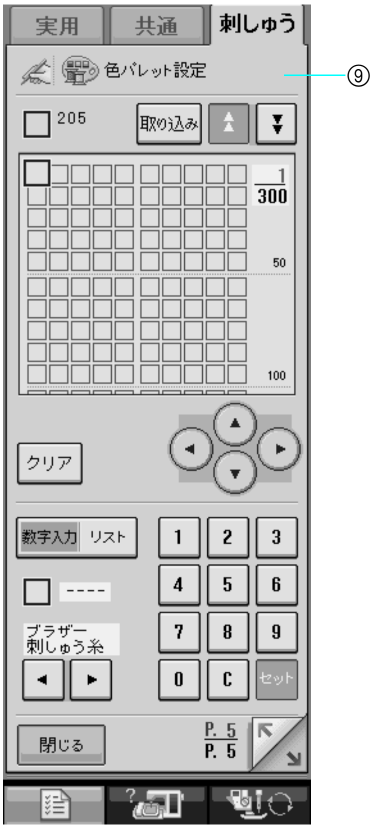
① 液晶画面の明るさを調整します。（P.25 参照）
② ミシンが停止したときの針位置（下／上）を選択します。
③ ブザーの ON ／ OFF を切り替えます。
④ ライトの ON ／ OFF を切り替えます。
⑤ オープニング画面の ON ／ OFF を切り替えます。
⑥ USB メディアからプログラムを実行するときに使用します。
⑦ 表示言語を切り替えます。（P.26 参照）
⑧ お使いのミシンのプロダクトナンバーを示します。
⑨ プログラムのバージョンを示します。

お知らせ

お使いのミシンには、最新バージョンのプログラムがインストールされています。最新バージョンに関する情報（P.244 参照）は、お買い上げの販売店、または「お客様相談室（ミシン 119 番）」0120-340-233 に問い合わせいただくか、ブラザー工業のホームページ（http://www.brother.co.jp）で掲載される情報をご参照ください。

■ 刺しゅうの設定





① 刺しゅうのときの枠表示を、10 通りの中から選択します。(P.178 参照)
② 刺しゅうの糸色表示を、糸番号、糸色名、ぬい時間に切り替えます。(P.177 参照)
③ ② で糸番号を選択したとき、6 つの刺しゅう糸メーカーのいずれかを選択します。(P.177 参照)
④ 刺しゅうのときの最高速度を調節します。(P.177 参照)
⑤ 刺しゅうの糸調子を調整します。
⑥ 刺しゅう押え< W >の高さを調節します。(P.158 参照)
⑦ 表示単位(ミリ/インチ)を選択します。
⑧ 初期画面を「刺しゅう」または「編集刺しゅう」のいずれかに設定します。
⑨ よく使う糸色番号を登録します。(P.209 参照)

■ 画面の明るさを調整する

お願い

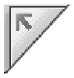
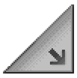
- 周囲の温度や環境の変化によって、画面全体または画面の一部が暗くなったり、明るくなったりしますが、故障ではありません。画面が見づらいときは、画面の明るさを調整してください。
- 電源スイッチを入れた直後、画面が暗い場合がありますが、これは液晶画面を照らすライトの特性によるもので、故障ではありません。約 10 分後に、画面は通常の明るさに戻ります。
- ミシンの正面以外から画面を見ると、色が変化したり、画面が見づらくなることがあります。これは液晶固有の性質によるもので、故障ではありません。ミシンの正面に座って画面を操作することをお勧めします。

1 **を押します。**

→ 設定画面が表示されます。

2 共通 **を押します。**

お知らせ

 または  を押しても、設定画面が切り替わります。

3 **「液晶画面の明るさ」調整画面で、＋ または － を使って画面の明るさを調整します。**

- ＋ を押すと、画面は暗くなります。
- － を押すと、画面は明るくなります。

4 閉じる **を押します。**

■ 表示言語を変える

1 **を押します。**

→ 設定画面が表示されます。

2 共通 **を押します。**

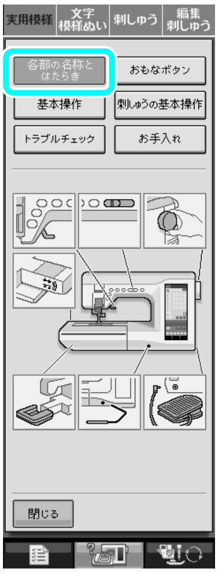
3 ◄ **または** ► **を使って表示言語を選びます。**

- 選択できる言語は、「日本語」、「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「イタリア語」、「オランダ語」、「スペイン語」、「デンマーク語」、「ノルウェー語」、「フィンランド語」、「スウェーデン語」、「ポルトガル語」、「ロシア語」です。

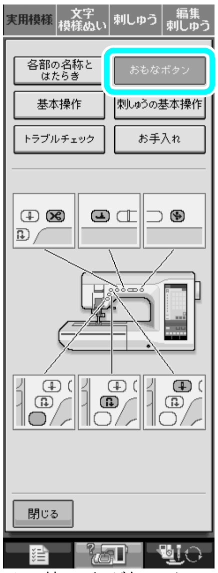
4 閉じる **を押します。**

使い方キーを使う

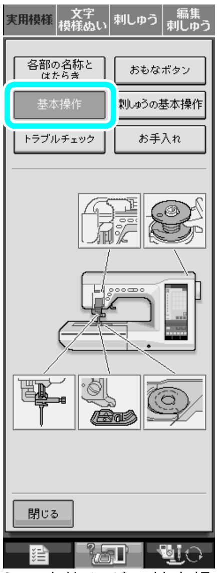
を押すと、画面上段に 6 つの項目が表示されます。詳しい内容を知りたい項目のキーを押します。



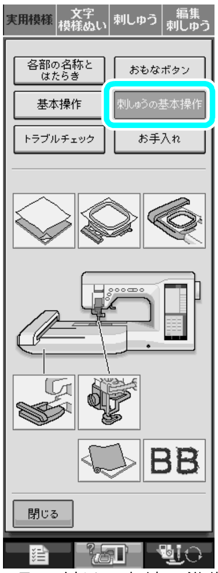
この画面は、 を押すと最初に表示されます。ミシンの各部の名称とはたらきが知りたいときに押します。



操作スイッチの使い方が知りたいときに押します。

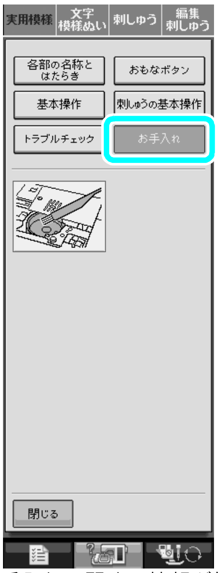


糸通しや押えの交換などの基本操作が知りたいときに押します。



刺しゅう機の取り付けや布地の準備などの刺しゅうの基本操作が知りたいときに押します。

トラブルチェックの情報が知りたいときに押します。



ミシンのお手入れに関する情報が知りたいときに押します。

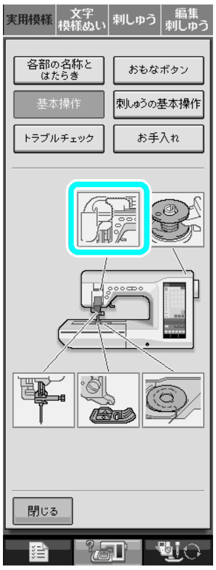
例） 上糸の通し方を見るとき

1 [?アイコン] **を押します。**

2 基本操作 **を押します。**

→ 画面の下段に基本操作の項目が表示されます。

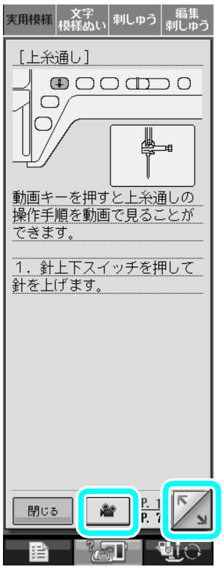
3 （上糸通し）**を押します。**



→ 上糸通しの手順が表示されます。

4 **手順を読みます。**

- [動画アイコン] を押すと、画面に動画が表示されます。
- [ページ送りアイコン] を押すと、次ページへ進みます。



5 閉じる **を押すと、元の画面に戻ります。**

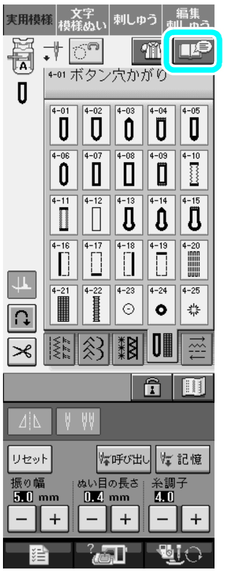
アドバイスキーを使う

模様を選んでから [アドバイスキー] を押すと、選んだ模様の詳しい説明が表示されます。

例） 4-01 **の詳しい情報を表示するとき**

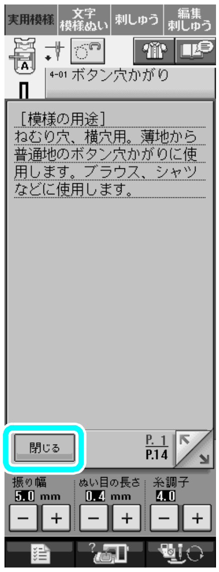
1 4-01 **を押します。**

2 [アドバイスキー] **を押します。**



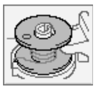
→ 4-01 の詳しい情報が表示されます。

3 閉じる **を押すと、元の画面に戻ります。**



下糸の準備

下糸を巻く

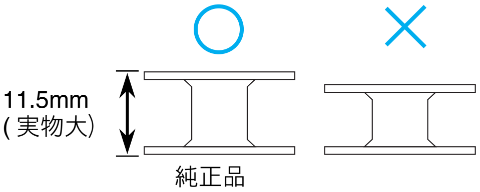
→ 基本操作 →  → の順

に押すと、下糸巻きの手順が画面が表示されます。（P.28 参照）以下の手順に従って、操作してください。

下糸の巻き方は、2 通りあります。用途に応じて、補助糸たて棒（P.29 参照）または糸たて棒（P.31 参照）で下糸を巻いてください。

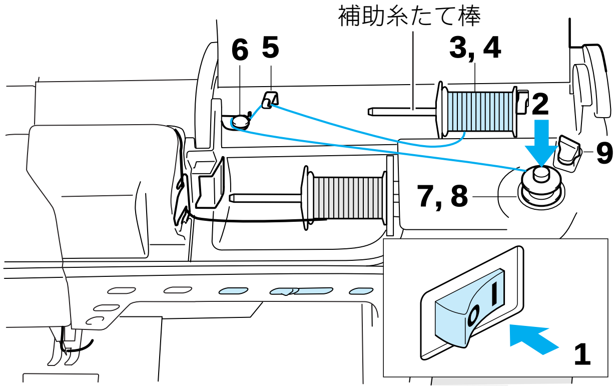
注 意

付属のボビンは本機純正品です。厚みの違うボビンを使用すると、ミシンが正しく動作しません。必ず付属品、または別売りの純正ボビンを使用してください。



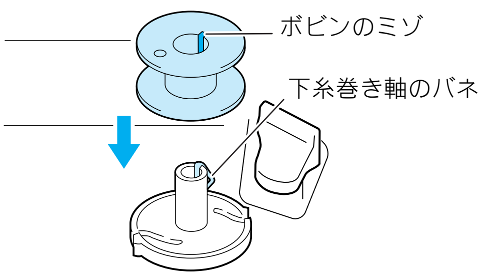
■ 補助糸たて棒で下糸を巻く場合

縫製の途中で下糸を巻くのに便利です。

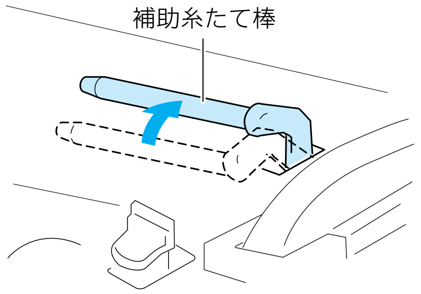


1 **電源スイッチを入れ、上ふたを開けます。**

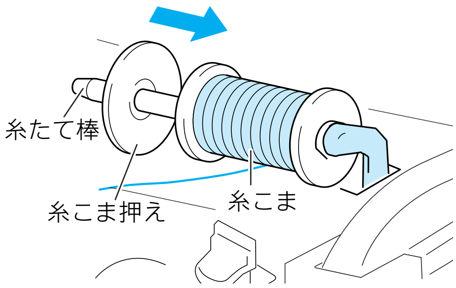
2 **ボビンのミゾと下糸巻き軸のバネを合わせて、ボビンを軸にセットします。**



3 **補助糸たて棒を上におこします。**



4 **糸こまを糸が手前から出るように補助糸たて棒に差し込み、糸こま押えを奥までしっかり差し込みます。**



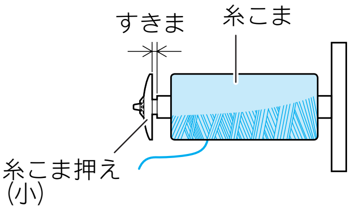
注 意

- **糸こまの向きや糸こま押えが正しくセットされていないと、糸たて棒に糸がからまり、針折れの原因となります。**
- **糸こま押え（大）（中）（小）は糸こまの大きさに合わせて使用してください。糸こまより小さい糸こま押えを使用すると、糸こまの切り欠きなどに糸が引っかかり、針折れの原因となります。**

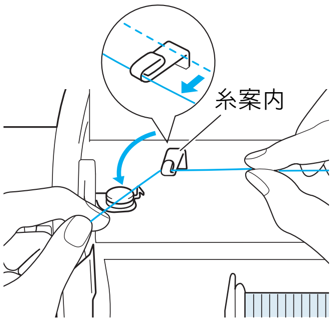
1

ぬう前の準備

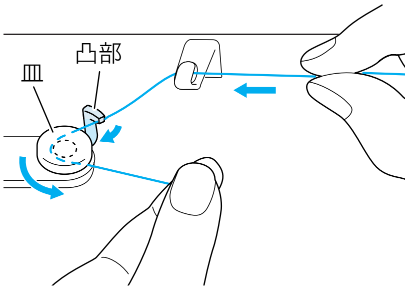
お知らせ
細い糸こまを使用するときは、糸こま押え（小）を使い、糸こま押えと糸こまとの間に少しすきまを残してください。



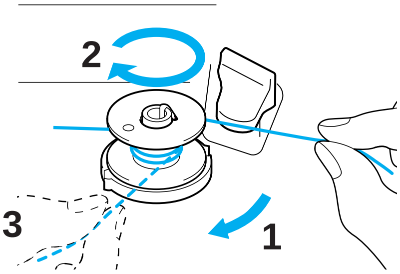
5 右手で糸こまからの糸を持ち、左手で糸端を持って、糸案内に糸をかけます。



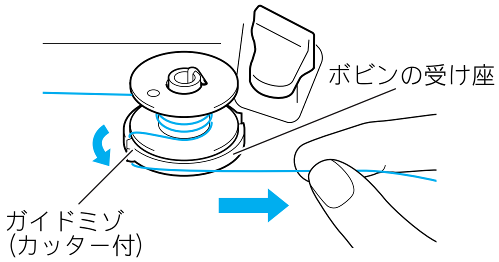
6 下糸巻き案内の凸部に糸をかけて、皿の間に左回りに糸をかけ、しっかり奥まで入れます。糸が皿の下を通っていることを確認してください。



7 図のようにボビンに糸を時計まわりに5～6回巻きつけます。



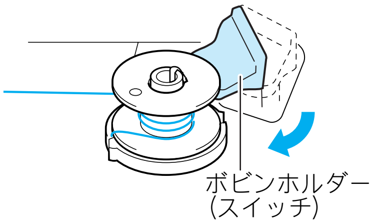
8 糸端をボビンの受け座のガイドミゾに引っかけて、図のように右へ糸を引き、カッターで糸を切ります。



注 意

必ずこの方法で糸を切ってください。ガイドミゾのカッターで糸を切らずに下糸を巻くと糸がうまく巻けません。また、糸量が少なくなったときにボビンに糸がからまり、針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。

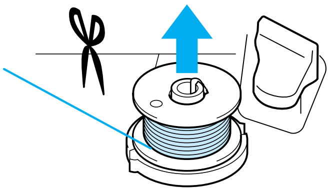
9 ボビンホルダーを左へカチッと音がするまで押します。



お知らせ
ボビンホルダーを左へ押すと、自動下糸巻きスイッチとして動作します。

→ ボビンが自動的に回転し、巻き終わると自動的に停止し、ボビンホルダーが元の位置に戻ります。

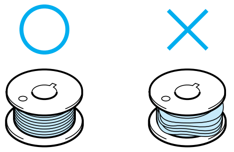
10 糸を切り、ボビンを外します。



お知らせ
ボビンを外すとき、ボビンの受け座を引っ張ると、ボビンの受け座が外れ、故障の原因となります。

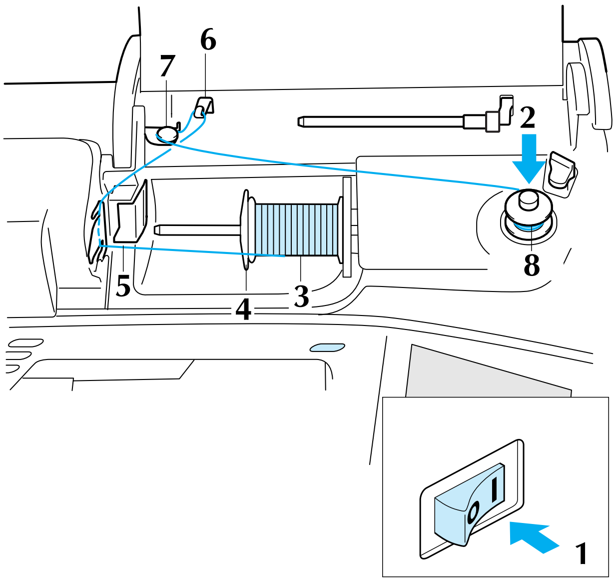
注 意

下糸は正しく巻かれたものを使用してください。下糸の巻き方が悪いと針折れや糸調子不良の原因となります。



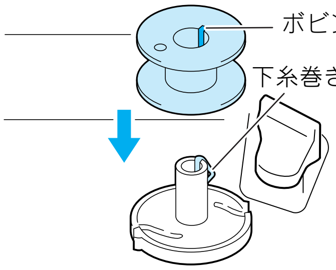
■ 糸たて棒で下糸を巻く場合

ぬい始める前に、糸たて棒を使って下糸を巻いてください。縫製中は補助糸たて棒を使って下糸を巻いてください。

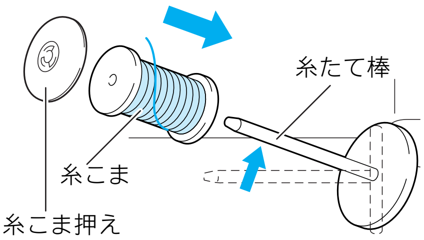


1 電源スイッチを入れ、上ふたを開けます。

2 ボビンのミゾと下糸巻き軸のバネを合わせて、ボビンを軸にセットします。



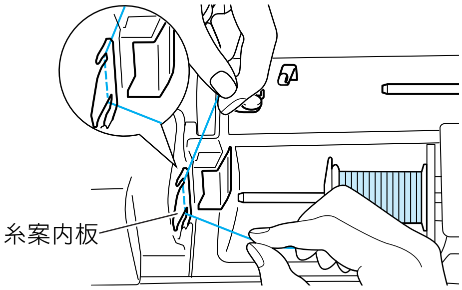
3 糸たて棒をななめ手前に軽くおこし、糸が手前から出るように糸たて棒に糸こまを差し込みます。



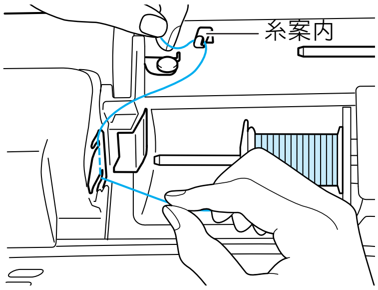
1
ぬう前の準備

4 糸こま押えを奥までしっかり差し込み、糸たて棒を元に戻します。

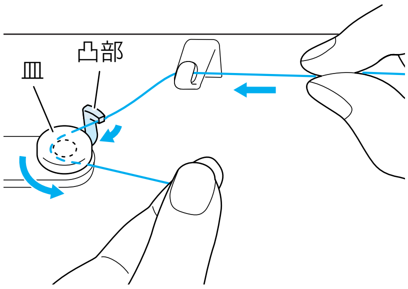
5 右手で糸こまからの糸を持ち、左手で糸端を持って、糸案内板のミゾに糸を通します。



6 糸案内に糸をかけます。



7 下糸巻き案内の凸部に糸をかけて、皿の間に左回りに糸をかけ、しっかり奥まで入れます。糸が皿の下を通っていることを確認してください。



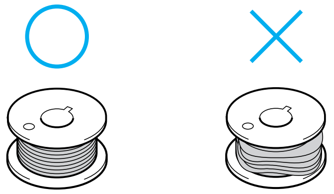
8 以降の作業は、P.30 から 31 の手順 7 ～ 10 に従ってください。

下糸をセットする

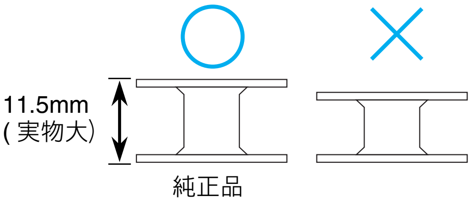
→ 基本操作 → → の順に押すと、下糸をセットする手順が画面が表示されます。(P.28 参照) 以下の手順に従って、操作してください。

注 意

- 下糸は正しく巻かれたものをご使用ください。下糸の巻き方が悪いと、針折れや糸調子不良の原因となります。



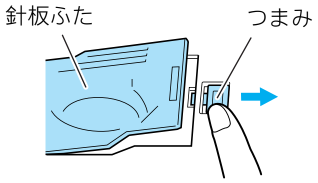
- 付属のボビンは本機純正品です。厚みの違うボビンを使用すると、ミシンが正しく動作しません。必ず付属品、または別売りの純正ボビンを使用してください。



- 下糸をセットするときや交換するときは、必ず液晶画面の を押してください。 が押されていない状態で、 (スタート／ストップスイッチ) または他のスイッチを押すと、ミシンが作動してけがをするおそれがあります。

1 (押え上下スイッチ) を押して、押えを上げます。

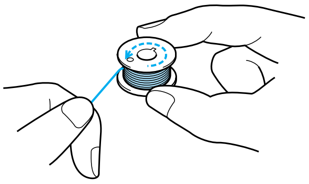
2 針板ふたのつまみを右側に押します。



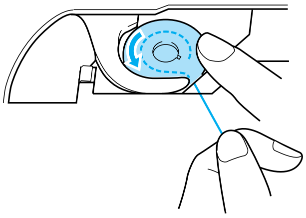
→ 針板ふたが開きます。

3 針板ふたを外します。

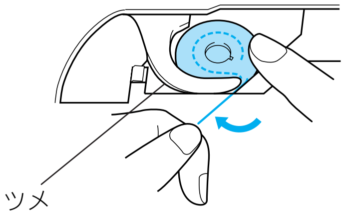
4 ボビンを右手で持ち、左手で糸端を持ちます。



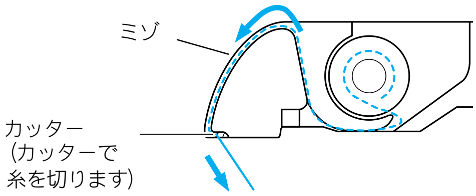
5 糸が左巻きになるようにして右手でボビンを内がまにセットします。



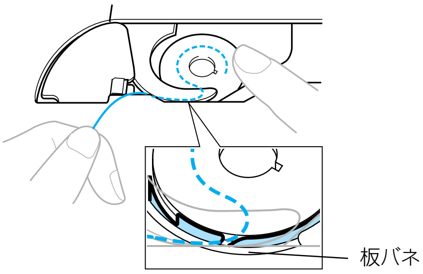
6 右手でボビンを軽く押さえ、左手で巻き終わりの糸をしっかりツメに引っかけます。



7 ミゾに沿って糸を通し、手前に引きます。カッターで糸を切ります。

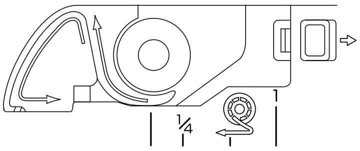


・ 内かまの板バネの間に、確実に糸が入っていることを確認してください。入っていない場合は、もう一度糸をかけ直してください



お知らせ

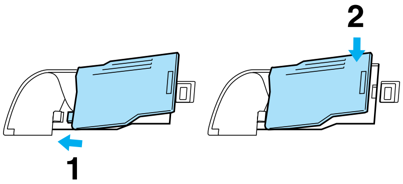
ボビンをセットする方向が、針板周辺に刻印されています。そちらもあわせて見てください。



⚠ 注 意

ボビンは必ず指で押さえ正しい方向から糸が出るようにセットしてください。ボビンを逆の方向にセットすると、針折れや糸調子不良の原因となります。

8 針板ふたの左下の突起部を差し込み（1）、右側をカチッと音がするまで押して、針板ふたを閉めます（2）。



1

ぬう前の準備

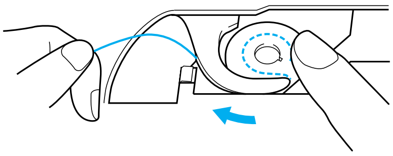
下糸を引き出す

ギャザーやダーツ、フリーモーションキルト、刺しゅうをぬうときなど、あらかじめ下糸を引き出しておきたいときは、以下の手順に従って操作してください。

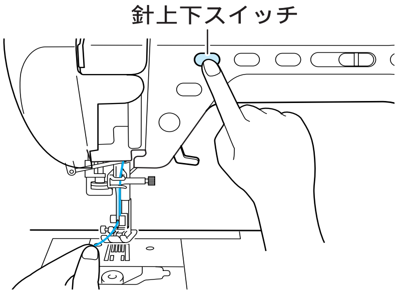
お知らせ
先に上糸を通してから、下糸を引き出します。（P.35「上糸通し」参照）

1 下糸を矢印のようにミゾにそって通します。

- 糸をカッターで切らないでください。
- 針板ふたは外したままにしてください。

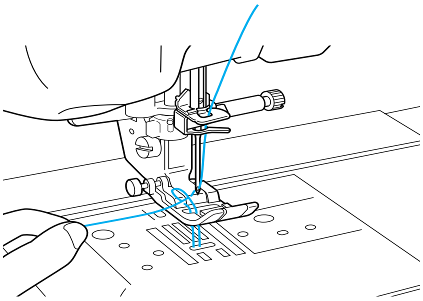


2 上糸を持ち、（針上下スイッチ）を押して針を下げます。

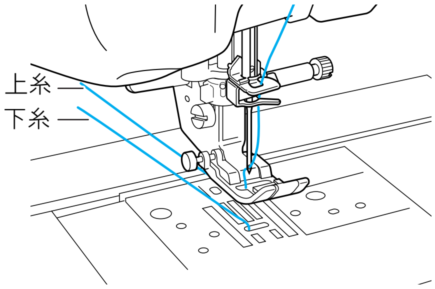


3 （針上下スイッチ）を押して針を上げます。

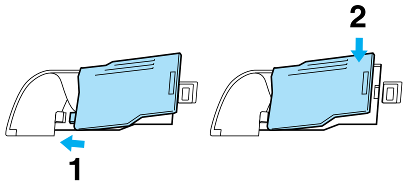
4 上糸を軽く引き上げて、下糸を針板の穴から出します。



5 そのまま下糸を引き出し、上糸とそろえて押えの下を通し、後ろ側へ約 10cm 引き出しておきます。



6 針板ふたを閉めます。



上糸通し

自動糸通しスイッチを使って上糸を通す

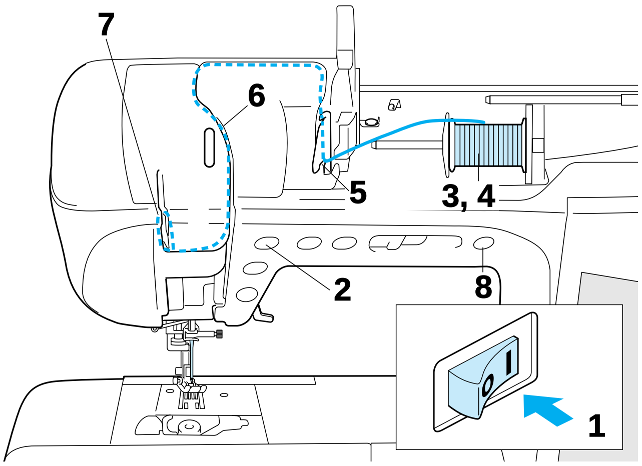
→ 基本操作 → → の順に押すと、自動糸通しの手順が画面が表示されます。（P.28 参照）以下の手順に従って、操作をしてください。

注 意

- **上糸は必ず正しく通してください。糸が正しく通されていない場合、糸がからんで針が折れ、けがをするおそれがあります。**
- **別売りの部品（押えなど）を使用する場合は、上糸通しを行ってから本体に取り付けてください。**

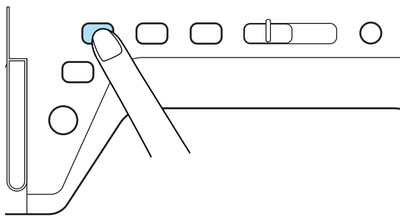
お知らせ

- （自動糸通しスイッチ）は、家庭用ミシン針（HA × 1）11 番～ 16 番で使用してください。
- （自動糸通しスイッチ）は、透明なナイロン糸や太い糸などの特殊な糸では使用できません。
- （自動糸通しスイッチ）は、ウイング針や 2 本針では使用できません。
- （自動糸通しスイッチ）が使用できない場合の操作は、P.37 の「手動で上糸を通す」を参照してください。



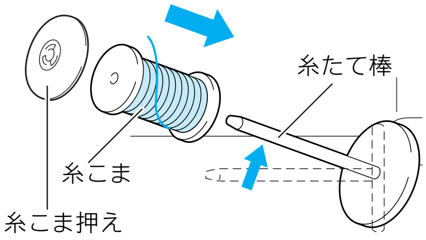
1 **電源スイッチを入れます。**

2 **（針上下スイッチ）を押して針を上げます。**



お願い
針を上げずに自動糸通しを行うと、上糸が正しくかからないことがあります。

3 **糸たて棒をななめ手前に軽くおこし、糸が手前から出るように糸たて棒に糸こまを差し込みます。**



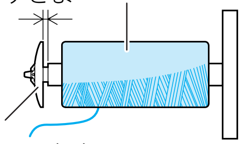
4 **糸こま押えを奥までしっかり差し込み、糸たて棒を元に戻します。**

注 意

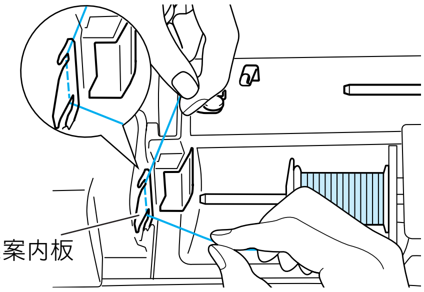
- **糸こまの向きや糸こま押えが正しくセットされていないと、糸たて棒に糸がからまり、針折れの原因となります。**
- **糸こま押え（大）（中）（小）は糸こまの大きさに合わせて使用してください。糸こまより小さい糸こま押えを使用すると、糸こまの切り欠きなどに糸が引っかかり、針折れの原因となります。**

お知らせ

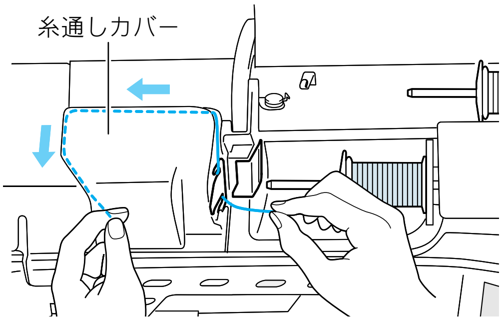
細い糸こまを使用するときは、糸こま押え（小）を使い、糸こま押えと糸こまとの間に少しすきまを残してください。



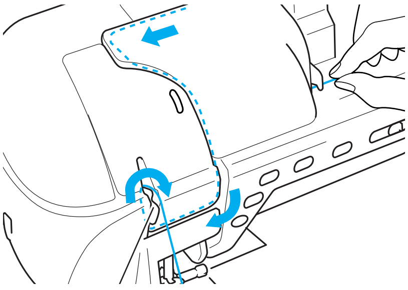
5 右手で糸こまからの糸を持ち、左手で糸端を持って、糸案内板のミゾに糸を通します。



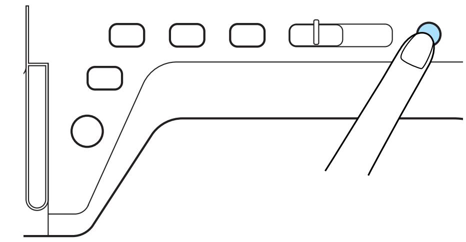
6 右手で糸を持ちながら、糸通しカバーの矢印に沿って糸を通します。

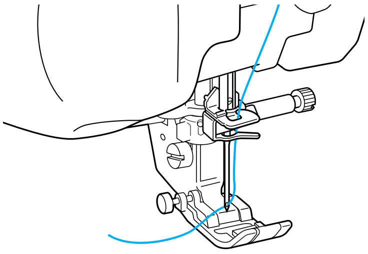


7 糸通しカバーに沿って糸を通した後、糸を切ります。



8 （自動糸通しスイッチ）を押して、針に糸を通します。





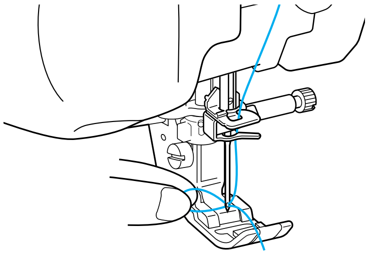
→ 上糸通しが完了します。

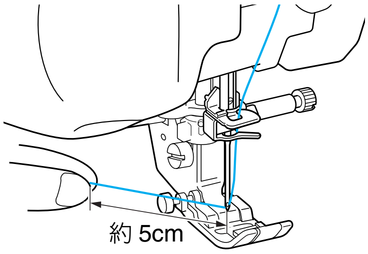
お知らせ

（自動糸通しスイッチ）を押すと、押えは自動的に下がります。

お願い

針穴を通った糸が輪になった場合は、輪を後ろ側に引っ張り、針穴から糸を引き出します。



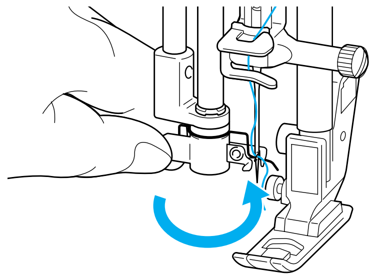


お知らせ

自動糸通しが正常に行なわれなかった場合は、手順 3 から操作をやり直してください。

お願い

(自動糸通しスイッチ) を押すと、押えは自動的に下がります。糸と針の組み合わせが適正でない場合、フックが針に引っかかる可能性があります。その場合は、図のように、針からフックを外してください。



注 意

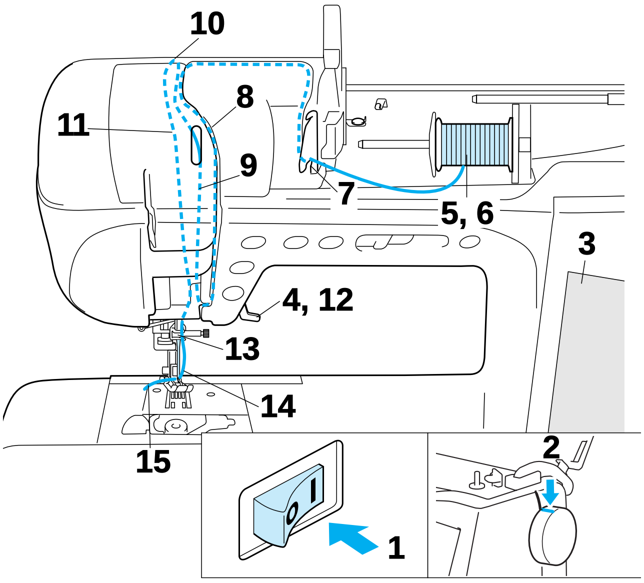
(自動糸通しスイッチ) を押すと、糸通し装置が自動的に針糸通しを行います。事故を防ぐために、針の付近に手や物を近づけないように注意してください。

手動で上糸を通す

ウイング針、2 本針または透明なナイロン糸や太い糸などの特殊な糸を使用するときは、(自動糸通しスイッチ) は使えません。その場合は、次の手順に従って、糸を通してください。

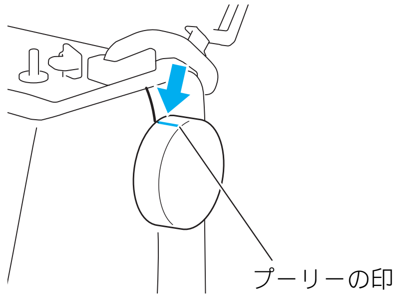
注 意

手動で糸を通すときは、必ず液晶画面の を押してください。 が押されていない状態で、(スタート/ストップスイッチ) または他のスイッチを押すと、ミシンが作動してけがをするおそれがあります。



1 **電源スイッチを入れます。**

2 **プーリーを回し、ミシン本体上の線とプーリーの印を合わせます。**



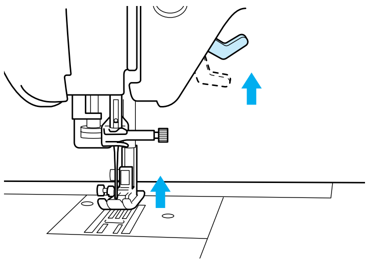
お知らせ

ミシン本体の線とプーリーの印が合っていないと、上糸を通すことができません。プーリーの印が、図の位置に合っていることを確認してください。

3 **を押します。**

→ 画面全体が白くなり、キーと操作スイッチがロックされます。

4 **押えレバーを上げます。**

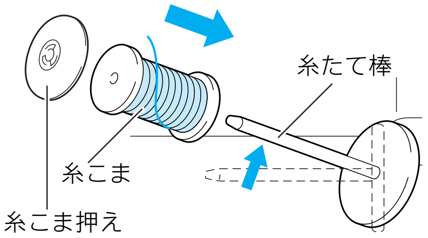


注 意

押えが下がった状態で上糸を通すことはできません。

ぬう前の準備 1

5 糸たて棒をななめ手前に軽くおこし、糸が手前から出るように糸たて棒に糸こまを差し込みます。

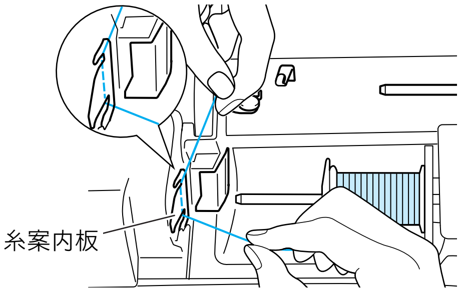


6 糸こま押えを奥までしっかり差し込み、糸たて棒を元に戻します。

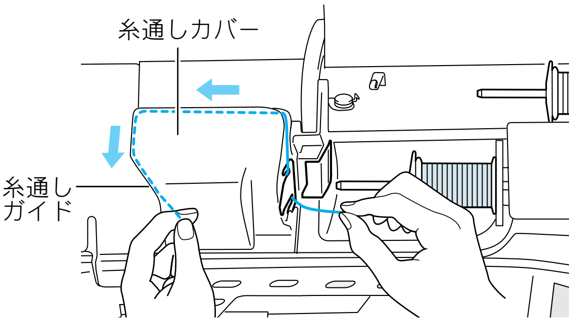
注 意

- 糸こまの向きや糸こま押えが正しくセットされていないと、糸たて棒に糸がからまり、針折れの原因となります。
- 糸こま押え（大）（中）（小）は糸こまの大きさに合わせて使用してください。糸こまより小さい糸こま押えを使用すると、糸こまの切り欠きなどに糸が引っかかり、針折れの原因となります。

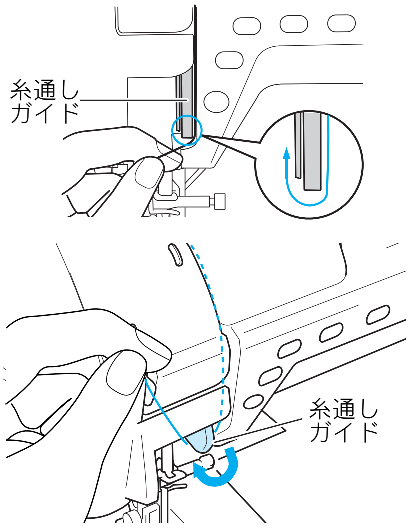
7 右手で糸こまからの糸を持ち、左手で糸端を持って、糸案内板のミゾに糸を通します。



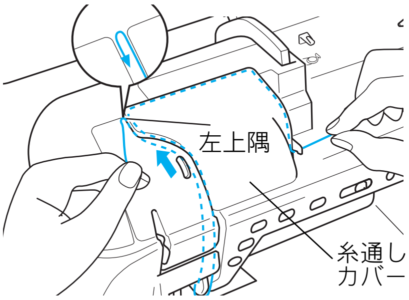
8 右手で糸を持ちながら、糸通しカバーの矢印に沿って糸を通します。
必ず、糸通しガイドの右側に沿って糸を通してください。



9 糸通しガイドの下に糸をくぐらせます。

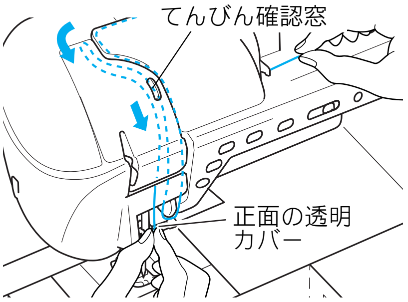


10 糸通しガイドの左側から糸通しカバーの左上隅に向かって糸を通します。

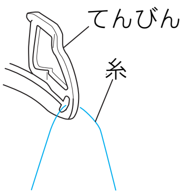


11 糸通しガイドの左側に沿って、針棒まで糸を引き出します。

- 上糸が糸通しカバーの上隅にかかり、正面の透明カバーの後ろ側を通っていることを確認してください。

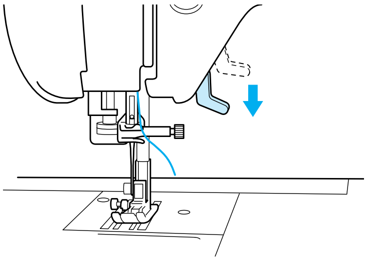


お知らせ

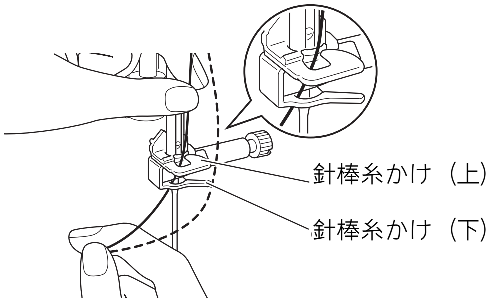


てんびん確認窓をのぞきながら、プーリーを手前に回し、てんびんによって糸が正しく送られていることを確認します。

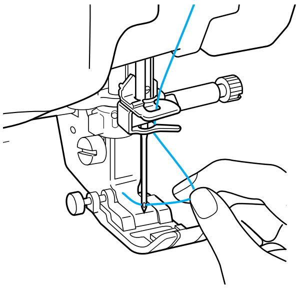
⑫ **押えレバーを下げます。**



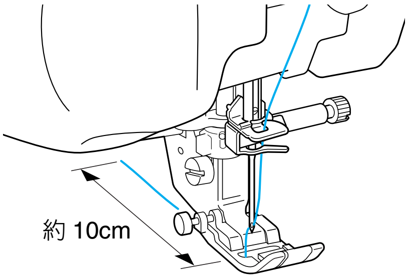
⑬ **一方の手で糸を押さえ、もう一方の手で糸の端を持ち、上下の針棒糸かけに糸をかけます。**



⑭ **手前から向こう側に針穴に糸を通します。**



⑮ **押えの下に糸を通し、後ろ側に約 10cm 引き出します。**



⑯ **を押して、すべてのキーとスイッチのロックを解除します。**

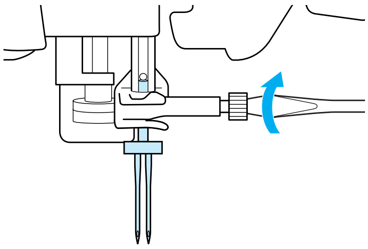
2 本針を使用する

模様を選んだときに が表示される模様のみ、2 本針が使用できます。2 本針が使用できる模様は、巻末の「ぬい方早見表」で確認することができます。

注意

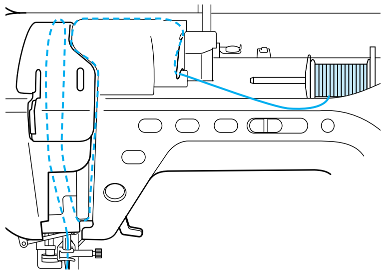
- **2 本針は必ずブラザー専用 2 本針を使用してください。他の針を使用すると針折れや故障の原因となります。**
- **2 本針を使用するときは必ず 2 本針の設定にしてください。2 本針の設定になっていない状態で 2 本針を使用すると、針が折れ故障の原因となります。**
- **曲がった針は絶対に使用しないでください。針が折れ、けがをするおそれがあります。**
- **2 本針を使用するときは、必ず＜ J ＞押えを使用してください。**
- **針を交換するときおよび上糸を通すときは、必ず液晶画面の を押してください。 が押されていない状態で、（スタート／ストップスイッチ）または他のスイッチを押すと、ミシンが作動してけがをするおそれがあります。**

① **を押して、2 本針を取り付けます。**
（P.44 の「針の交換」を参照してください。）

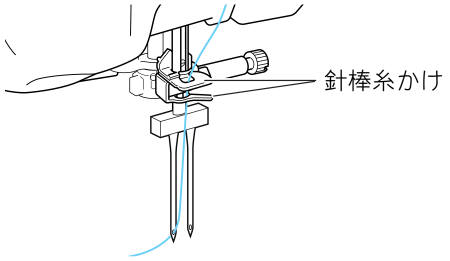


② **上糸を通します。**

- 1 本針と同じ手順で 1 本目の糸を通します。（P.37 の「手動で上糸を通す」を参照してください。）

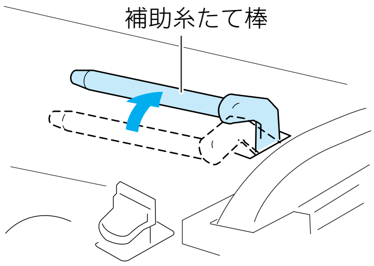


3 糸を針棒糸かけにかけ、左側の針に糸を通します。

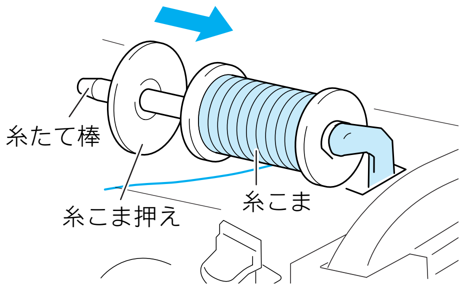


> **お願い**
> （自動糸通しスイッチ）は使用できません。2 本針の手前から向こう側に、手で針穴に糸を通します。（自動糸通しスイッチ）を使用すると故障の原因となります。

4 補助糸たて棒を垂直におこします。

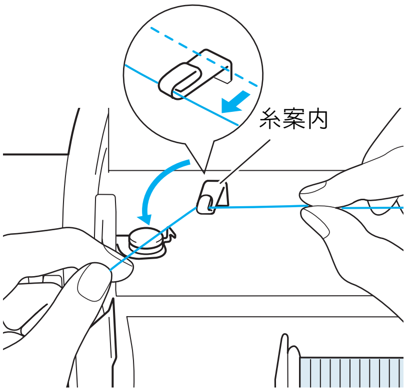


5 もう 1 つの糸こまを、糸が手前から出るように補助糸たて棒に差し込み、糸こま押えを奥までしっかり差し込みます。

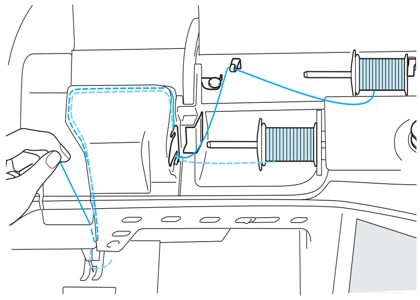


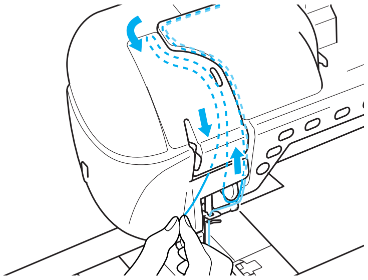
6 糸案内に糸をかけます。

- 下糸巻き案内に糸をかけないように注意してください。

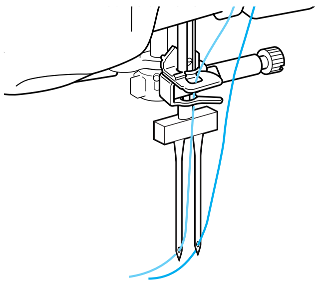


7 図のように、上糸を通します。





8 針棒糸かけには糸をかけずに、右側の針に糸を通します。

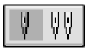


9 を押します。

10 模様を選びます。（例： ）

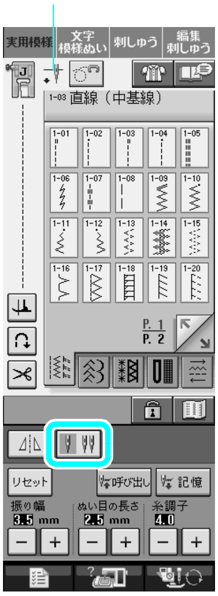
- ＜ J ＞押えを取り付けたときに使用できる模様の詳細については、巻末の「ぬい方早見表」を参照してください。

→ 選んだ模様が表示されます。

> **お願い**
> 模様を選んだときに、 キーが灰色で表示されているときは、その模様で 2 本針が使用できないことを表しています。

⑪ を押して、2 本針の設定にします。

1 本針／2 本針設定の表示

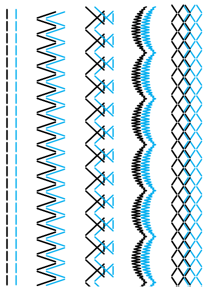


→ 1 本針／2 本針設定の表示が に変わります。

⚠ 注 意

2 本針を使用するときは必ず 2 本針の設定にしてください。2 本針の設定になっていない状態で 2 本針を使用すると、針が折れ故障の原因となります。

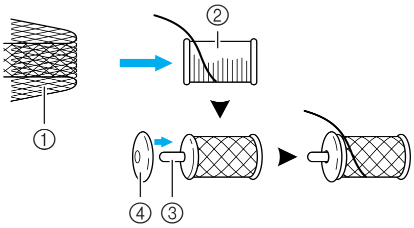
⑫ （スタート / ストップスイッチ）を押してぬい始めます。



ほどけやすい糸を使用する場合

■ 糸こまネットを使用する

ナイロン透明糸やメタリック糸などを使用する場合は、付属の糸こまネットを糸こまに付けてください。これらの糸を使用するときは、手動で糸をかけてください。
糸こまネットが長すぎる場合は、糸こまの大きさに合わせてネットを折りたたんでから、糸こまに付けてください。



① 糸こまネット
② 糸こま
③ 糸たて棒
④ 糸こま押え

お知らせ

- 糸こまネットを使用する場合は、必ず約 5 ～ 6cm 糸を引き出してください。
- 糸こまネットを使用する場合は、必要に応じて糸調子を調節してください。

1
ぬう前の準備

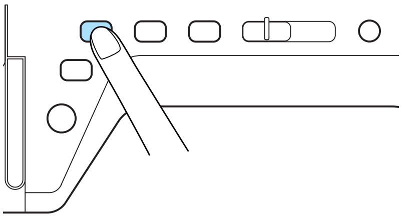
押えの交換

⚠ 注 意

- 押えを交換する前に必ず液晶画面の を押してください。 が押されていない状態で、(スタート／ストップスイッチ）または他のスイッチを押すと、ミシンが作動してけがをするおそれがあります。
- 模様に適した押えを使用してください。誤った押えを使用すると、針が押えに当たり、折れたり曲がったりするおそれがあります。
- 押えは必ず純正品を使用してください。純正品以外の押えを使用するとけがをするおそれがあります。

押えを取り外す

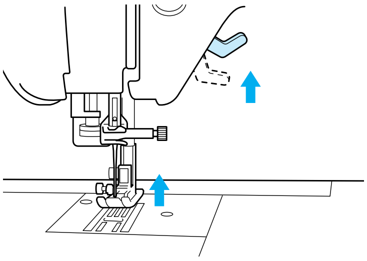
1. (針上下スイッチ）を押して針を上げます。



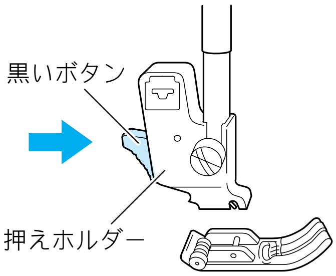
2. を押します。

→ 画面全体が白くなり、キーと操作スイッチがロックされます。

3. 押えレバーを上げます。



4. 押えホルダーの黒いボタンを押して、押えを外します。

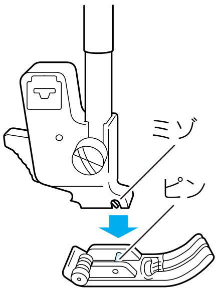


押えを取り付ける

⚠ 注 意

押えは前後の向きを確認して正しい向きで取り付けてください。押えの向きを間違えますと針が押えに当たり、折れてケガをする原因となります。

1. 押えホルダーのミゾと押えのピンが合うように押えを置き、押えレバーを下げます。
押えに記されている押え記号（J、A など）が読める向きに置きます。



2. を押して、すべてのキーとスイッチのロックを解除します。

3. 押えレバーを上げます。

ウォーキングフットを取り付ける

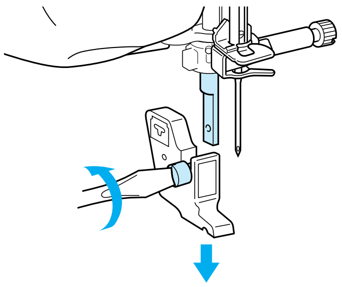
ウォーキングフットは、押えと送り歯の間に生地をしっかりはさんで生地を送るため、ぬいにくい生地（キルティングやベルベット）やすべりやすい生地（ビニルクロス、皮、人工皮革など）でも、スムーズにぬえます。

お願い
ウォーキングフットを使用する場合、縫い速度は中～低速度にしてください。

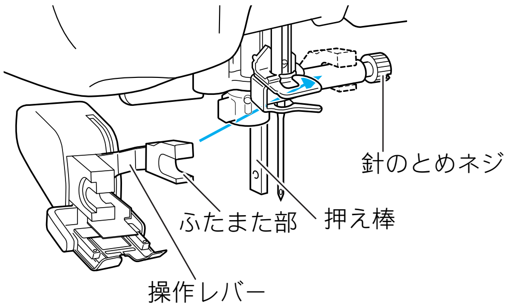
お知らせ
ウォーキングフットは、直線模様またはジグザグ模様のみに使用できます。また、返しぬいをすることはできません。

1. **前ページの「押えを取り外す」の手順に従って、押えを外します。**

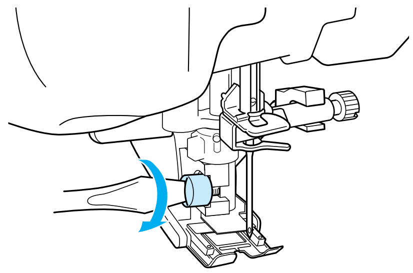
2. **付属のドライバーで押えホルダーのネジを緩め、押えホルダーを外します。**



3. **ウォーキングフットの操作レバーのふたまた部で針のとめネジの棒をはさむようにして、ウォーキングフットを押え棒に合わせます。**



4. **押えレバーを下げ、押えホルダーのネジを差し込み、付属のドライバーで確実にしめます。**



注 意

- ネジをしめるときは、必ず付属のドライバーを使用してください。ネジを確実にしめないと針が押えに当たり、けがをするおそれがあります。
- プーリーを手前に回し、針が押えに当たらないことを確認してください。針が押えに当たると、針が折れたり曲がったりするおそれがあります。

針の交換

以下の注意を守らないと非常に危険です。よく読んで、必ず守ってください。
仕上がり良くぬい上げるためには、ブラザー純正のミシン針（HA × 1）を推奨します。

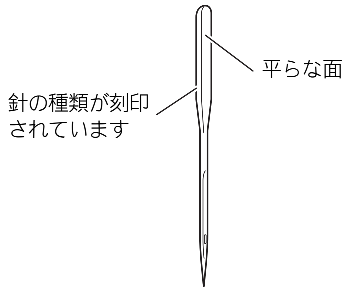
注 意

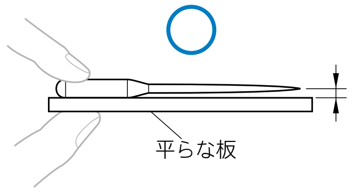
- **針を交換する前に必ず液晶画面の ［ボタン］ を押してください。［ボタン］ が押されていない状態で、（スタート／ストップスイッチ）または他のスイッチを押すと、ミシンが作動してけがをするおそれがあります。**
- **針は必ず家庭用ミシン針（ＨＡ × 1）を使用してください。その他の針を使用すると、針が曲がったり折れ、けがをするおそれがあります。**
- **曲がった針は絶対に使用しないでください。けがをするおそれがあります。**

正しい針の見分け方

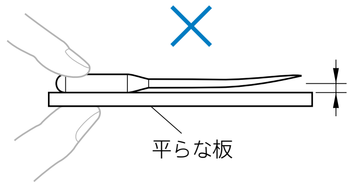
針が曲がった状態で使用すると、途中で折れてしまうことがあり非常に危険です。

使用する前に、針の平らな面を平らな板に合わせ、針と板のすき間が平行かどうかを確認します。

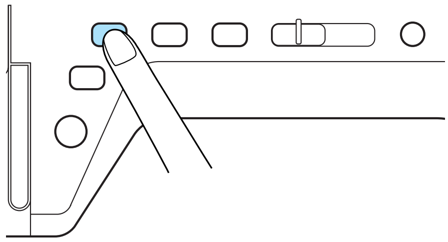




すき間が平行でない場合は、針が曲がっています。その針は使用しないでください。



1 **（針上下スイッチ）を押して針を上げます。**



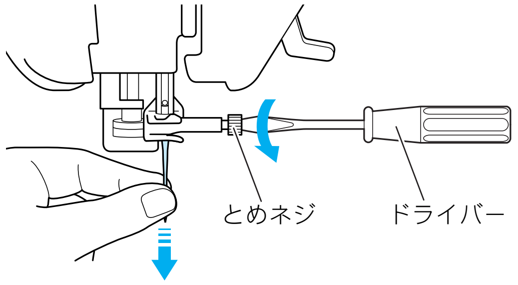
2 **［ボタン］ を押します。**

→ 画面全体が白くなり、キーと操作スイッチがロックされます。

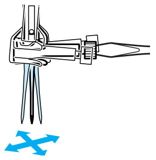
注 意

針を交換する前に、押えの下に布や紙を置いて、針が針板の穴から下へ落ちないようにしてください。

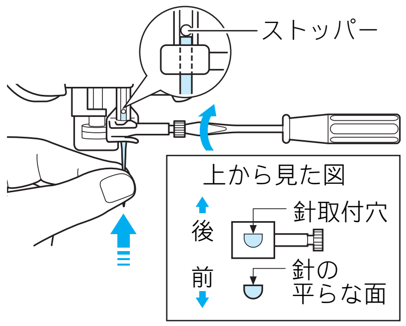
3 **左手で針を持ちながら、右手でドライバーを手前に回し、針のとめネジをゆるめ、針を抜きます。**



お願い
針のとめネジに大きな力を加えないでください。針やミシン本体の故障の原因となります。



4 **新しい針の平らな面を後ろ側に向けて、ストッパーに当たるまで針棒に差し込みます。ドライバーで針のとめネジをしっかりしめます。**



⚠ 注 意

針は必ずストッパーに当たるまで差し込み、とめネジをドライバーで確実にしめてください。針が正しく取り付けられていないと、針折れや故障の原因となります。

5 **を押して、すべてのキーとスイッチのロックを解除します。**

■ 針の種類と使い分け

ミシン針は布地や糸の太さによって使い分けます。次の表を参考にして、布地に合った糸と針を選んでください。

布地の特徴・種類		ミシン糸 種類	ミシン糸 太さ	針の種類
普通地	ブロード	綿糸	60～90	11～14
	タフタ	合繊糸		
	フラノ ギャバジン	綿糸	50	
薄地	ローン	綿糸	60～90	9～11
	ジョーゼット	合繊糸		
	ポーラ	綿糸	50	
厚地	デニム	綿糸	30	16
			50	14～16
	コーデュロイ	合繊糸	50～60	
	ツィード	綿糸		
のびる布地	ジャージ	ニット用糸	50～60	ゴールデン針 11
	トリコット			
ほつれやすい布地		綿糸	50～90	9～14
		合繊糸		
		綿糸	50	
ステッチ糸の場合		合繊糸	30～60	11～16
		綿糸		

糸と針の数字
糸は数字が小さいほど太く、針は数字が大きいほど太くなります。
ゴールデン針
伸縮性のある布地や目がとびやすい布地に使用します。

⚠ 注 意

布地と糸と針の組み合わせは、上記に従ってください。組み合わせが適切でない場合、ぬい目がふぞろいになり、ぬいじわや目とびの原因になります。特に厚い布地（デニム等）を細い針（9 ～ 11 番）でぬうと、針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。

第 2 章
基本操作

基本のぬい方 48

ぬってみましょう 48
■フットコントローラーを使用する 50
試しぬいをする 50
ほつれ止めをする 50
カーブをぬう 50
ぬい方向を変える 51
■0.5cm 以下のぬいしろでぬう場合 51
厚い布地をぬう 51
■押えの下に布地が入らない場合 51
■布地が送られない場合 51
特に厚い布地をぬう 52
薄い布地をぬう 52
伸びる布地をぬう 52

模様の設定 53

ジグザグの振り幅を調節する 53
ぬい目の長さを調節する 53
糸調子を調節する 54
■正しい糸調子 54
■上糸が強すぎる（下糸が表に出る）場合 54
■上糸が弱すぎる（上糸が裏に出る）場合 54

便利な機能 55

自動止めぬいをする 55
自動糸切りをする 56
■ニーリフターを使用する 57
■ピボット 57
■自動押え圧補正 59
画面をロックする 59

基本のぬい方

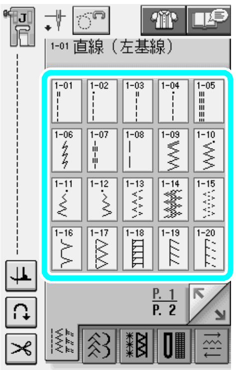
注 意

- ミシン操作中は、針の動きに十分にご注意ください。また、針、プーリー、天びんなど、動いているすべての部品に手を近づけないでください。
- 縫製中、布地を無理に引っ張ったり、押したりしないでください。ケガの原因となります。
- 曲がった針は絶対に使用しないでください。針折れの原因となります。
- ぬう際には、まち針などが針に当たらないように注意してください。針が折れたり曲がったりするおそれがあります。
- ぬい目が詰まる場合は、ぬい目の長さをあらくしてください。ぬい目が詰まった状態でぬい続けると、針が折れたり曲がったりするおそれがあります。
- 押えを交換する前に必ず液晶画面の を押してください。 が押されていない状態で、（スタートストップ）（スタート／ストップスイッチ）または他のスイッチを押すと、ミシンが作動してけがをするおそれがあります。

ぬってみましょう

1 電源スイッチを入れ、（針上下スイッチ）を押して針を上げます。

2 模様を選びます。



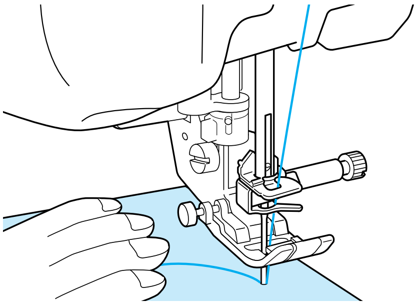
→ 画面の左上に正しい押えが表示されます。

3 押えを取り付けます。（P.42 の「押えの交換」を参照してください。）

注 意

模様に適した押えを使用してください。誤った押えを使用すると、針が押えに当たり、折れたり曲がったりするおそれがあります。

4 布地を押えの下に置き、左手で布地と糸端を押さえ、プーリーを回してぬい始め位置に針をさします。

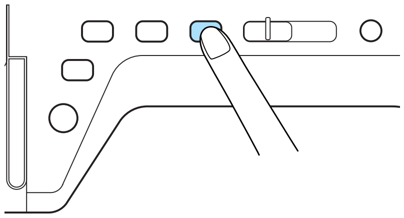


お知らせ

＜ J ＞押えの左側の黒いボタンは、布地を送らないときや布地に段差があるときに使います。（P.51 参照）通常は黒いボタンを使わずにぬいます。

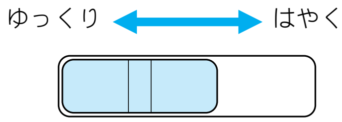
5 （押え上下スイッチ）を押して押えを下げます。

- 下糸を引き出す必要はありません。

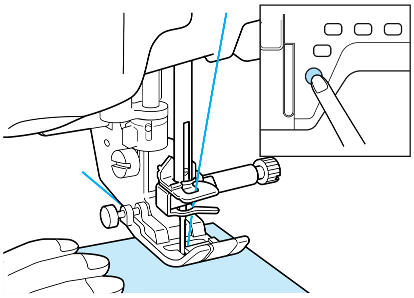


6 （スピードコントロールレバー）でぬう速さを調節します。

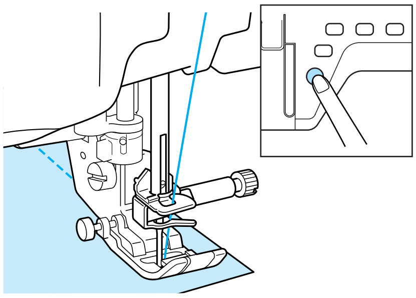
- ぬっている途中でも、ぬう速さを調節することができます。



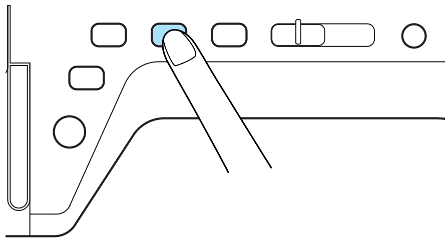
7 布地に軽く手を添え、（スタート／ストップスイッチ）を押して、ぬい始めます。



8 ぬい終わったら、もう一度（スタート／ストップスイッチ）を押します。



9 （糸切りスイッチ）を押して糸を切ります。



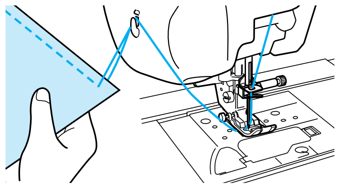
→ 針が自動的に上位置に戻ります。

注意

- 糸を切った後は、（糸切りスイッチ）を押さないでください。糸がからまったり、針が折れたり、ミシンが故障する原因となります。
- 押えの下に布地がないときや、ミシンが動いているときは、（糸切りスイッチ）を押さないでください。糸がらみや故障の原因となります。

お願い

30 番以上の太い糸やナイロン糸など特殊な糸を切る場合は、本体側面の糸切りを使用してください。



10 針が完全に止まったら、押えを上げて布地を取り出します。

お知らせ

このミシンには下糸残量センサーが付いています。下糸が少なくなるとミシンは自動的に止まり、画面にメッセージが表示されます。その場合は、早めに下糸を補充して下さい。ただし、（スタート／ストップスイッチ）を押すと数針ぬうことができます。

■ フットコントローラーを使用する

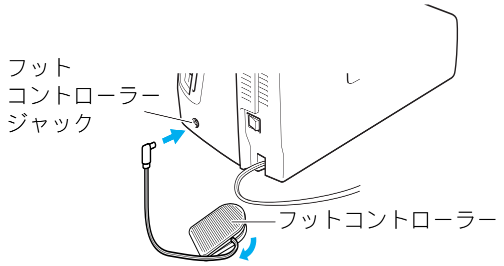
注 意

- **フットコントローラーに布片やほこりが溜まると火災や感電する危険があるため、注意してください。**
- **このミシンに使用できるフットコントローラーは以下のモデルです。下記以外のモデル、または他社のものはご使用にならないでください。**
  MODEL S（推奨 : オプションとしてご購入される場合 /MODEL P/MODEL T）

お知らせ

- フットコントローラージャックにフットコントローラーのプラグが差し込まれているときは、（スタート／ストップスイッチ）は使用できません。
- （スピードコントロールレバー）で設定した速度が、フットコントローラーを踏み込んだときの最高速度になります。
- 刺しゅうまたは編集刺しゅうのときは、フットコントローラーは使用できません。
  （スタート／ストップスイッチ）を使用してください。

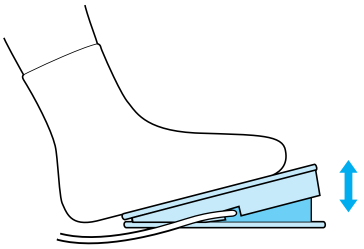
1 フットコントローラーのコードを引き出し、本体左側面のフットコントローラージャックにプラグを差し込みます。



お願い

フットコントローラーのコードは赤い印以上は引き出さないでください。

2 ゆっくりとフットコントローラーを踏み、ぬい始めます。



3 フットコントローラーから足を離すと、ミシンは停止します。

試しぬいをする

本製品は、模様に合わせて適切な模様の幅と長さが設定されるようになっています。

しかし、布の種類やぬい方によっては必ずしも思い通りにならないことがあるので、試しぬいをするようにしましょう。

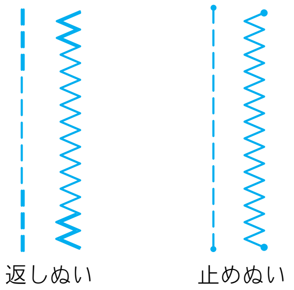
試しぬいは、実際の布地のはぎれと糸を使用して、糸調子や模様の幅・長さを確認します。ぬい方や布を何枚重ねてぬうかによってもぬった結果は異なるので、実際にぬうものと同じ状態で試しぬいをします。

ほつれ止めをする

一般的にぬい始めとぬい終わりにはほつれ止めが必要です。ほつれ止めをするには、（返しぬい / 止めぬいスイッチ）を押します。

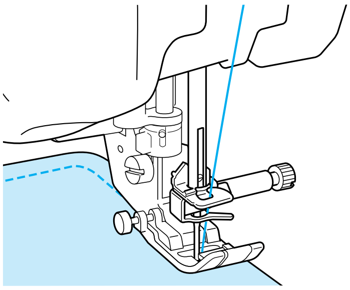
（返しぬい / 止めぬいスイッチ）を押している間、模様によって止めぬいまたは返しぬいをします。止めぬいの場合は同じ場所で 3 ～ 5 針ぬってから止まります。返しぬいの場合は逆方向に低速でぬいます。

また、このミシンは自動止めぬい（返しぬい）を設定することができます。（P.55 参照）。



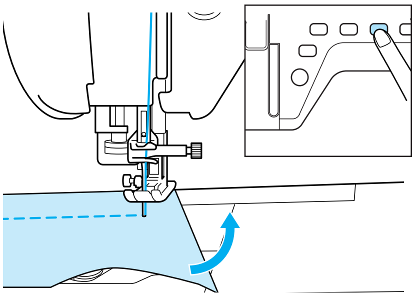
カーブをぬう

ぬい目を布端と平行になるように、ミシンを止めて少しずつ布地の向きを変えながらぬいます。



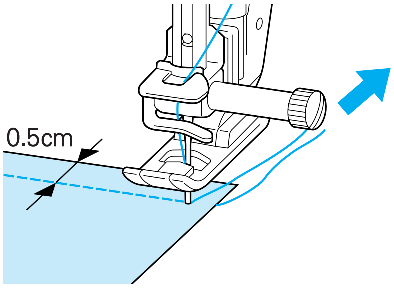
ぬい方向を変える

方向を変える位置でミシンを止め、針を布にさしたまま押えレバーを上げます。針を軸にして布地を回し、再び押えレバーを下げてぬい始めます。



■ 0.5cm 以下のぬいしろでぬう場合

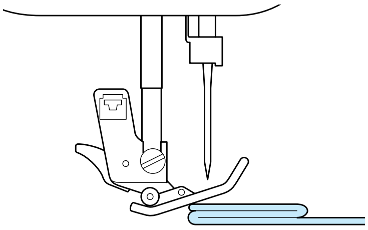
角部にしつけ糸をつけ、方向を変えたらしつけ糸を後ろに引っ張りながらぬいます。



ぬい方向を変えるときは、ピボット機能を有効にしておくと便利です。布の角でミシンを止めたときに、針が布に刺さった状態で止まり、押えが自動的に上がるため、布を回転させやすくなります。(P.57「ピボット」参照)

厚い布地をぬう

このミシンでは、厚さが約 6mm までの布地をぬうことができます。布地に段差があるときは、手で布を送りながらぬってください。

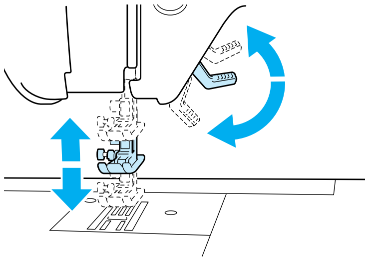


注 意

6mm 以上の厚地をぬったり、無理に布地を押しこんだりすると、針が折れけがをするおそれがあります。

■ 押えの下に布地が入らない場合

押えレバーは 2 段階に上がります。厚地の重ねぬいなど布地を入れにくいときは、レバーをさらに押し上げると、押えがもう一段上がり布地が入れやすくなります。



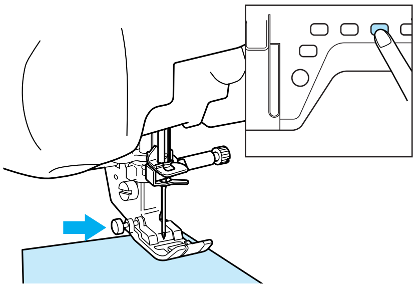
お知らせ

(押え上下スイッチ) を押して押えを上げた後は、押えレバーは使用できません。

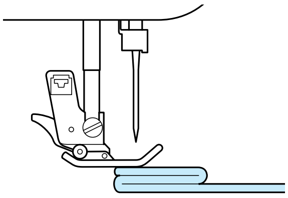
■ 布地が送られない場合

ぬい始めに布地が送られないときや布地に段差があって送られない場合は、< J >押えの左側の黒いボタンを使います。

1. **押えレバーを上げます。**
2. **< J >押えの左側の黒いボタンを押したまま、(押え上下スイッチ) を押して押えを下げます。**



3. **ボタンから手を離します。**



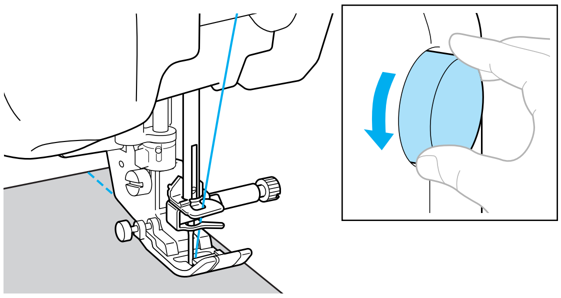
→ 押えが水平になり、布が送られます。

お知らせ

- ぬい進めると押えはもとに戻ります。
- 設定画面で「自動押え圧補正」を ON にすると、センサーが布地の厚さを自動的に読み取ります。スムーズに布送りでき、きれいに仕上げることができます。(詳細は、P.59 を参照してください。)

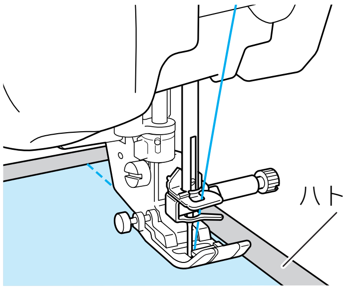
特に厚い布地をぬう

デニムなど、特に厚い布地をぬうときは、プーリーを手で回しながらぬい進めます。



薄い布地をぬう

アイロンスプレーのりを使ってアイロンをかけたり、布地の下にハトロン紙などの薄い紙、または刺しゅう用の芯をしいてぬうと、ぬいやすくなります。紙や芯をしく場合は、ぬい終わった後にていねいに取り除きます。

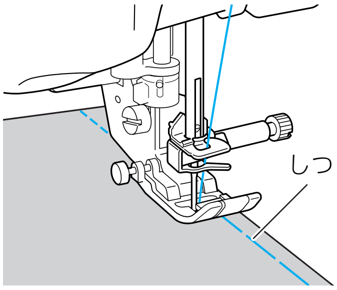


伸びる布地をぬう

あらかじめしつけをして、布地を引っ張らないようにぬいます。

また、ニット用の糸を使用したり伸縮ぬいを使用すると、きれいにぬうことができます。

お知らせ
伸びる布地は、押え圧を弱くするときれいに仕上がります。



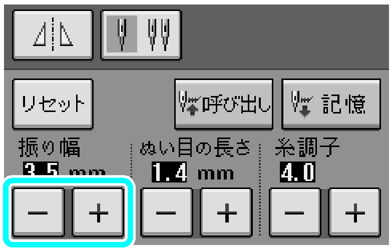
模様の設定

ジグザグの振り幅やぬい目の長さ、上糸調子は、あらかじめ模様ごとに標準値に設定されています。この設定は、必要に応じて変えることができます。

お願い
- 模様によっては、設定を変えられないものがあります（巻末の「ぬい方早見表」参照）。
- 模様の設定を保存せずに（P.64「模様の設定を記憶する」参照）、ミシンの電源スイッチを切ったり、他の模様を選択すると、標準の設定に戻ります。

ジグザグの振り幅を調節する

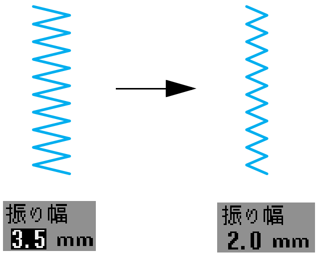
ジグザグの振り幅（模様の幅）を広くしたりせまくしたりすることができます。



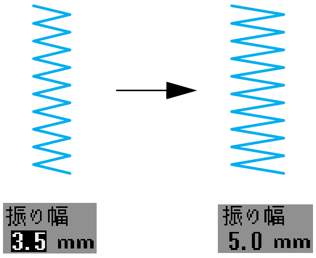
お知らせ

（スピードコントロールレバー）を使って振り幅を調節することもできます。（P.85 を参照してください。）

振り幅の − を押すごとに表示の数値が小さくなり、ジグザグの幅がせまくなります。



振り幅の ＋ を押すごとに表示の数値が大きくなり、ジグザグの幅が広くなります。



お知らせ

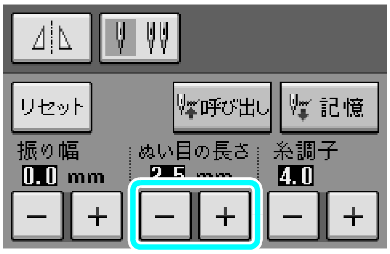
リセット を押すと、標準の設定に戻ります。

⚠ 注 意

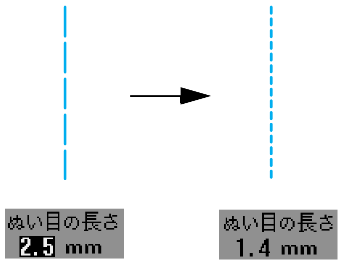
振り幅を調節したときはプーリーをゆっくりと手前に回し、針が押えに当たらないことを確認してください。針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。

ぬい目の長さを調節する

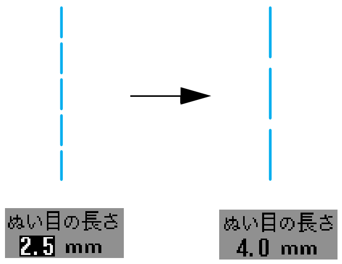
ぬい目の長さをあらくしたり細かくしたりすることができます。



ぬい目の長さの［－］を押すごとに表示の数値が小さくなり、ぬい目が細かくなります。



ぬい目の長さの［＋］を押すごとに表示の数値が大きくなり、ぬい目があらくなります。



→表示の数値が大きくなります。

お知らせ

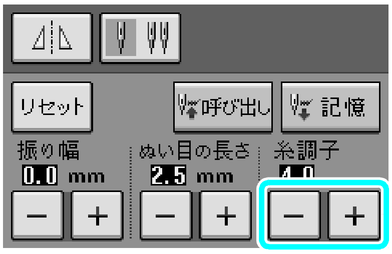
- ［ ］を押すと、ぬい目の設定を確認できます。
- ［リセット］を押すと、標準の設定に戻ります。

注 意

ぬい目が詰まる場合は、ぬい目の長さをあらくしてください。ぬい目が詰まった状態でぬい続けると、針が折れたり曲がったりするおそれがあります。

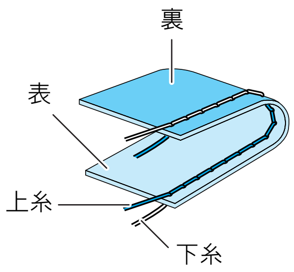
糸調子を調節する

通常は、布地や糸の種類に関係なく、自動的に標準の糸調子が取れるように設定されています。布や糸の種類によって、糸調子を調節してください。



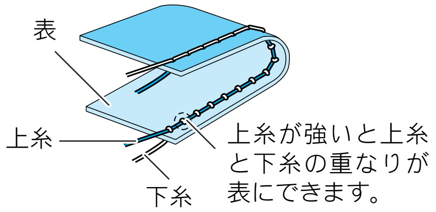
■ 正しい糸調子

上糸と下糸が布のほぼ中央でまじわります。糸調子が正しく設定されていないと、ぬい目がきたなくなり、布地にしわがよることがあります。



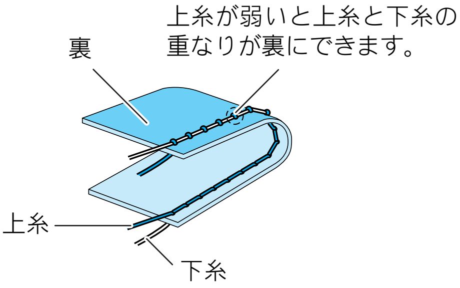
■ 上糸が強すぎる（下糸が表に出る）場合

糸調子の［－］を押します。押すごとに表示の数値が小さくなり、上糸が弱くなります。



■ 上糸が弱すぎる（上糸が裏に出る）場合

糸調子の［＋］を押します。押すごとに表示の数値が大きくなり、上糸が強くなります。



お知らせ

［リセット］を押すと、標準の設定に戻ります。

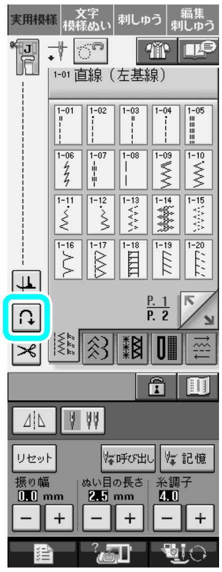
便利な機能

自動止めぬいをする

模様を選んだときに自動止めぬいを設定しておくと、ぬい始めと （返しぬい / 止めぬいスイッチ）を押したときに自動的に止めぬい（模様によっては返しぬい）をします。

1 **模様を選びます。**

2 **を押して、自動止めぬいを設定します。**

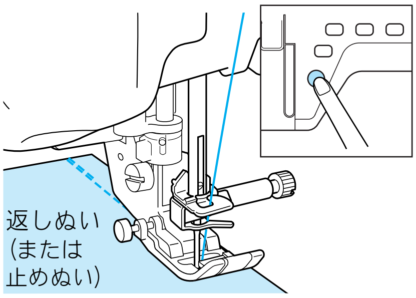


→ 表示が、 に変わります。

お知らせ

ボタン穴かがりやかんどめなどの一部の模様は、ぬい始めに止めぬいを行う必要があります。これらの模様は、止めぬいが自動的に設定されます（模様を選択すると表示が に変わります）。

3 **布地をぬい始めの位置に置き、ぬい始めます。**

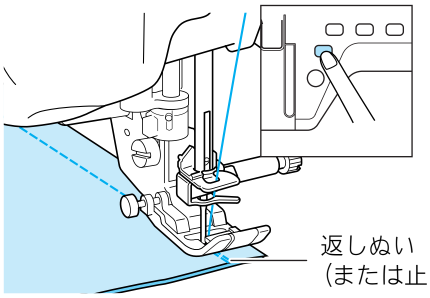


→ 自動的に返しぬい（または止めぬい）をしてぬい始めます。

お知らせ

ぬっている途中で （スタート／ストップスイッチ）を押して止めたあと、再びぬい始めた場合は返しぬい（または止めぬい）をしません。

4 **（返しぬい / 止めぬいスイッチ）を押します。**



→ 自動的に返しぬい（または止めぬい）をして止まります。

お知らせ

自動止めぬいを解除するときは、もう一度 を押します。表示が に変わります。

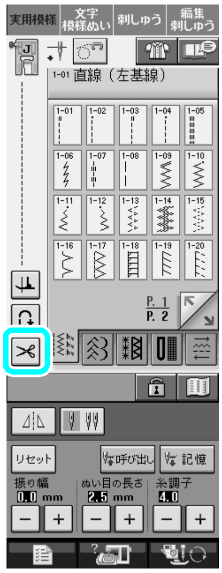
自動糸切りをする

模様を選んだときに自動糸切りを設定しておくと、ぬい始めとぬい終わりに自動的に止めぬい（模様によっては返しぬい）をして、ぬい終わりに自動的に糸を切ります。ボタン穴かがりやかんどめをぬうときに便利です。

お知らせ
- 自動糸切りは、自動止めぬいを設定しているときに設定できます。
- 刺しゅう模様は自動的に自動糸切りが設定されています。

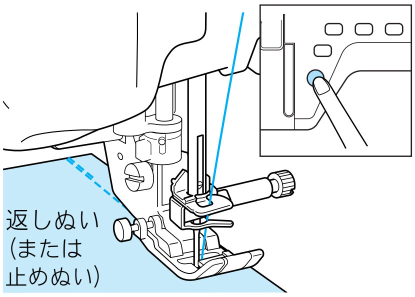
1 **模様を選びます。**

2 **を押して、自動糸切りを設定します。**



→ 表示が、に変わります。

3 **布地をぬい始めの位置に置き、ぬい始めます。**

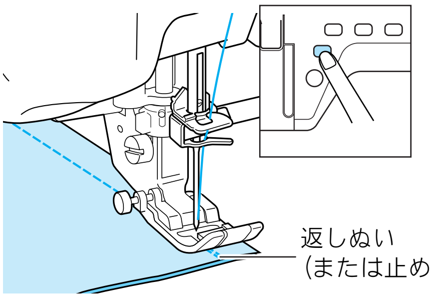


→ 自動的に返しぬい（または止めぬい）をしてぬい始めます。

お知らせ

ぬっている途中で （スタート／ストップスイッチ）を押して止めたあと、再びぬい始めた場合は返しぬい（または止めぬい）をしません。

4 **（返しぬい／止めぬいスイッチ）を押します。**



→ 自動的に返しぬい（または止めぬい）をして糸を切ります。

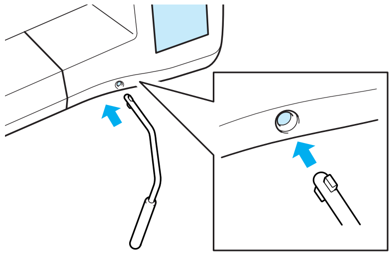
お知らせ

自動糸切りを解除するときは、もう一度 を押します。表示が に変わります。

■ ニーリフターを使用する

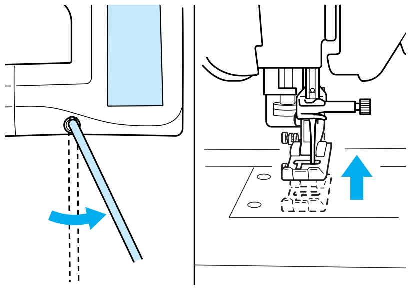
ニーリフターを使うと、ひざで押えの上げ下げができ、両手が使え便利です。

1 ニーリフターの先端の突起部をミシン本体の前面にある差し込み口のミゾに合わせ、ニーリフターを押し込みます。



お願い
ニーリフターが十分に押し込まれていないと、使用中に外れることがあります。

2 押えを上げるときは、ニーリフターをひざで右に押します。押えを下げるときは、ニーリフターからひざを放します。



⚠ 注 意

縫製中は、ニーリフターにひざが触れないように注意してください。縫製中にニーリフターを押すと、針が折れたり、糸調子が変わる可能性があります。

ピボット

ピボット設定が選択されている場合、(スタート/ストップ)(スタート/ストップスイッチ)を押すと、針が下がった(布地の中にある)状態でミシンは停止し、押えは自動的に正しい高さに上がります。もう一度(スタート/ストップ)(スタート/ストップスイッチ)を押すと、押えは自動的に下がり、操作が継続されます。ミシンを止めて布地を回転するときに便利です。

⚠ 注 意

ピボット設定が選択されている場合、(スタート/ストップ)(スタート/ストップスイッチ)や、フットコントローラーを押すと、押えが上がっていてもミシンが作動します。事故を防ぐために、針の付近に手や物を近づけないように注意してください。

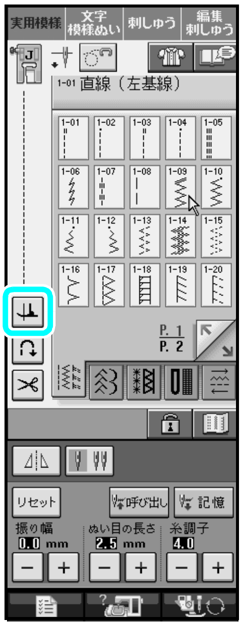
お知らせ
ピボット設定が選択されている場合、使用している布地の種類に合わせて、ぬい終わりの押えの高さを変えることができます。
[設定]を押すと、「ピボット押え高さ」が表示されます。[−]または[+]を押して、3 つの高さ(3.2mm、5.0mm、7.5mm)のいずれかを選びます。押えを高くするには、設定値を大きくします。(通常、3.2mm に設定されています。)

お願い

- ピボット機能を使用するには、「針位置」（設定画面の P.2）が低く設定されている必要があります。「針位置」が高く設定されていると、が灰色で表示され使用できません。
- 画面の左上に押え＜ J ＞または＜ N ＞が表示されている模様にのみ、ピボット機能が使用できます。他の模様が選択されていると、が灰色で表示され、使用できません。
- 押えが完全に上がり、自動糸切りキーが押されている場合は、(押え上下スイッチ)を押して押えを下げてから、（スタート／ストップスイッチ）を押して操作を続けます。
- ピボット設定を選択していると、「実用の押え高さ」の − と ＋ を使用できません。

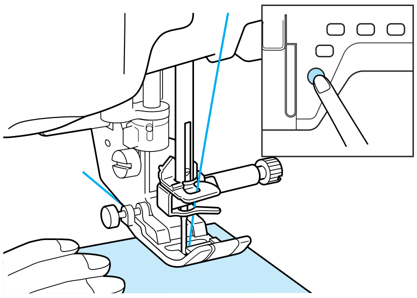
1 模様を選びます。

2 を押して、ピボット設定を選びます。



→ 表示がに変わります。

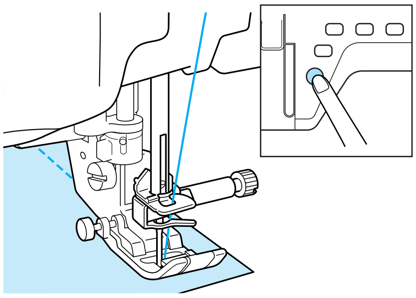
3 布地をぬい始めの位置に合わせて、（スタート／ストップスイッチ）を押します。ミシンがぬい始めます。



お知らせ

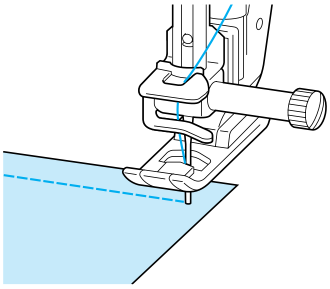
縫製中に（スタート／ストップスイッチ）を押して止めたあと、再びぬい始めた場合は返しぬい（または止めぬい）をしません。

4 （スタート／ストップスイッチ）を押して、方向を変える位置でミシンを止めます。



→ 針が布地にささった状態でミシンが止まります。このとき、押えは上がっています。

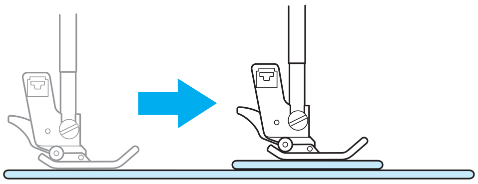
5 布地を回転して、（スタート／ストップスイッチ）を押します。

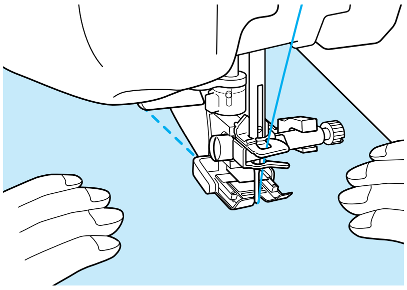


→ 押えが自動的に下がり、ぬい始めます。

自動押え圧補正

使用中に、布地の厚さが自動的に感知され、内蔵されたセンサーで押えが調節されます。そのため、布地をスムーズに送ることができます。厚地やキルトをぬう場合、この機能は便利です。





1 を押します。

→ 設定画面が表示されます。

2 「自動押え圧補整」の ON を押します。

3 閉じる を押すと、元の画面に戻ります。

画面をロックする

振り幅やぬい目の長さなどの設定をロック (固定) することができます。大きな布や作品をぬう場合に、布が画面に触れて設定が変わったり、途中でミシンが止まったりすることを防ぎます。実用模様と文字模様ぬいのときに設定できます。

1 **模様を選びます。**

2 **振り幅やぬい目の長さなどを設定します。**

3 **を押して、画面をロックします。**

→ 表示が に変わります。

4 **ぬい始めます。**

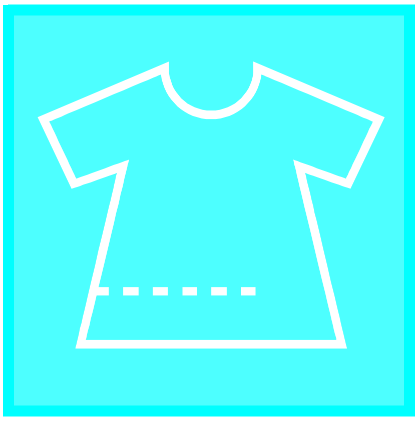
5 **ぬい終わったら、 を押して画面ロックを解除します。**

お願い

- 画面ロック（ ）を解除するには、 を押します。画面がロックされると、キー操作はできません。
- 電源スイッチを切ると、画面ロックは解除されます。

2

基本操作



第3章
実用ぬい

実用模様の選び方 62
■ 模様選択画面 62
模様を選ぶ 63
■ 模様を左右反転するには 63
■ イメージキーを使用する 63
模様の設定を記憶する 64
■ 模様の設定を記憶する 64
■ 記憶した設定を読み出す 65
ぬい方キーを使って模様を選ぶ 66

いろいろなぬい方 67
直線ぬい 67
■ 針位置の変え方（左基線・中基線の模様） 69
■ 直線針板と直線押えを使用する場合 69
■ しつけぬい 70
ダーツ 71
ギャザー 71
折り伏せぬい 72
ピンタック 73
ジグザグぬい 74
■ たちめかがり 74
■ アップリケ 75
■ パッチワーク (クレイジーキルト) 75
■ カーブをぬう場合 75
点線ジグザグぬい 76
■ ゴムひもつけ 76
■ たちめかがり 76
たちめかがり 77
■ ＜ G ＞押えを使うたちめかがり 77
■ ＜ J ＞押えを使うたちめかがり 78
■ サイドカッター押え（別売）を使うたちめかがり ... 79
■ サイドカッター押え（別売）を使う直線ぬい 80
キルトぬい 81
■ ピーシング 82
■ ガイド付ピーシング押えを使う 82
■ キルトぬい 83
■ アップリケ 83
■ サテンぬいのキルト 84
フリーモーションキルト 85
■ フリーモーションキルト押え＜ C ＞を使用する 85
■ オープントゥキルト押え＜ O ＞を使用する 87
エコーキルト押え＜ E ＞を使用して、
エコーキルトをぬう 88
まつりぬい 90
■ 折り山にぬい目がかからない場合 91
■ 折り山にぬい目がかかりすぎた場合 91
アップリケぬい 91
■ 急なカーブをぬう場合 92
シェルタックぬい 92
スカラップぬい 93
つき合わせぬい 93
スモッキングぬい 94
ファゴティングぬい 94
ゴムひもつけ 95
ヘアルーム 96
■ デイジーステッチ 96
■ ドロンワーク（1） 96
■ ドロンワーク（2） 97
ボタン穴かがり 98
■ 伸びる布地をぬう場合 101
■ ボタンが台皿にのらない場合 101
4 ステップのボタン穴かがり 102
■ ダーニング（つくろいぬい） 104
かんどめ 106
■ 厚地の場合 107
ボタンつけ 108
■ 4 つ穴ボタンをつけるときは 109
■ ボタン足をつけるときは 109
アイレット 110
横送り（直線・ジグザグ） 111
ファスナーつけ 112
■ つき合わせ 112
■ 脇あき 113

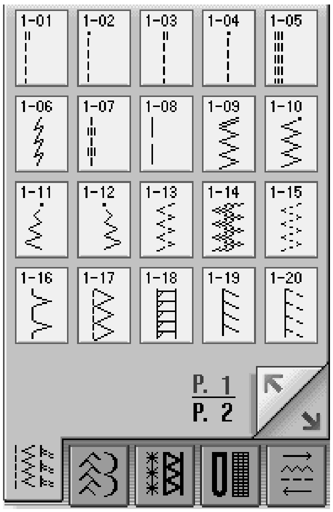
実用模様の選び方

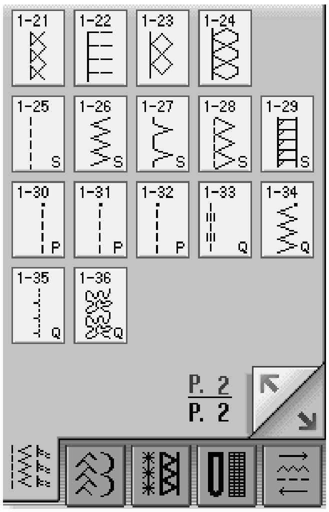
■ 模様選択画面

このミシンには、5 種類の実用模様があります。模様選択画面が複数ある場合、

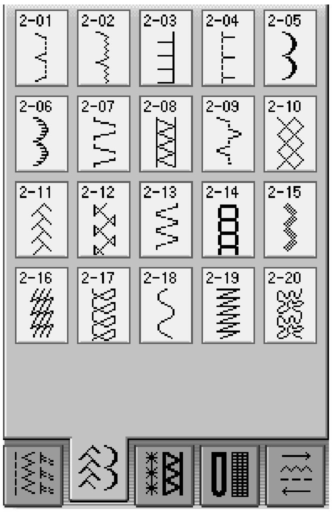
が表示されます。

直線・たちめかがり・キルト模様

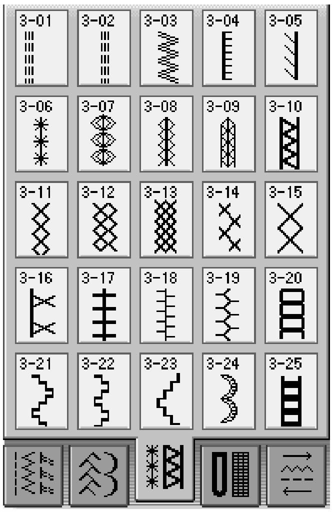




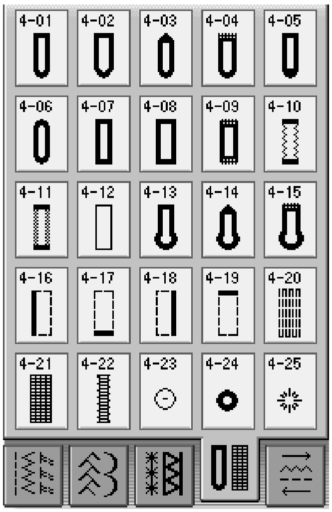
飾り模様



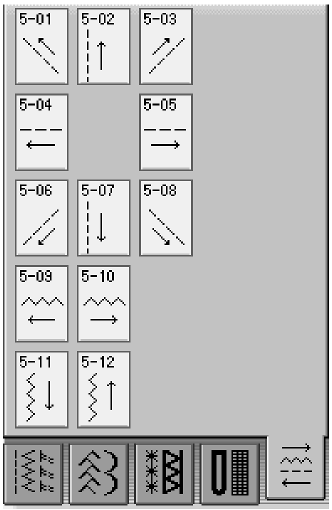
ヘアルーム



ボタン穴かがり・かんどめ



横送り模様



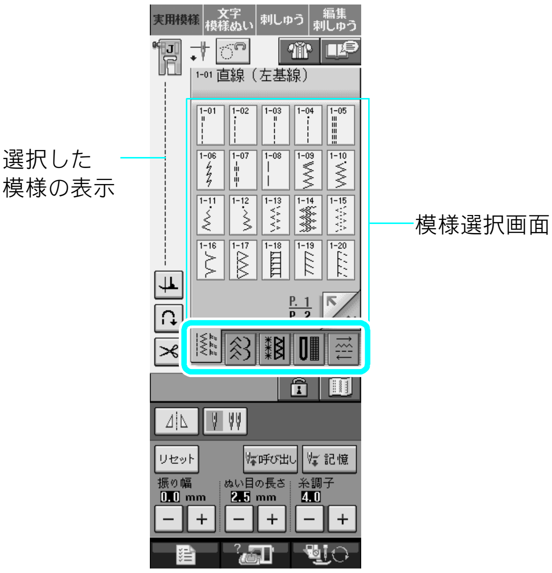
模様を選ぶ

1 電源スイッチを入れて、画面を指で軽く押します。

→ 設定画面で選択された設定に基づいて、「1-01 直線（左基線）」または「1-03 直線（中基線）」のいずれかが表示されます。

2 を押して、ぬいたい模様を選びます。

- 他の画面が表示されている場合は 実用模様 を押します。
- を押すと次のページが表示されます。



お知らせ

模様の詳細については、巻末の「ぬい方早見表」を参照してください。

■ 模様を左右反転するには

実用模様の種類によっては、模様を左右反転することができます。

模様を選んだとき が点灯すれば、その模様を左右反転することができます。

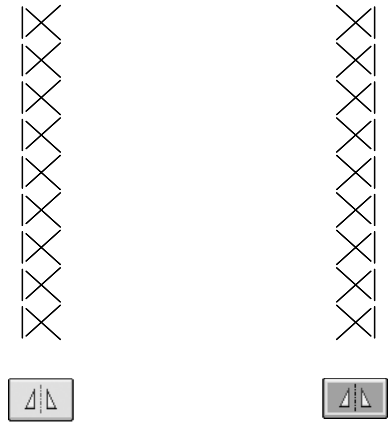
お願い

模様を選んだときに、 が灰色表示される模様は、左右に反転することはできません（ボタン穴かがり、横送り模様など）。

を押すと、模様が左右に反転します。

キーの表示が、 に変わります。

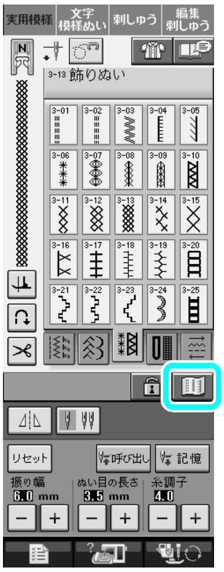
例） 1-21 を押した場合



■ イメージキーを使用する

選択した模様のイメージを実寸で表示することができます。イメージの色を画面で確認し、変更することもできます。

1 を押します。



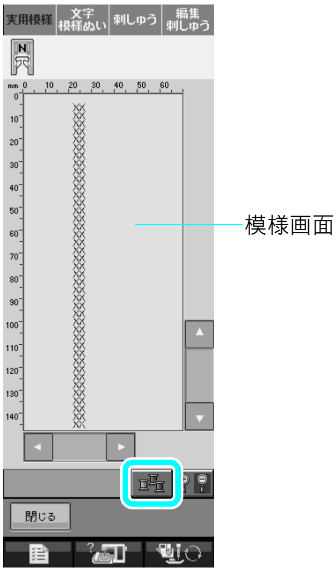
→ 選択した模様のイメージが表示されます。

2 **画面に表示されている模様の糸の色を変えるには、［ボタン］を押します。**

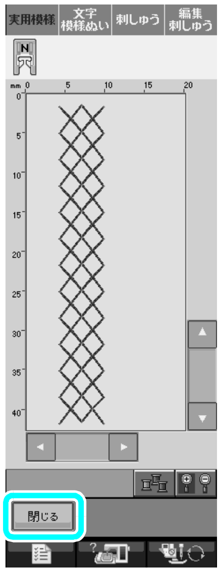
- 模様の拡大したイメージ表示するには、［ボタン］を押します。

お知らせ

- ［ボタン］を押すたびに色が変わります。
- 模様は mm 単位で表示されます。



3 **［閉じる］を押すと、元の画面に戻ります。**

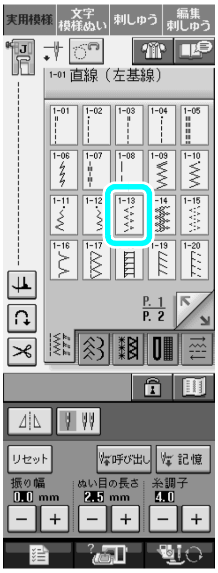


模様の設定を記憶する

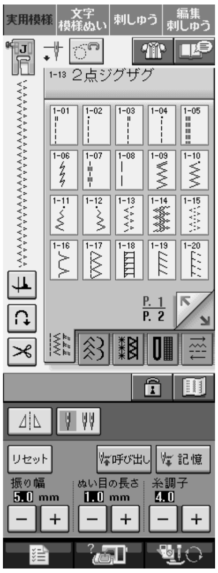
ジグザグの振り幅、ぬい目の長さ、糸調子、自動糸切り、自動止めぬいなどは、あらかじめ模様ごとの標準値に設定されています。お好みの数値に設定しておきたいときは、標準の数値を変更し、模様ごとに記憶することができます。設定は、1 つの模様について 5 セットまで記憶することができます。

■ 模様の設定を記憶する

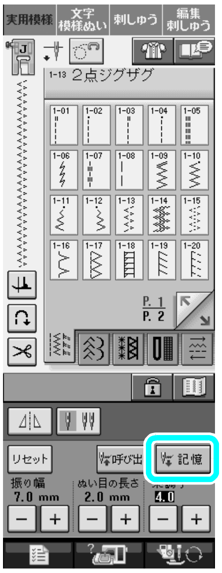
1 **模様を選びます。（例：1-13）**



2 **ジグザグの振り幅、ぬい目の長さなどをお好みの設定にします。**



3 記憶 を押します。



→ 設定が保存され、自動的に元の画面に戻ります。

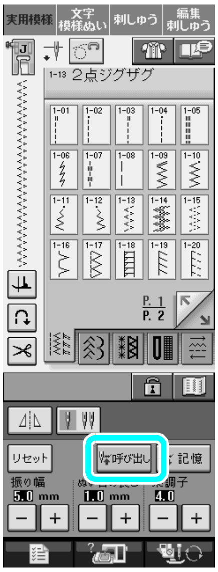
お知らせ
ある模様の設定がすでに 5 セット記憶されている状態で、設定を記憶しようとすると、メッセージが表示されます。メッセージの指示に従って、記憶されている設定のいずれか 1 つを消去し、新しい設定を記憶してください。

■ 記憶した設定を読み出す

1 模様を選びます。

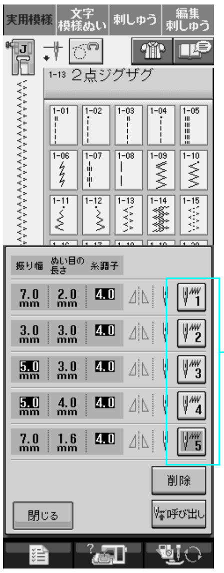
お知らせ
模様を選択すると、前回読み出された設定が表示されます。この設定は、電源スイッチを切っても、別の模様を選択しても、そのまま残ります。

2 呼び出し を押します。



3 読み出す設定の番号の付いたキーを押します。

- 閉じる を押すと、設定を読み出さずに元の画面に戻ります。



4 呼び出し を押します。

お知らせ
削除 を押すと、選択した設定を削除できます。

→ 選択した設定が読み出され、自動的に元の画面に戻ります。

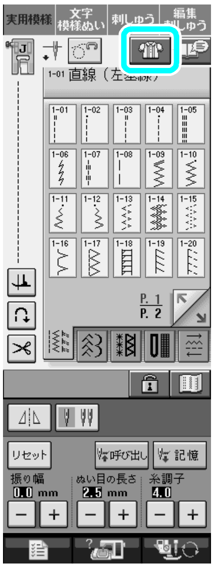
3 実用ぬい

ぬい方キーを使って模様を選ぶ

実用模様では、 を押して、ぬい方から模様を選択することもできます。どの模様を選んだらよいのか分からない場合や、どのようにしてぬうのか分からない場合に、このキーを使用してください。
たとえば、ボタン穴かがりをするとき、用途に応じた適切な模様を選ぶことができ、操作手順を確認しながらぬうことができるのでとても便利です。初心者の方はこの方法で模様を選ぶことをお勧めします。

例： ボタン穴かがりをしたいとき

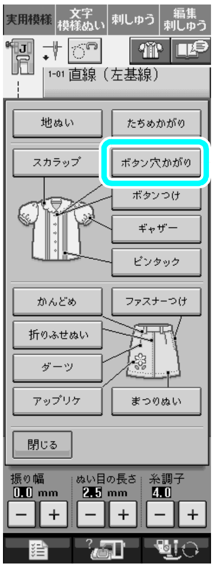
1 を押します。



→ ぬい方の一覧が表示されます。

2 ボタン穴かがり を押します。

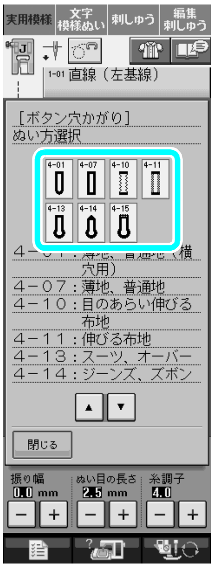
- 閉じる を押すと、元の画面に戻ります。



→ ボタン穴かがりの模様と各々の用途説明が表示されます。

3 説明を読んで、用途に合った模様を選びます。

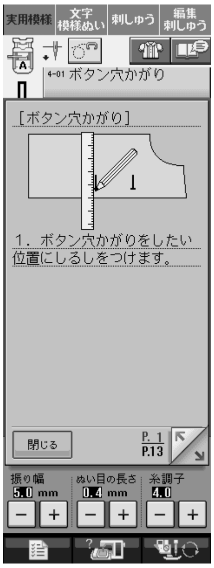
- ▲ または ▼ を押すと、矢印の方向にスクロールします。



→ 選んだ模様の操作手順が表示されます。

4 操作手順に従って操作します。

- を押すと次ページが表示されます。



5 ぬい終わったら 閉じる を押します。

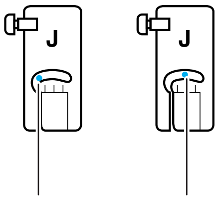
いろいろなぬい方

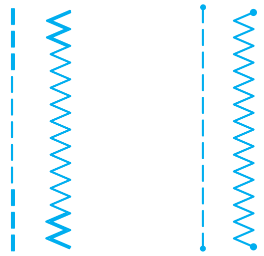
直線ぬい

お願い
２本針（P.39 参照）を使用するときは、必ず<J>押えを取り付けてください。

ぬい方	名前	押え	主な用途	ジグザグの振り幅 *		ぬい目の長さ *		2 本針 **
				自動	手動	自動	手動	
1-01	直線（左基線）	J	地ぬい、ギャザー、ピンタックなど洋裁に広く使用します。（返しぬい／止めぬいスイッチ）を押すと返しぬいをします。	0.0	0.0 - 7.0	2.5	0.2 - 5.0	○
1-02	直線（左基線）	J	地ぬい、ギャザー、ピンタックなど洋裁に広く使用します。（返しぬい／止めぬいスイッチ）を押すと止めぬいをします。	0.0	0.0 - 7.0	2.5	0.2 - 5.0	○
1-03	直線（中基線）	J	ファスナーつけ、地ぬい、ギャザー、ピンタックなど洋裁に広く使用します。（返しぬい／止めぬいスイッチ）を押すと返しぬいをします。	3.5	0.0 - 7.0	2.5	0.2 - 5.0	○
1-04	直線（中基線）	J	地ぬい、ギャザー、ピンタックなど洋裁に広く使用します。（返しぬい／止めぬいスイッチ）を押すと止めぬいをします。	3.5	0.0 - 7.0	2.5	0.2 - 5.0	○
1-05	3 重ぬい	J	丈夫なぬい目なので、袖つけや股下をぬうときに便利です。また、伸びる布地をぬうときや飾りぬいとしても使用します。	0.0	0.0 - 7.0	2.5	1.5 - 4.0	○
1-06	伸縮ぬい	J	伸縮性のあるぬい目なので、伸びる布地をぬうときに使用します。また、飾りぬいとしても使用します。	1.0	1.0 - 3.0	2.5	1.0 - 4.0	○
1-07	飾りぬい	N	飾りぬいに使用します。	0.0	0.0 - 7.0	2.5	1.0 - 4.0	○
1-08	しつけぬい	J	仮り止めに使用します。	0.0	0.0 - 7.0	20.0	5.0 - 30.0	×

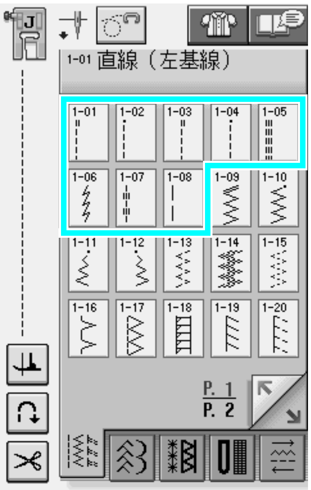
* ―：調節できません。** ○：使用できます。×：使用できません。





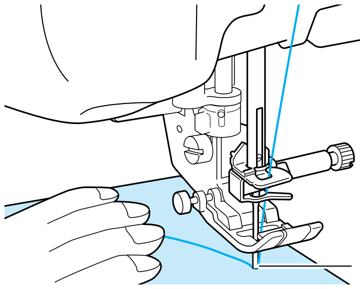
お知らせ
模様の頭に「〃」がついている模様は、（返しぬい／止めぬいスイッチ）を押しながら返しぬいができます。
模様の頭に「・」がついている模様は、（返しぬい／止めぬいスイッチ）を押しながら止めぬいができます。（P.50 参照）

1 模様を選びます。



2 ＜Ｊ＞押えを取り付けます。

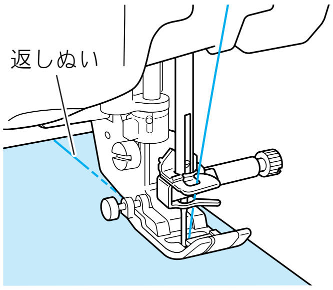
3 左手で糸と布地を押さえ、右手でプーリーを手前に回して、布のぬい始めの位置に針をさします。



4 押えを下げ、(返しぬい／止めぬいスイッチ)を押しながら数針返しぬいをします。

→ 自動的に返しぬい（または止めぬい）をします。

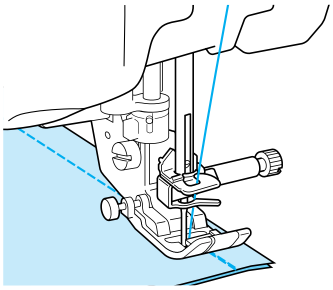
5 (スタート／ストップスイッチ)を押して、ぬい始めます。



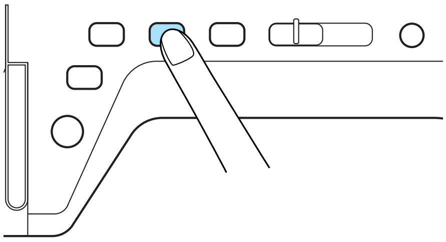
注 意

ぬうときには、まち針などが針に当たらないように注意してください。針が折れたり曲がったりするおそれがあります。

6 ぬい終わりは、(返しぬい／止めぬいスイッチ)を押しながら、数針返しぬい（または止めぬい）をします。



7 (糸切りスイッチ)を押して糸を切ります。

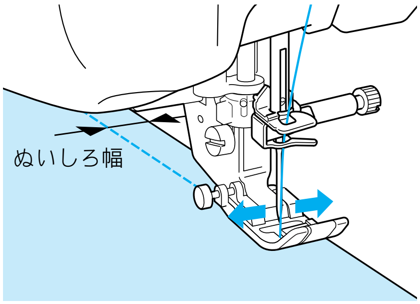


お知らせ

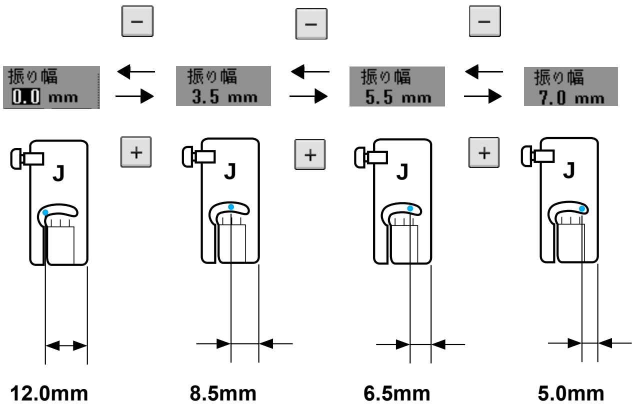
液晶画面で自動糸切りキーと自動止めぬいキーを選択しておくと、ぬい始めに(スタート／ストップスイッチ)を押したときに、ミシンが自動的に返しぬい（または止めぬい）をします。ぬい終わりは、(返しぬい／止めぬいスイッチ)を押すと、返しぬい（または止めぬい）をして、自動的に糸を切ります。

■ 針位置の変え方（左基線・中基線の模様）

左基線と中基線の直線ぬいは、振り幅の
[－] [＋] を押して針位置を左右に移動させることができます。押えの右端から針までの長さをぬいしろの幅に合わせると、押えの右端に布端を合わせながらぬえばよいので便利です。

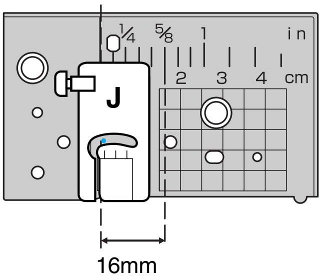


例： 左基線・中基線の模様



お知らせ

針板を基準にする場合
針板には、直線ぬいの針位置（左基線）からの長さが表示されています。布端を針板に刻まれている目盛りに合わせてぬってください。
ぬいしろの標準幅は 16mm になっています。



■ 直線針板と直線押えを使用する場合

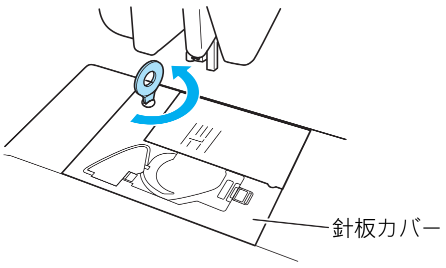
直線針板および直線押えが使用できるのは、中基線の直線ぬいのみです。直線針板と直線押えは、薄地をぬうときや針穴に引き込まれやすい小さな布片をぬうときに使用してください。
直線押えは、薄地のぬいちぢみを防ぐのに適しています。押えの小さなミゾで布をしっかり押さえてぬいます。

> **⚠ 注 意**
>
> **直線押えは必ず直線針板と組み合わせて使用してください。**

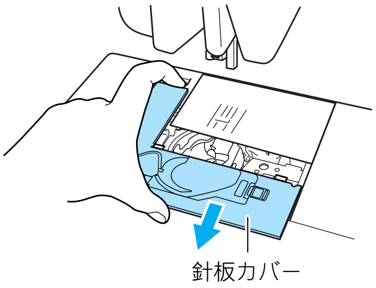
1 **(押え上下スイッチ)を押して押えを上げ、電源スイッチを切ります。**

2 **補助テーブルまたは刺しゅう機を取り付けている場合は外します。**

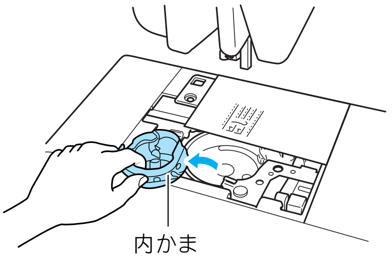
3 **付属のネジ回しを使って、針板カバーのネジをゆるめて外します。**



4 **針板カバーを手前に引いて外します。**

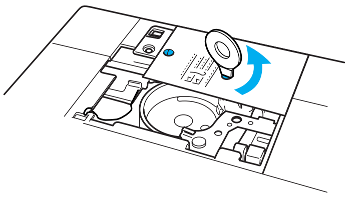


5 **内かまを取り出します。（P.230 参照）**

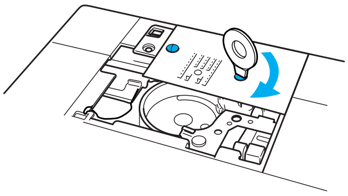


3
実用ぬい

6 付属のネジ回しを使って標準針板を外します。



7 直線針板をはめ込み、付属のネジ回しでネジをしめます。



お願い
針板の 2 つのネジ穴を、針板取り付け部の 2 つの穴に合わせてください。

8 内かまを正しい位置に戻し、針板カバーを取り付けます。(P.231 参照)

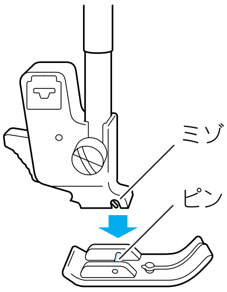
9 直線ぬいのいずれかを選びます。

お知らせ
直線針板を使用すると、直線ぬいはすべて中基線で行われます。振り幅用のキーを押して、針位置を変えることはできません。

注 意

- **直線ぬい以外の模様を選択すると、エラーメッセージが表示されます。**
- **プーリーを手前に回し、針が直線押えと直線針板に当たらないことを確認してから、(スタート/ストップスイッチ)を押してください。**

10 直線押えを取り付けます。



11 ぬい始めます。

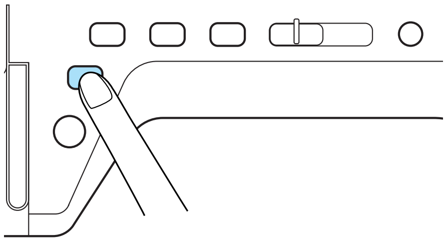
- ぬい終わったら、必ず直線針板と直線押えを外し、標準針板、針板カバー、＜ J ＞押えを取り付けてください。

お知らせ
ぬいちぢみを起こしやすい薄地には、11 番の針を使用しぬい目を短くします。厚地には、14 番の針を使用しぬい目を長くします。

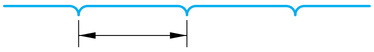
■ しつけぬい

1 を選び、＜ J ＞押えを取り付けます。

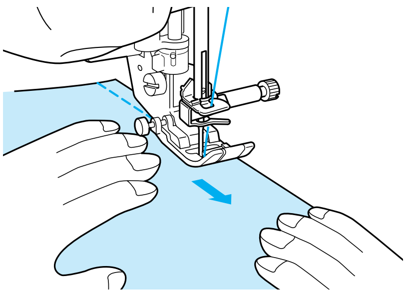
2 ぬい始めに、(返しぬい／止めぬいスイッチ) を押して止めぬいをします。



お知らせ
ぬい始めに止めぬいをしない場合は、押えを上げプーリーを回して下糸を引き上げ、上糸と下糸を後側に引き出します。
ぬい目は、0.5cm ～ 3cm の範囲で設定できます。



3 布を軽く押えながらぬいます。



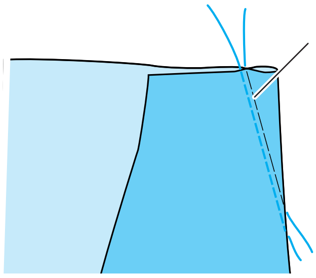
4 ぬい終わりに、(返しぬい／止めぬいスイッチ) を押して止めぬいをします。

ダーツ

1 **を選び、＜ J ＞押えを取り付けます。**

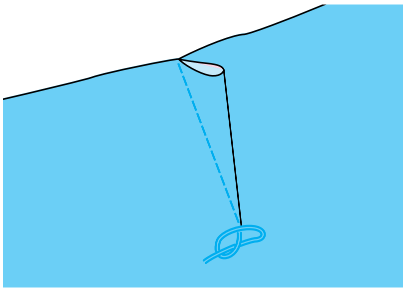
2 **ぬい始めに** **(返しぬい／止めぬいスイッチ) を押して返しぬいをし、幅の広い方から先端に向かって布地を伸ばさないようにぬいます。**

- あらかじめ自動止めぬいを設定しておくと、止めぬいをしてからぬい始めます。

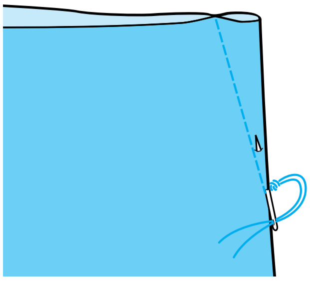


3 **ぬい終わりに、上糸と下糸を約 5cm 残して切り、2 本一緒に結びます。**

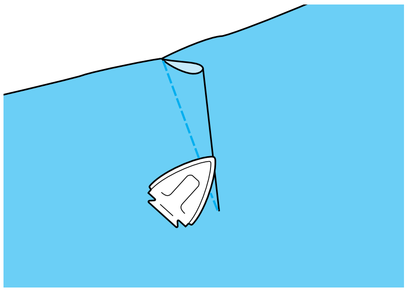
- ぬい終わりには返しぬいをしないように注意してください。



4 **ぬい針で糸端をダーツの中にぬい込みます。**



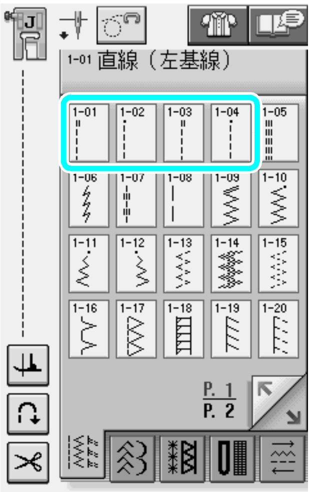
5 **アイロンでダーツを片側に倒します。**



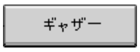
ギャザー

ギャザースカートのウエストや袖などに使います。

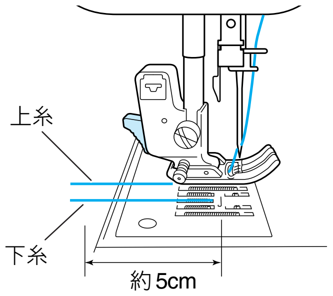
1 **直線ぬいを選び、＜ J ＞押えを取り付けます。**



2 **ぬい目の長さを 4.0mm に、糸調子を 2.0（ゆるめ）前後に設定します。**

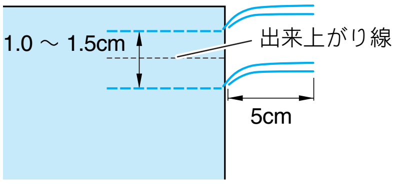
- を押した後、 を選んだ場合、自動的にぬい目は 4.0mm に、糸調子は 2.0 に設定されます。

3 **上糸と下糸を約 5cm 引き出しておきます。（P.34 参照）**

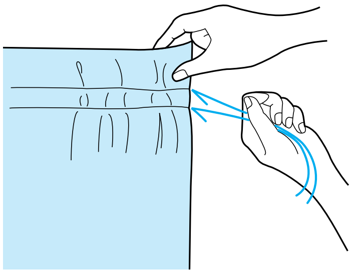


3
実用ぬい

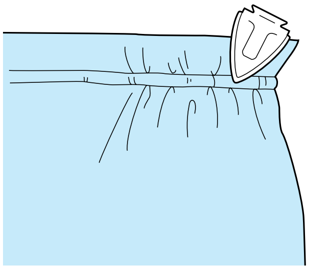
4 出来上がり線をはさんで平行に 2 本ぬい、上糸と下糸を端から 5cm 残して切ります。



5 下糸を引っ張りながらギャザーを寄せ、糸を結びます。



6 ギャザーをととのえ、ぬいしろ部分にアイロンをかけます。



7 出来上がり線をぬって、しつけを取ります。

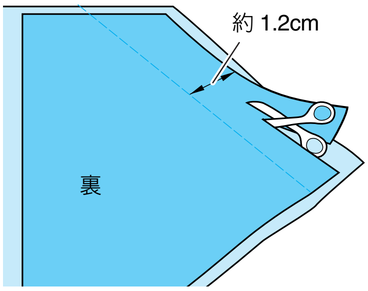
折り伏せぬい

ぬいしろを丈夫にし、きれいに端の始末をしたいときに使います。

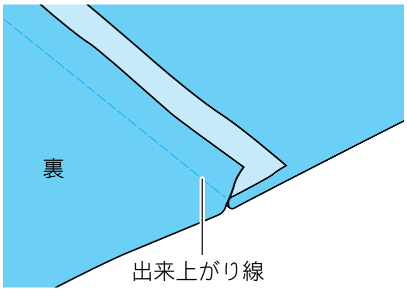
1 [1-03] を選び、＜ J ＞押えを取り付けます。

2 布地を中表にして出来上がり線をぬい、裏側のぬいしろを半分切り落とします。

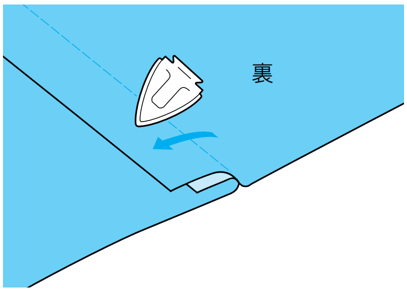
- あらかじめ自動糸切りと自動止めぬいを設定しておくと、ぬい始めに自動的に止めぬいをします。
  ぬい終わりに、(返しぬい／止めぬいスイッチ）を押すと、自動的に止めぬいをして糸を切ります。



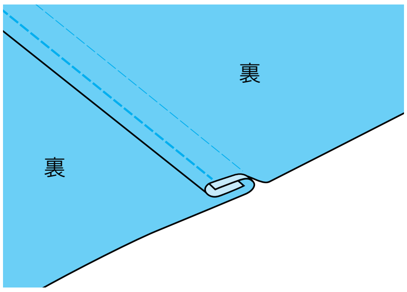
3 出来上がり線を軸に布地を広げます。



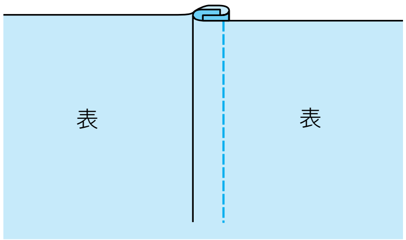
4 切り落としたぬいしろ側へ 2 枚一緒に倒してアイロンをかけます。



5 **幅の広いぬいしろで幅の狭いぬいしろをくるみ、折り山の端をぬいます。**



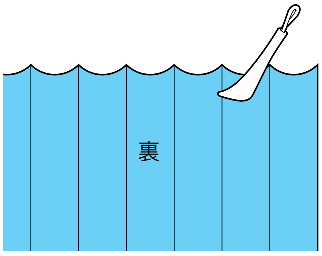
ぬい上がり



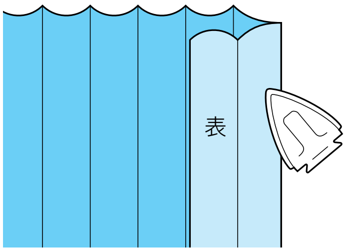
ピンタック

ブラウスなどの装飾に使います。

1 **布地の裏からへらで折り山に印をつけます。**



2 **表に返し、折り山をアイロンで押さえます。**

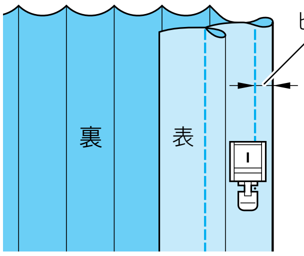


3

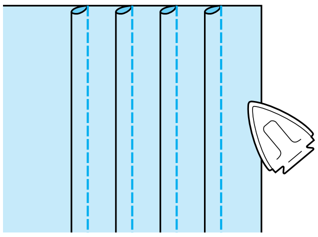
を選び、＜I＞押えを取り付けます。

4 **折り山をぬいます。**

- あらかじめ自動糸切りと自動止めぬいを設定しておくと、ぬい始めに自動で止めぬいをします。ぬい終わりに、(返しぬい／止めぬいスイッチ)を押すと、自動的に止めぬいをして糸を切ります。



5 **アイロンで片側に倒します。**



3

実用ぬい

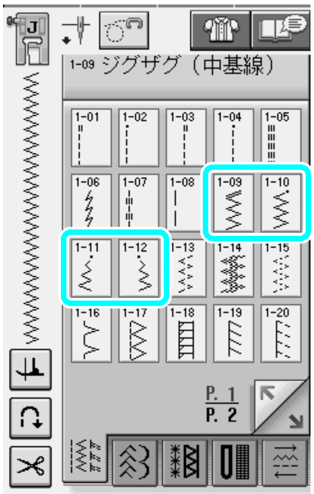
ジグザグぬい

ジグザグぬいは、たちめかがりやアップリケ、パッチワークなどいろいろな用途に使えて便利です。
模様を選び、＜ J ＞押えを取り付けます。
模様の頭に「‖」が付いている模様は、（返しぬい／止めぬいスイッチ）を押しながら返しぬいができます。
模様の頭に「・」が付いている模様は、（返しぬい／止めぬいスイッチ）を押しながら止めぬいができます。
（P.50 参照）

ぬい方	名前	押え	主な用途	ジグザグの振り幅 *		ぬい目の長さ *		2 本針 **
				自動	手動	自動	手動	
1-09	ジグザグ（中基線）	J	たちめかがりやアップリケなどに使用します。（返しぬい／止めぬいスイッチ）を押すと返しぬいをします。振り幅を調節すると中心を基線にして振り幅が変わります。	**3.5**	0.0 - 7.0	**1.4**	0.0 - 4.0	○
1-10	ジグザグ（中基線）	J	たちめかがりやアップリケなどに使用します。（返しぬい／止めぬいスイッチ）を押すと止めぬいをします。振り幅を調節すると中心を基線にして振り幅が変わります。	**3.5**	0.0 - 7.0	**1.4**	0.0 - 4.0	○
1-11	ジグザグ（右基線）	J	右の針位置からぬい始まります。振り幅を調節すると右を基線にして振り幅が変わります。	**3.5**	2.5 - 5.0	**1.4**	0.3 - 4.0	○
1-12	ジグザグ（左基線）	J	左の針位置からぬい始まります。振り幅を調節すると左を基線にして振り幅が変わります。	**3.5**	2.5 - 5.0	**1.4**	0.3 - 4.0	○

* ― : 調節できません。** ○ : 使用できます。× : 使用できません。

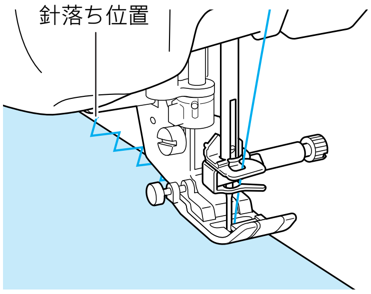
1 **模様を選びます。**



2 **＜ J ＞押えを取り付けます。**

■ たちめかがり

針が布端よりわずかに外側に落ちるようにぬいます。



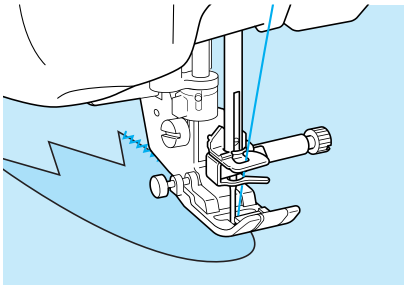
注 意

振り幅を調節したときはプーリーをゆっくりと手前に回し、針が押えに当たらないことを確認してください。針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。

■ アップリケ

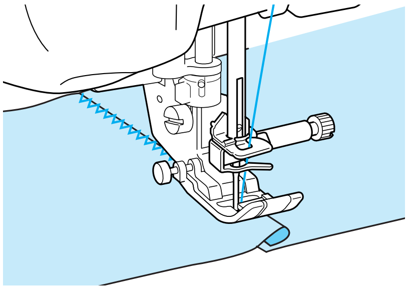
アップリケ布にスプレーのりを薄く付けするか、しつけをかけてからぬいます。

- 針がアップリケ布の端よりわずかに外側に落ちるようにぬいます。



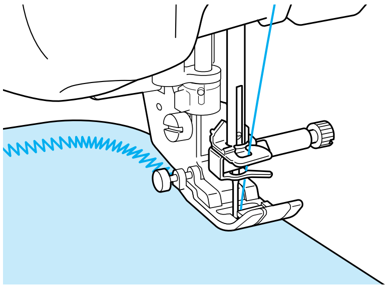
■ パッチワーク (クレイジーキルト)

上側の布地の端を折り、下側の布地に重ねて両方の布地に模様がまたがるようにぬいます。



■ カーブをぬう場合

カーブの外側に針をさしたまま押えを上げて少しずつ方向を変えながらぬうと、きれいなぬい目ができます。



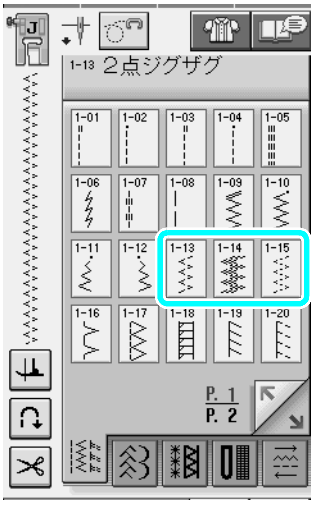
点線ジグザグぬい

点線ジグザグぬいは、たちめかがり、つくろいぬいなど幅広い用途に使います。

ぬい方	名前	押え	主な用途	ジグザグの振り幅 *		ぬい目の長さ *		2 本針 **
				自動	手動	自動	手動	
1-13	2 点ジグザグぬい	J	普通地、伸びる布地のたちめかがりやゴムひもつけ、つくろいぬいなど幅広い用途に使用します。	5.0	1.5 - 7.0	1.0	0.2 - 4.0	○
1-14	2 点ジグザグぬい	J	普通地、伸びる布地のたちめかがりやゴムひもつけ、つくろいぬいなど幅広い用途に使用します。	5.0	1.5 - 7.0	1.0	0.2 - 4.0	○
1-15	3 点ジグザグぬい	J	普通地、厚地、伸びる布地のたちめかがりやゴムひもつけ、つくろいぬいなど幅広い用途に使用します。	5.0	1.5 - 7.0	1.0	0.2 - 4.0	○

* ― : 調節できません。** ○ : 使用できます。× : 使用できません。

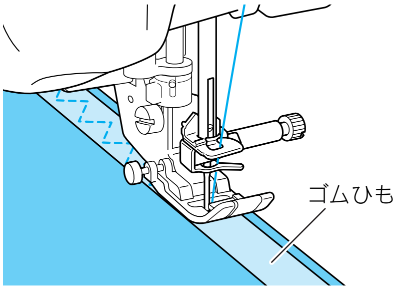
1 模様を選びます。



2 ＜ J ＞押えを取り付けます。

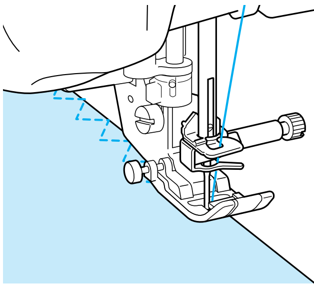
■ ゴムひもつけ

ゴムひもを前後に伸ばしながらぬいます。



■ たちめかがり

伸びる布地をぬうときに使います。針が布端よりわずかに外側に落ちるようにぬいます。



たちめかがり

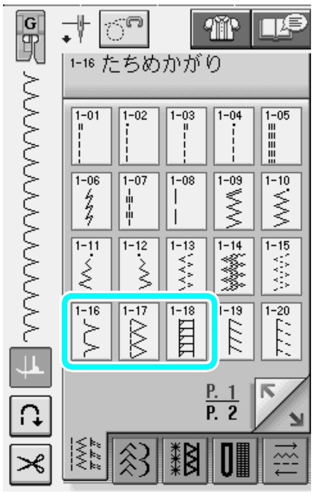
ズボン、スカートなどのぬいしろの始末や、たち目の始末に使います。模様によって< G >押え、< J >押え、サイドカッター押え（別売）を使います。

■< G >押えを使うたちめかがり

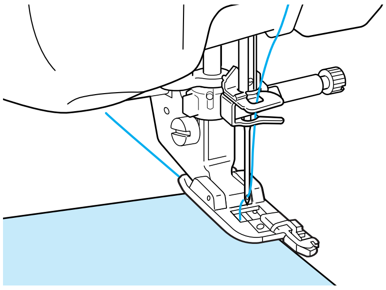
ぬい方	名前	押え	主な用途	ジグザグの振り幅 *		ぬい目の長さ *		2 本針 **
				自動	手動	自動	手動	
1-16	たちめかがり	G	薄地、普通地のたちめかがりに使用します。	**3.5**	2.5 - 5.0	**2.0**	1.0 - 4.0	×
1-17	たちめかがり	G	厚地のたちめかがりに使用します。	**5.0**	2.5 - 5.0	**2.5**	1.0 - 4.0	×
1-18	たちめかがり	G	厚地のたちめかがりや飾りぬいに使用します。	**5.0**	3.5 - 5.0	**2.5**	1.0 - 4.0	×

* —：調節できません。** ○：使用できます。×：使用できません。

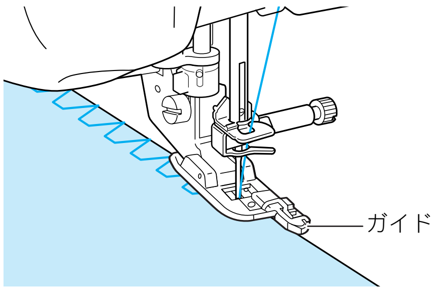
1 **模様を選び、< G >押えを取り付けます。**



2 **押えのガイドに布端を当て押えレバーを下げます。**

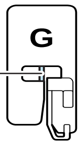


3 **布端をガイドに当てながら、ガイドにそってぬいます。**



注 意

- **振り幅を調節したときはプーリーをゆっくりと手前に回し、針が押えに当たらないことを確認してください。針が押えに当たると、針が折れたり曲がったりするおそれがあります。**



針が当たらないように注意してください。

- **押えを最上位置まで上げると、針が押えに当たる可能性があります。**

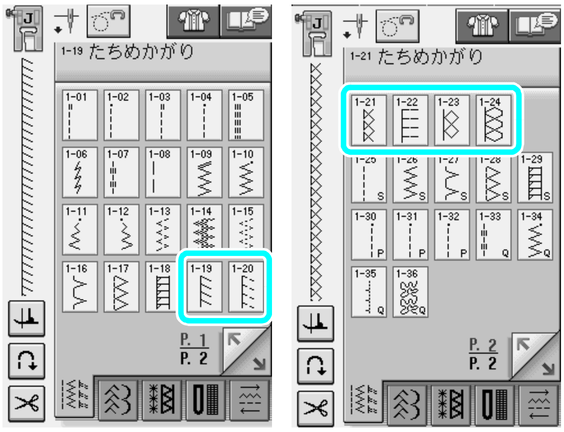
3
実用ぬい

■＜ J ＞押えを使うたちめかがり

ぬい方	名前	押え	主な用途	ジグザグの振り幅 *		ぬい目の長さ *		2 本針 **
				自動	手動	自動	手動	
1-19	たちめかがり	J	伸びる布地のたちめかがりに使用します。	**5.0**	0.0 - 7.0	**2.5**	0.5 - 4.0	○
1-20	たちめかがり	J	厚地、伸びる布地のたちめかがりに使用します。	**5.0**	0.0 - 7.0	**2.5**	0.5 - 4.0	○
1-21	たちめかがり	J	伸びる布地のたちめかがりや飾りぬいに使用します。	**4.0**	0.0 - 7.0	**4.0**	1.0 - 4.0	○
1-22	たちめかがり	J	伸びる布地のたちめかがりに使用します。	**5.0**	0.0 - 7.0	**4.0**	1.0 - 4.0	×
1-23	たちめかがり	J	伸びる布地のたちめかがりに使用します。	**6.0**	1.0 - 7.0	**3.0**	1.0 - 4.0	○
1-24	たちめかがり	J	伸びる布地のたちめかがりに使用します。	**6.0**	1.0 - 7.0	**1.8**	1.0 - 4.0	○

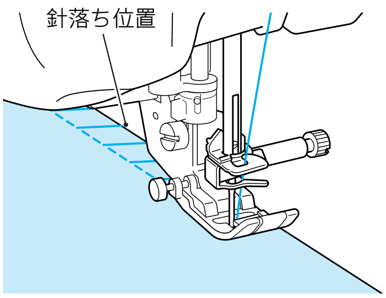
* ― : 調節できません。** ○ : 使用できます。× : 使用できません。

1 模様を選び、＜ J ＞押えを取り付けます。



2 針が布端よりわずかに外側に落ちるようにぬいます。

お知らせ
伸びる布地は、押え圧を弱くするときれいに仕上がります。



■ サイドカッター押え（別売）を使うたちめかがり

サイドカッター押えを使うと、布地を切りながらたちめかがりをすることができます。

⚠ 注 意

サイドカッター押えを使うときは、必ずキーに「S」と表示されている模様を選んでください。その他の模様を選ぶと針が押えに当たり、折れてけがをするおそれがあります。

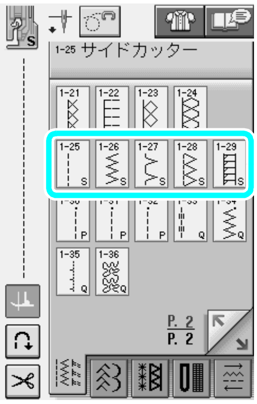
お知らせ

サイドカッター押えを使用するときは、手で針の糸通しをするか、またはサイドカッター押えを取り付ける前に、(自動糸通しスイッチ）を押して針の糸通しをしてください。

ぬい方	名前	押え	主な用途	ジグザグの振り幅 *		ぬい目の長さ *		2 本針 **
				自動	手動	自動	手動	
1-25 S	サイドカッター	S	布を切りながら直線ぬいをします。	**0.0**	0.0 - 2.5	**2.5**	0.2 - 5.0	×
1-26 S	サイドカッター	S	布を切りながらジグザグぬいをします。	**3.5**	3.5 - 5.0	**1.4**	0.0 - 4.0	×
1-27 S	サイドカッター	S	布を切りながらたちめかがりをします。	**3.5**	3.5 - 5.0	**2.0**	1.0 - 4.0	×
1-28 S	サイドカッター	S	布を切りながらたちめかがりをします。	**5.0**	3.5 - 5.0	**2.5**	1.0 - 4.0	×
1-29 S	サイドカッター	S	布を切りながらたちめかがりをします。	**5.0**	3.5 - 5.0	**2.5**	1.0 - 4.0	×

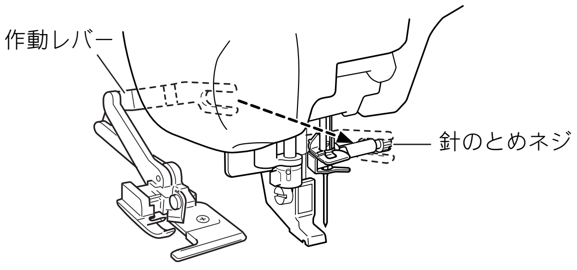
* ―：調節できません。** ○：使用できます。×：使用できません。

1 模様を選びます。



2 P.42 の手順に従って押えを外します。

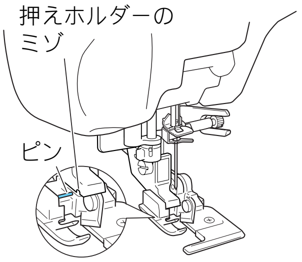
3 サイドカッター押えの作動レバーのふたまた部分で、針のとめネジの棒を後ろからはさみます。



お知らせ

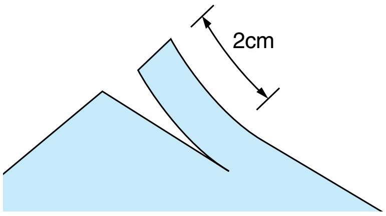
作動レバーのふたまた部分が針のとめネジにしっかり留まっていることを確認してください。

4 **サイドカッター押えのピンと押えホルダーのミゾが合う位置にサイドカッター押えを置き、押えレバーをゆっくり下げます。**

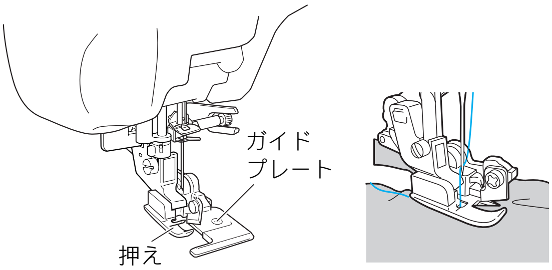


→ サイドカッターが取り付けられます。

5 **布地のぬい始めの部分に約2cmの切り込みを入れます。**



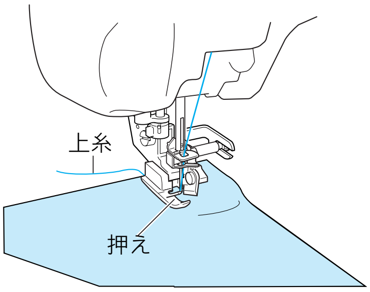
6 **布地の切り込みを入れた部分を、サイドカッター押え <S> のガイドプレートの上に置きます。**



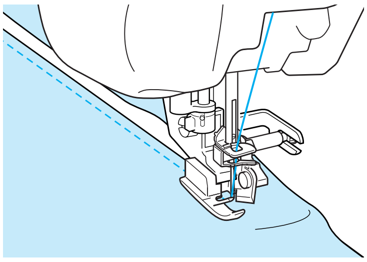
お知らせ

布地を正しく置かないと、布地が切れません。

7 **上糸はサイドカッター押え <S> の下を通して、後ろ側に引き出します。**



8 **ぬい始めます。**



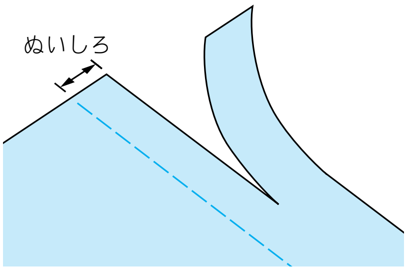
→ ぬいしろを裁断しながらぬっていきます。

お願い

振り幅を調節したときはプーリーをゆっくりと手前に回し、針が押えに当たらないことを確認してください。針がサイドカッターに当たると、折れるおそれがあります。

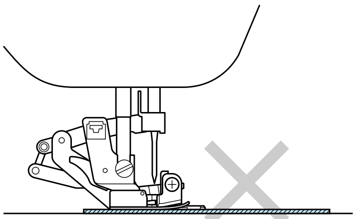
■ サイドカッター押え（別売）を使う直線ぬい

ぬいしろを約 5mm にします。



お知らせ

- 手順 6 に説明されているように布地を置き、ぬい始めます。



- デニム地の場合、カットできるのは 13 オンスデニム 1 枚程度までです。
- カッターを使用した後は、布くずや糸くずなどを取り除いてください。
- 必要に応じて、カッターの刃先に少量のミシン油を塗ってください。

キルトぬい

仕上がりのきれいなキルトが簡単にできます。キルトぬいでは、ニーリフターやフットコントローラーを使用すると、両手が使えて便利です（P.50「フットコントローラーを使用する」および P.57「ニーリフターを使用する」を参照）。

キーの右下に「P」または「Q」と表示されている模様は、キルトぬい専用です。

ぬい方	名前	押え		主な用途	ジグザグの振り幅 *		ぬい目の長さ *		2 本針 **
					自動	手動	自動	手動	
1-30 P	ピーシング直線（右基線）	J		ピーシング用の直線です。押えの右端に布地を合わせてぬうと、ぬいしろの幅が 7.0mm でぬえるように針位置が設定されています。	**5.0**	0.0 - 7.0	**1.6**	0.2 - 5.0	×
1-31 P	ピーシング（中基線）	J		ピーシング用の直線です。	**—**	—	**1.6**	0.2 - 5.0	×
1-32 P	ピーシング直線（左基線）	J		ピーシング用の直線です。押えの左端に布地を合わせてぬうと、ぬいしろの幅が 7.0mm でぬえるように針位置が設定されています。	**2.0**	0.0 - 7.0	**1.6**	0.2 - 5.0	×
1-33 Q	手ぬい風直線	J		上糸にナイロン透明糸、下糸にキルトに合った色の糸を使うと手ぬい風のキルト直線になります。	**0.0**	0.0 - 7.0	**2.5**	1.0 - 4.0	×
1-34 Q	ジグザグぬい	J		アップリケキルトやフリーモーションキルト、サテンぬいなどに使用します。	**3.5**	0.0 - 7.0	**1.4**	0.0 - 4.0	×
1-35 Q	アップリケ	J		アップリケやバインディングをするときに使用します。	**1.5**	0.5 - 5.0	**1.8**	1.0 - 4.0	×
1-36 Q	キルティング模様	J		キルトで背景を埋めるときに使用します。	**7.0**	1.0 - 7.0	**1.6**	1.0 - 4.0	×

* — : 調節できません。** ○ : 使用できます。× : 使用できません。

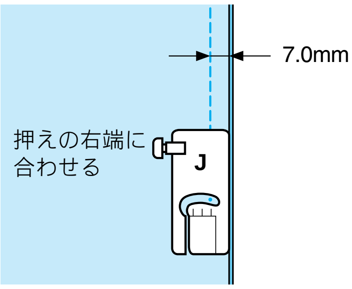
■ ピーシング

ピーシングとは、布と布をぬい合わせることをいいます。正確にピーシングを行うために、ぬいしろを 7.0mm つけて裁断してください。

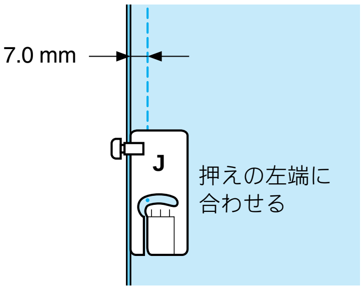
1 **1-30 または 1-32 を選び、＜ J ＞押えを取り付けます。**

2 **押えの端に布端を合わせてぬいます。**

- ぬいしろが右側のときは、押えの右側に布端を合わせ、1-30 の模様でぬいます。



- ぬいしろが左側のときは、押えの左端に布端を合わせ、1-32 の模様でぬいます。



- 針位置を変えたいときは、振り幅の ＋ － を押して調節してください。

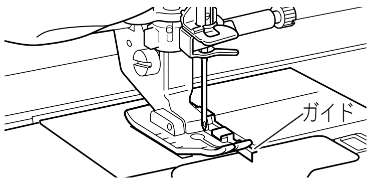
お知らせ

直線ぬい（中基線）を使うとぬいやすくなります。P.67 を参照してください。

■ ガイド付ピーシング押えを使う

このピーシング押えを使うと、6.4mm または 3.2mm のぬいしろで正確に仕上げできます。
キルトのピーシングや、飾りぬいに使うことができます。

1 **1-31 を押し、次にガイド付ピーシング押えを取り付けます。**

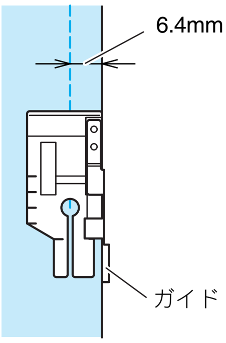


⚠ 注 意

- ガイド付きピーシング押えを使用する場合は、必ず 1-31（中基線）を選んで下さい。違う模様を使用すると針折れやケガの原因になります。
- プーリーを手前に回し、針と押えが当たらないことを確認してから（スタート/ストップ）（スタート/ストップスイッチ）を押してください。

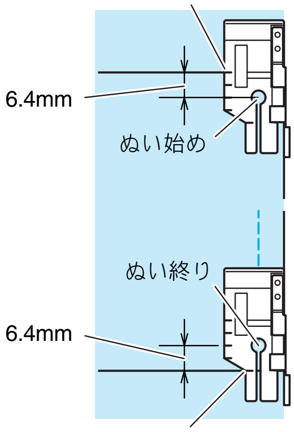
2 **押えのガイドとしるしを使うと、正確なぬいしろで仕上がります。**

ぬいしろ **6.4mm** のピーシング
布地の端をガイドに当てながら、ぬいます。



正確なぬいしろで仕上げる場合
布地の端から 6.4mm の位置で、ぬい始め、ぬい終り、布地の回転を行います。

このしるしを、ぬい始めの布地の端に合わせます。

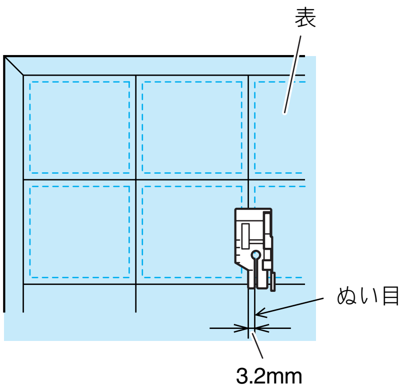


布地のぬい終り、または布地を回転する側

お知らせ

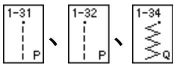
ピボットの詳細は、「ピボット」（P.57）を参照してください。

3.2mm の飾りぬいキルト
布地の端を押えの左側に合わせて、ぬいます。



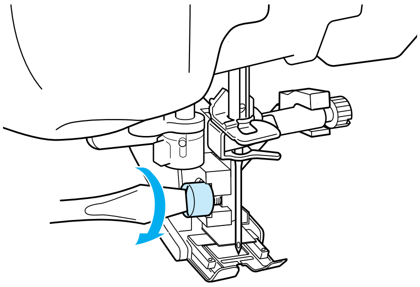
■ キルトぬい

キルトぬいとは、トップ布、キルト芯、裏布をぬい合わせることをいいます。ウォーキングフットを使うと、トップ布、キルト芯、裏布のぬいずれを防ぐことができます。ウォーキングフットには、針板内の送り歯と連動する送り歯のセットが付属しています。
直線のキルトぬいの場合は、ウォーキングフットと直線針板を使用します。直線針板を使う場合は、必ず直線ぬい（中基線）を選択してください。

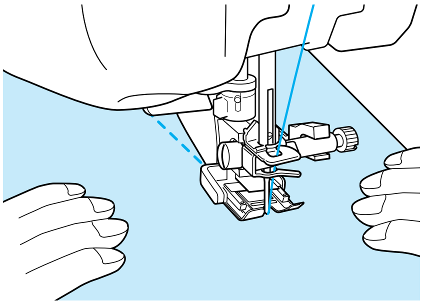
1 

のいずれかを選びます

2 ウォーキングフットを取り付けます。（P.43 参照）



3 両手で布を押さえながらぬいます。

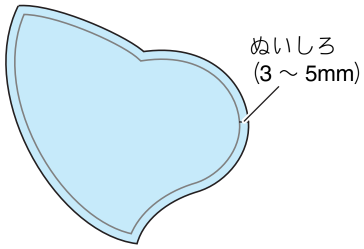


お知らせ
- ぬう速さは、中～低速度にしてください。
- 返しぬいはしないでください。また、横送りや返し送りをする模様は使わないでください。ぬい始める前に、必ずキルト面をしつけ止めしてください。キルト専用のミシン針、ミシン糸も市販されています。

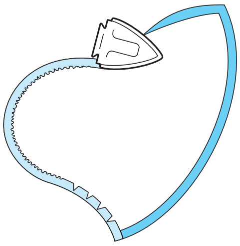
■ アップリケ

上糸にナイロン透明糸を使うと、ぬい目を目立たなく仕上げることができます。

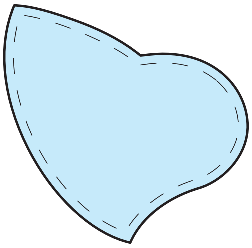
1 アップリケ布に3～5mmのぬいしろを付けて裁ちます。



2 アップリケ布の裏に厚紙の型紙を置き、アイロンでぬいしろを内側に折ります。カーブの部分は、必要に応じて切り込みを入れます。

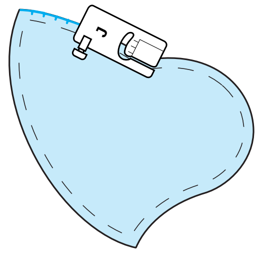


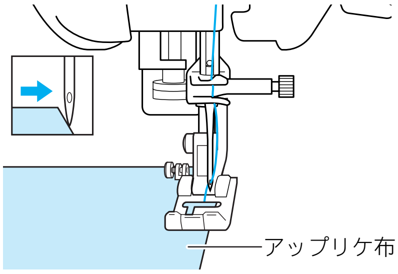
3 アップリケ布を表に返し、型紙をまち針またはしつけ糸で止めます。

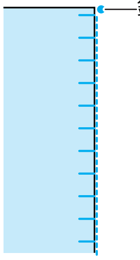


4 を選び、＜ J ＞押えを取り付けます。

5 ジグザグぬいを使用してアップリケをぬい付けます。針が落ちる位置を確認し、針がアップリケ布の端よりわずかに外側に落ちるようにまわりをぬいます。





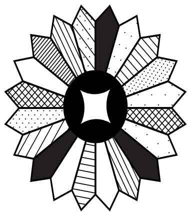


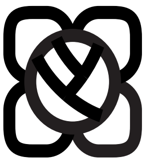
注意

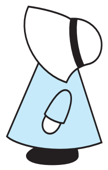
ぬうときには、まち針などが針に当たらないように注意してください。針が折れたり曲がったりするおそれがあります。

アップリケぬいを使うと、下図のような図案のアップリケができます。

(参考例)


ドレスデンプレート


ステンドグラス


サンボネットスーちゃん

■ サテンぬいのキルト

フットコントローラーを使用してぬいます。
（スピードコントロールレバー）で振り幅を調節することにより、微妙に振り幅を変化させながらサテン模様をぬうことができます。

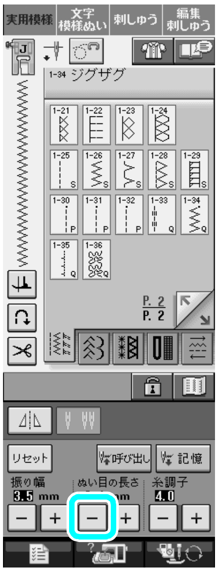
お知らせ

フットコントローラージャックにフットコントローラーが差し込まれているときは、（スタート／ストップスイッチ）は使用できません。

1 フットコントローラーを取り付けます。（P.50 参照）

2 を選び、＜ J ＞押えを取り付けます。

3 「ぬい目の長さ」の − を押して、ぬい目を細かくします。



お知らせ

ぬい目の長さを 0.3 ～ 0.5mm に設定すると、きれいなサテン模様になります（ぬい目の設定は、布地の種類や糸の太さによって異なります）。

4 を押します。

- （スピードコントロールレバー）をジグザグの振り幅調節レバーに切り替えます。

5 **「振り幅コントロール」の「ON」を押します。**

お知らせ

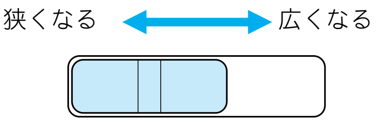
振り幅は、（スピードコントロールレバー）で調節します。ぬう速さは、フットコントローラーで調節します。

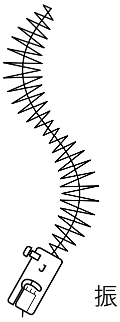
6 **閉じる を押します。**

→ 元の画面に戻ります。

7 **ぬい始めます。**

- ぬいながら（スピードコントロールレバー）を動かし、振り幅を調節してください。レバーを左に動かすと、振り幅は狭くなり、右に動かすと、振り幅は広くなります。振り幅は、針の中基線を中心として左右均等に変わります。





振り幅を変えた例

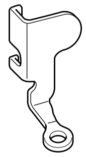
8 **ぬい終わったら、「振り幅コントロール」を「OFF」に戻します。**

フリーモーションキルト

フリーモーションキルトぬいの場合、ドロップレバーを使って送り歯を下げると、布を自由に動かせます。フリーモーションキルトは、ぬう模様によって、フリーモーションキルト押え＜ C ＞またはオープントゥキルト押え＜ O ＞を使用します。また、ミシンをフリーモーションモードにすると、押えがフリーモーションぬいに最適な高さになります。
フットコントローラーを取り付けて、一定の速度でぬうことをお勧めします。ぬう速度は、ミシンの（スピードコントロールレバー）で調節できます。

■ フリーモーションキルト押え＜C＞を使用する

フリーモーションキルト押え＜ C ＞は、直線針板を使用するフリーモーションぬいに使います。



フリーモーションキルト押え＜ C ＞

注 意

- **フリーモーションキルトでは、布を送る速度がぬう速度に合うように調節します。ぬう速度よりも速く布地が動くと、針が折れたり、他の損傷が起きるおそれがあります。**
- **フリーモーションキルト押え＜ C ＞を使用する場合、必ず直線針板を使用し、針位置を中央にしてぬうようにしてください。針が中央（中基線）以外の位置にあると、針が折れて、ケガの原因となります。**

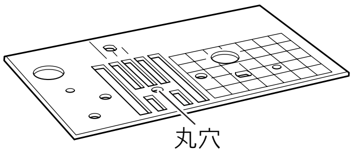
お知らせ

- ぬい始めるときに内蔵されたセンサーが布地の厚さを感知し、設定画面で指定した高さにキルト押えが上がります。を押し、「フリーモーション押え高さ」の − または ＋ を押して、キルト押えを上げる高さを選びます。たとえば、やわらかい布地をぬう場合は、＋ を押して高い数値に設定すると、より簡単にぬうことができます。

- バランスのとれた糸調子でぬうには、上糸の調節が必要になります。ぬい始める前に、使用する布地と同質の布地で試しぬいをしてください。

3 実用ぬい

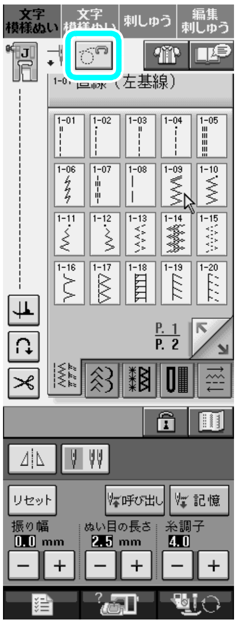
1 直線針板を取り付けます。(P.69 参照)



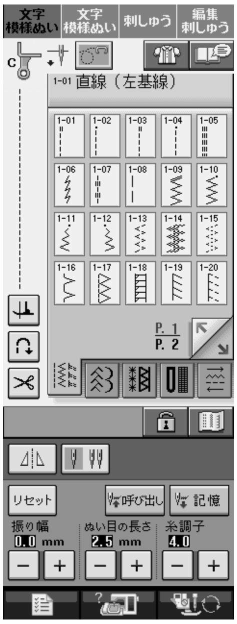
お知らせ

この針板の穴が丸穴であることに注意してください。

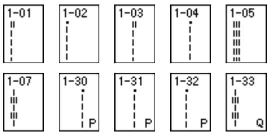
2 を押して、ミシンをフリーモーションモードに設定します。



→ 表示が に変わり、キルト押えは、フリーモーションぬいに必要な高さに上がります。



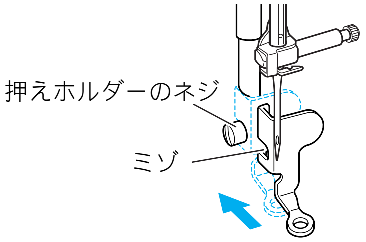
3 以下の模様から、お好みの模様を選びます。



→ 画面の左上にフリーモーションキルト押え<C>が表示されています。

4 押えホルダーを外します。

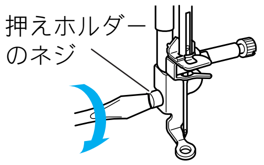
5 押えホルダーのネジをフリーモーションキルト押えのミゾに合わせて、フリーモーションキルト押えを前に取り付けます。



お願い

フリーモーションキルト押えが正しく取り付けられ、傾斜していないことを確認してください。

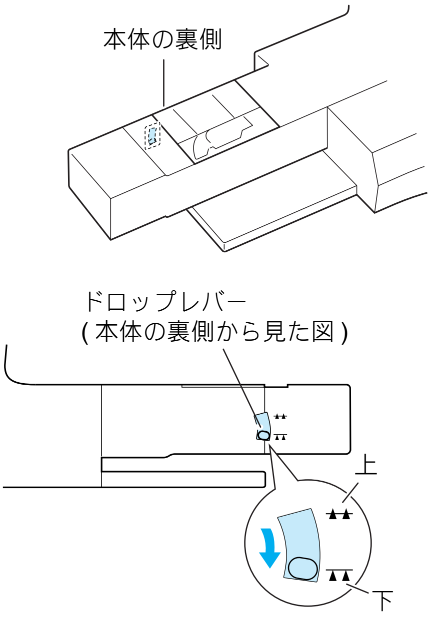
6 右手でフリーモーションキルト押えを持ちながら、左手で押えホルダーのネジを付属のドライバーでしめます。



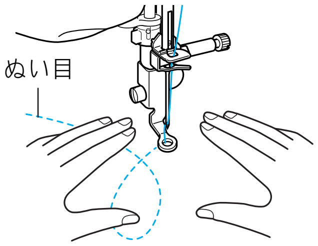
⚠ 注 意

ネジをしめるときは、必ず付属のドライバーを使用してください。ネジを確実にしめないと針がキルト押えに当たり、曲がったり折れたりするおそれがあります。

7 ドロップレバーを に下げて、送り歯を下げます。



8 両手で布地を引っ張り、一定の速度で布地を送り、ぬい目の長さが均一に約 2.0 ～ 2.5mm になるようにぬいます。



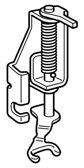
9 を押して、フリーモーションモードを解除します。

10 ドロップレバーを上げて、送り歯を上げます。

お知らせ
最初はきれいに仕上がらないことがありますが、きれいな仕上がりになるように練習してください。

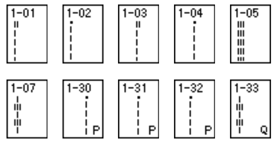
■ オープントゥキルト押え＜ O ＞を使用する

オープントゥキルト押え＜ O ＞は、ジグザグ模様や飾り模様でフリーモーションキルトをぬう場合や、厚さが均一ではない布地にフリーモーションキルトの直線ぬいをする場合に使用します。オープントゥキルト押え＜ O ＞を使用すると、いろいろな模様をぬうことができます。使用できる模様については、巻末の「ぬい方早見表」を参照してください。



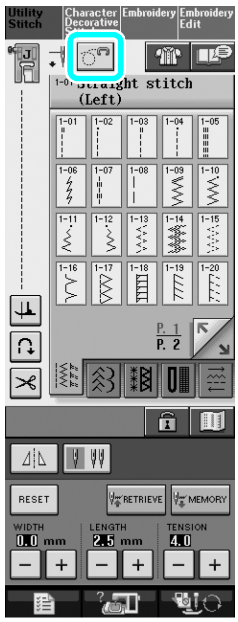
オープントゥキルト押え＜ O ＞

お願い
オープントゥキルト押え＜ O ＞は、直線針板を組み合わせて使うこともできます。厚さが均一ではない布地のフリーモーションぬいにオープントゥキルト押え＜O＞を使うことをお勧めします。直線針板の取り付けかたは、P.69 を参照してください。直線針板を使用するときは、以下の模様を選択してください。



お知らせ
バランスのとれた糸調子でぬうには、上糸の調節が必要です。キルト用布地で試しぬいをしてください。

1 を押して、ミシンをフリーモーションモードに設定します。



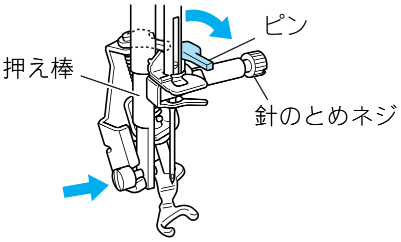
→ 表示が に変わり、キルト押えは、フリーモーションぬいに必要な高さに上がります。

2 模様を選びます。

→ 画面の左上にオープントゥキルト押え＜ O ＞が表示されています。直線針板を使用しているときは、フリーモーションキルト押え＜ C ＞が表示されています。

3 押えホルダーを外します。

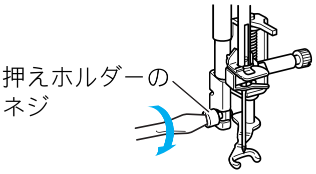
4 オープントゥキルト押え＜ O ＞のピンを針のとめネジの上に配置して、左下を押え棒に合わせて、オープントゥキルト押え＜ O ＞を取り付けます。



お願い

キルト押えが傾斜していないことを確認してください。

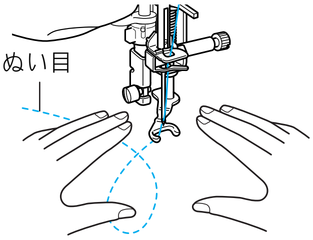
5 右手でキルト押えを持ちながら、左手で押えホルダーのネジを付属のドライバーでしめます。



注 意

ネジをしめるときは、必ず付属のドライバーを使用してください。ネジを確実にしめないと針がキルト押えに当たり、曲がったり折れたりするおそれがあります。

6 両手で布地を引っ張り、一定の速度で布地を送り、ぬい目の長さが均一に約 2.0 ～ 2.5mm になるようにぬいます。



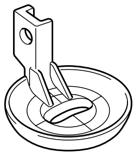
7 を押して、フリーモーションモードを解除します。

お知らせ

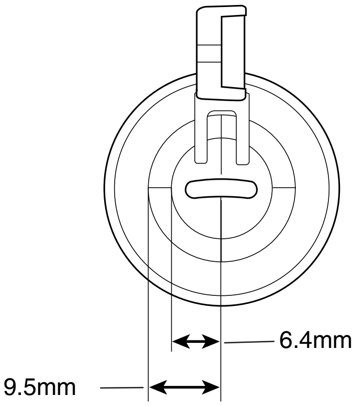
最初はきれいに仕上がらないことがありますが、きれいな仕上がりになるように練習してください。

エコーキルト押え＜E＞を使用して、エコーキルトをぬう

モチーフの周囲を等間隔で幾重にもキルトする方法を、エコーキルトと呼びます。モチーフに沿って波状に広がる線が、エコーキルトの特徴です。エコーキルトにはエコーキルト押え＜ E ＞を使用します。押えの寸法を参考にして、モチーフの周囲を一定の間隔でぬいます。フットコントローラーを取り付けて、一定の速度でぬうことをお勧めします。



エコーキルト押え＜ E ＞の寸法



注 意

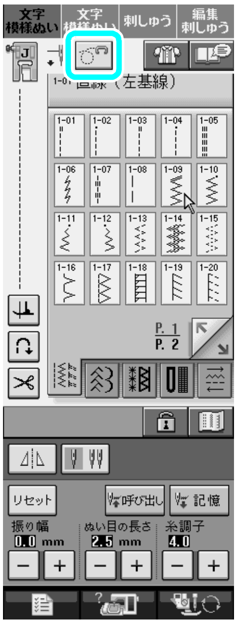
フリーモーションキルトでは、布を送る速度がぬう速度に合うように調節します。ぬう速度よりも速く布地を動かすと、針が折れたり、他の損傷が起きるおそれがあります。

お知らせ

- ぬい始めるときに、内蔵されたセンサーが布地の厚さを感知し、設定画面で指定した高さにキルト押えが上がります。を押し、「フリーモーション押え高さ」の － または ＋ を押して、キルト押えを上げる高さを選びます。たとえば、やわらかい布地をぬう場合は、＋ を押して高い数値に設定すると、より簡単にぬうことができます。

- バランスのとれた糸調子でぬうには、上糸の調節が必要になります。キルト用布地で試しぬいをしてください。

1 を押して、ミシンをフリーモーションモードに設定します。



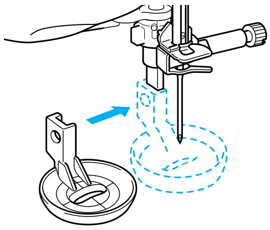
→ 表示が に変わり、エコーキルト押えは、フリーモーションぬいに必要な高さに上がります。

2 を選択します。

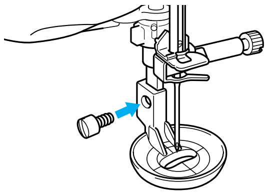
3 押えを取り外します。

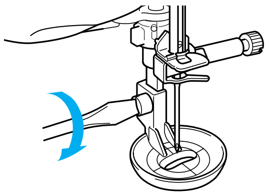
4 押えホルダーとネジを外します。

5 エコーキルト＜ E ＞押えの穴と押え棒を合わせて、エコーキルト押え＜ E ＞を押え棒の左側に置きます。



6 付属のドライバーでネジをしめます。

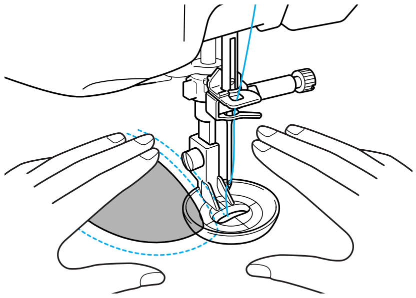


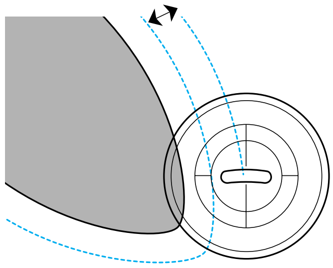


注 意

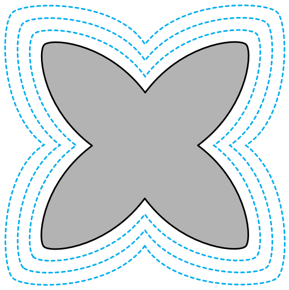
ネジをしめるときは、必ず付属のドライバーを使用してください。ネジを確実にしめないと針がキルト押えに当たり、曲がったり折れたりするおそれがあります。

7 エコーキルト押え＜ E ＞の寸法を参考にして、モチーフの回りをぬいます。





完成した作品



8 を押して、フリーモーションモードを解除します。

3 実用ぬい

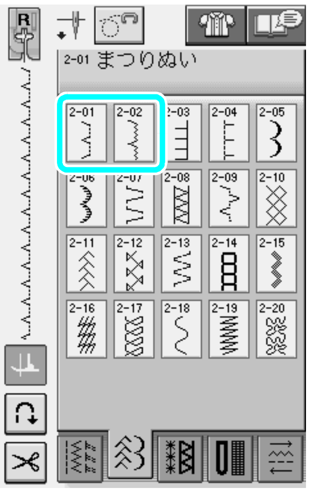
まつりぬい

ワンピース、ブラウス、ズボン、スカートのすそや折り返しに使います。

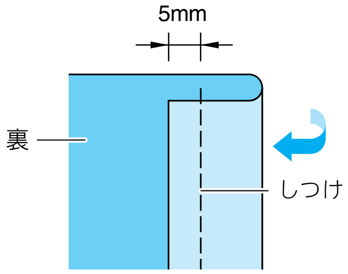
ぬい方	名前	押え	主な用途	ジグザグの振り幅 *		ぬい目の長さ *		2 本針 **
				自動	手動	自動	手動	
2-01	まつりぬい	R	普通地のまつりぬいに使用します。	**0.0**	+3.0 - -3.0	**2.0**	1.0 - 3.5	×
2-02	まつりぬい	R	伸びる布地のまつりぬいに使用します。	**0.0**	+3.0 - -3.0	**2.0**	1.0 - 3.5	×

* ―：調節できません。** ○：使用できます。×：使用できません。

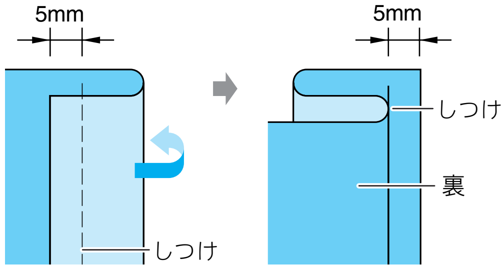
❶ 模様を選びます。



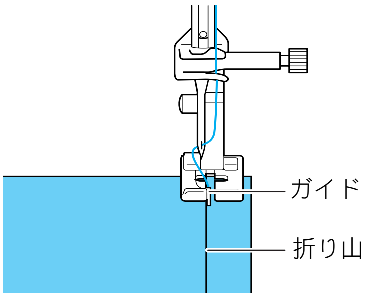
❷ 図のように裏を上にして二つ折りし、しつけぬいします。



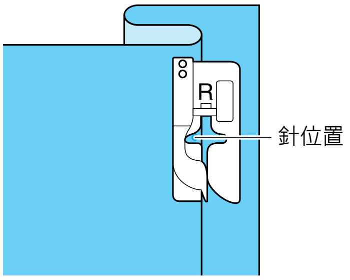
❸ 図のように、ぬい目にそってもう一度折ります。



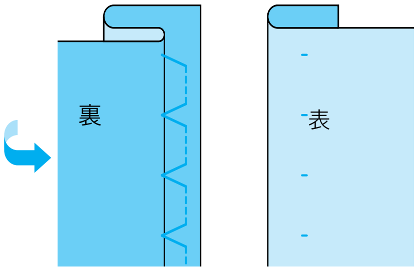
❹ ＜ R ＞押えを取り付け、折り山を押えのガイドに当て押えレバーを下げます。



❺ 布地の折り山をガイドに当てながらぬいます。



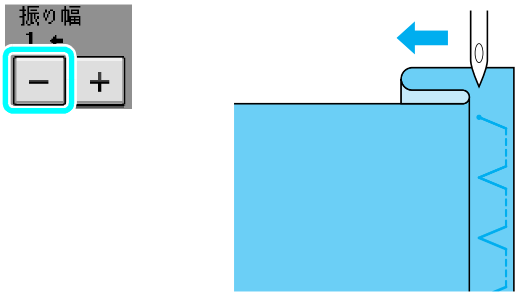
6 しつけ糸をほどいて表に返します。



お知らせ
左側に落ちる針が折り山にかかっていないと、まつりぬいはできません。また、針が深く入りすぎると布が開かず、表に出るぬい目が大きくなり、きれいに仕上がりません。このような場合は次のようにして対処してください。

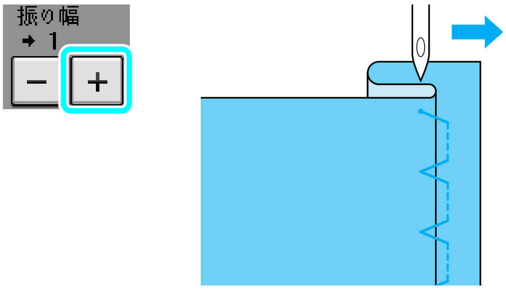
■ 折り山にぬい目がかからない場合

振り幅の [－] を押して、針が折り山にわずかにかかるように調節します。



■ 折り山にぬい目がかかりすぎた場合

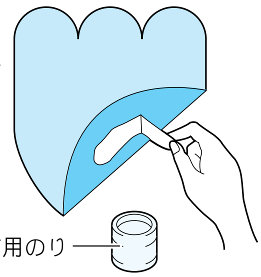
振り幅の [＋] を押して、針が折り山にわずかにかかるように調節します。



アップリケぬい

1 のりまたはスプレーのりでアップリケ布がずれない程度にのり付けするか、しつけして固定します。

- これは、ぬいずれを防ぐためです。

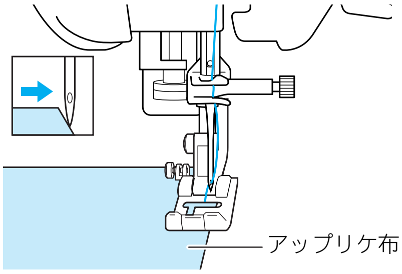


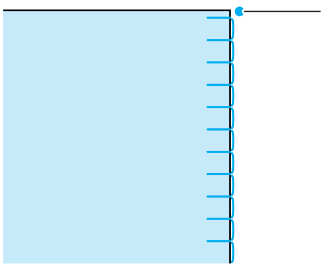
2 または を選びます。

- ジグザグの振り幅やぬい目の長さは、アップリケの形、大きさ、素材に応じて調節してください。(P.53 参照)

お知らせ
模様の詳細については、巻末の「ぬい方早見表」を参照してください。

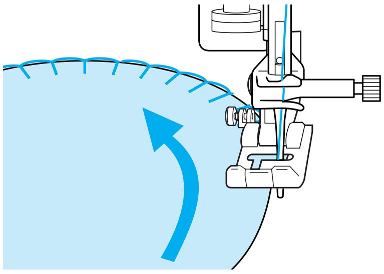
3 < J >押えを取り付けます。針がアップリケ布の端よりわずかに外側に落ちるようにぬいます。





■ 急なカーブをぬう場合

アップリケ布の外側に針をさしたまま押えを上げて少しずつ方向を変えながらぬうと、きれいなぬい目に仕上がります。



お知らせ
薄い破り取るタイプの接着芯を押えの下にしくと、アップリケ布のぬい目がきれいに仕上がります。

シェルタックぬい

シェルタックぬいは、貝殻を並べたような模様のふち飾りになり、ブラウスやワンピースの衿やそでなどのふち飾りに使います。

1

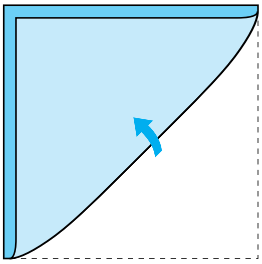
を選択します。

お知らせ
模様の詳細については、巻末の「ぬい方早見表」を参照してください。

2 シェルタックの山がきれいにできるように、糸調子を強めにします。（P.54 参照）

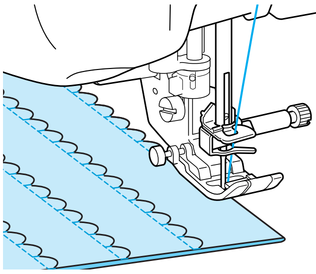
お知らせ
糸調子が弱すぎるとシェルタックの山ができません。

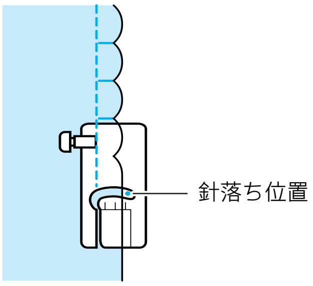
3 布地をバイアスに 2 つ折りにします。



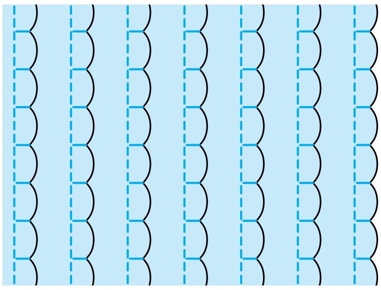
お知らせ
布地は薄地を使用してください。

4 < J >押えを取り付け、針が布端よりわずかに外側に落ちるようにぬいます。





5 布を広げアイロンで折り山を片側に倒します。



お知らせ
衿元にシェルタックを付ける場合は、模様の指示に従い、このシェルタックぬいを使ってふち飾りを付けてください。

スカラップぬい

スカラップは半月状の丸いカーブの連続した波型の模様です。ブラウスの衿やハンカチなどのふち飾りに使います。

お知らせ

- 薄地には、必要に応じて布用スプレーのりを付けてください。実際にぬう前に、ためしぬいをしてください。
- 模様の詳細については、巻末の「ぬい方早見表」を参照してください。

1

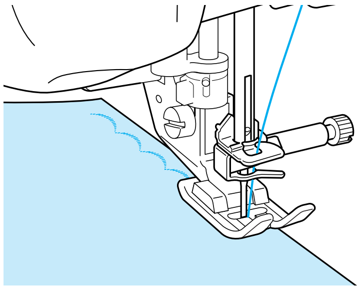
を選択します。

2 **< N >押えを取り付け、布端をぬいます。**

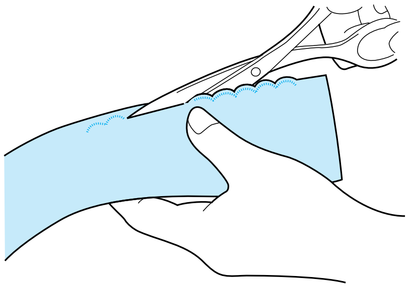
* 針が布端にかからないように注意してください。

お願い

実際にぬう前にためしぬいをしてください。



3 **糸を切らないように注意しながらぬい目にそって布地を切ります。**



お知らせ

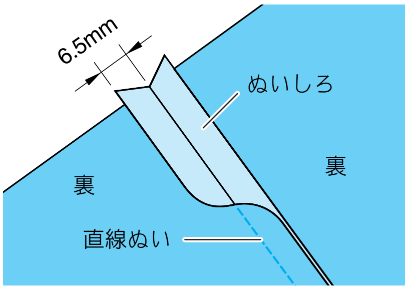
スカラップの縁は、ほつれ止め液で仕上げてください。

つき合わせぬい

ぬいしろを上から押さえてぬうとクレージーキルトの飾り模様にもなります。

1 **直線ぬいを選び、< J >押えを取り付けます。**

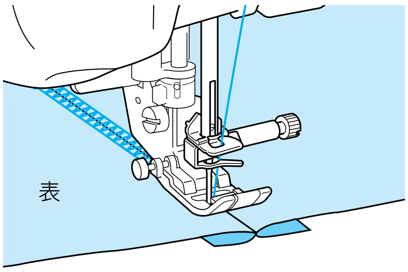
2 **2 枚の布地を中表にしてぬい合わせた後、ぬいしろを割ります。**



3 **つき合わせぬいを選びます。**

- 模様は以下の中から選びます。

4 **布地を表に返し、押えの中心とぬい目を合わせてぬいます。**



スモッキングぬい

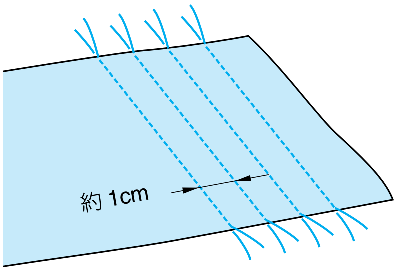
布地にギャザーを寄せて作る飾りぬいです。

1 **直線ぬいを選び、< J >押えを取り付けます。**

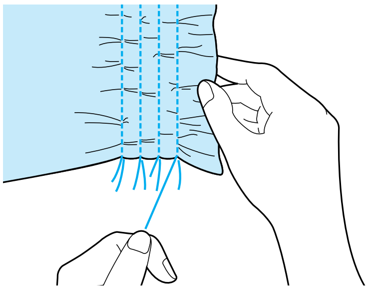
2 **ぬい目の長さは 4.0mm に、糸調子は 2.0（ゆるめ）に設定します。（P.53 参照）**

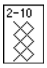
3 **上糸と下糸を約 5cm 引き出しておきます。**

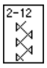
4 **約 1cm の間隔で数本ぬい、上糸と下糸を端から 5cm 残して切ります。**



5 **下糸を引っ張ってギャザーを寄せ、アイロンでギャザーをととのえます。**



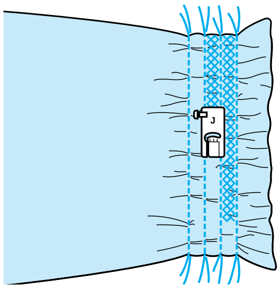
6 

または 

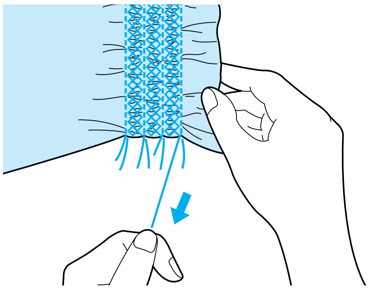
を選びます。

お知らせ
模様の詳細については、巻末の「ぬい方早見表」を参照してください。

7 **直線ぬいのぬい目とぬい目の間をぬいます。**



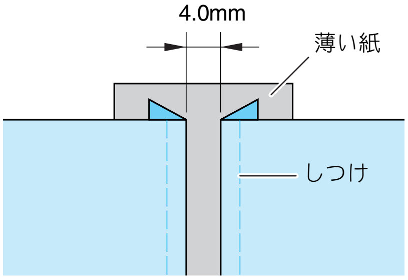
8 **直線ぬいの糸を引き抜きます。**



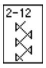
ファゴティングぬい

ファゴティングとは、布地と布地の間を離して糸でかがる手法で、ブラウスや子供服などに使います。

1 **布地と布地の間隔を 4.0mm あけて、薄い紙にしつけぬいします。**



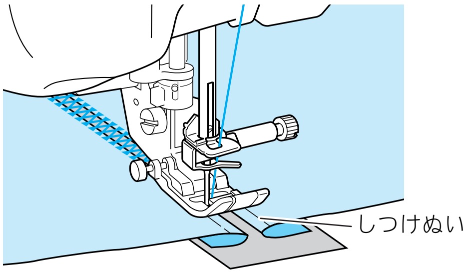
2

または 

を選びます。

お知らせ
模様の詳細については、巻末の「ぬい方早見表」を参照してください。

3 **< J >押えを取り付け、押えの中心とはぎ合わせた布の中心とを合わせてぬいます。**



お知らせ
太い糸を使用してください。

4 **ぬい終わったら、ていねいに紙をはがします。**

ゴムひもつけ

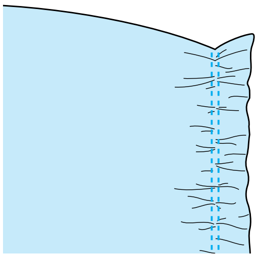
1 直線ぬいを選び、＜ J ＞押えを取り付けます。

2 ぬい目の長さは 4.0mm に、糸調子は 2.0（ゆるめ）に設定します。（P.53 参照）

お知らせ

自動止めぬい や自動糸切り は設定しないでください。

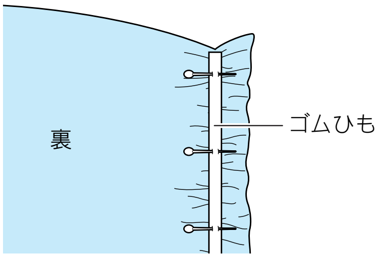
3 生地の表に直線ぬいを 2 本ぬい、下糸を引っ張ってギャザーを寄せます。



お知らせ

直線ぬいをかける前に、プーリーを回して下糸を引き出します。押えを上げた状態で、上糸と下糸を後側に引き出します。

4 裏のギャザーの上にゴムひもをまち針で止めます。



5 2-13 または 1-13 を選びます。

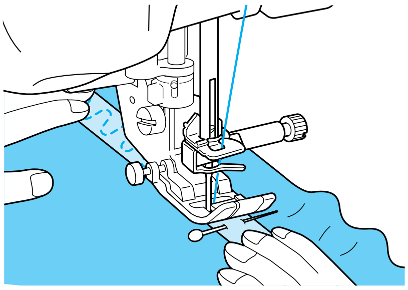
お知らせ

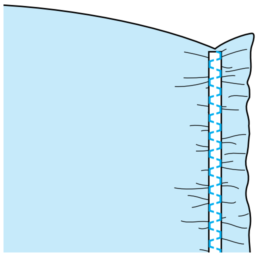
模様の詳細については、巻末の「ぬい方早見表」を参照してください。

6 布地とほぼ同じ長さになるようゴムひもを伸ばしながら、左手で押えの後ろへ送り出された布地を、右手で押えから一番近いまち針のところを引っ張って、送りのスピードに合わせてぬいます。

お知らせ

フットコントローラーを使用すると、作業がしやすくなります。

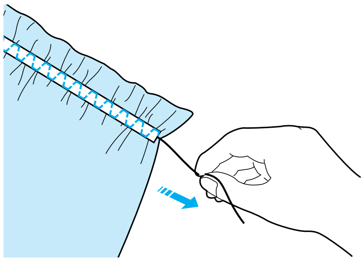




注 意

ぬうときには、まち針などが針に当たらないように注意してください。針が折れたり曲がったりするおそれがあります。

7 直線ぬいの糸を引き抜きます。



ヘアルーム

■デイジーステッチ

別売りのウィングニードル（WN001）を使用し、針穴を大きくあけてレース風の飾り模様を縫います。テーブルクロスや洋服のすそ飾り、洋服の前たての飾りなどに使います。

お知らせ
布地は平織りの薄地から普通地で、少し張りのあるものを使ってください。

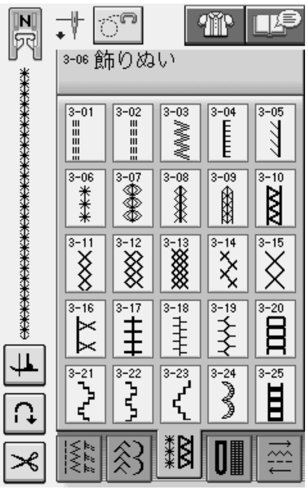
1 ウィングニードル（別売：WN001）を取り付けます。

注 意

- **(自動糸通しスイッチ) は使用できません。手前から向こう側に、手で針穴に糸を通してください。(自動糸通しスイッチ) を使用すると故障の原因となります。**
- **ウィングニードル（WN001）を使用すると、きれいな仕上がりになります。ウィングニードルを取り付け、振り幅を調節したときはプーリーをゆっくりと手前に回し、針が押えに当たらないことを確認してください。**

2 模様を選び、< N >押えを取り付けます。

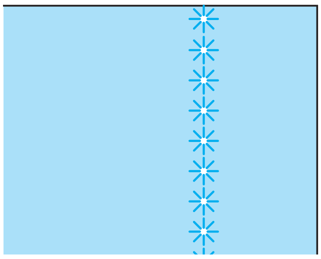
- 3-01 から 3-25 のいずれかの模様を選びます



お知らせ
模様の詳細については、巻末の「ぬい方早見表」を参照してください。

3 ぬい始めます。

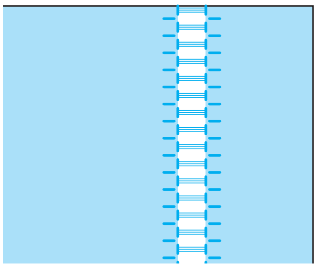
例： 仕上がり図



ヘアルームの一種で部分的に糸を抜き取ってかがるぬい方を「ドロンワーク」といいます。織りがゆるい布地を使用すると、きれいに仕上がります。ここではドロンワークのぬい方の例を 2 つ紹介します。

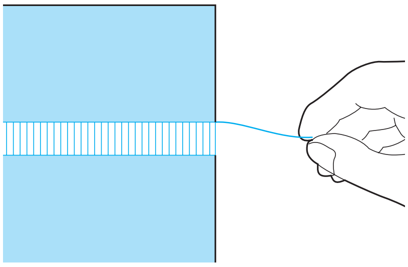
■ ドロンワーク（1）

模様を左右反転させて、2 回ぬいます。



1 布地の織り糸を数本抜きとり、約 3mm のすき間をあけます。

- 布地の織り糸を 5、6 本（約 3mm 分）抜きとります。

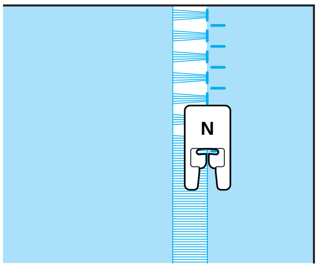


お知らせ
織のゆるい布を使うときれいに仕上がります。

2 を選択します。

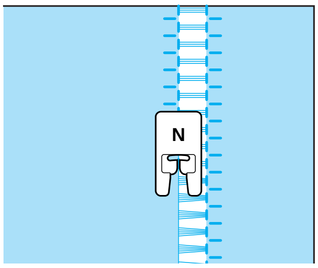
お知らせ
模様の詳細については、巻末の「ぬい方早見表」を参照してください。

3 ＜ N ＞押えを取り付け､表を上にして布を置き、織り糸を抜いた部分の右端をぬいます。



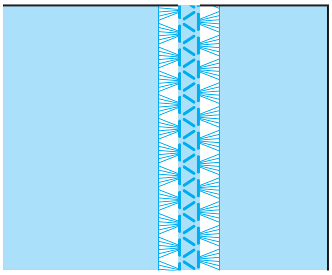
4 を押して、模様を左右に反転します。

5 模様が左右対称になるように、織り糸を抜いた部分の左端をぬいます。



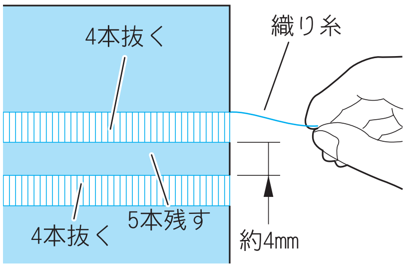
■ ドロンワーク（2）

布地の織り糸を抜き取った間をぬいます。



1 図のように、間に布地を約 4mm 残して織り糸を抜き取ります。

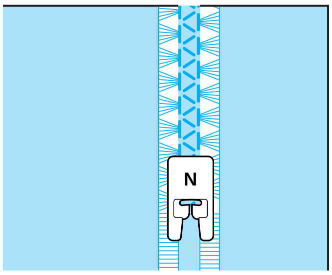
- 4 本の織り糸を抜き、5 本分（約 4mm 幅）の織り糸を残し、さらに 4 本の織り糸を抜きとります。



2 を選択します。

お知らせ
模様の詳細については、巻末の「ぬい方早見表」を参照してください。

3 ＜ N ＞押えを取り付け、残した 5 本分の布地の中央をぬいます。



お知らせ
ウィングニードル（別売：WN001）も使用できます。

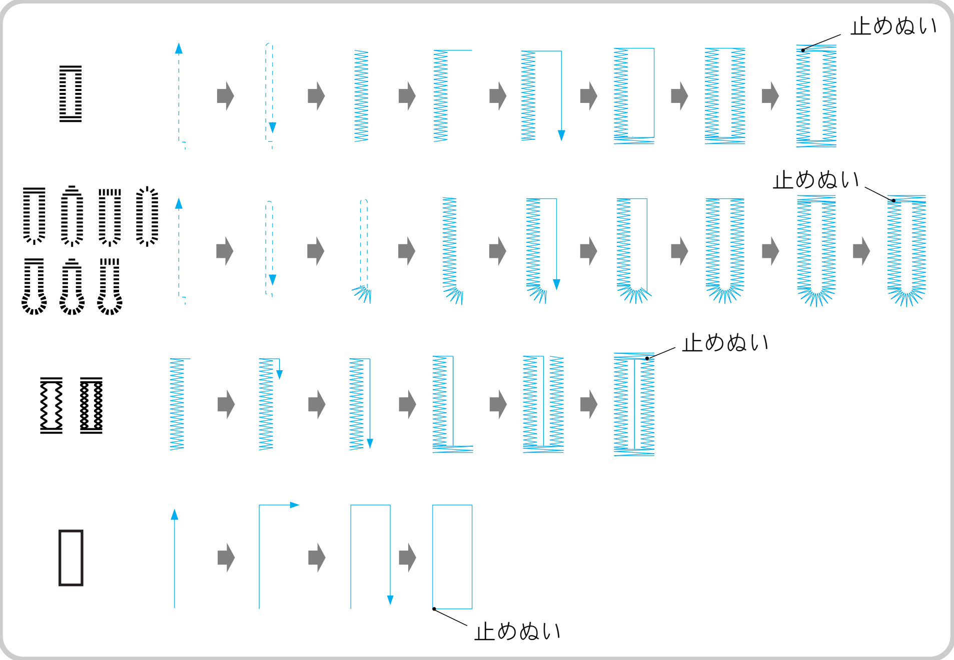
ボタン穴かがり

ボタンの大きさに合わせた穴かがりができます。

ぬい方	名前	押え	主な用途	ジグザグの振り幅 *		ぬい目の長さ *		2 本針 **
				自動	手動	自動	手動	
4-01	ボタン穴かがり	A	ねむり穴、横穴用。薄地から普通地のボタン穴かがりに使用します。	**5.0**	3.0 - 5.0	**0.4**	0.2 - 1.0	×
4-02			横穴用。厚地の布や厚みのあるボタンを使うときに使用します。	**5.5**	3.5 - 5.5	**0.4**	0.2 - 1.0	×
4-03			横穴用。ウエストベルトなど力がかかるところに使用します。	**5.0**	3.0 - 5.0	**0.4**	0.2 - 1.0	×
4-04			横穴用。厚地のボタン穴かがりに使用します。	**5.0**	3.0 - 5.0	**0.4**	0.2 - 1.0	×
4-05			ボタン穴かがり + かんどめ	**5.0**	3.0 - 5.0	**0.4**	0.2 - 1.0	×
4-06			ねむり穴。普通地から厚地のボタン穴かがりに使用します。	**5.0**	3.0 - 5.0	**0.4**	0.2 - 1.0	×
4-07			両止めボタン穴かがり。薄地から普通地のボタン穴かがりに使用します。	**5.0**	3.0 - 5.0	**0.4**	0.2 - 1.0	×
4-08			両止めボタン穴かがり。厚地の布や厚みのあるボタンを使うときに使用します。	**5.5**	3.5 - 5.5	**0.4**	0.2 - 1.0	×
4-09			横穴用。厚地のボタン穴かがりに使用します。	**5.0**	3.0 - 5.0	**0.4**	0.2 - 1.0	×
4-10			伸びる布地や編み地のボタン穴かがりに使用します。	**6.0**	3.0 - 6.0	**1.0**	0.5 - 2.0	×
4-11			伸びる布地のボタン穴かがりに使用します。	**6.0**	3.0 - 6.0	**1.5**	1.0 - 3.0	×
4-12			玉ぶち穴かがり（バウンドボタンホール）を作るときに使用します。	**5.0**	0.0 - 6.0	**2.0**	0.2 - 4.0	×
4-13			はとめ穴。厚地や毛足の長い布のボタン穴かがりに使用します。	**7.0**	3.0 - 7.0	**0.5**	0.3 - 1.0	×
4-14			はとめ穴。普通地から厚地のボタン穴かがりに使用します。	**7.0**	3.0 - 7.0	**0.5**	0.3 - 1.0	×
4-15			はとめ穴。厚地や毛足の長い布の横穴ボタン穴かがりに使用します。	**7.0**	3.0 - 7.0	**0.5**	0.3 - 1.0	×

* — : 調節できません。** ○ : 使用できます。× : 使用できません。

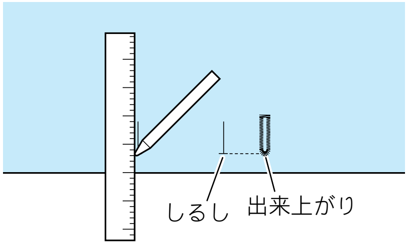
ボタン穴かがりは、図のように押えの手前から後ろに向かってぬいます。



お知らせ
ボタン穴かがりをするときは、ぬい目の長さや振り幅を確認するため、必ず試しぬいをしましょう。

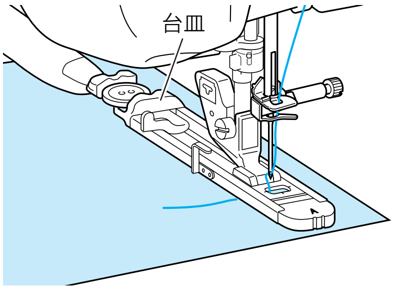
1 模様を選び（P.98 参照）、＜ A ＞押えを取り付けます。

2 穴かがりをしたい位置にしるしをつけます。



お知らせ
「ボタンの直径 + 厚み」が 28mm までの穴かがりができます。

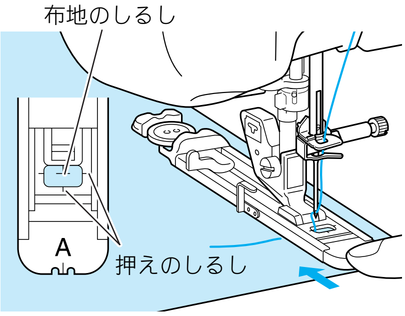
3 押えの台皿を引き出し、ボタンをのせてはさみます。



お知らせ
ボタンを入れる台皿によって、ボタン穴かがりの大きさが決まります。

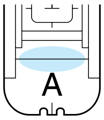
3 実用ぬい

4 指で押えを押しながら、布地につけたしるしに押えのしるしを合わせ、押えレバーを下げます。

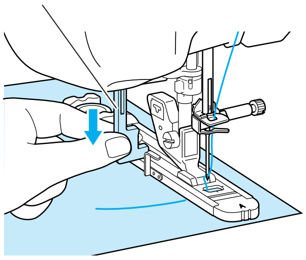


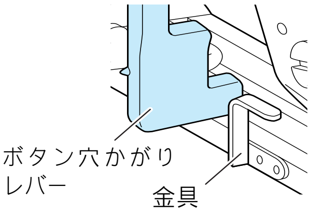
お願い

- 糸は押えの下を通してください。
- 水色で示された部分にすきまがなくなるまで、穴かがり押えの外枠を指で押してください。穴かがり押えが完全に押し込まれていないと、ボタン穴が正しいサイズになりません。



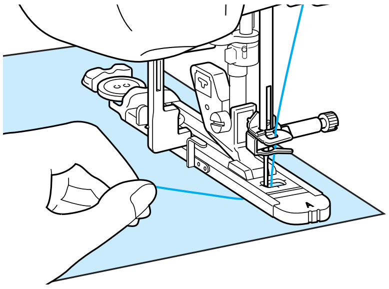
5 ボタン穴かがりレバーを下げます。図のようにレバーは金具の後ろ側に下げます。





6 上糸の端を軽く持ってぬい始めます。

- 布をゆっくり送りながら、ボタン穴ぬいを行ってください。

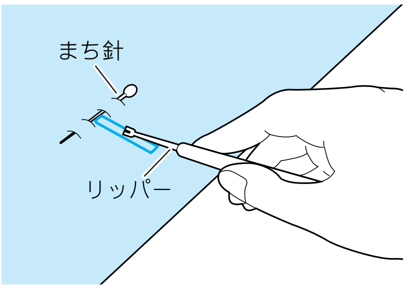


→ ぬい終わると自動的に止めぬいをして止まります。

お知らせ

あらかじめ自動糸切りを設定しておくと、ぬい終わりに止めぬいをしてから自動的に上糸と下糸の糸を切ります。厚みがあって布地が送られないときは、ぬい目を粗くしてください。

7 かんどめの内側にまち針をさし、リッパーでボタン穴の中央に切り込みを入れます。

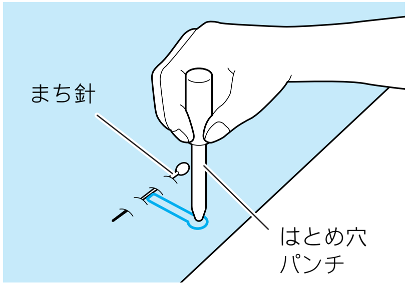


⚠ 注 意

リッパーで切り込みを入れるとき、ボタン穴の近くに手や指を置かないでください。すべったときにケガをするおそれがあります。
本来の使用目的以外での使用はしないでください。

お知らせ

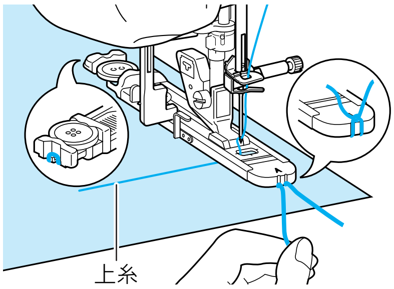
はとめ穴の場合は、付属のはとめ穴パンチで穴を開けてから、リッパーで切り込みを入れてください。あらかじめ布地の下に厚紙などを敷いてください。



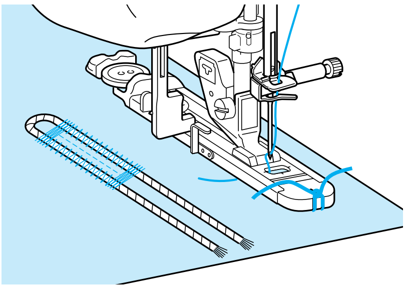
■ 伸びる布地をぬう場合

4-10 または 4-11 を選んで伸びる布地にボタン穴かがりをするときは、ボタン穴かがりに芯ひもを入れてください。

1 ＜Ａ＞押えの後部のつのに芯ひもをひっかけて、押えの下を手前に向かって平行に張ります。芯ひもの端は、押えの前部のミゾにはさんで仮結びします。

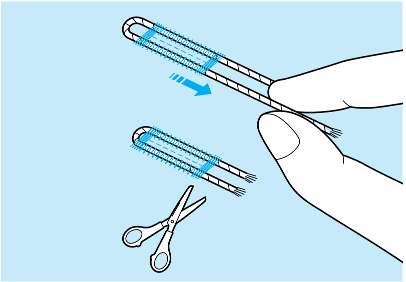


2 押えレバーを下げてぬい始めます。



お知らせ
振り幅は、芯ひもの幅に合わせて設定し、ボタン穴の幅は芯ひもの幅の 2 ～ 3 倍に設定します。

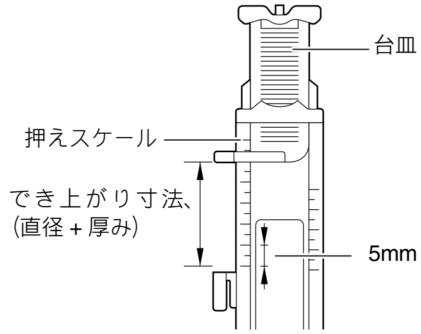
3 ぬい終わったら、芯ひもをぴんと張り、余分な部分を切り落とします。



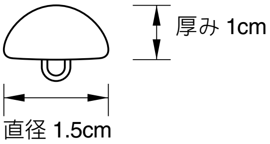
お知らせ
ボタン穴の中央線に沿って渡されている糸をリッパーで切り、糸端を切り取ってください。

■ ボタンが台皿にのらない場合

押えスケールの目盛りを使って、穴かがりの大きさを設定します。押えスケールは 1 目盛り 5mm です。
押えスケールの目盛りをボタンの直径 + 厚みの寸法に合わせてください。



例）　例）直径 1.5cm 厚み 1cm のボタンの場合、スケールを 2.5cm に合わせます。

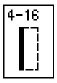
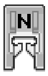
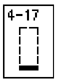
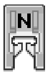
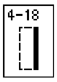
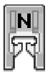
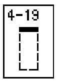
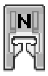


3
実用ぬい

4 ステップのボタン穴かがり

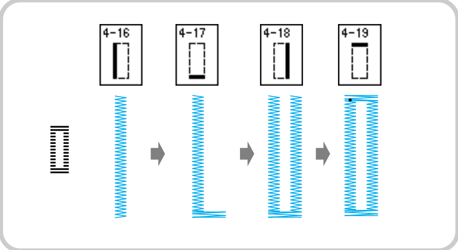
次の 4 種類のぬい目を使った 4 ステップ操作によるボタン穴かがりができます。4 ステップボタン穴かがりを使うと、ボタン穴の長さを自由に決めて穴かがりができるため、特大のボタンを付ける場合に便利です。

> **お願い**
> ボタン穴の左側の模様設定を変える場合は、他の設定もすべて同じように変える必要があります。

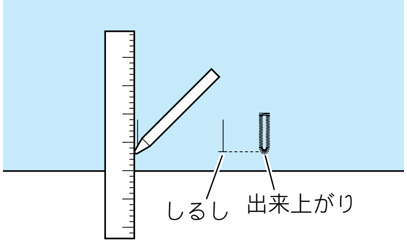
ぬい方	名前	押え	主な用途	ジグザグの振り幅 *		ぬい目の長さ *		2 本針 **
				自動	手動	自動	手動	
	**4** ステップボタン穴かがり ステップ **1**		4 ステップボタン穴かがりの左側をかがります。	**5.0**	1.5 - 7.0	**0.4**	0.2 - 1.0	×
	**4** ステップボタン穴かがり ステップ **2**		4 ステップボタン穴かがりのかんどめ部分をかがります。	**5.0**	1.5 - 7.0	**0.4**	0.2 - 1.0	×
	**4** ステップボタン穴かがり ステップ **3**		4 ステップボタン穴かがりの右側をかがります。	**5.0**	1.5 - 7.0	**0.4**	0.2 - 1.0	×
	**4** ステップボタン穴かがり ステップ **4**		4 ステップボタン穴かがりのかんどめ部分をかがります。	**5.0**	1.5 - 7.0	**0.4**	0.2 - 1.0	×

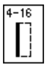
* — : 調節できません。** ○ : 使用できます。× : 使用できません。

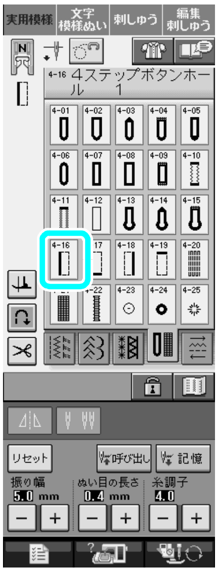
4 ステップのボタン穴かがりは、次の順序で行われます。



1 **ボタン穴かがりをしたい位置にしるしをつけます。**

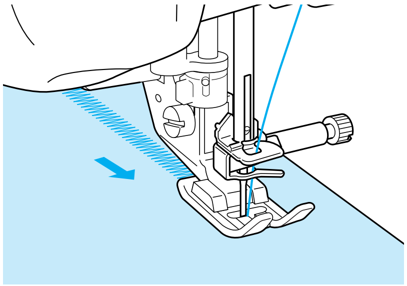


2  **を選んで、< N >押えを取り付けボタン穴の左側をぬいます。**



3 （スタート／ストップスイッチ）を押して穴かがりを始めます。

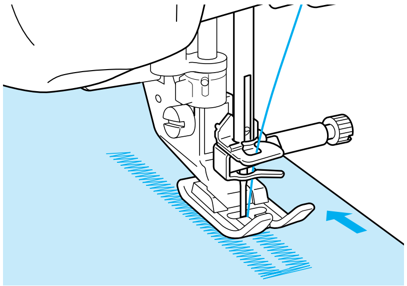
4 しるし付けをしたところまでぬい終わったら、（スタート／ストップスイッチ）をもう一度押します。



5 かんどめ部分の模様 4-17 を選んで、（スタート／ストップスイッチ）を押します。

→ かんどめ部をぬい終るとミシンは止まります。

6 ボタン穴の右側の模様 4-18 を選んで、（スタート／ストップスイッチ）を押します。



7 ボタン穴の右側をぬい、（スタート／ストップスイッチ）をもう一度押します。

- ボタン穴の右側を左側と同じ長さでぬいます。

8 かんどめ部分の模様 4-19 を選んで、（スタート／ストップスイッチ）を押します。

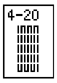
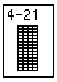
→ かんどめをぬい終わると、自動的に止まります。

9 押えを上げ、布を外します。

10 P.100 を参照して、ボタン穴に切り込みを入れてください。

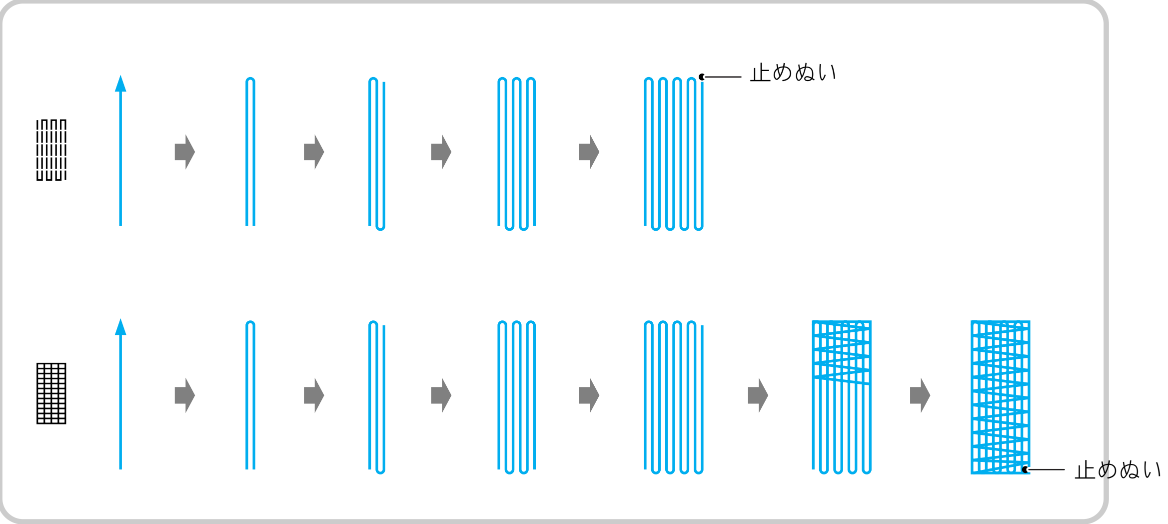
■ダーニング（つくろいぬい）

つくろいぬいなどに使います。

ぬい方	名前	押え	主な用途	ジグザグの振り幅 *		ぬい目の長さ *		2 本針 **
				自動	手動	自動	手動	
 4-20	ダーニング		普通地のつくろいぬいに使用します。	**7.0**	2.5 - 7.0	**2.0**	0.4 - 2.5	×
 4-21	ダーニング		厚地のつくろいぬいに使用します。	**7.0**	2.5 - 7.0	**2.0**	0.4 - 2.5	×

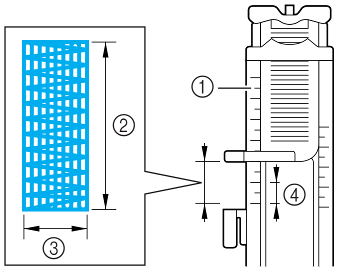
* —：調節できません。** ○：使用できます。×：使用できません。

ダーニングぬいは、図のように押えの手前から後ろに向かってぬいます。



1 **模様を選び、＜ A ＞押えを取り付けます。**

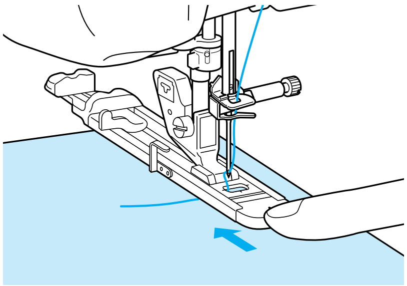
2 **押えスケールの目盛りを、つくろいぬいの長さに合わせます。**



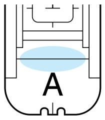
① 押えスケール
② でき上がり寸法
③ 7mm 幅
④ 5mm

お知らせ
最大 28mm のダーニングぬいができます。

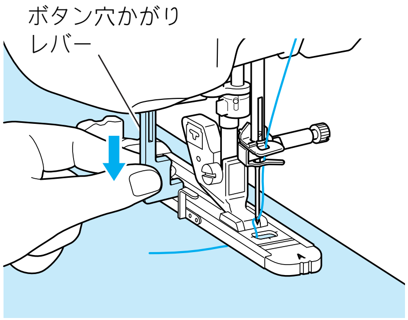
3 **つくろいぬいを始める位置に針が落ちることを確かめ、上糸を押え＜ A ＞の下に送り、押えを下げます。**

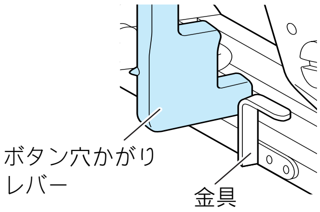


お願い
- 上糸は押えの下に入れてください。
- ＜ A ＞押えの水色で示された部分（下図参照）のすきまがなくなるまで、押えを押し込んでください。すき間があると、つくろいぬいの寸法が不正確になります。

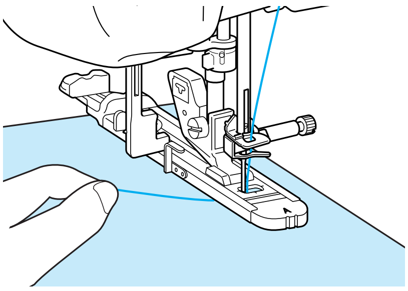


4 **図のように、ボタン穴かがりレバーを金具の後ろ側に下げます。**





5 **上糸の端を軽く引っ張って、(スタート／ストップスイッチ)を押し、ぬい始めます。**

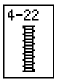


→ ぬい終わると自動的に止めぬいをして止まります。

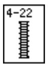
お知らせ
- あらかじめ自動糸切りを設定しておくと、ぬい終わりに止めぬいをしてから自動的に上糸と下糸の糸を切ります。
- 厚みがあって布地が送られないときは、ぬい目を粗くしてください。

かんどめ

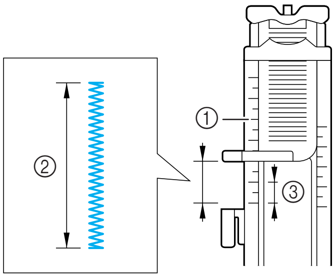
かんどめは、止めぬいの一種で、ポケット口やスリットのあき止まりなど、力のかかる部分を補強するときに使います。

ぬい方	名前	押え	主な用途	ジグザグの振り幅 *		ぬい目の長さ *		2 本針 **
				自動	手動	自動	手動	
	かんどめ		ぬい目がほどけやすい箇所やポケット口などのあき止まり部分の力の加わる部分を補強したい場合に用います。	**2.0**	1.0 - 3.0	**0.4**	0.3 - 1.0	×

* ― : 調節できません。** ○ : 使用できます。× : 使用できません。

1  **を選びます。**

2 **＜ A ＞押えを取り付け、目盛りをかんどめの長さに合わせます。**

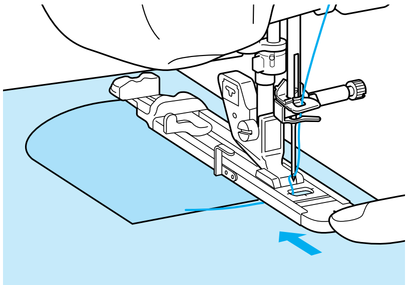


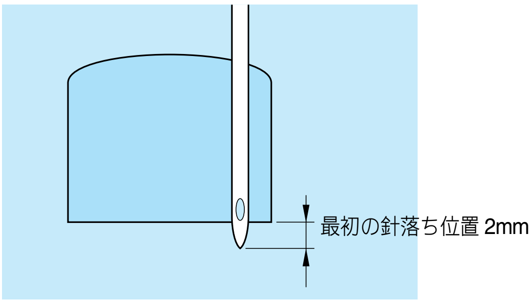
① 押えスケール
② でき上がり寸法
③ 5mm

お知らせ

かんどめの長さは、5mm から 28mm の範囲で設定できます。一般的な長さは、5mm から 10mm の範囲です。

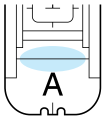
3 **ポケット口が手前にくるように布地を置きます。指で押えを押しながら、最初の針落ち位置を確認して押えレバーを下げます。**



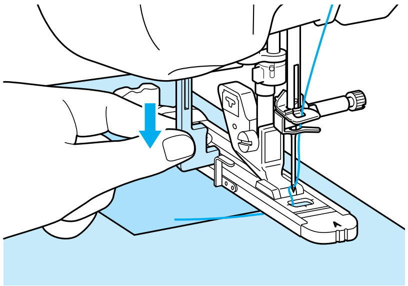


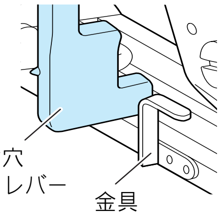
お願い

- 上糸は押えの下に入れてください。
- ＜ A ＞押えの水色で示された部分（下図参照）のすきまがなくなるまで、押えの外枠を押し込んでください。完全に押し込まれていないと、かんどめの寸法が不正確になります。

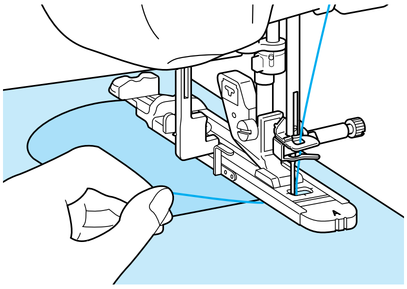


4 図のように、ボタン穴かがりレバーを金具の後ろ側に下げます。





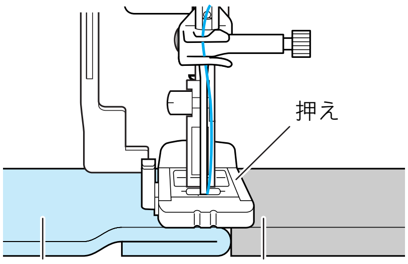
5 上糸の端を軽く引っ張ってぬい始めます。



→ ぬい終わると自動的に止めぬいをして止まります。

■ 厚地の場合

布または紙を折りたたんだものを押えの左側にはさんで、段差ができないようにしてください。

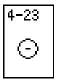
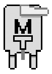


お知らせ

- あらかじめ自動糸切りを設定しておくと、ぬい終わりに止めぬいをしてから自動的に上糸と下糸の糸を切ります。
- 布の厚みで布地が進まないときはぬい目をあらくしてください。

ボタンつけ

このミシンではボタンつけができます。
ボタンつけできるのは、2 つ穴または 4 つ穴のボタンです。

ぬい方	名前	押え	主な用途	ジグザグの振り幅 *		ぬい目の長さ *		2 本針 **
				自動	手動	自動	手動	
 4-23	ボタンつけ		ボタンつけに使用します。	3.5	2.5 - 4.5	—	—	×

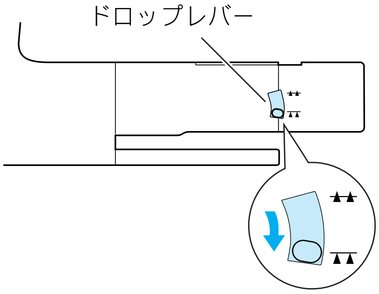
* — : 調節できません。** ○ : 使用できます。× : 使用できません。

お願い
ボタンつけをするときは自動糸切り機能を使用しないでください。糸の始末ができなくなります。

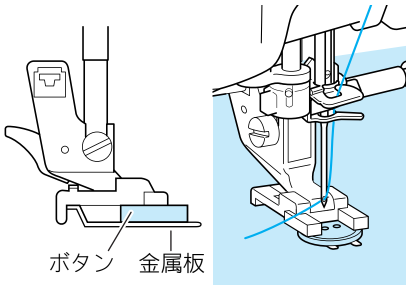
1 を選びます。

2 押えを上げ、補助テーブルを外します。

3 ドロップレバーを ▲▲ 位置に下げ、送り歯を下げます。



4 ＜ M ＞押えを取り付け、ボタンを押えにはさんで押えを下げます。



5 プーリーを回し、針がボタンに当たらずに左右のボタン穴に入ることを確かめます。

- 針が左側の穴に入らない場合は、ぬい目を調節してください。
- ボタン付けの操作を 2 回繰り返すと、ボタンがしっかり付きます。

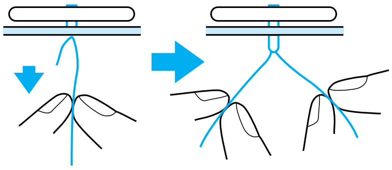
6 上糸の端を軽く持ってぬい始めます。

→ ぬい終るとミシンは自動的に止まります。

注 意

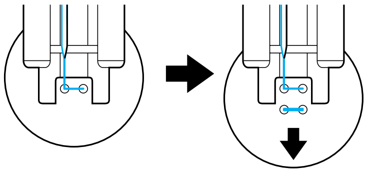
ぬうときには、ボタンに針が当たらないように注意してください。針が折れるとけがをするおそれがあります。

7 裏から下糸の端を引っ張って上糸を引き出し、2 回結び、余分な部分を切ります。



■ 4 つ穴ボタンをつけるときは

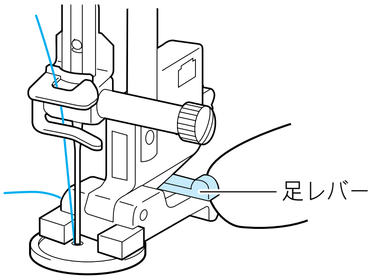
手前の 2 つの穴からボタンつけをします。ぬい終わったら押えを上げ、針が次の 2 つ穴に入るように布を手前に引き、ボタン付けをします。



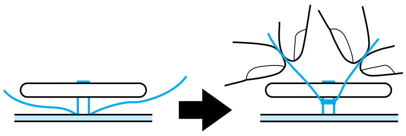
■ ボタン足をつけるときは

ボタンの付け根に足（糸足）を付けるときは、ボタンと布地の間にすき間をあけた状態でぬい、あとで手で巻き付けます。ボタンをしっかりと付けることができます。

1. **ボタン付け押え <M> にボタンを取り付けたら、足レバーを手前に押します。**



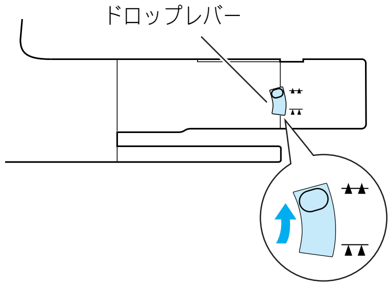
2. **ぬい終わったら、長めに上糸を切ります。足レバーをうしろに押した後、押えを上げてボタンが付けられた布地を引き出します。上糸を糸足に巻きつけてしっかり結びます。**



3. **ぬい始めとぬい終わりの下糸の両端を布地の裏側で結びます。**

お願い

ぬい終わったら、必ずドロップレバーを元の位置（上）に戻してください。



4. **余分な糸を切ります。**

アイレット

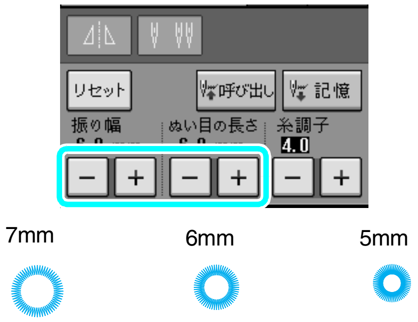
ベルトの穴かがりなどに使います。

ぬい方	名前	押え	主な用途	ジグザグの振り幅 *		ぬい目の長さ *		2 本針 **
				自動	手動	自動	手動	
4-24	アイレット	N	ベルトの調節用の穴をかがるときなどに使用します。普通地に使用します。	**7.0**	7.0 6.0 5.0	**7.0**	7.0 6.0 5.0)	×
4-25	アイレット	N	ベルトの調節用の穴をかがるときなどに使用します。厚地に使用します。	—	—	—	—	×

* — : 調節できません。 ** ○ : 使用できます。 × : 使用できません。

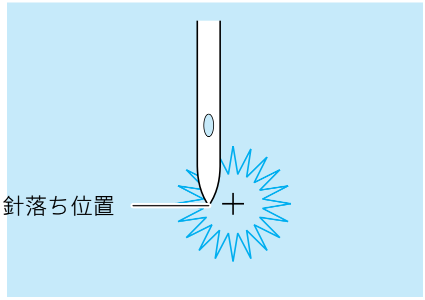
1 4-24 または 4-25 を選びます。

2 「振り幅」の − ＋ または「ぬい目の長さ」を使って、アイレットの大きさを選びます。



> **お願い**
> 4-25 (アイレット) で使える大きさは 1 つのみです。

3 < N >押えを取り付け、プーリーを回して針が落ちる位置を確認します。

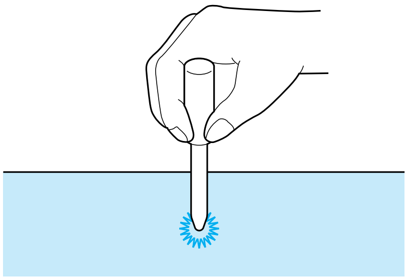


4 押えを下げてぬい始めます。

→ ぬい終わると自動的に止めぬいをして止まります。

> **お願い**
> きれいに仕上がらない場合は、調節を行ってください。(P.123 参照)

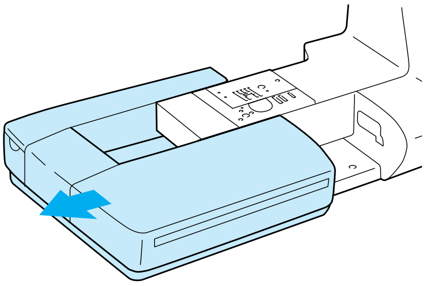
5 はとめ穴パンチで穴をあけます。



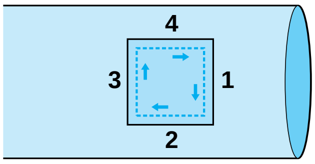
横送り（直線・ジグザグ）

袖やズボンなどの筒状の布地にワッペンなどをつける場合などに使います。

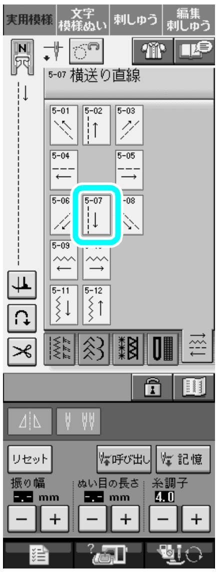
1 補助テーブルを外してフリーアームにします。



お知らせ
筒状の布地をフリーアームに通し、図のようにぬいます。

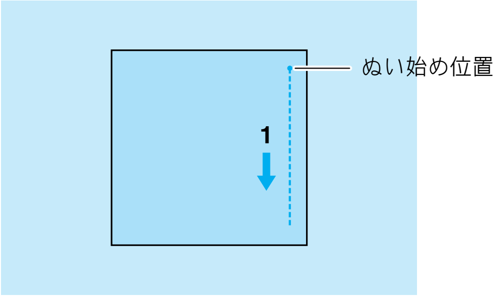


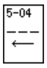
2 **を選び、＜ N ＞押えを取り付けます。**



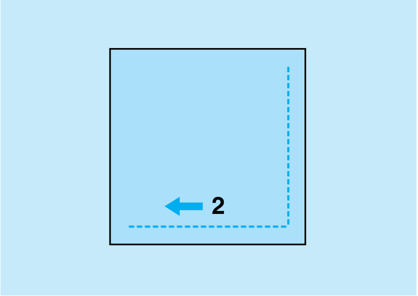
お知らせ
模様の詳細については、巻末の「ぬい方早見表」を参照してください。

3 ぬい始めの位置に針をさし、図のようにぬい目 1 をぬいます。

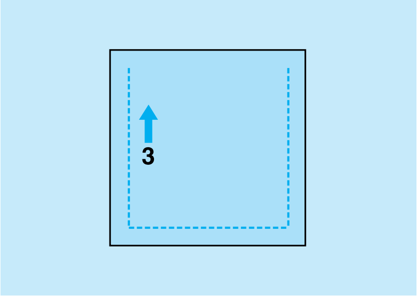


4  **を選び、図のようにぬい目 2 をぬいます。**

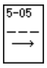
- 布地が曲がらないように手で軽く押さえながらぬってください。

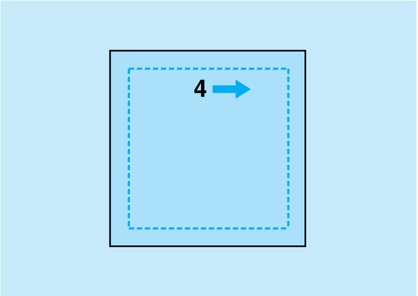


5 **を選び、図のようにぬい目 3 をぬいます。**



→ 布地は手前に送られます。

6  **を選び、図のようにぬい目 4 をぬいます。**



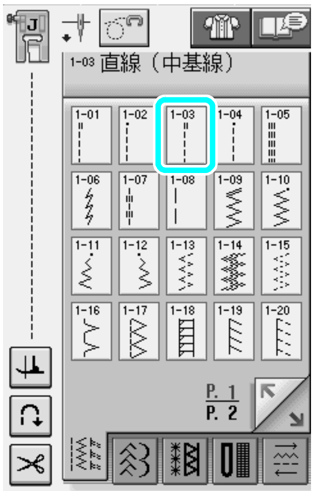
→ ぬい目 1 のぬい始めの位置までぬい進みます。

ファスナーつけ

■ つき合わせ

袋物などに使います。

1 を選びます。



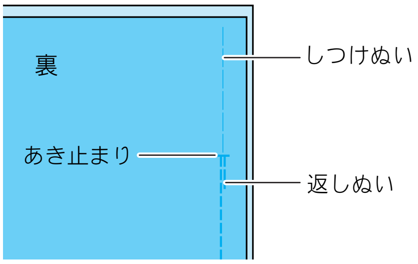
お知らせ

模様の詳細については、巻末の「ぬい方早見表」を参照してください。

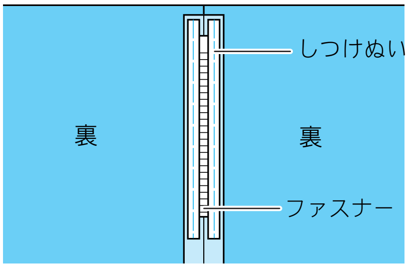
お願い

必ず直線（中基線）を選んでください。

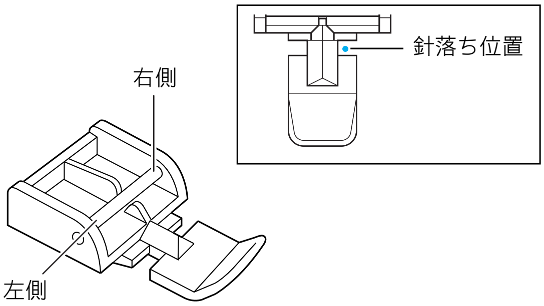
2 ＜ J ＞押えを取り付け、あき止まりまで直線でぬい、あきの部分はしつけぬいをかけます。（P.70 参照）



3 ぬいしろを割り、図のようにファスナーの中央とぬい目を合わせ、しつけぬいでファスナーを付けます。



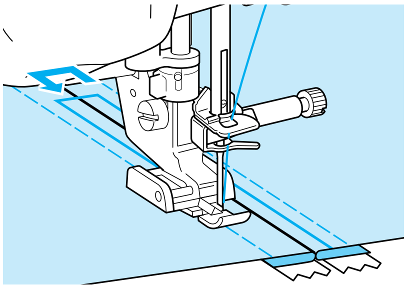
4 ＜ J ＞押えを外し、＜ I ＞押えの右側のピンを押えホルダーに合わせて取り付けます。



⚠ 注 意

＜ I ＞押えを使用するときは、必ず直線（中基線）を使用し、プーリーをゆっくりと手前に回して針が押えに当たらないことを確認してください。他の模様を選ぶと、針が押えに当たり、折れてけがをするおそれがあります。

5 表を上にして 0.7 ～ 1.0cm のぬいしろでぬい、ぬい終わったらしつけぬいを外します。



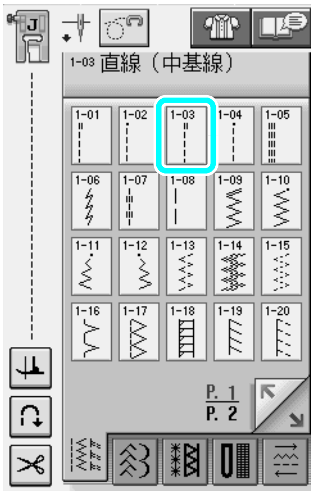
⚠ 注 意

ぬうときには、ファスナーに針が当たらないように注意してください。針が折れたり曲がったりするおそれがあります。

■ 脇あき

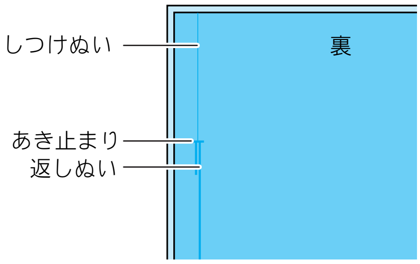
スカートやワンピースの脇あきに使います。

1 を選びます。

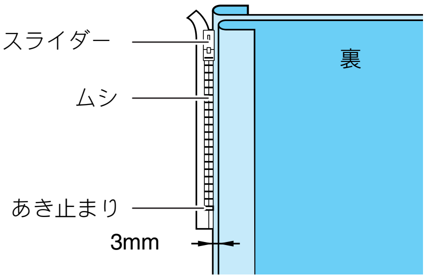


お願い
必ず直線（中基線）を選んでください。

2 ＜ J ＞押えを取り付け、あき止まりまで直線でぬい、あきの部分はしつけぬいをします。

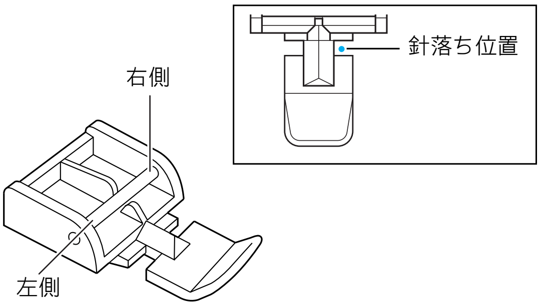


3 ぬいしろを割り、後ろスカート（後ろ身頃）のぬいしろを 3mm 出して折り山をファスナーのムシのきわに合わせます。



4 ＜ J ＞押えを外します。

5 ＜ I ＞押えの右側のピンを押えホルダーに合わせて取り付けます。



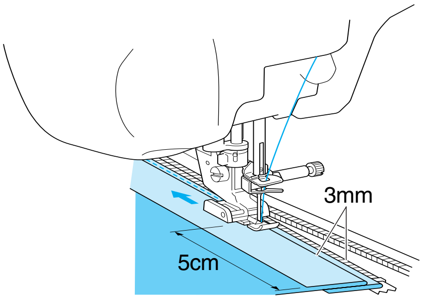
注 意

＜ I ＞押えを使用するときは、必ず直線（中基線）を使用し、プーリーをゆっくりと手前に回して針が押えに当たらないことを確認してください。他の模様を選ぶと、針が押えに当たり、折れたり曲がったりするおそれがあります。

6 3mm の幅の中心をあき止まりからぬいます。

7 ファスナーの先端から約5cmのところで一旦ミシンを止めます。

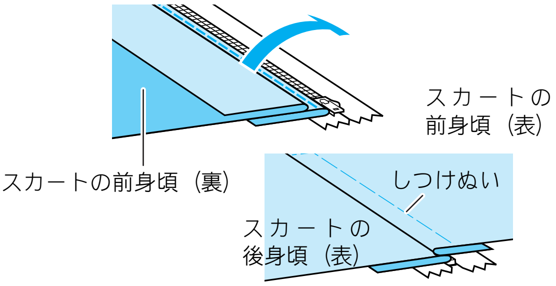
8 スライダーを下げ、端までぬいます。



注 意

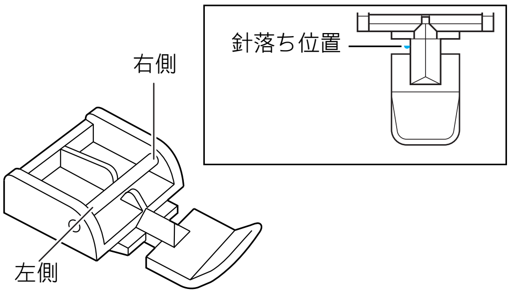
ぬうときには、ファスナーに針が当たらないように注意してください。針が折れたり曲がったりするおそれがあります。

9 **ファスナーを閉じて表に返し、しつけぬいをします。**



10 **押えを外し、押えの左側のピンを押えホルダーに合わせて付け替えます。**

- ファスナーの左側をぬうときには、針の位置は押えの右側、ファスナーの右側をぬうときには、針の位置は押えの左側に落ちるようにします。

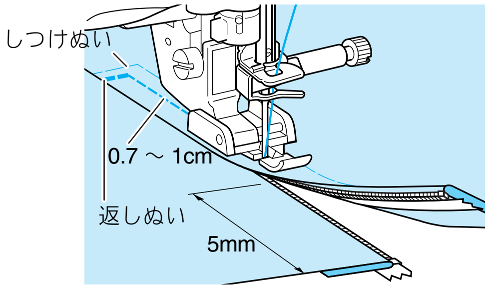


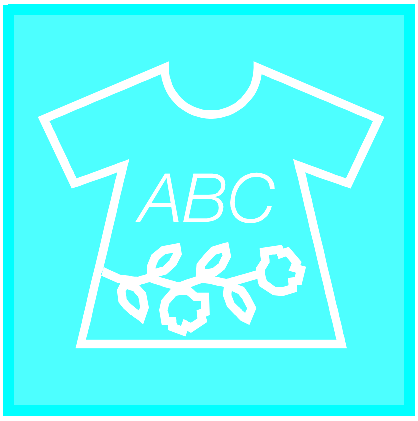
11 **押えの左端に、ファスナーのムシがくるように布を置きます。**

12 **ファスナーの端まで返しぬいをし、ぬい続けます。**

13 **布端から約5cmほど手前で針を落としたましつけぬいを外します。**

14 **スライダーを下げ、端までぬいます。**





第 4 章
文字・模様ぬい

模様の選び方..116

■ 模様選択画面..117
大型飾り模様／ 7mm 飾り模様／大型サテンステッチ／ 7mm サテンステッチ／クロスステッチ／実用飾り模様... 118
アルファベット..118
■ 文字を削除するには..................................119
ひらがな／カタカナ....................................119

文字・模様をぬってみましょう..........................122

きれいにぬうために....................................122
文字・模様のぬい方....................................122
模様の調整をする......................................123

模様の編集のしかた....................................125

■ キーのはたらき......................................125
模様の大きさを変える..................................126
模様の長さを変える （7mm サテンステッチのみ）..........127
模様を上下反転させる..................................127
模様を左右反転させる..................................127
模様の連続ぬい / 単独ぬい..............................127
模様の糸密度を変える （大型サテンステッチのみ）........128
横書き／縦書きを切り替える............................128
模様の始めに戻る......................................128
模様のイメージを確認する..............................129

模様の組み合わせ......................................130

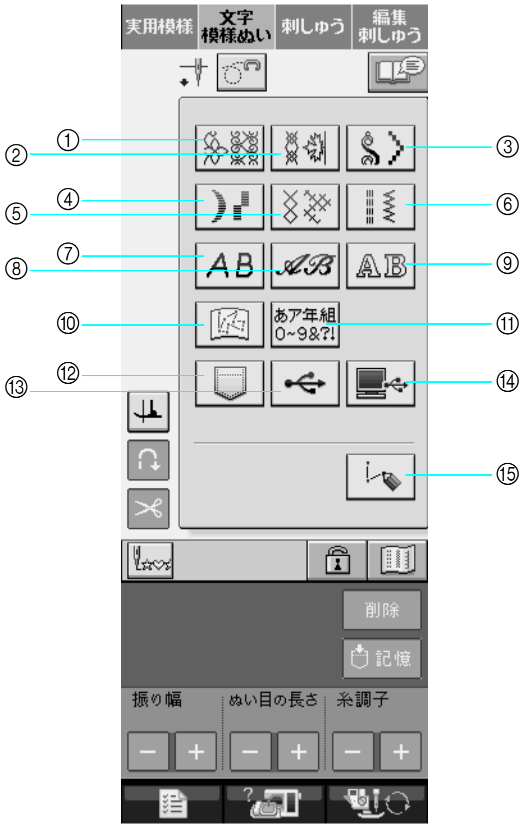
模様の組み合わせをする前に............................130
ちがう模様を組み合わせる..............................130
大きさを変えた模様を組み合わせる......................132
反転模様を組み合わせる................................132
長さを変えた模様を組み合わせる........................133
ステップ模様を作る （7mm サテンステッチのみ）..........134
■ その他の組み合わせ例................................135

模様の記憶..136

データに関する注意....................................136
■ 使用可能なデータの種類..............................136
■ 使用可能な USB デバイス／メディア....................136
■ 使用可能なパソコンの種類と OS........................137
■ パソコンでデータを作成・保存するときの注意..........137
模様を記憶する..138
■ 記憶できないときは..................................138
模様を市販の USB メディアに記憶する....................140
模様をパソコンに記憶する..............................141
模様を呼び出す..142
USB メディアから呼び出す..............................143
パソコンから呼び出す..................................144

模様の選び方

文字模様ぬい を押すと下の画面が表示されます。



① 大型飾り模様
② 7mm 飾り模様
ぬい目の長さと振り幅を設定できます。
③ 大型サテンステッチ
④ 7mm サテンステッチ
ぬい目の長さと振り幅を設定できます。
⑤ クロスステッチ
⑥ 実用飾り模様
⑦ アルファベット（ゴシック体）
⑧ アルファベット（筆記体）
⑨ アルファベット（アウトライン文字）
⑩ マイイラスト機能に保存した模様（P.228 参照）
⑪ ひらがな／カタカナ（P.119 参照）
⑫ 記憶した模様の呼び出し（P.142 参照）
⑬ USB メディアからの模様の呼び出し（P.143 参照）
⑭ パソコンからの模様の呼び出し（P.144 参照）
⑮ マイイラスト機能を使って模様を作るときに、このキーを押します。（P.222 参照）

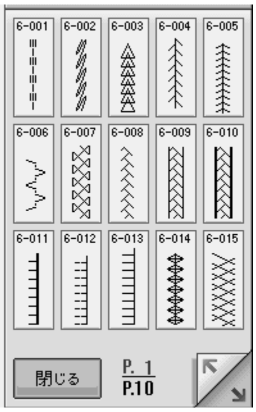
お願い

画面がロックされている（ ）ときは、 を押してロックを解除してください。画面がロックされていると、他のキーは操作できません。

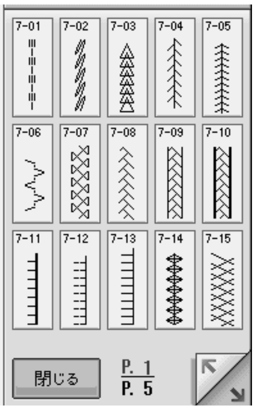
■ 模様選択画面

このミシンには、10 種類の文字・模様ぬいがあります。模様選択画面が複数ある場合は、 が表示されます。

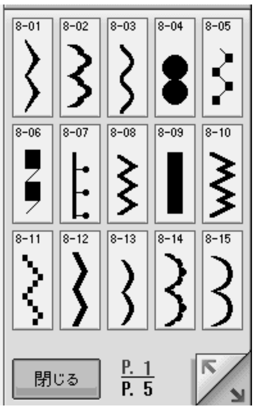
大型飾り模様



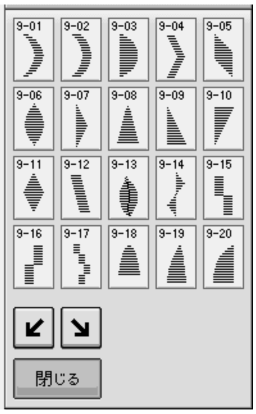
7mm 飾り模様



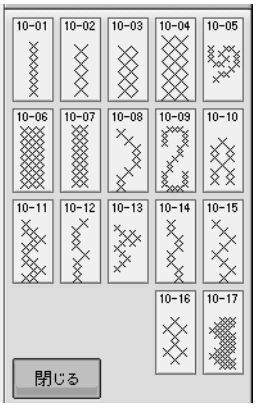
大型サテンステッチ



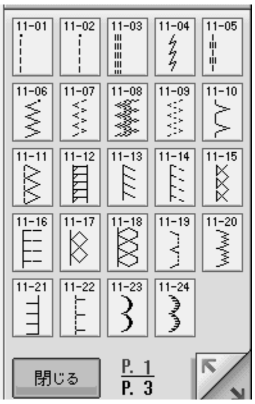
7mm サテンステッチ



クロスステッチ



実用飾り模様



アルファベット（ゴシック体）

アルファベット（筆記体）

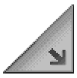
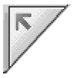
アルファベット（アウトライン文字）

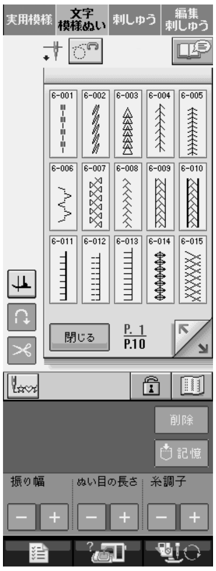
ひらがな / カタカナ

大型飾り模様／7mm 飾り模様／大型サテンステッチ／7mm サテンステッチ／クロスステッチ／実用飾り模様

1 お好みの模様の種類を選びます。

2 お好みの模様のキーを押します。

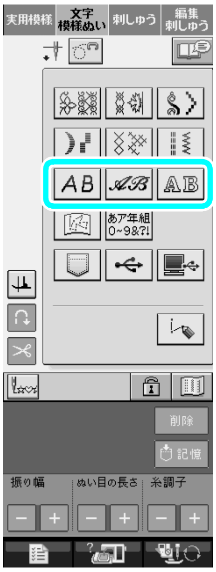
-  を押すと次のページが表示されます。
-  を押すと前のページが表示されます。
- 別の模様を選ぶときは、削除 を押します。模様が消えたら、新しい模様を選びます。



→ 選んだ模様が表示されます。

アルファベット

1 AB、𝒜ℬ、AB のいずれかを押して、書体を選びます。



2 ABC abc 0~9?! ÄÅä を押して、ぬいたい文字の画面を表示し、お好みの文字を入力します。

- 別の書体の文字を入力したい場合は、閉じる を押し **1** から操作を繰り返します。

お知らせ

アルファベット文字には 3 種類の書体があります。

■ 文字を削除するには

1 [削除] を押します。

→ 最後の文字が削除されます。

お知らせ
文字は、最後に入力されたものから順に削除されます。

2 正しい文字を選びます。

ひらがな／カタカナ

1 [文字模様ぬい] を押して [あア年組 0~9&?!] を選びます。

2 [あいう] [アイウ] [0~9 〇~九] [年組 &?!] を押してぬいたい文字の画面を表示し、文字を選びます。この操作を繰り返します。

- ひらがな・カタカナは上段のキーで「行」を選び、下段に表示された文字を選びます。
- まちがえて文字を選んだときは、[削除] を押して文字を取り消してから新しい文字を選んでください。
- [ ] を押すと選んだ文字の確認ができます。

4
文字・模様ぬい

例）「1 年 かとう」を選ぶには

1. [あア年組 0~9&?!] を押します。

2. [0~9 〇~九] を 押して、[1] を押します。

3. [年組 &?!] を押して、[年] を押します。

4. [ｽﾍﾟｰｽ]（スペース）を押します。

5. [あいう] を押します。

6 か行 を押して、か を押します。

7 た行 を押して、と を押します。

8 あ行 を押して、う を押します。

→「1年　かとう」が表示されます。

お知らせ

文字は70文字まで組み合わせることができます。

4

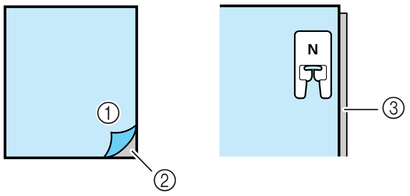
文字・模様ぬい

文字・模様をぬってみましょう

きれいにぬうために

きれいに文字模様をぬうために、布地・糸・針は以下の表を参照してください。

お願い
- 布地の種類や厚さ、接着芯の種類などによって、模様がくずれることがあります。必ず試しぬいをしてください。
- サテンステッチをぬうときは、ぬい縮みや目詰まりが起こすことがあるため、必ず接着芯を貼ってください。
- ぬうときには布地がずれないように、手を添えてぬってください。

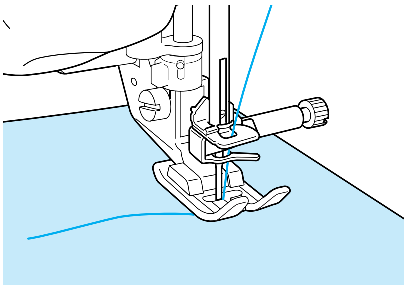
布地	伸びる布地、薄地、織りのあらい布地は、裏面に別売りの接着芯を貼ってください。接着芯を貼りたくないときは、ハトロン紙などの薄い紙を布地の下に敷いてぬってください。  ① 布地 ② 接着芯 ③ 薄い紙
糸	50 ～ 60 番
針	薄地、普通地、伸びる布地 : ゴールデン針 厚地 : 家庭用ミシン針（HA × 1）14 番
押え	＜ N ＞押え ＜ N ＞押え以外を使用すると、きれいに仕上がらないことがあります。

文字・模様のぬい方

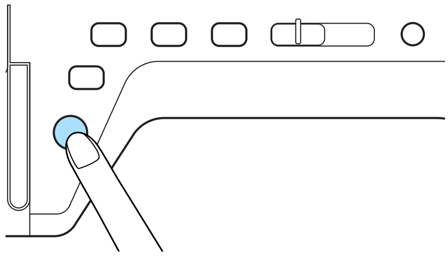
1 模様を選びます。

2 ＜ N ＞押えを取り付けます。

3 布地を押えの下に置き、上糸を押えの下から横に出して押えレバーを下げます。



4 (スタート／ストップスイッチ) を押してぬい始めます。



⚠ 注 意

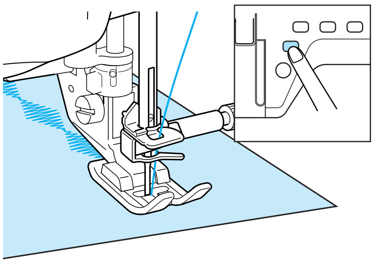
7mm サテンステッチを使った模様などでぬい目が詰まる場合は、ぬい目の長さをあらくしてください。ぬい目が詰まった状態で無理にぬい続けると、針が折れたり曲がったりするおそれがあります。(P.53「ぬい目の長さを調節する」参照)

お知らせ

ぬっている途中で布地を引っ張ったり押さえたりすると、模様がくずれるおそれがあります。また、模様によっては前後に加え、左右にも動くため、布地がまっすぐ送られるように布を軽く押さえながらぬってください。

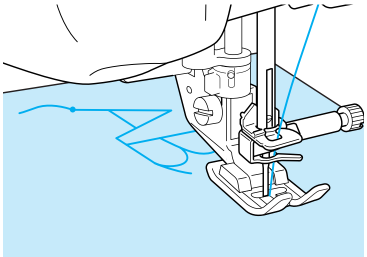
5 (スタート／ストップスイッチ)を押して、ミシンを止めます。

6 (返しぬい／止めぬいスイッチ)を押して、止めぬいをします。

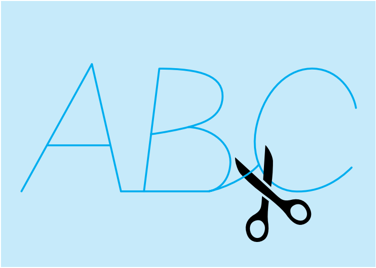


お知らせ

- 文字ぬいの場合は、ぬい始めとぬい終わりに自動的に止めぬいをします。



- ぬい終わったら、余分な糸（渡り糸）を切り取ります。



お願い

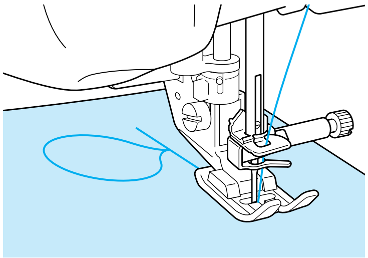
選択した模様によっては針が上に停止したまま布地を送ります。そのとき、縫製音とは異なった音がしますが故障ではありません。

模様の調整をする

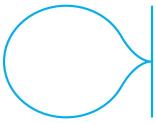
布地の種類、厚さ、接着芯の種類、ぬう速さなどによっては、模様がくずれる場合があります。模様がくずれた場合は、実際にぬうときと同じ条件で試しぬいをし、次のように調整してください。6-133 で模様の調整を行っても、模様がくずれる場合は、個々の模様で調整を行ってください。

1 を押して、大型飾り模様の P.10 の 6-133 を選びます。

2 ＜ N ＞押えを取り付け、模様をぬいます。



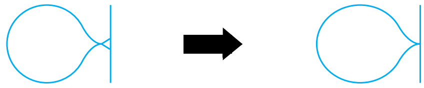
3 ぬい上がりを次頁の正しい模様と比較してください。



4 を押し、「模様調整たて」または「模様調整よこ」を使って模様を調整します。

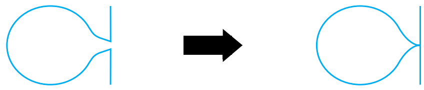
- 模様がつまっているとき：
  「模様調整たて」の ＋ を押します。

→ このキーを押すごとに表示値が大きくなり、模様が伸びます。



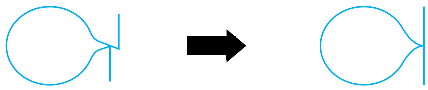
- 模様にすきまがあるとき：
  「模様調整たて」の − を押します。

→ このキーを押すごとに表示値が小さくなり、模様がつまります。



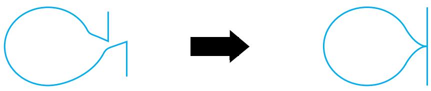
- 模様が左にずれているとき：
  「模様調整よこ」の ＋ を押します。

→ このキーを押すごとに表示値が大きくなり、模様が右にずれます。



- 模様が右にずれているとき：
  「模様調整よこ」の − を押します。

→ このキーを押すごとに表示値が小さくなり、模様が左にずれます。



5 もう一度ぬいます。

- 模様がくずれている場合はもう一度調整します。正しい模様がぬえるようになるまで調整してください。

お知らせ
設定画面のままぬうことができます。

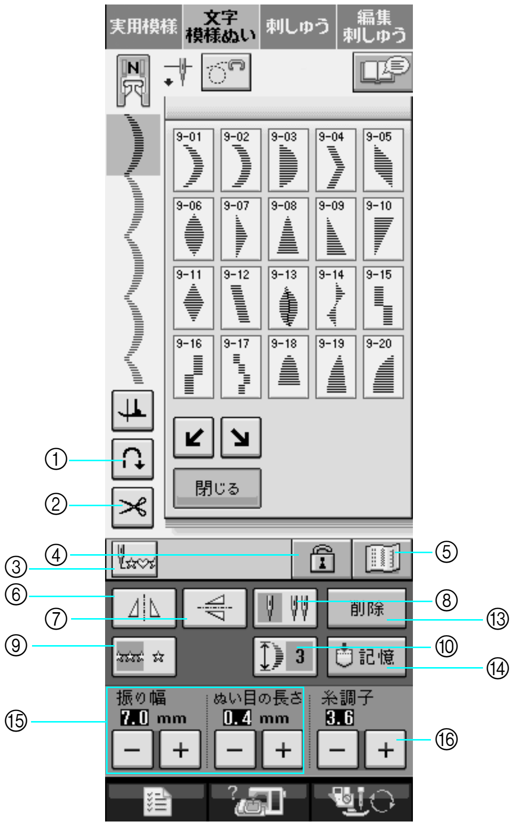
6 正しい模様がぬえるようになったら、調節を終わります。閉じる を押して、元の画面に戻ります。

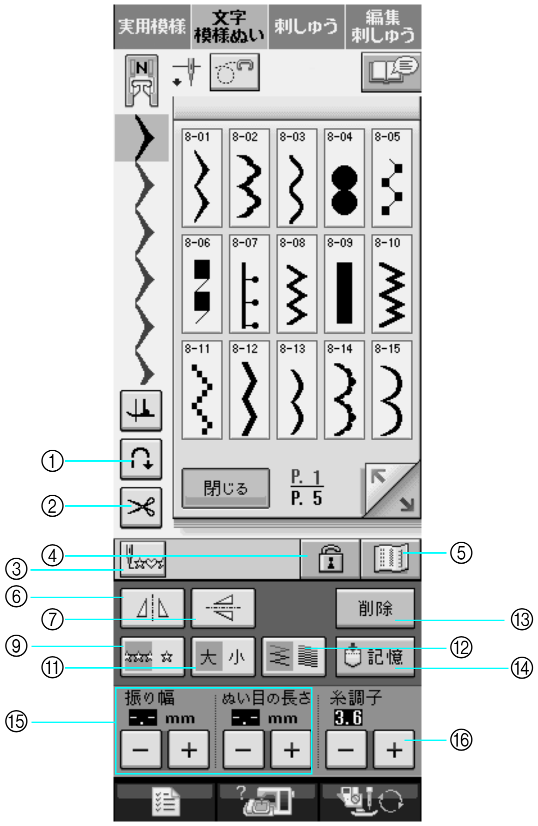
模様の編集のしかた

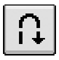
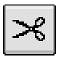
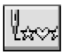
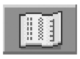
■ キーのはたらき

模様の編集機能を使って、模様の大きさを変えたり、模様を反転させることができます。

> **お願い**
> 模様の種類によっては、編集機能が使えないものもあります。使用できる機能は、模様を選んだときに表示されます。





No.	画面表示	名称	はたらき	参照ページ
①		自動止めぬいキー	自動止めぬい機能を有効にするときに押します。	55
②		自動糸切りキー	自動糸切り機能を有効にするときに押します。	56
③		模様の頭出しキー	停止時に押すと、縫製中の模様を先頭に戻すことができます。	128
④		画面ロックキー	画面をロックするときに押します。画面をロックすると、振り幅やぬい目の長さなどの各設定がロック（固定）されます。もう一度押すと、解除されます。	59
⑤		イメージキー	大きな組み合わせ模様を確認するときに押します。	129
⑥		左右反転キー	模様を選んでから押すと、模様が左右に反転します。	127
⑦		上下反転キー	模様を選んでから押すと、模様が上下に反転します。	127
⑧		2 本針キー	1 本針と 2 本針の切り替えをします。	39

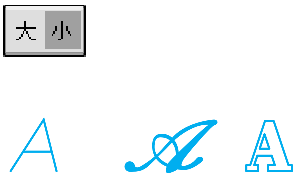
No.	画面表示	名称	はたらき	参照ページ
⑨	☆☆☆ ☆	連続／単独ぬいキー	単独ぬいと連続ぬいの切り替えをします。	127
⑩	3	模様の長さキー	7mm サテンステッチの模様を選んでから押すと、ジグザグの振り幅・ぬい目の長さを変えずに、模様の長さを 5 段階から選ぶことができます。	127
⑪	大 小	大きさキー	模様を選んでから押すと、模様の大きさが変わります。（大／小）	126
⑫		糸密度キー	模様を選んでから押すと、模様の糸密度が変わります。	128
⑬	削除	削除キー	間違えて模様を選んだときに押すと、選んだ模様を取り消します。模様の組み合わせを間違えた場合も、このキーを使って模様を取り消します。	118, 119
⑭	記憶	記憶キー	組み合わせた模様を記憶することができます。	138-139
⑮	振り幅 0.0 mm − + ぬい目の長さ 2.5 mm − +	ぬい目調節キー	選択した模様の振り幅とぬい目の長さを示します。通常は自動的に標準の値が設定されています。	53-54
⑯	糸調子 3.6 − +	糸調子キー	選択された模様の糸調子を示します。通常は自動的に標準の値が設定されています。	54
−	横 縦	よこたてキー	ひらがな / カタカナを選んでから押すと、横書き / 縦書きが切り替わります。	128

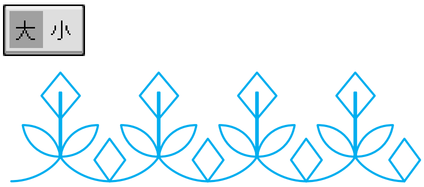
模様の大きさを変える

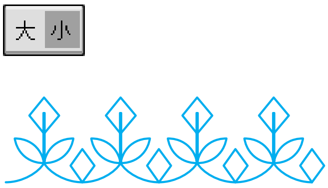
模様を選んでから 大 小 を押し、模様の大きさを変えます。反転表示されている大きさで模様ぬいが行われます。

お知らせ
- 続けて別の模様を選んだ場合も、模様の大きさは変わりません。
- 文字や模様を組み合わせた後で、まとめて大きさを変えることはできません。

実物大

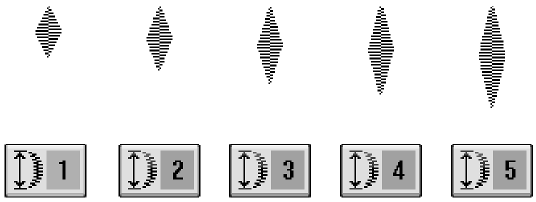






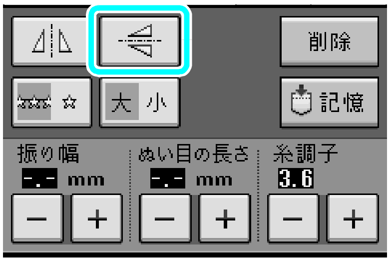
模様の長さを変える（7mm サテンステッチのみ）

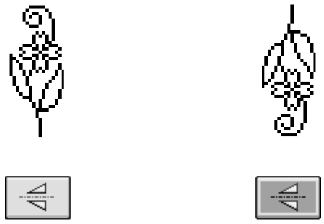
7mm サテンステッチの模様を選んだ後、 を押すと、ジグザグの振り幅・ぬい目の長さを変えずに、模様の長さを 5 種類から選べます。



模様を上下反転させる

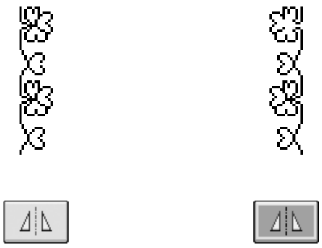
上下反転した模様を作るときは、模様を選んでから を押します。





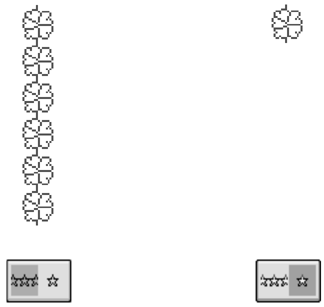
模様を左右反転させる

左右反転した模様を作るときは、模様を選んでから を押します。



模様の連続ぬい / 単独ぬい

 を押して、連続ぬい／単独ぬいを切り替えます。

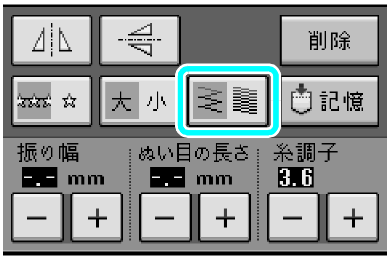


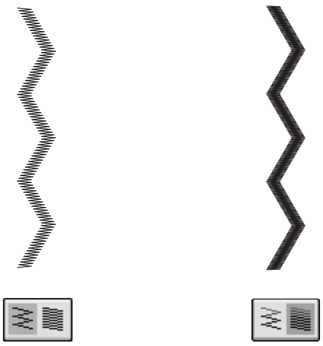
お知らせ

ぬっている途中で を押すと、そのときぬっていた模様を 1 サイクル分ぬって自動的に止まります。

模様の糸密度を変える（大型サテンステッチのみ）

模様を選んでから を押して、お好みの糸密度を選びます。





注 意

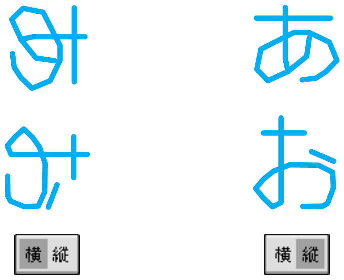
糸密度を に変えた後、ぬい目が詰まる場合は、糸密度を に戻してください。ぬい目が詰まった状態で無理にぬい続けると、針が折れたり曲がったりするおそれがあります。

お知らせ

- 糸密度を変えた後で新しい模様を選んでも、糸密度の設定を変えるまで糸密度は変わりません。
- 模様を組み合わせた後で、まとめて糸密度を変えることはできません。

横書き／縦書きを切り替える

 を押すと、ひらがな／カタカナの、横書き／縦書きが切り替わります。



模様の始めに戻る

文字・飾り模様の場合、試しぬいの後、または模様が正しくぬわれていないときには模様の始めに戻ることができます。

1. **（スタート／ストップスイッチ）を押して、ミシンを止めてから、 を押します。**

→ ミシンを止めた位置から、選択された模様のぬい始めの位置（上の例では、「W」）に戻ります。

お知らせ

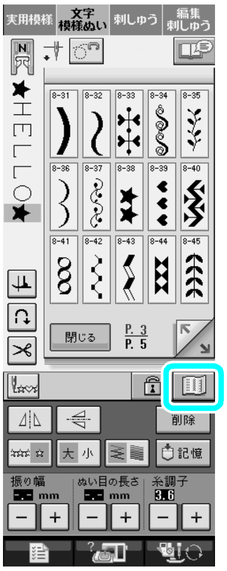
ミシンの停止中に、模様のキーを押した場合は、組み合わせ模様の最後に模様が追加されます。（下の例では、「!」が追加されています。）

2. **（スタート／ストップスイッチ）を押して、続行します。**

模様のイメージを確認する

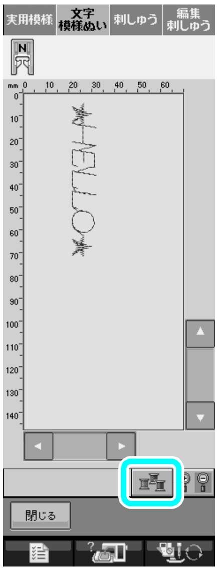
選択した模様のイメージを実寸で表示することができます。イメージの色を画面で確認し、変更することもできます。

1 を押します。



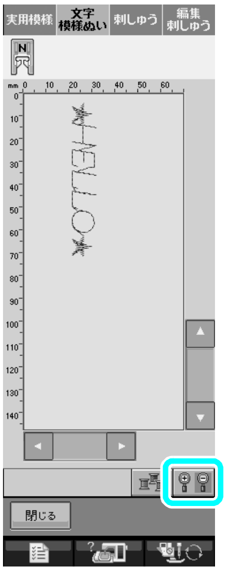
→ 選択した模様のイメージが表示されます。

2 を押すと、糸の色が変わります。

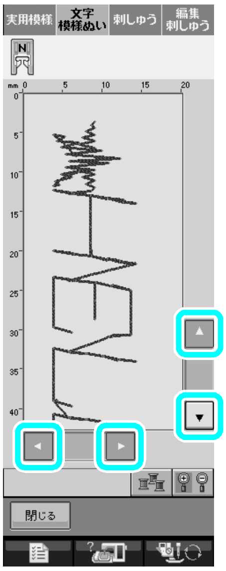


→ このスイッチを押すたびに色が変わります。

3 を押すとイメージが拡大します。



4 表示エリアからはみ出している部分を見るには、▲ ▼ ◀ ▶ を押します。



5 閉じる を押すと、元の画面に戻ります。

お知らせ
押え記号が表示されているときは、この画面から文字・模様ぬいを行うこともできます。

4 文字・模様ぬい

模様の組み合わせ

文字、サテンステッチ、クロスステッチ、飾り模様など模様を組み合わせると使い方が広がります。ちがう種類の模様を組み合わせたり、大きさを変えて組み合わせたり、反転模様を組み合わせたり、いろいろな組み合わせを楽しんでください。

模様の組み合わせをする前に

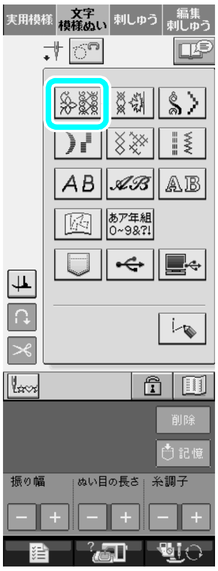
模様は組み合わせをすると自動的に単独ぬいになります。組み合わせた模様を連続ぬいにしたい場合は、模様を組み合わせた後、☆☆☆ ☆ を押してください。

模様を組み合わせた後で、まとめて大きさを変えたり、反転させたりすることはできません。大きさを変えたり、反転させたりしたい場合は、 1 模様ごとに設定をして組み合わせてください。

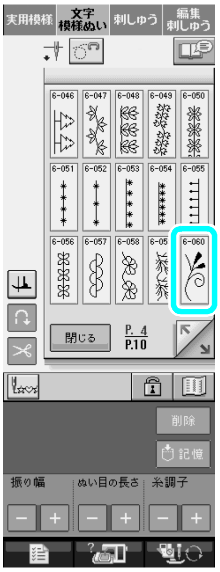
ちがう模様を組み合わせる

例：

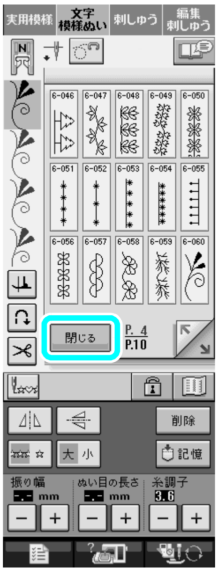
❶ を押します。



❷ 6-060 を選びます。

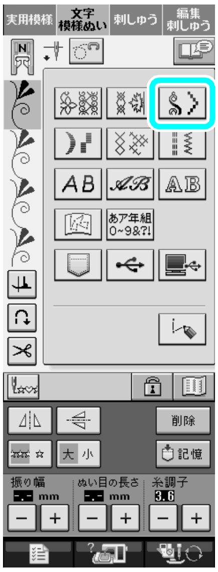


❸ 閉じる を押します。

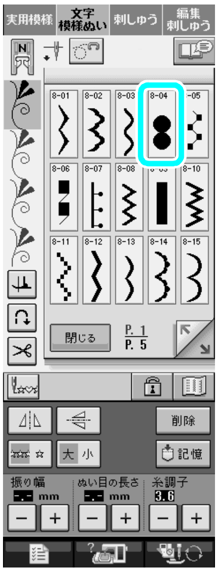


→ 模様の種類を選択する画面に戻ります。

4 を押します。



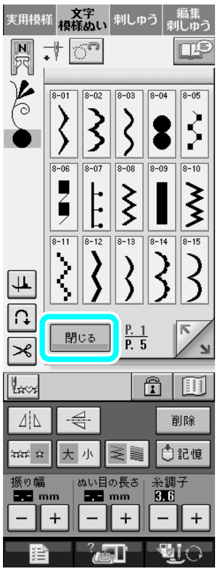
5 8-04 を選びます。



6 連続ぬいにしたいときは、 を押します。

- を押すと、模様の仕上がりを確認できます（P.129 参照）。

7 閉じる を押します。



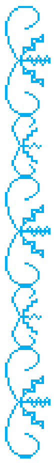
お知らせ

模様を取り消したいときは、 削除 を押すと最後に選んだ模様から 1 つずつ順番に取り消されます。

4 文字・模様ぬい

大きさを変えた模様を組み合わせる

例：



❶

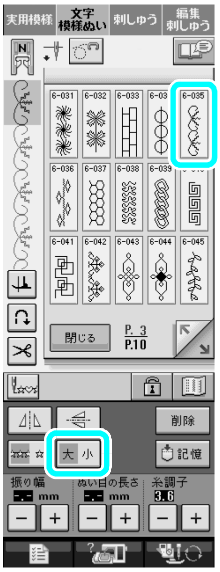
を選びます。

→ 模様が大きく表示されます。

❷ もう一度

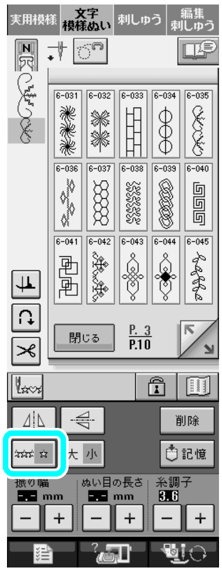
を選び、

を押します。



→ 模様が小さく表示されます。

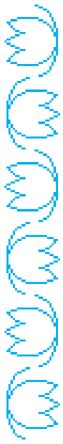
❸ 連続ぬいにしたいときは、 を押します。



→ 模様が連続表示に変わります。

反転模様を組み合わせる

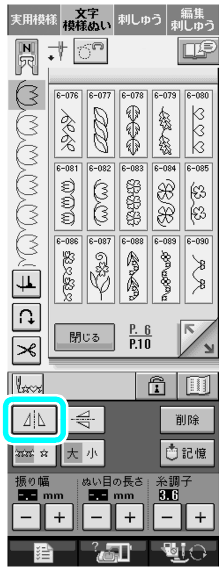
例：



❶

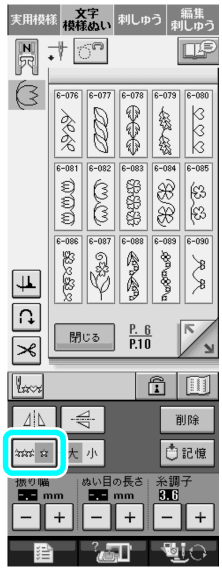
を選びます。

2 もう一度 6-082 を選び、 を押します。



→ 模様が左右反転します。

3 を押します。



→ 模様が連続表示に変わります。

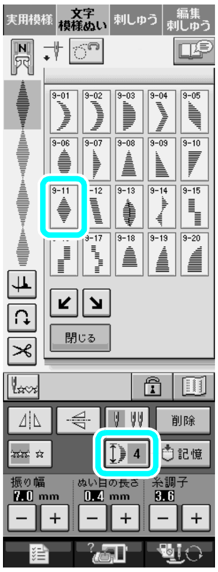
長さを変えた模様を組み合わせる

例：

1 9-11 を選び、 3 を 1 回押します。

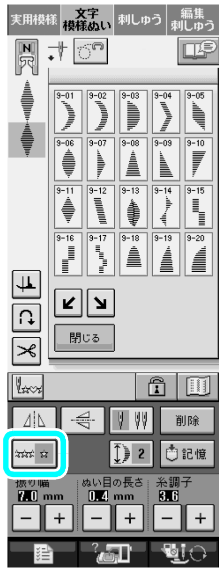
→ 模様の長さが 4 に設定されます。

2 もう一度 9-11 を選び、 4 を 3 回押します。



→ 模様の長さが 2 に設定されます。

3 を押します。



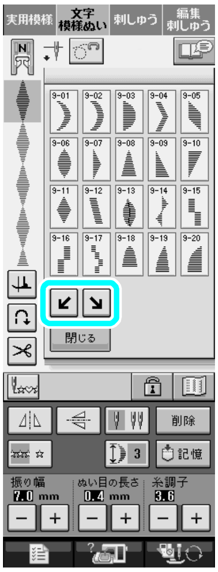
→ 模様が連続表示に変わります。

ステップ模様を作る（7mm サテンステッチのみ）

模様の位置がステップ状になった模様を、ステップ模様といいます。

7mm サテンステッチでは、 を使ってステップ模様を作ることができます。

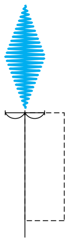
- を 1 回押すと、模様の幅の半分の長さ分、左に移動します。
- を 1 回押すと、模様の幅の半分の長さ分、右に移動します。



例：

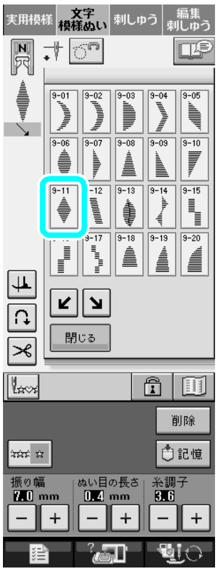
1 9-11 を選びます。

2 を押します。

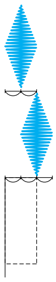


→ 次の模様が右に移動します。

3 9-11 をもう一度選びます。

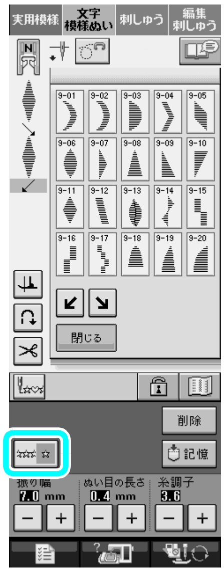


4 を押します。



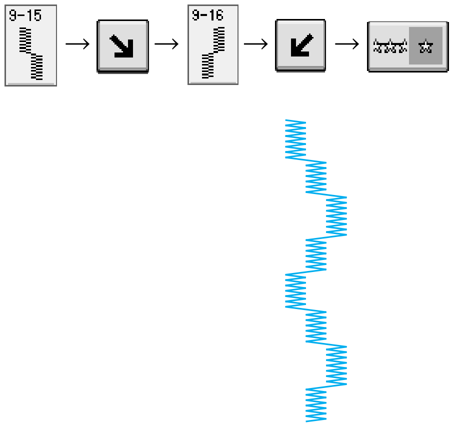
→ 次の模様が左に移動します。

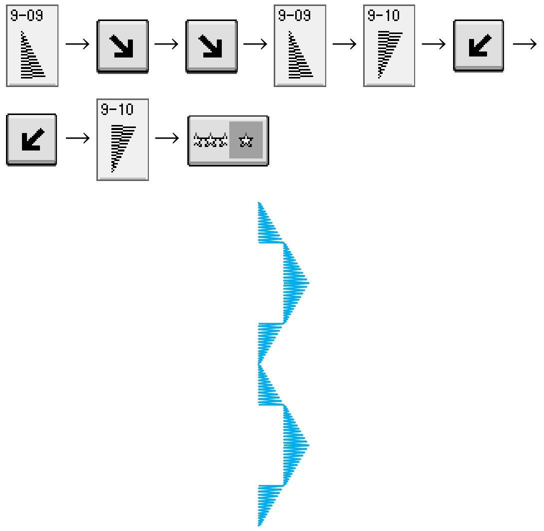
5 を押します。

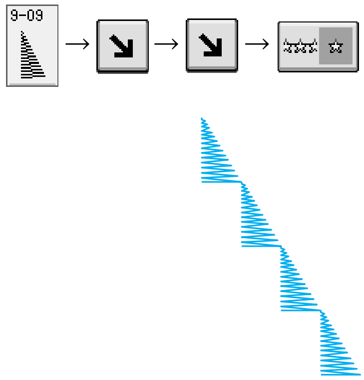


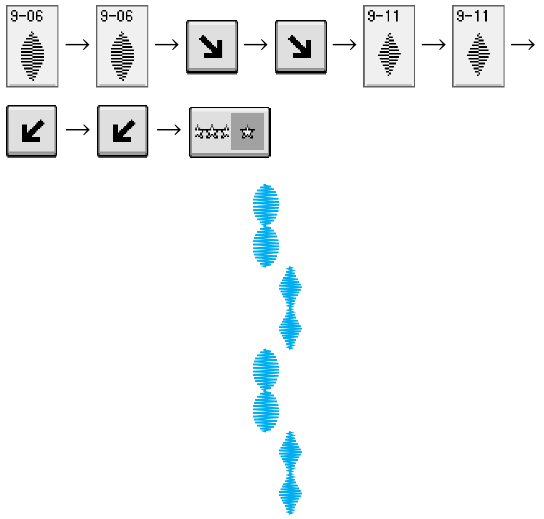
→ 模様が連続表示に変わります。

■ その他の組み合わせ例









模様の記憶

データに関する注意

このミシンで作成・記憶した以外のデータを扱うときは、以下の点に注意してください。

■ 使用可能なデータの種類

- このミシンで扱えるデータは .pmu ファイルのみです。
- 当社正規のデータ作成装置またはミシンで作成された模様以外のデータを扱うと、ミシンが誤作動するおそれがあります。

■ 使用可能な USB デバイス／メディア

模様データは、USB メディアに記憶し、呼び出すことができます。次の仕様を満たすメディアを使用してください。

- USB フロッピーディスクドライブ
- USB フラッシュドライブ（USB フラッシュメモリー）

呼び出しのみが可能な模様データ

- USB CD-ROM、CD-R、CD-RW ドライブ

次の USB メディアを USB メモリーカードリーダー／ライターとともに使うこともできます。

- SD メモリーカード
- コンパクトフラッシュ
- メモリースティック
- スマートメディア
- マルチメディアカード（MMC）
- XD ピクチャーカード

お願い

- 一部の USB メディアは、このミシンで使用できない場合があります。詳細は、ブラザーのホームページ (http://www.brother.co.jp) をご覧ください。
- USB デバイス／メディアの挿入後、アクセスランプが点滅を始めます。デバイス／メディアの認識に、5 ～ 6 秒かかります。（この時間は USB デバイス／メディアによって異なります）。

- フォルダを作成する場合は、パソコンを使用してください。

■ 使用可能なパソコンの種類と OS

- OS
  Microsoft Windows 98SE/Me/2000/XP
  Windows 98SE の場合、ドライバが必要です。ブラザーのホームページ (http://www.brother.co.jp) からダウンロードできます。

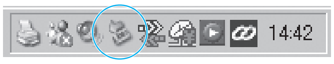
■ パソコンでデータを作成・保存するときの注意

- データのファイル名は半角英数字を使用してください。他の文字を使用すると、模様が表示されないことがあります。
- リムーバブルディスクにはフォルダを作成しないでください。フォルダを作成し、フォルダ内にデータを記憶した場合、ミシンで模様データを表示することはできません。

お知らせ
本取扱説明書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。ただし、本文中には ® および ™ 等のマークは明記しておりません。

注 意

USB ケーブルを外す場合
USB ケーブルを外す前に、Windows Me/2000 では、タスクバーの「ハードウェアの取り外し」アイコンを、Windows XP では、タスクバーの「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックします。これで、リムーバブルディスクを安全に外し、パソコンまたはミシンから USB ケーブルを取り外すことができます。



Windows 98SE の場合は、パソコンとミシンから USB ケーブルを取り外す前に、アクセスランプが点滅していないことを確認してください。

模様を記憶する

自分の名前など、よく使う名前や言葉、組み合わせ模様を、ミシンのメモリに記憶させることができます。メモリに記憶させることができる模様は、20 組までです。

お願い

「記憶中」のメッセージが表示されているときは、電源スイッチを切らないでください。記憶されている模様データが消えるおそれがあります。

お知らせ

- 記憶するのに数秒かかります。
- 記憶した文字・模様を呼び出すときは、P.142 を参照してください。

1 記憶 を押します。

2 を押します。

- 閉じる を押すと、記憶せずに元の画面に戻ります。

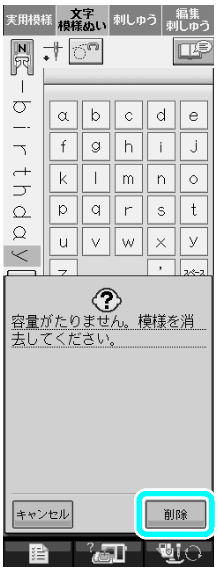
→「記憶中」のメッセージが表示されます。模様が記憶されると、自動的に元の画面に戻ります。

■ 記憶できないときは

模様をメモリに記憶させようとしたときに下の画面が表示されたときは、メモリの容量が不足し、模様を記憶できません。模様をメモリに保存するには、すでに保存されている模様を削除する必要があります。

1 削除 を押します。

- キャンセル を押すと、記憶せずに元の画面に戻ります。



❷ 消去する模様を選びます。

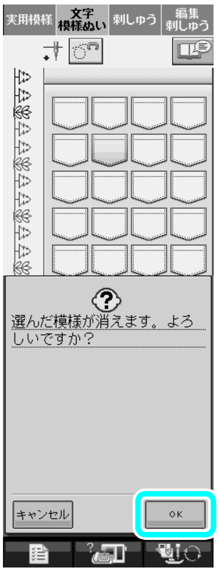
- ［ポケット］を押すと、そのポケットの中に記憶されている模様が表示されます。
- 模様を消去しない場合は 閉じる を押します。

❸ 削除 を押します。

→ 確認のメッセージが表示されます。

❹ OK を押します。

- 消去したくない場合は、キャンセル を押します。



→ 選んだ模様が消去され、新しい模様が自動的に記憶されます。

4 文字・模様ぬい

模様を市販の USB メディアに記憶する

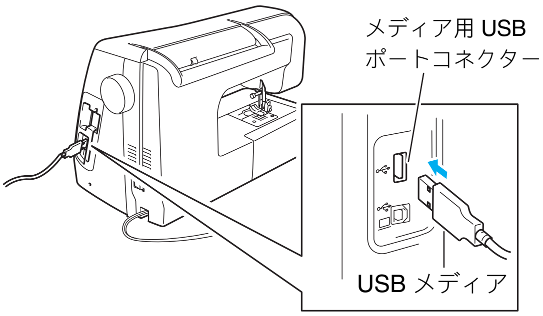
模様をミシンから USB メディアに送るときには、USB メディアのプラグをミシンの USB ポートに差し込みます。USB メディアの種類によって、ミシンの USB ポートに直接差し込むか、ミシンの USB ポートに USB カードライター／リーダーを差し込みます。

お知らせ

一部の USB メディアは、このミシンで使用できない場合があります。詳細は、ブラザーのホームページ (http://www.brother.co.jp) をご覧ください。

1 記憶 を押します。

2 USB メディアをミシンの USB ポートコネクターに差し込みます。



お知らせ

- USB メディアは、いつでも挿入、取り外しができます。
- UBS メディアポートコネクターには、USB メディア以外のものを挿入しないでください。USB メディアドライブの故障の原因となります。

3 を押します。

- 閉じる を押すと、記憶せずに元の画面に戻ります。

→「記憶中」のメッセージ画面が表示されます。模様が記憶されると、自動的に元の画面に戻ります。

模様をパソコンに記憶する

付属の USB ケーブルでミシンをパソコンに接続できます。模様をパソコンに記憶したり、読み出すことができます。

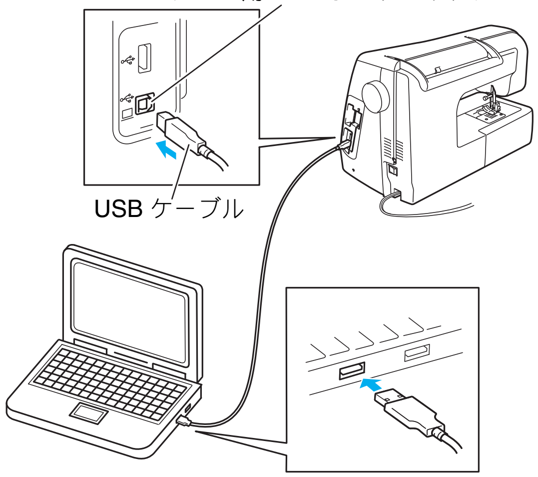
お願い

「記憶中」のメッセージが表示されているときは、電源スイッチを切らないでください。記憶しようとしている模様データが消えるおそれがあります。

1 ミシンとパソコンの USB ポートコネクターに USB ケーブルを差し込みます。

- パソコンとミシンに電源が入っていないときでも、USB ケーブルでパソコンとミシンを接続できます。

パソコン用 USB ポートコネクター



USB ケーブル

→ パソコンの「マイコンピュータ」にリムーバブルディスクのアイコンが表示されます。

お願い

- USB ケーブルは、差し込む向きが決まっています。うまく差し込めない場合は、無理に差し込まず、向きを確認してください。
- パソコンの USB ポートの位置については、ご使用のパソコンの説明書を参照してください。

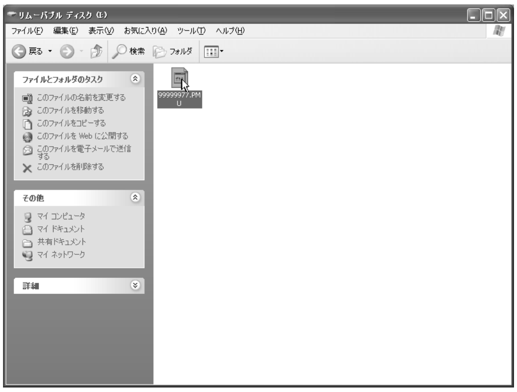
2 [記憶] を押します。

3 [パソコン] を押します。

- [閉じる] を押すと、記憶せずに元の画面に戻ります。

→ 模様は、「マイコンピュータ」のリムーバブルディスクに記憶されます。

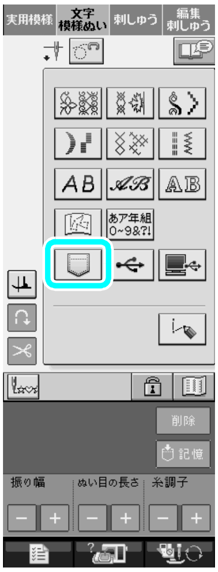
4 リムーバブルディスクで模様の .pmu ファイルを選び、このファイルをパソコンにコピーします。



お願い
「記憶中」のメッセージが表示されているときは、電源スイッチを切らないでください。データが消えるおそれがあります。

模様を呼び出す

1 を押します。



→ ポケット選択画面が表示されます。

2 呼び出す模様を選びます。

- を押すと、そのポケットの中に記憶されている模様が表示されます。記憶されている模様がすべて表示されないときは、 を押すと、模様の確認ができます。
- 閉じる を押すと、記憶せずに元の画面に戻ります。

3 呼び出し を押します。

- 削除 を押すと、模様が消去されます。

→ 選んだ模様が呼び出され、縫製画面が表示されます。

USB メディアから呼び出す

特定の模様を USB メディアから、または USB メディアのフォルダから直接呼び出すことができます。模様がフォルダに格納されている場合は、目的のファイルまで階層をたどります。

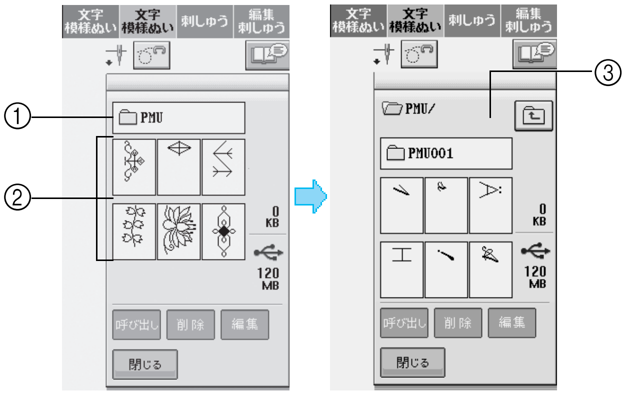
1 USB メディアをミシンの USB ポートコネクターに差し込みます。(P.140 参照)

2 を押します。

→ USB メディアの内容が表示されます。

3 複数の模様を分類するためのサブフォルダがある場合は、 を押します。

- 閉じる を押すと、呼び出さずに元の画面に戻ります。

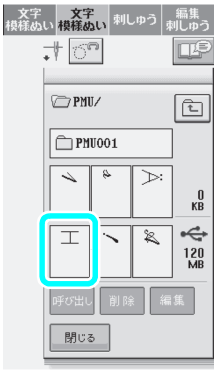


① フォルダ名
② 模様
③ パス

→ サブフォルダの模様とフォルダが表示されます。

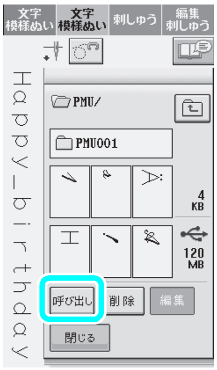
- を押すと、前のフォルダに戻ります。

4 お好みの模様のキーを押して、呼び出します。



5 呼び出し を押します。

- 削除 を押すと、模様が消去されます。



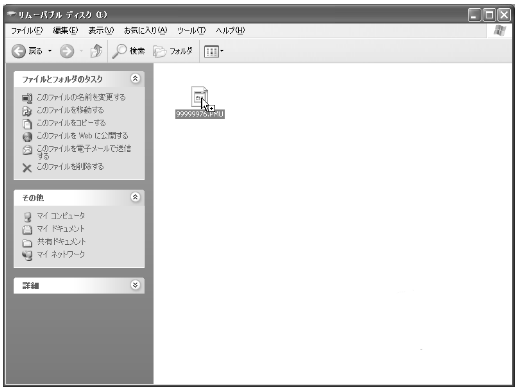
→ 選んだ模様が呼び出され、縫製画面が表示されます。

パソコンから呼び出す

1 ミシンとパソコンの USB ポートコネクターに USB ケーブルを差し込みます。(P.141 参照)

2 パソコンで、「マイコンピュータ」を開いて、「リムーバブルディスク」を選択します。

3 模様データを「リムーバブルディスク」に移動／コピーします。



→「リムーバブルディスク」内の模様データがミシンに書き込まれます。

お願い

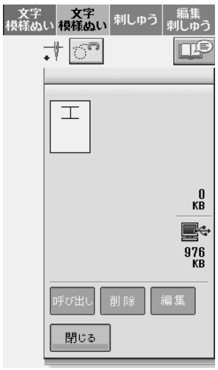
- データ書き込み中は USB ケーブルを抜かないでください。
- 「リムーバブルディスク」にフォルダを作成しないでください。フォルダは表示されないため、フォルダ内の模様データを呼び出すことができません。

4 を押します。

→ パソコンに記憶されている模様が表示されます。

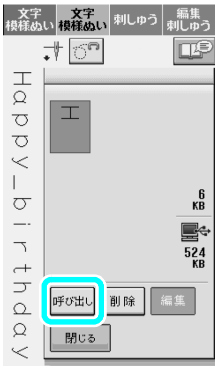
5 お好みの模様のキーを押します。

- 閉じる を押すと、呼び出さずに元の画面に戻ります。



6 呼び出し を押します。

- 模様を消去するときは、削除 を押します。



→ 選んだ模様が呼び出され、縫製画面が表示されます。

お願い

パソコンから呼び出した模様は、ミシンに一時的に書き込まれるだけで、電源スイッチを切ると消去されます。模様を残したい場合は、ミシンのメモリに保存してください。(P.138「模様を記憶する」参照)

第 5 章

刺しゅう

刺しゅうの準備 146

刺しゅうの手順 146
刺しゅう押え＜ W ＞を取り付ける............................ 147
刺しゅう機を取り付ける............................ 148
■ 刺しゅう機について 148
■ 刺しゅう機の取り外し方 149

刺しゅう模様の選び方 150

■ 著作権について.. 150
■ 模様選択画面 151
ワンポイント / ヘアルーム模様 / ふち飾り /
クロスステッチ / 花アルファベットを選ぶ.................. 152
アルファベット / ひらがな / カタカナを選ぶ................ 153
枠模様を選ぶ.. 154
刺しゅうカードの模様を選ぶ.................................. 155
■ 漢字カードの場合 155

縫製画面の見方 156

■ キーのはたらき.. 157

布地を張る 158

布地に芯を貼る 158
刺しゅう枠に布地を張る............................ 159
■ 刺しゅう枠の種類と用途 159
■ 布地の張り方 160
■ 刺しゅうシートの使い方 161
小さい布や布の隅に刺しゅうする 161
■ 小さい布地に刺しゅうする場合 161
■ 布地の隅に刺しゅうする場合 161
■ リボンテープなどの細い布地に刺しゅうする場合................ 161

刺しゅう枠をセットする............................162

■ 刺しゅう枠の取り外し方 162

刺しゅう模様の確認................................163

ぬう位置を確認する.. 163
刺しゅうイメージを確認する.................................. 164

刺しゅうしてみましょう 165

きれいに刺しゅうするために.................................. 165
■ 刺しゅう専用針板カバー 165
刺しゅうする.. 166
■ 手で糸を通す 167
アップリケ模様をぬう 168

こんなとき..170

下糸が少なくなったら 170
途中で糸が切れたときは.. 171
始めからぬい直したいときは.................................. 172
電源を切った後、刺しゅうを再開する 172

刺しゅうに関する設定の調整..................... 174

糸調子を整える 174
■ 正しい糸調子..174
■ 上糸が強すぎる場合 174
■ 上糸が弱すぎる（上糸が裏に出る）場合..............................174
自動糸切り機能..175
■ 自動糸切り機能を使う..175
■ 自動糸切り設定を解除する 175
■ 渡り糸切り機能を使う..175
■ 渡り糸切り設定を解除する 175
渡り糸切り機能..175
■ 渡り糸の長さを選ぶ..176
刺しゅうの速度を調節する..177
刺しゅうの糸番号、糸色名、時間を表示する 177
刺しゅうの枠表示を変える..178

刺しゅう模様の修正 180

ぬう位置を移動させる 180
模様と針を合わせる..180
大きさを変える 181
模様を回転させる 182
模様を左右反転させる 183
糸密度を変える （文字・枠模様のみ）............................183
1 文字ずつ色を変えてぬう..184

刺しゅう模様の記憶 185

刺しゅうデータに関する注意 185
■ 使用可能な刺しゅうデータの種類..185
■ 使用可能な USB デバイス／メディア..185
■ 使用可能なパソコンの種類と OS..185
■ パソコンでデータを作成・保存するときの注意...................186
■ Tajima（.dst）刺しゅうデータ 186
刺しゅう模様を記憶させる..187
■ 記憶できないときは..187
刺しゅう模様を市販の USB メディアに記憶させる.......189
刺しゅう模様をパソコンに記憶させる 190
刺しゅう模様を呼び出す..191
USB メディアから刺しゅう模様を呼び出す 191
パソコンから刺しゅう模様を呼び出す 192

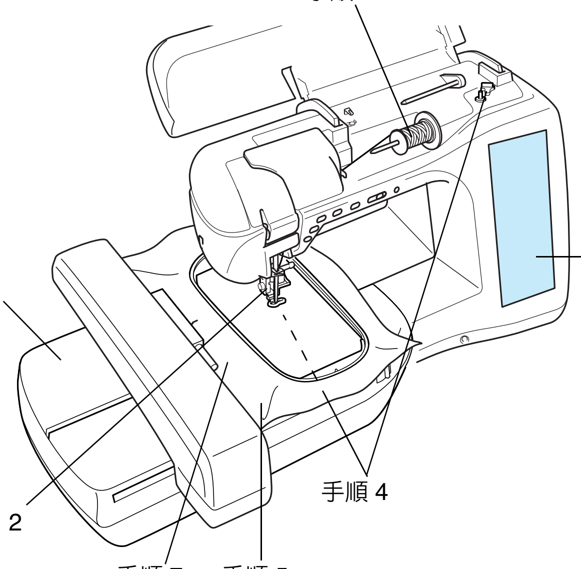
応用ぬい 194

枠模様を使ってアップリケをする（1）..........................194
枠模様を使ってアップリケをする（2）..........................195

刺しゅうの準備

刺しゅうの手順

刺しゅうの手順は次のとおりです。



手順	目的	操作	参照ページ
1	押えの取付け	刺しゅう押え < W > を取り付けます。	147
2	針の確認	家庭用ミシン針 (HA × 1) の 11 番を使用します。*	45
3	刺しゅう機の取付け	刺しゅう機を取り付けます。	148
4	下糸のセット	刺しゅう用下糸を巻いて下糸をセットします。	29
5	布地の準備	接着芯を貼った布地を刺しゅう枠に張ります。	158
6	模様の選択	電源スイッチを入れ、刺しゅう模様を選びます。	150
7	刺しゅう枠の取付け	刺しゅう枠を刺しゅう機にセットします。	162
8	レイアウトの確認	刺しゅうの大きさと位置を確認します。	163
9	上糸のセット	模様に合わせて上糸をセットします。	35

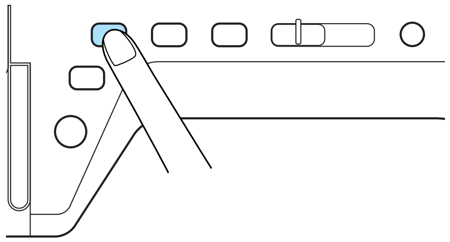
* 厚地や芯地（デニムなど）に刺しゅうをする場合は、家庭用ミシン針 (HA × 1) の 14 番を使用してください。

刺しゅう押え<W>を取り付ける

注 意

- 押えを取り付けるときは、必ず画面の を押してください。押されていない状態で、万一（スタート／ストップスイッチ）が押されると、ミシンが作動してケガの原因となります。
- 刺しゅうをするときは刺しゅう押え<W>を使用してください。誤った押えを使用すると、針が押えに当たり、折れたり曲がったりするおそれがあります。

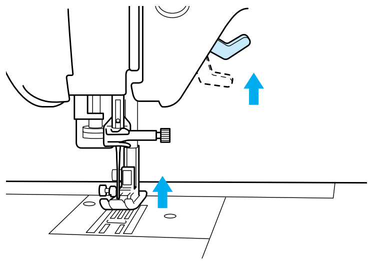
1 （針上下スイッチ）で針を上げます。



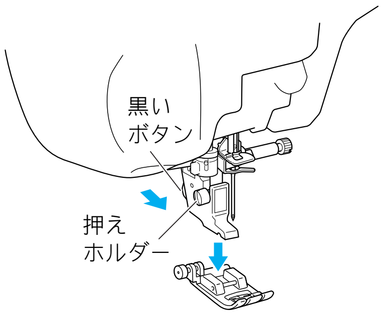
2 を押します。

→ 画面全体が白くなり、キーと操作スイッチがロックされます。

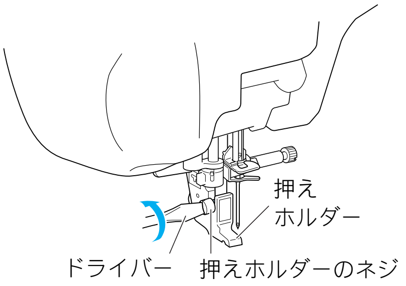
3 押えレバーを上げます。



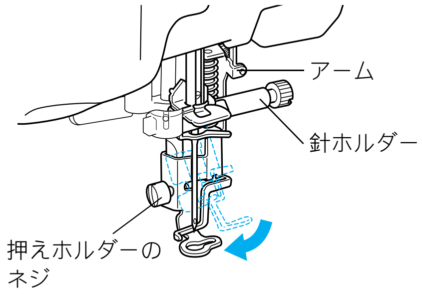
4 押えホルダーの黒いボタンを押して、押えを外します。



5 付属のドライバーで押えホルダーのネジをゆるめて、押えホルダーを外します。

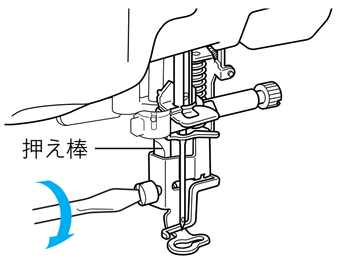


6 刺しゅう押え<W>のアームが針ホルダーの後ろになるように、刺しゅう押え<W>を押えホルダーのネジの部分を合わせて取り付けます。



- 刺しゅう押え<W>が垂直になるよう取り付けてください。

7 右手で押えと押え棒を合わせながら、付属のドライバーで押えホルダーのネジを確実にしめます。



注 意

ネジをしめるときは、必ず付属のドライバーを使用してください。ネジを確実にしめないと針が押えに当たり、折れたり曲がったりするおそれがあります。

8 を押します。

→ すべてのキーと操作スイッチがロック解除され、元の画面に戻ります。

刺しゅう機を取り付ける

■ 刺しゅう機について

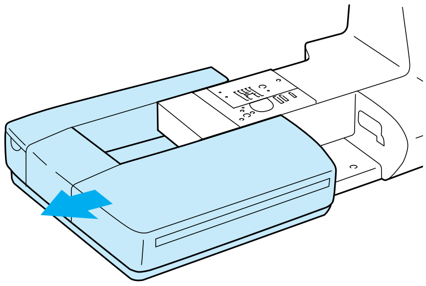
注 意

- 刺しゅう機を本体に取り付けたまま、持ち運ばないでください。刺しゅう機が落下するおそれがあり、ケガの原因となります。
- 刺しゅう機のキャリッジや刺しゅう枠が動いているときに、手や物を近づけないでください。ケガの原因となります。
- 刺しゅう機の初期設定が正常に行われなかった場合、ブザーが鳴ります。その場合は、もう一度初期設定を行います。これは故障ではありません。

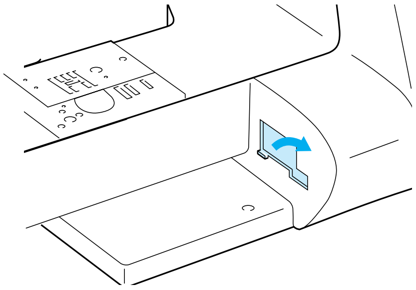
お願い

- 刺しゅう機が取り付けられた状態でも、実用ぬいや文字・模様ぬいができます。その場合、刺しゅう機のドロップレバーを適切な位置にセットしてください。
- 必ず電源スイッチを切ってから、刺しゅう機を取り付けてください。故障の原因となります。
- 刺しゅう機のコネクターには触らないでください。コネクターピンの破損の原因になります。
- 刺しゅう機のキャリッジを持って持ち上げたり、キャリッジに強い力を加えたりしないでください。故障の原因となります。
- 刺しゅう機は刺しゅう機キャリングケースに入れて保管してください。

1 電源スイッチを切り、補助テーブルを外します。



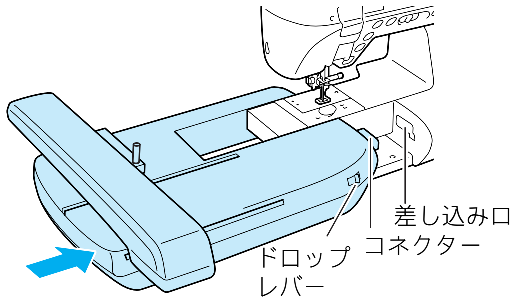
2 刺しゅう機差し込み口のふたを開けます。



注 意

刺しゅう機を使用しないときは、刺しゅう機差し込み口のふたを閉めてください。

3 刺しゅう機のコネクターを刺しゅう機差し込み口に合わせ、カチッと音がするまで、しっかりと差し込みます。



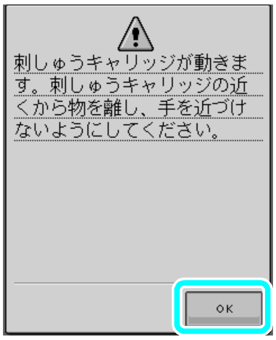
お願い

- 刺しゅう機と本体の間にすき間ができないようにしてください。すき間があると、模様くずれの原因となります。
- 刺しゅう機を取り付けるときは、キャリッジを押さないでください。キャリッジを動かすと、刺しゅう機の故障の原因となります。
- ドロップレバーを右に押して、送り歯を下げてください。

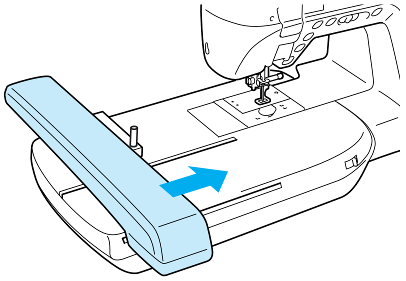
4 **電源スイッチを入れます。**

→ 画面にメッセージが表示されます。

5 OK **を押します。**



→ キャリッジが初期設定の位置に移動します。



お願い

キャリッジが初期設定の位置に移動すると、枠固定レバーを下げるよう確認メッセージが表示されます。

メッセージは 15 秒後に消えます。消えない場合は、OK を押して次の手順に進みます。

■ 刺しゅう機の取り外し方

1 刺しゅう **または** 編集刺しゅう **を押して、** [キー] **を押します。**

→ キャリッジが収納位置に移動します。

注 意

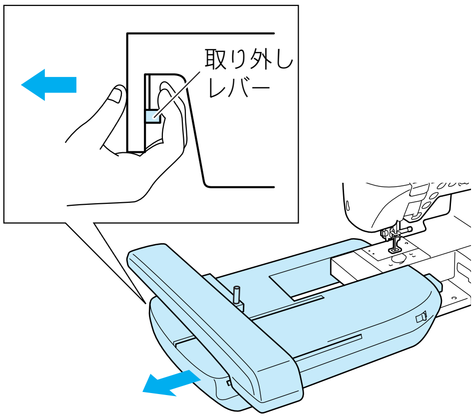
- **必ず刺しゅう枠を外してから [キー] を押してください。刺しゅう枠を取り付けたまま操作すると、刺しゅう枠が押えに当たり、ケガをするおそれがあります。**
- **この手順を行わないと、刺しゅう機を刺しゅう機キャリングケースに収納することができません。**

2 **電源スイッチを切ります。**

お願い

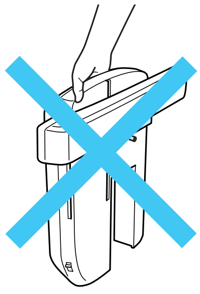
必ず電源スイッチを切って刺しゅう機を取り外してください。故障の原因となります。

3 **取り外しレバーを押しながら、刺しゅう機をゆっくりと抜きます。**



注 意

- **刺しゅう機を持ち運ぶときは、取り外しレバーの部分を持たないでください。**



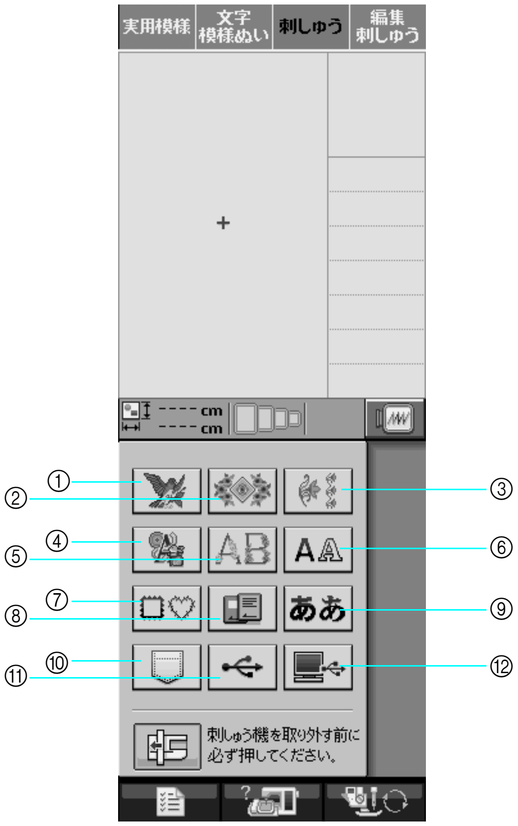
- **刺しゅう機を使用しないときは、刺しゅう機差し込み口のふたを閉めてください。**

刺しゅう模様の選び方

■ 著作権について

ミシンまたは刺しゅうカードに内蔵されている模様は、一般家庭用としてのみお楽しみいただけます。営利または業務目的での使用は著作権法上固く禁じられておりますのでご注意ください。
このミシンには、刺しゅうぬいの文字・模様が内蔵されています（内蔵されている模様の概要については、「操作早見表」を参照してください）。別売りの刺しゅうカードの模様もご利用いただけます。
ミシンの初期設定が終わり、キャリッジが初期設定の位置に移動すると、模様の種類を選択する画面が表示されます。

他の画面が表示されているときは、刺しゅう を押すと、次の画面が表示されます。

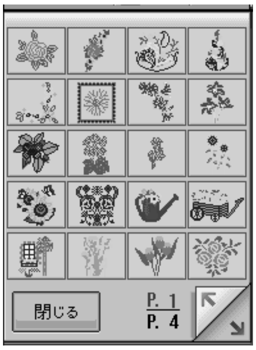


① ワンポイント
② ヘアルーム模様
③ ふち飾り
④ クロスステッチ
⑤ 花アルファベット
⑥ アルファベット
⑦ 枠模様
⑧ 刺しゅうカード（別売）の模様
⑨ ひらがな / カタカナ
⑩ ミシンに記憶した模様の呼び出し（P.191 参照）
⑪ USB メディアからの模様の呼び出し（P.191 参照）
⑫ パソコンからの模様の呼び出し（P.192 参照）

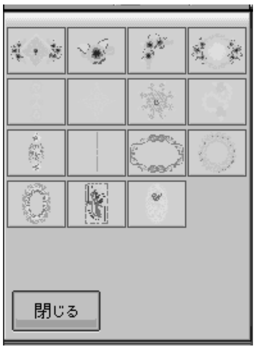
■ 模様選択画面

このミシンには、8 種類の模様があります。 が表示されている場合は、現在表示している画面の他に模様選択画面があることを示します。

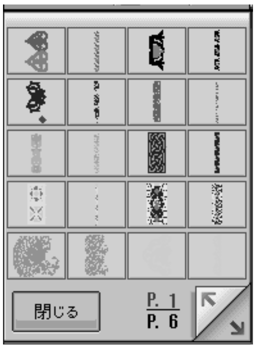
ワンポイント



ヘアルーム模様

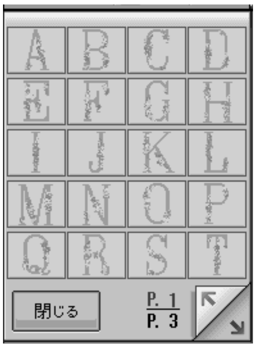


ふち飾り

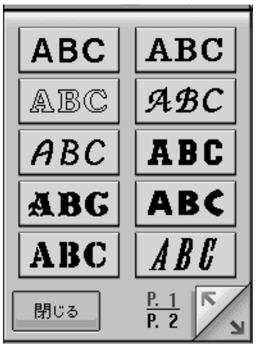


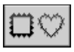
クロスステッチ

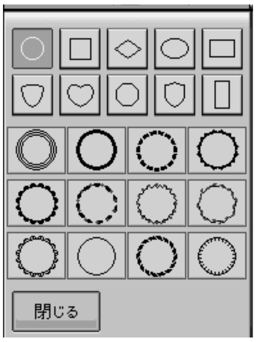
花アルファベット



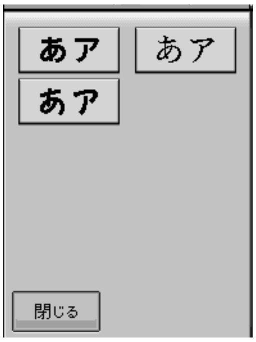
アルファベット



 枠模様

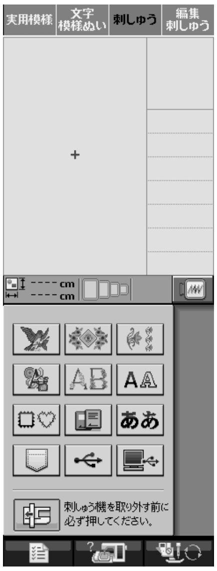


ひらがな / カタカナ

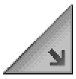
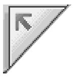


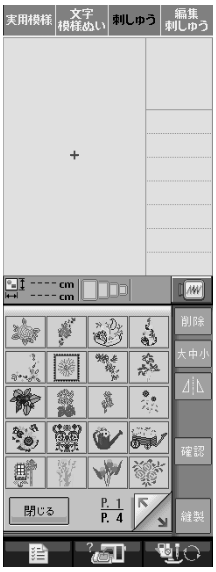
ワンポイント / ヘアルーム模様 / ふち飾り / クロスステッチ / 花アルファベットを選ぶ

1 **お好みの模様の種類を選びます。**

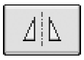


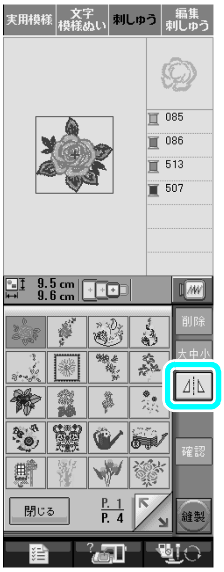
2 **お好みの模様のキーを押します。**

-  を押して次ページへ進みます。
-  を押して前ページへ進みます。



→ 選んだ模様が表示されます。
- 模様を選び直したいときは、お好みの模様のキーを押します。

3 **必要に応じて、 を押して、模様を左右に反転させます。**

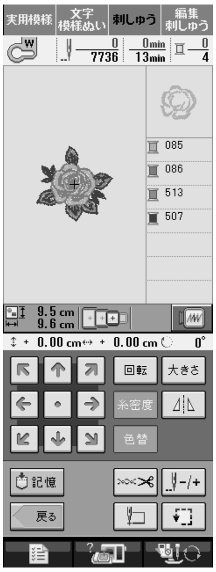


4 **を押します。**

→ 縫製画面が表示されます。

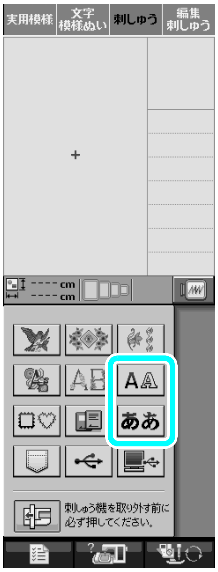
5 **P.156 の「縫製画面の見方」に進みます。**

- 元の画面に戻って他の模様を選ぶには、 を押します。

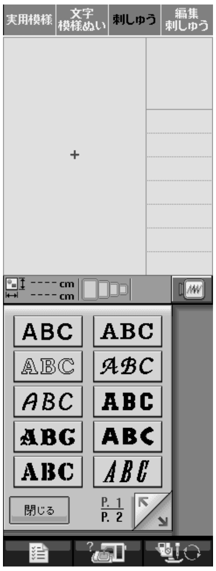


アルファベット / ひらがな / カタカナを選ぶ

1 お好みの文字を選びます。



2 お好みの書体のキーを押します。



3 ABC abc 0~9?!·· ÄÅä·· を押して選択画面を変更し、お好みの文字を入力します。

- 文字の大きさを変更する場合は、文字を選んで 大中小 を押します。このキーを押すたびに、大きさが大から中、小へと変わります。
- まちがえた場合は、削除 を押して取り消します。
- 模様が小さすぎてはっきり見えない場合は、確認 キーを押して、確認します。

お知らせ
- 大きさを変えると、次に選ぶ文字は同じ大きさになります。
- 文字を組み合わせた後で、まとめて大きさを変えることはできません。

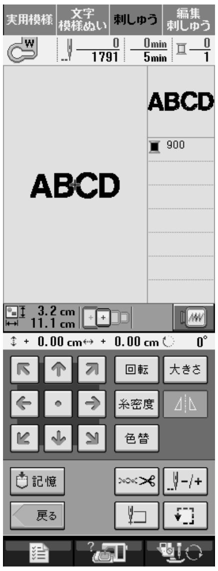
4 縫製 を押します。

→ 縫製画面が表示されます。

5 刺しゅう

5 **P.156 の「縫製画面の見方」へ進みます。**

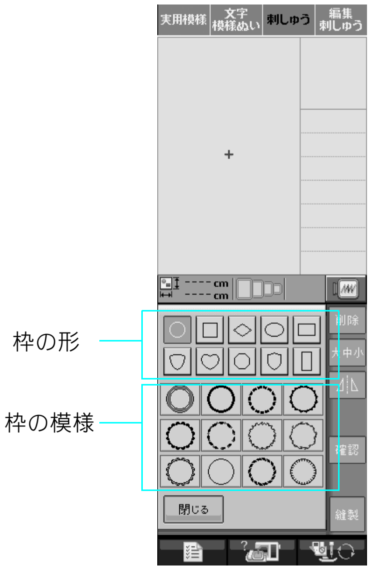
- 元の画面に戻って他の模様を選ぶには、戻る を押します。



枠模様を選ぶ

1 を押します。

2 **模様選択画面の上段のキーで枠の形を選びます。**



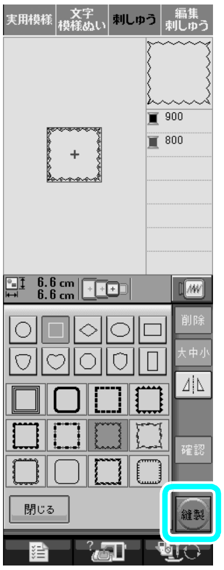
→ 画面の下段に様々な枠模様が表示されます。

3 **画面の下段のキーでお好みの枠の模様を選びます。**

- 模様を選び直したいときは、お好みの模様のキーを押します。

→ 選んだ模様が画面に表示されます。

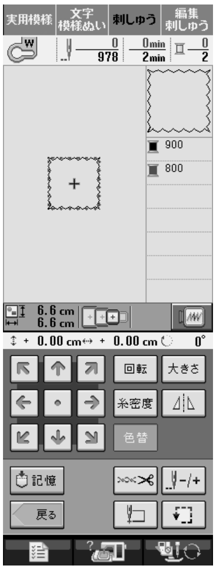
4 縫製 **を押します。**



→ 縫製画面が表示されます。

5 **P.156 の「縫製画面の見方」へ進みます。**

- 元の画面に戻って他の模様を選ぶには、戻る を押します。



刺しゅうカードの模様を選ぶ

ミシン本体に内蔵されている模様以外に、別売りの刺しゅうカードの模様を刺しゅうすることができます。刺しゅうカードには、テーマ別にいろいろな模様があります。

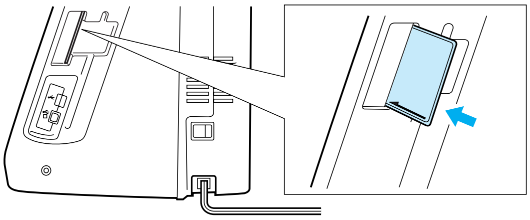
- 当社正規の刺しゅうカードのみをご使用ください。正規の刺しゅうカード以外のカードを使用すると、ミシンが誤作動するおそれがあります。
- 海外で販売されている刺しゅうカードは使用できません。ご了承ください。
- 刺しゅうカードは収納ケースに入れて保管してください 。

お願い

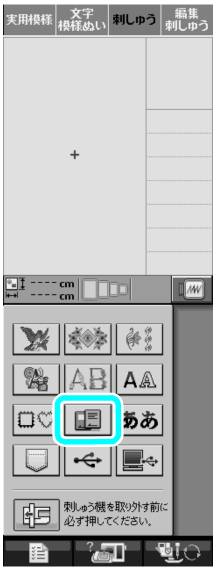
- 刺しゅうカードは、必ず画面に [カード] が表示されているとき、または電源スイッチが切れているときに抜き差ししてください。
- カードを矢印の方向以外の向きに入れたり、無理に入れたりしないでください。また、カード以外のものは絶対に入れないでください。故障の原因となります。

1 **刺しゅうカードをミシン右側面にあるカード差し込み口に、まっすぐいっぱいまで入れます。**

- 刺しゅうカードの矢印を差し込み口の方に向けて、差し込みます。



2 **[カード] を押します。**



→ 刺しゅうカードの模様が選択画面に表示されます。

3 **P.152 の手順に従い、模様を選びます。**

■ 漢字カードの場合

漢字カードに添付されている文字コード表を参照して、4 桁の数字（文字コード）を入力します。

例：「山」（文字コード：1098）を選ぶ場合。

1 **[1]、[0]、[9]、[8] を順番に押し、入力した漢字が正しければ、[セット] を押します。**

- 文字コードは、漢字カードに同梱されている文字コード表をご参照ください。
- まちがえて数字を入力したときは、[削除] を押して数字を取り消してから、選び直してください。

2 **「山」が選択され、画面に表示されます。**

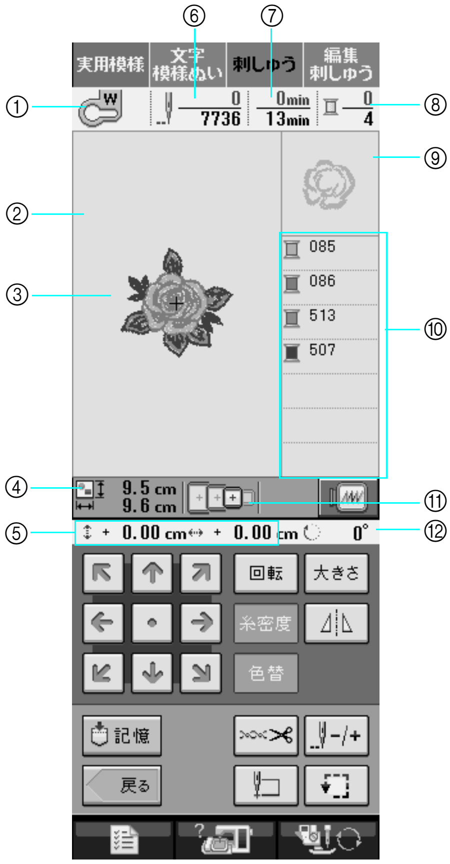
3 **他の文字と組み合わせをしたい場合は、続けて次の文字の 4 桁番号を押します。**

- 確定した文字を削除したい場合は、[削除] キーを押します。

4 **選び終わったら、[縫製] を押します。**

5
刺しゅう

縫製画面の見方

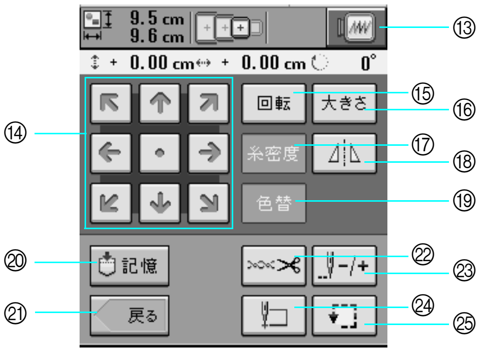


① 押え記号を示します。
刺しゅうをするときは、必ず刺しゅう押え< W >を取り付けてください。
② LL 枠で刺しゅうできる範囲（縦 30cm ×横 18cm）を示します。
③ 選択した模様が表示されます。
④ 選択した模様の大きさを示します。
⑤ 中央から刺しゅうする位置までの距離を示します（位置を変えたとき）。
⑥ 選択した模様の針数と、ぬい終わった針数を示します。
⑦ 選択した模様を刺しゅうするのに必要な時間と、ぬい終わった時間を示します（糸替えの時間と自動的に糸を切る時間は含みません）。
⑧ 選択した模様の色数と、現在刺しゅうしている色の順番を示します。
⑨ 色替の順番の一番上にある糸で刺しゅうされる部分を示します。
⑩ 色替の順番を示します。
⑪ 使用できる枠の種類を示します。必ず適切な枠を使用してください（P.159 参照）。
⑫ 模様の回転角度を示します。

- 各キーのはたらきは、次のページで説明します。

■ キーのはたらき

これらのキーを使って、模様の大きさを変えたり、模様を回転させたりすることができます。



No.	表示	名称	はたらき	参照ページ
⑬		イメージキー	刺しゅうイメージを確認することができます。	164
⑭		矢印キー（ はセンターキー）	矢印の方向に模様を移動することができます。模様を縫製範囲の中央に戻すには、センターキーを押します。	180
⑮	回転	回転キー	模様を回転することができます。1 回につき 1 度／ 10 度／ 90 度回転することができます。	182
⑯	大きさ	大きさキー	模様の大きさを変えることができます。	181
⑰	糸密度	密度キー	文字模様または枠模様の密度を変えることができます。	183
⑱		左右反転キー	模様を左右に反転することができます。	183
⑲	色替	色替キー	文字模様を刺しゅうするとき、各文字の色を変更することができます。	184
⑳	記憶	記憶キー	模様をミシンのメモリ、USB、またはパソコンに記憶します。	187-190
㉑	戻る	戻るキー	模様の種類を選択する画面に戻ります。	—
㉒		糸設定キー	自動糸切り、糸調子を指定できます。刺しゅうの場合、これらの機能は自動的に設定されます。	174-175
㉓	-/+	ぬい目戻る／進むキー	ぬい目を戻したり進めたりすることができます。ぬっている途中で糸が切れたときや、始めからぬい直したい場合に使います。	171-173
㉔		ぬい始めの位置キー	ぬい始めの位置を移動して、模様の位置に針を合わせることができます。	180
㉕		位置確認キー	模様の位置を確認することができます。模様を刺しゅうするために十分なスペースがあるかどうかを確認できます。	163

お願い

模様の種類によって操作できるキーが異なります。灰色で表示されているキーは操作できません。

5

刺しゅう

布地を張る

⚠ 注 意

- 布地の厚さは 3mm より薄いものを使用してください。3mm 以上の厚さの布地を使用すると、針が折れるおそれがあります。
- キルティングのような厚めの布地を使用するときは、刺しゅう設定画面で刺しゅう押えの高さを調節すると、きれいに仕上がります。
- 厚地のパイル織りのタオルには、水溶性の芯をタオルの表面に置いて布と一緒に枠に張ることをお勧めします。タオル地の毛足がカバーされて、よりきれいに仕上がります。

お願い

を押して、刺しゅう設定画面の「刺しゅうの押え高さ」の − と + で押えの高さを調節します。
押えを高くするには、設定値を大きくします。（通常は 1.5 mm に設定されています。）

布地に芯を貼る

刺しゅうをきれいに仕上げるために、必ず刺しゅう用接着芯を使用してください。接着芯の使用については、接着芯の説明書をお読みください。

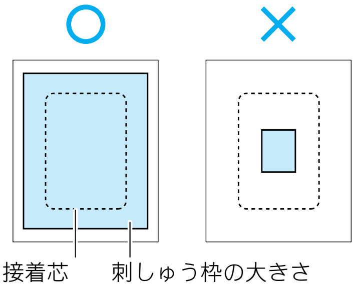
アイロンがかけられない布地（タオルなどの起毛している布地）やアイロンのかけにくい場所に刺しゅうをするときは、接着せずに、布地の下に接着芯を重ねて刺しゅう枠に張ってください。適した接着芯については、お買い上げの販売店にご相談ください。

⚠ 注 意

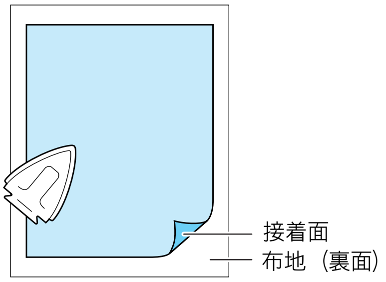
刺しゅうをするときは、必ず刺しゅう用接着芯を使用してください。特に薄地や伸びる布地の場合、芯を使用しないで刺しゅうをすると、針が折れたり曲がったりするおそれがあります。また、模様くずれの原因にもなります。ぬい目が詰まった状態でぬい続けると、針が折れたり曲がったりするおそれがあります。接着芯を使用しないと、きれいな仕上がりにならない場合があります。

1 **刺しゅう用接着芯を準備します。**

- 刺しゅう用接着芯は、刺しゅう枠よりも大きくしてください。



2 **布地の裏側に接着芯をアイロンをかけて貼ります。**

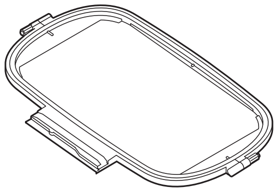
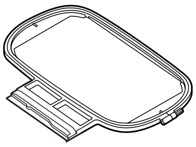
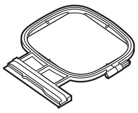
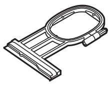


お知らせ

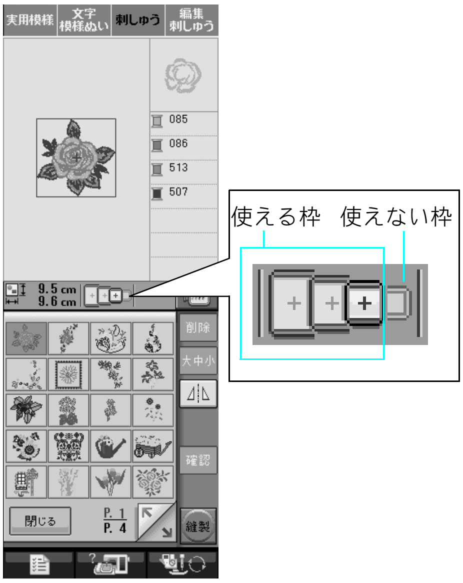
オーガンジーやローンなど薄手の素材やタオル、コーデュロイなど起毛している布地に刺しゅうをするときは、水で溶ける刺しゅう用水溶性シート（別売：BM4）を使ってください。洗濯中にシートが溶け、固くならずきれいに仕上がります。

刺しゅう枠に布地を張る

■ 刺しゅう枠の種類と用途

LL 枠	L 枠	M 枠	S 枠
			
刺しゅうのできる範囲 30cm × 18cm	刺しゅうのできる範囲 18cm × 13cm	刺しゅうのできる範囲 10cm × 10cm	刺しゅうのできる範囲 2cm × 6cm
文字や模様をつないで刺しゅうしたり、組み合わせたり、大きな刺しゅうをするときに使います。	10cm × 10cm から 18cm × 13cm の模様を刺しゅうするときに使用します。	10cm × 10cm 以下の模様を刺しゅうするときに使用します。	ネーム入れなど、非常に小さい模様を刺しゅうするときに使用します。

26cm × 16cm の刺しゅう枠 (別売) も使用できます。
刺しゅう枠は、刺しゅうする模様の大きさに合わせて選びます。画面に表示される枠を使用してください。



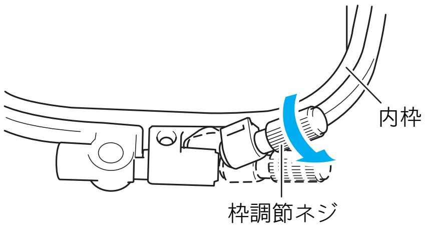
⚠ 注 意

模様の大きさよりも小さい刺しゅう枠を使用すると、刺しゅう枠が押えに当たり、ケガの原因となります。

■ 布地の張り方

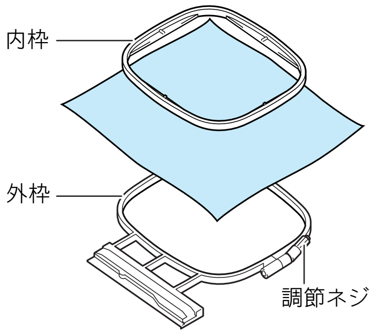
> **お願い**
> 布地の張り方がゆるいと、模様くずれの原因となります。次の手順に従って、布地は平らな場所で、たるまないよう、しっかりと張ってください。

1 枠調節ネジを引き起こしてネジをゆるめ、内枠を外します。

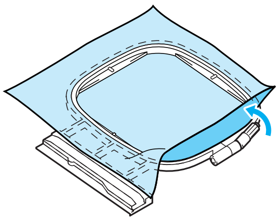


2 布地を外枠の上にのせ、布地を内枠ではさみます。

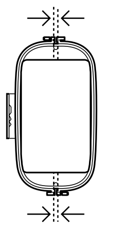
必ず内枠の △ と外枠の ▽ が合うように、内枠を差し込みます。



3 調節ネジを軽くしめ、布地の端を引っ張りながらたるみをなくします。ネジを緩めないようにしてください。

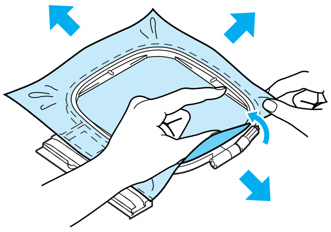


> **お知らせ**
> LL 枠を使用する場合は、枠の上下のスペースが等しくなるように、上下の調節ネジをしめます。

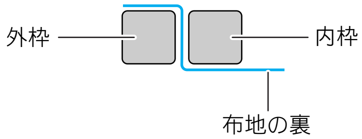


4 布地を引っ張りながら、枠の調節ネジをしっかりとしめ、布地のたるみをなくします。

- 布地を引っ張った後、ピンと張っていることを確認してください。

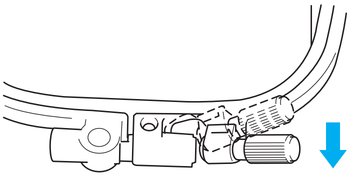


- 刺しゅうを始める前に、内枠と外枠の高さが同じになるようにしてください。



> **お知らせ**
> 布地の 4 辺を引っ張ります。布地を引っ張りながら、調節ネジをしめます。

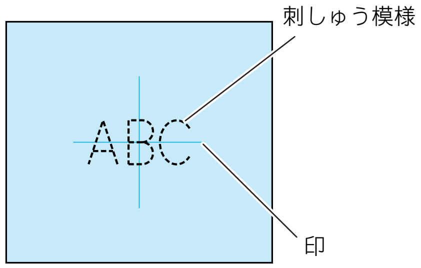
5 調節ネジを元の位置に戻します。



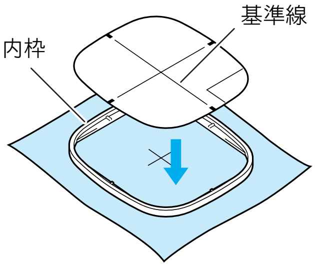
■ 刺しゅうシートの使い方

刺しゅうする場所が決まっているときは、刺しゅうシートを使って枠にはめます。

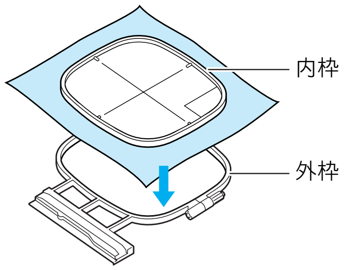
1 布地の刺しゅうする位置に印を付けます。



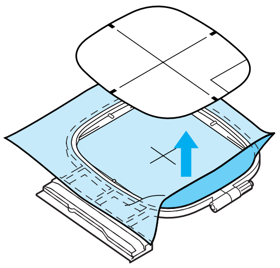
2 刺しゅうシートを内枠にのせます。刺しゅうシートの基準線と布地の印を合わせます。



3 内枠を外枠にはめます。折り目やしわができないように、布地がたるまないようにしっかりと引っ張ります。



4 刺しゅうシートを取り出します。

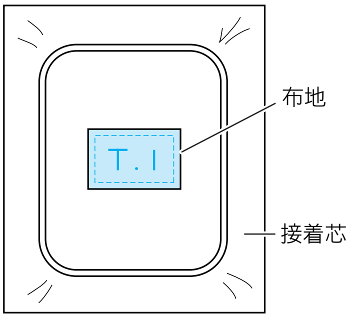


小さい布や布の隅に刺しゅうする

刺しゅう用の芯を補助にして刺しゅうします。芯は刺しゅうが終わってからていねいに取り除きます。
次の例に示すように、ブラザー専用の接着芯をご使用になることをお勧めします。

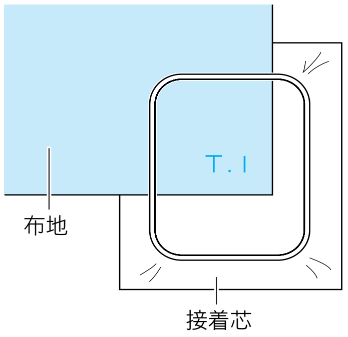
■ 小さい布地に刺しゅうする場合

布用スプレーのりを使って、布地を接着芯に貼ります。布用スプレーのりを使いたくない場合は、しつけをします。



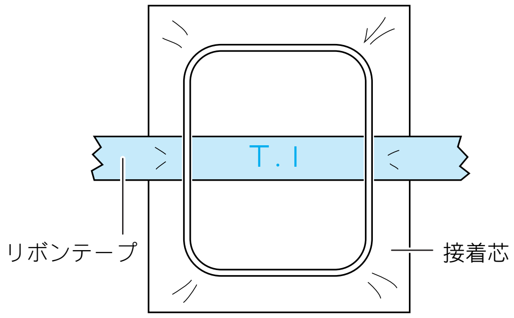
■ 布地の隅に刺しゅうする場合

布用スプレーのりを使って、布地を接着芯に貼ってから、刺しゅう枠に張ります。布用スプレーのりを使いたくない場合は、しつけをします。



■ リボンテープなどの細い布地に刺しゅうする場合

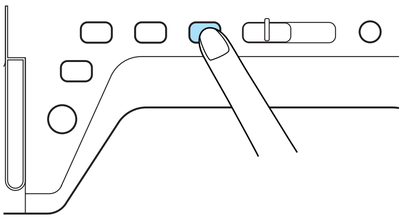
布用スプレーのりを使ってテープを接着芯に貼ってから、刺しゅう枠に張ります。布用スプレーのりを使いたくない場合は、テープの両端を接着芯といっしょに刺しゅう枠に張ります。



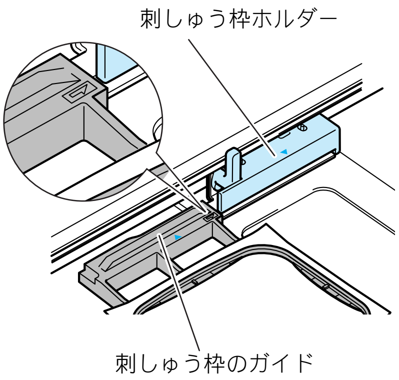
刺しゅう枠をセットする

お願い
刺しゅう枠をセットする前に、ボビンに下糸を巻いてセットしてください。

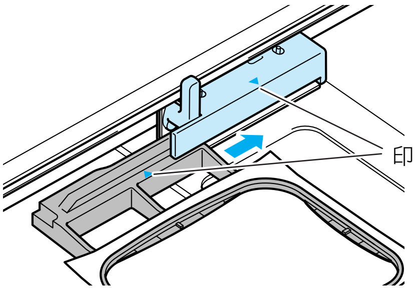
1 （押え上下スイッチ）を押して、押えを上げます。



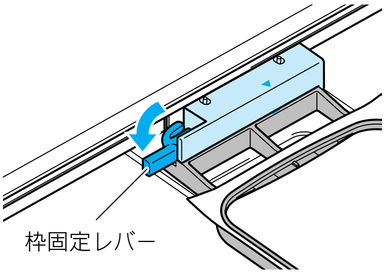
2 刺しゅう枠のガイドを刺しゅう枠ホルダーの右側面に合わせます。



3 刺しゅう枠の △ がホルダーの ▽ の位置まで来るように、刺しゅう枠をスライドさせます。



4 枠固定レバーを枠に平行になるまで下げて、刺しゅう枠を刺しゅう枠ホルダーに固定します。

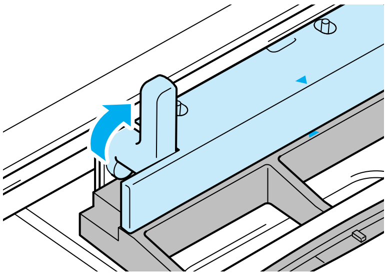


⚠ 注 意

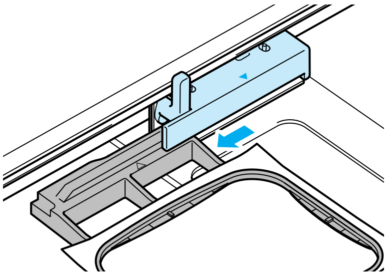
刺しゅう枠を刺しゅう枠ホルダーに正しくセットしないと、刺しゅう枠が押えに当たり、ケガの原因となります。

■ 刺しゅう枠の取り外し方

1 枠固定レバーを上げます。



2 刺しゅう枠を手前に引いて取り外します。



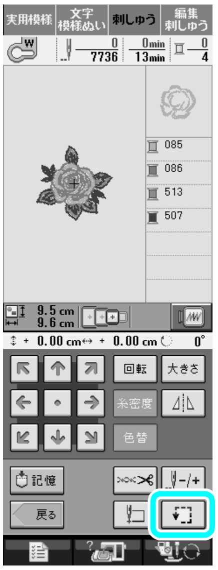
お知らせ
刺しゅう枠を取り外しにくいときは、手で押えレバーをさらに上にあげて取り外してください。

刺しゅう模様の確認

ぬう位置を確認する

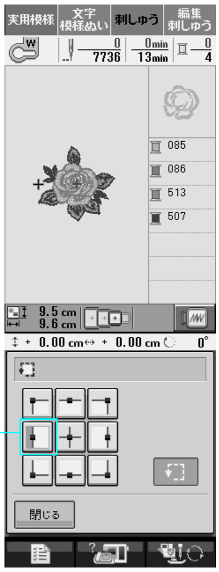
刺しゅう枠が動いて刺しゅう範囲を示します。刺しゅう枠の動きを見て、ぬう位置を確認してください。

1 を押します。



→ 次の画面が表示されます。

2 で、ぬう位置を確認したい位置のキーを押します。

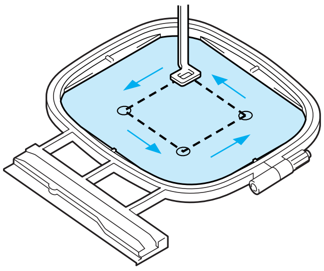


選ばれている位置（キーの色が変わります）

→ 刺しゅう枠が動いて選んだ位置を示します。

お知らせ

刺しゅう範囲全体を見たいときは を押します。刺しゅう枠が動いて、刺しゅうの範囲全体を表示します。



注 意

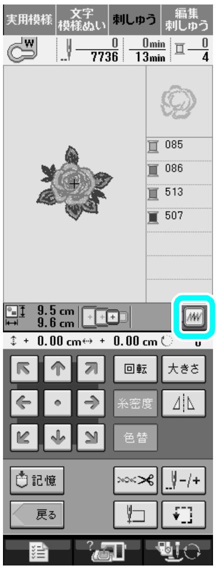
刺しゅう枠が動いている最中は、針を絶対に下げないでください。針が折れたり曲がったりするおそれがあります。

3 閉じる を押します。

5 刺しゅう

刺しゅうイメージを確認する

1 を押します。



→ 刺しゅうされる模様のイメージが表示されます。

2 を押して、枠の大きさを選びます。

- 灰色で表示されている枠は、選ぶことはできません。
- を押すと、画面全体を表示します。
- 模様は、下記の画面で表示されているようにぬい上がります。

お知らせ

この画面を表示した状態でも、(スタート／ストップスイッチ）を押して刺しゅうすることができます。

3 閉じる を押して、元の画面に戻ります。

刺しゅうしてみましょう

きれいに刺しゅうするために

刺しゅうをきれいに仕上げるためには、いくつかのポイントがあります。接着芯の貼り方（P.158 参照）や布地の刺しゅう枠への張り方 (P.159 参照) は、大きなポイントです。もう 1 つのポイントは、適切な針と糸を使用することです。次の糸の説明を参照してください。

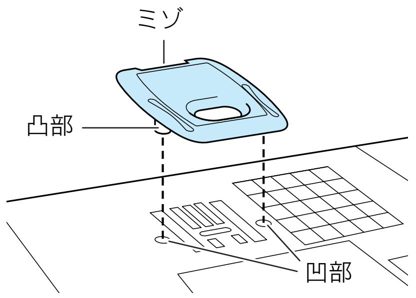
糸	上糸	ブラザー専用の刺しゅう糸またはカントリー刺しゅう糸をご使用ください。 他の糸をご使用になると、刺しゅうがきれいに仕上がらないことがあります。
	下糸	ブラザー専用刺しゅう下糸をご使用ください。

お知らせ
上記以外の糸をご使用になると、刺しゅうがきれいに仕上がらないことがあります。

お願い
- 刺しゅうを始める前に、下糸が十分あることを確認してください。ボビンの糸が少なくなってもぬい続けると、糸がからまるおそれがあります。
- 刺しゅう枠が動く範囲に物を置かないようにしてください。刺しゅう枠が当たり、模様くずれの原因となります。
- 大きな布地（特にジャンパーなどの重い衣類）に刺しゅうするときは、テーブルから布地が垂れ下がらないようにしてください。垂れ下がった状態で刺しゅうをすると、刺しゅう機の動きが悪くなり、模様くずれの原因となります。

■ 刺しゅう専用針板カバー

布の種類や接着芯、刺しゅう糸の種類によって、上糸が浮く場合があります。このような場合は、付属の刺しゅう専用針板カバーを針板に取り付けてください。カバーを取り付けるときは、次に示すようにカバー裏面の 2 つの凸部を針板の凹部に挿入します。



取り外すときは、ミゾに爪を当て、跳ね上げてください。

注 意

刺しゅう専用針板カバーは奥までしっかり押し込んで取り付けてください。取り付け方が悪いと針折れの原因となります。

お願い
刺しゅう専用針板カバーは、刺しゅうの目的以外では使用しないでください。

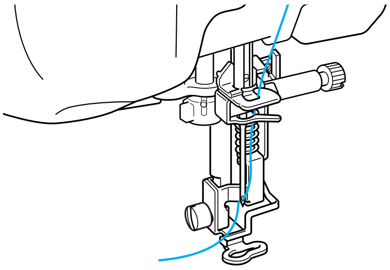
刺しゅうする

例：

お知らせ

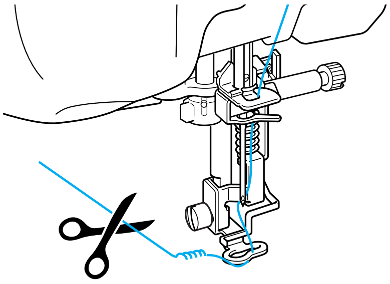
[+] カーソルが模様の上を移動し、模様のどの部分をぬっているかを示します。

1 **1 色目の糸を通します（P.35「自動糸通しスイッチを使って上糸を通す」を参照）。**



2 **（押え上下スイッチ）を押して押えを下げ、（スタート／ストップスイッチ）を押してぬい始めます。5 ～ 6 針ぬった後、もう一度（スタート／ストップスイッチ）を押して、ミシンを止めます。**

3 **ぬい目のきわで余分な糸を切ります。押えの下にぬい目が隠れているときは、押えを上げてから余分な糸を切ってください。**



4 **（スタート／ストップスイッチ）を押してぬい始めます。**

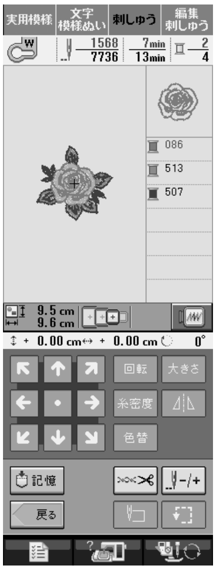
→ 1 色目をぬい終わると、自動的に糸を切って止まります。押えは自動的に上がります。
次にぬう色が色替の順番表示の一番上に移動します。

お知らせ

先に使用した糸が残っていると、縫製中に模様の下にぬい込まれることがあり、模様の完成後、糸の処理がむずかしくなります。始めに糸を切ってください。

5 1色目の糸をミシンから取り外し2色目の糸を通します。

6 残りの色も同じ手順でぬいます。



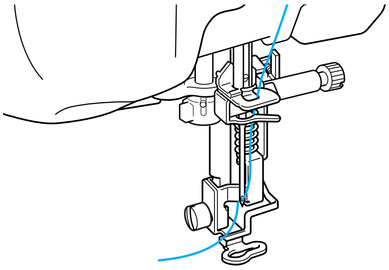
→ 最後の色をぬい終わると、画面に「ぬい終わりました」と表示されます。OK を押して、元の画面に戻ります。

お知らせ

刺しゅうのときはあらかじめ糸切り機能が設定されているため、余分な渡り糸（模様の部分をつなぐ糸）を自動的に切ります（組み合わせた文字間の渡り糸は切りません）。糸と布地の種類によっては、ぬい始めの上糸の先端が、布地の表面に残ることがあります。その場合は刺しゅうが終わってから、余分な糸を切ります。
設定を解除したい場合は、P.175 の手順に従って設定を解除します。その場合は、渡り糸はカットされませんので、模様を刺しゅうした後に余分な渡り糸をはさみで切ります。

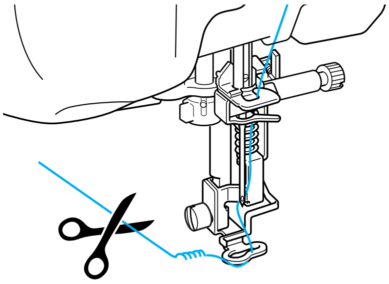
■ 手で糸を通す

1 1 色目の糸を手で通します（P.37「手動で上糸を通す」を参照）。



2 （押え上下スイッチ）を押して押えを下げ、（スタート／ストップスイッチ）を押してぬい始めます。5 ～ 6 針ぬった後、もう一度（スタート／ストップスイッチ）を押して、ミシンを止めます。

3 ぬい目のきわで余分な糸を切ります。押えの下にぬい目が隠れているときは、押えを上げてから余分な糸を切ってください。



お知らせ

先に使用した糸が残っていると、縫製中に模様の下にぬい込まれることがあり、模様の完成後、糸の処理がむずかしくなります。始めに糸を切ってください。

4 （スタート／ストップスイッチ）を押します。

5 P.166「刺しゅうする」の手順 5 と 6 を繰り返します。

5 刺しゅう

アップリケ模様をぬう

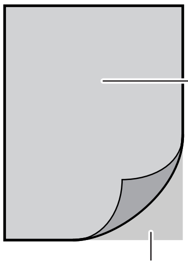
刺しゅうの中にはアップリケを用いた模様があります。土台になる布地とアップリケをする布地（アップリケピース）を用意します。

色替表示の部分に「アップリケピース」、「アップリケノイチ」、「アップリケ」と表示された場合は、以下の手順に従ってください。

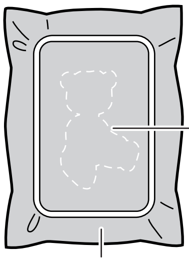
お知らせ

糸色表示の設定によっては、、、または が表示される場合があります。

1 **アップリケ布の裏側に接着芯を貼ります。**



2 **1 のアップリケ布を刺しゅう枠に張り、（スタート／ストップスイッチ）を押してアップリケの切り取り線をぬいます。**



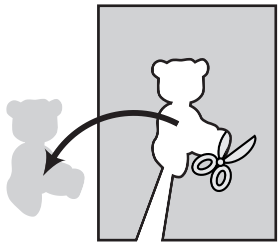
お知らせ

ぬい方は、P.166「刺しゅうする」と同じです。

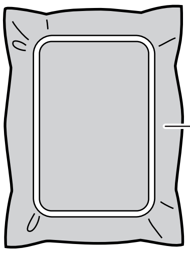
→ ミシンは、アップリケの切り取り線をぬった後、止まります。

3 **ぬい終わったら刺しゅう枠からアップリケ布を外し、ぬい目の上をていねいに切り取ります。切り取った後、糸をきれいに取り除いてください。**

* 切り取り線の上を切ってください。ぬい目よりも内側を切ると、アップリケをするときに布地に糸がかからなくなります。

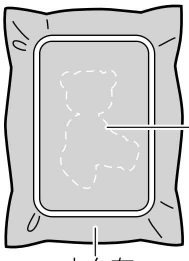


4 **アップリケの土台布を刺しゅう枠に張ります。**



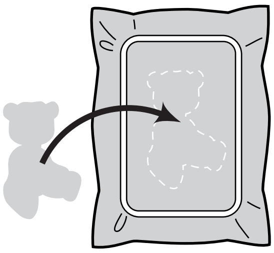
5 **（スタート／ストップスイッチ）を押して、アップリケの位置をぬいます。**

- 手順 7 でアップリケをぬう糸と同じ色を使います。

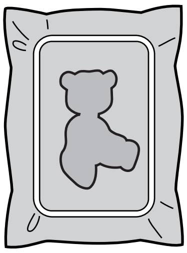


→ ミシンは、アップリケの位置をぬった後、止まります。

6 **アップリケピースの裏側にのりまたはスプレーのりを薄く付け、「アップリケの位置」に合わせて貼り付けます。**



7 **(スタート／ストップスイッチ)を押します。**

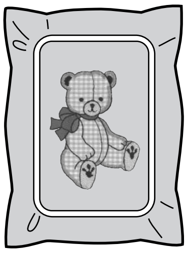


お知らせ

模様によっては、「アップリケピース」、「アップリケノイチ」、「アップリケ」の 3 つの手順すべてが表示されないものがあります。「アップリケ」が糸色で表示されるときは、その糸色でぬいます。

→ アップリケができます。

8 **色替の順番に従って、刺しゅう糸を交換しながら残りを刺しゅうします。**



お知らせ

- 押えや針、針板にのりが付くことがあります。アップリケ模様の刺しゅうが終わったら、のりをふき取ってください。
- きれいに仕上げるために、糸替えごとに余分な糸を切り取ってください。

こんなとき

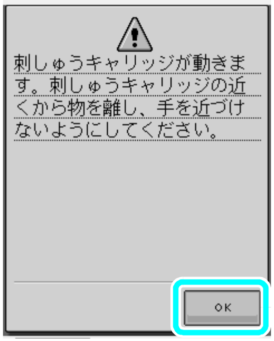
お願い
刺しゅう枠を外したり、セットしたりする際には、刺しゅう機のキャリッジや押えに当たらないように注意してください。模様くずれの原因となります。

下糸が少なくなったら

ぬっている途中で下糸が少なくなると、ミシンが止まり、次のようなメッセージが表示されます。を押し、以下の手順に従って下糸を交換してください。残りわずかで完成する場合は、閉じるを押して、10 目ほどそのままぬえます。10 目ほどぬい終ると、自動的に糸が切れてミシンが止まります。

→ のキーを押すと、自動的に糸が切れます。

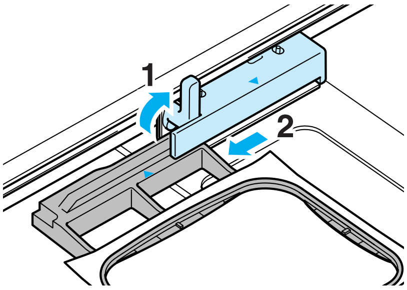
1 OK を押します。



→ 自動的に糸が切れた後、キャリッジが移動します。

2 枠固定レバーのロックを解除して、刺しゅう枠を外します。

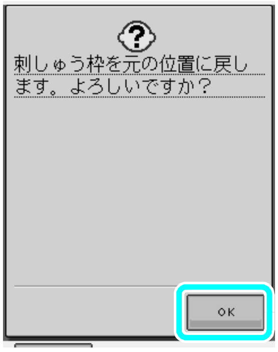
- このとき、布地に無理な力をかけないよう注意してください。枠に張った布地がたるむことがあります。



3 下糸を巻いたボビンを挿入します。

お知らせ
下糸のセットの詳細は P.32「下糸をセットする」を参照してください。

4 OK を押します。



→ キャリッジが元の位置に戻ります。

5 刺しゅう枠をセットします。

お知らせ
刺しゅう枠のセットの詳細は P.162「刺しゅう枠をセットする」を参照してください。

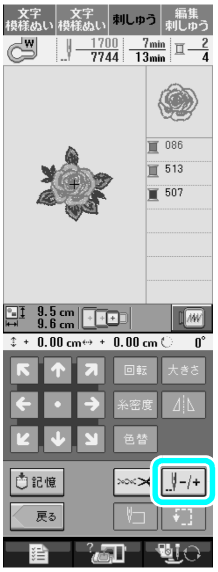
6 刺しゅうを中止した位置に戻るには、次のページの 3 から 6 の手順に従ってください。

途中で糸が切れたときは

1. （スタート／ストップスイッチ）を押して、ミシンを止めます。

2. 上糸が切れた場合は、上糸をかけ直します。下糸が切れた場合は、 を押して、前ページの 1 から 5 の手順に従って下糸をセットし直します。

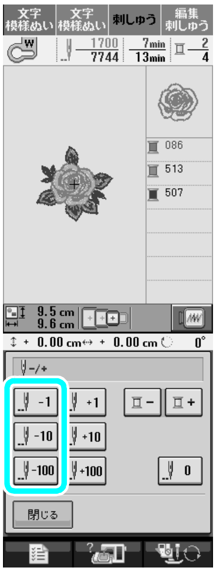
3. -/+ を押します。



4. -1 、 -10 または -100 を押して、糸が切れた位置から、2 ～ 3 針多く針を戻します。

お知らせ
ぬい目を重ねるときれいに仕上がります。

- 糸が切れたところまで戻らないときは、 − を押して色を選び、その色のぬい始めの位置に戻ってから、 +1 、 +10 、または +100 を押して、糸が切れたところより少し手前まで進めます。



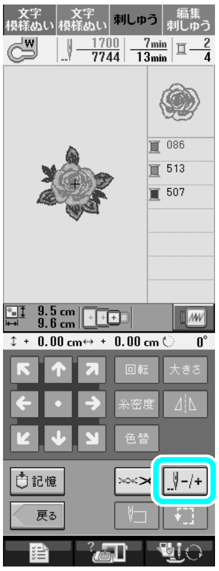
5. 閉じる を押して、元の画面に戻ります。

6. （押え上下スイッチ）を押して押えを下げ、（スタート／ストップスイッチ）を押して、刺しゅうを続けます。

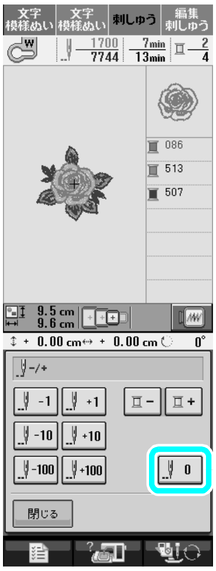
5
刺しゅう

始めからぬい直したいときは

1 [針数 -/+] を押します。



2 [針数 0] を押します。



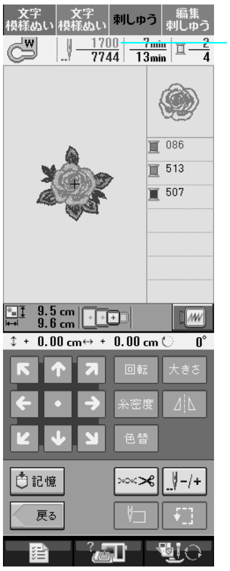
→ 刺しゅう枠が動いて、模様のぬい始めの位置に針が戻ります。

3 [押え上下スイッチ]（押え上下スイッチ）を押して押えを下げて、刺しゅうを始めます。

電源を切った後、刺しゅうを再開する

刺しゅうが中断されたときは、操作中の色と針数が記憶されます。次にミシンに電源を入れると、中断された操作を続けるかどうかを選ぶことができます。

お知らせ
刺しゅう中に電源が切れても、再び電源を入れると、ミシンは、刺しゅうが中断されたポイントに戻ります。



刺しゅうが中断された時の針数

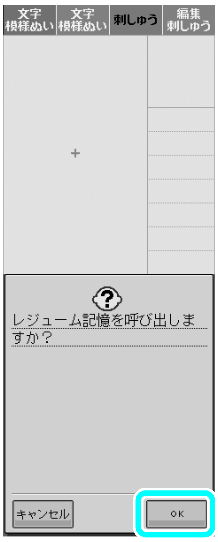
お願い
刺しゅう機を外さないでください。デザインの記憶が消去されます。

1 **電源スイッチを入れます。**

2 **刺しゅう枠がセットされている場合は、画面に表示される手順に従って、刺しゅう枠を外します。**

→ 次のメッセージが表示されます。

③ 刺しゅう枠をセットして、[OK] を押します。



→ 電源を切る前に表示されていた縫製画面が表示されます。

お知らせ

新しい操作を始める場合は、[キャンセル] を押すと、模様選択画面が表示されます。

④ 刺しゅうを続けます。

5
刺しゅう

刺しゅうに関する設定の調整

糸調子を整える

刺しゅうのときの糸調子は、上糸が布地の裏側に少し見えるくらいに調整されています。

■ 正しい糸調子

布地の裏側に、少し上糸が見えるくらいに調節します。糸調子が正しく調節されていないと、ぬい目がきれいにならず、布地にしわがよったり、糸が切れたりします。

(表)　(裏)

以下の説明に従って、状況に合わせて糸調子を調節してください。

お願い

糸調子を極端に弱く設定すると、途中でミシンが停止することがありますが、故障ではありません。糸調子を少し強めにして、ぬい直してください。

お知らせ

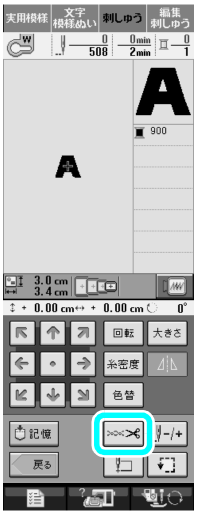
- 電源スイッチを切ったり、模様を選び直したりすると、糸調子は標準の設定に戻ります。
- 記憶させた模様を呼び出した場合は、糸調子も記憶させたときの数値になります。

■ 上糸が強すぎる場合

上糸が強すぎると、布地の表側に下糸が出ます。

(表)　(裏)

1. を押します。



2. － を押して、上糸を弱めます。
   押すごとに糸調子の数値が小さくなります。

3. 閉じる を押します。

■ 上糸が弱すぎる（上糸が裏に出る）場合

上糸がたるみます。表側の刺しゅう糸がたるんで、糸の締まりがゆるくなったり、表側に糸のループができたりします。

(表)　(裏)

1. を押します。
2. ＋ を押して、上糸を強めます。
   押すごとに糸調子の数値が大きくなります。
3. 閉じる を押します。

自動糸切り機能

■ 自動糸切り機能を使う

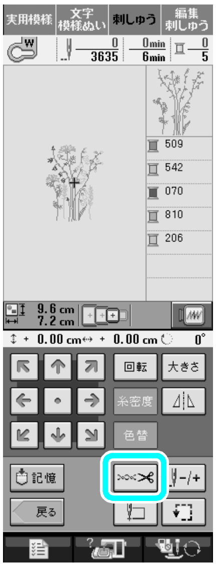
自動糸切り機能 は、ぬい終わりのところで自動的に糸を切ります。刺しゅうのときは、この機能があらかじめ設定されています。

■ 自動糸切り設定を解除する

設定を解除するには、 を押してから を押します。この機能は、刺しゅうの途中でオンまたはオフにできます。

＊ 電源を切ると、この機能は標準設定 に戻ります。

1 を押します。



2 を押して、自動糸切りを解除します。

→ キーの表示が、 に変わります。

• 1 色の糸をぬい終わると、ミシンは糸を切らずに停止します。

渡り糸切り機能

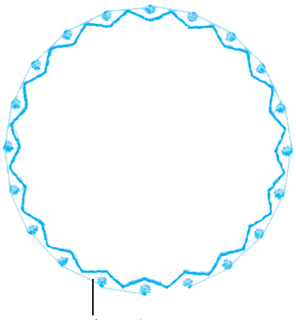
■ 渡り糸切り機能を使う

渡り糸切り機能 は、余分な渡り糸を自動的に切ります。刺しゅうのときは、この機能があらかじめ設定されています。

■ 渡り糸切り設定を解除する

設定を解除するには、 を押してから を押します。この機能は、刺しゅうの途中でオンまたはオフにできます。

＊ 設定は、ミシンの電源を切っても保存されます。



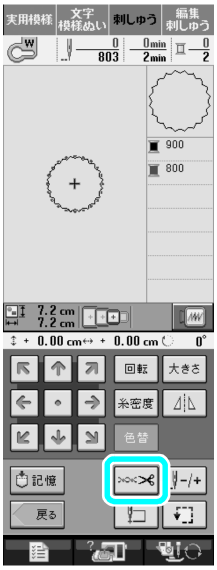
お知らせ

ひらがな／カタカナやアルファベットの文字模様は、 になっていても渡り糸切り機能は使えません。また、このミシンに内蔵されている模様以外のデータの場合も、渡り糸切り機能が使えないことがあります。

5

刺しゅう

1 を押します。



2 を押して、渡り糸切りを解除します。

→ キーの表示が、 に変わります。

- ミシンは、次のぬい目に進む前に糸を切りません。

■ 渡り糸の長さを選ぶ

渡り糸切り機能 が設定されている場合、残しておく渡り糸の長さを選ぶことができます。
長さは、刺しゅうの途中で変更できます。
5mm から 50mm まで、5mm きざみで設定を選択できます。

- 設定は、ミシンの電源を切っても保存されます。

＋ または － を押して、渡り糸の長さを選びます。

例： ＋ を押して 25mm を選ぶと、ミシンは次のぬい目に移動する前に、25mm 以下の渡り糸を切らずに残します。

お願い

- 糸切りの多い模様の場合は、布地の裏面に残る糸の量を減らすために、渡り糸の長さ調節を長めに設定することをおすすめします。
- 渡り糸の長さに選ぶ数値が大きければ大きいほど、糸を切る回数が減りますが、布地にはより多くの渡り糸が残ることになります。

刺しゅうの速度を調節する

1 **を押します。**

2 **刺しゅう を押します。**

3 **「刺しゅうの最高速度」の画面で、**

＋ － を使って刺しゅうの最高速度を変更します。

- 刺しゅうの最高速度は 3 段階あります。

お知らせ

- SPM は 1 分間あたりの針数を示します。
- 薄地、厚地、重い布地に刺しゅうするときは、ぬう速さを遅くします。
- 刺しゅうをしている途中でも速度を変えることができます。
- 最高速度は、設定を変えるまで変わりません。最高速度の設定は、電源を切っても保存されます。
- メタリックなどの特殊な糸を使用するときは、速度を 600SPM に設定してください。

4 **閉じる を押します。**

刺しゅうの糸番号、糸色名、時間を表示する

糸番号、糸色名、時間を表示できます。

お知らせ

画面に表示される色が、実際の糸こまの色と異なる場合があります。

1 **を押します。**

2 **刺しゅう を押します。**

3 **の ◀ ▶ を使って糸番号、糸色名、時間のいずれかを表示させます。**

お知らせ

糸番号、糸色名、時間のいずれかを選択すると縫製画面に以下のように表示されます。

例)

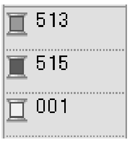
糸番号

糸色名

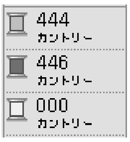
時間

4 糸番号を選んだ場合は、 の ◀ ▶ を押して、糸の種類を選びます。

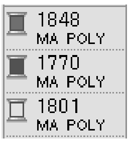
ブラザー刺しゅう糸番号



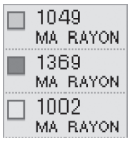
カントリー糸番号



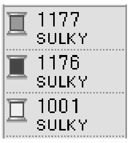
マデイラポリ糸番号



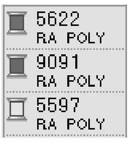
マデイラレーヨン糸番号

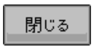


サルキーポリ糸番号



ロビソン - アントンポリ糸番号



5 

を押します。

刺しゅうの枠表示を変える

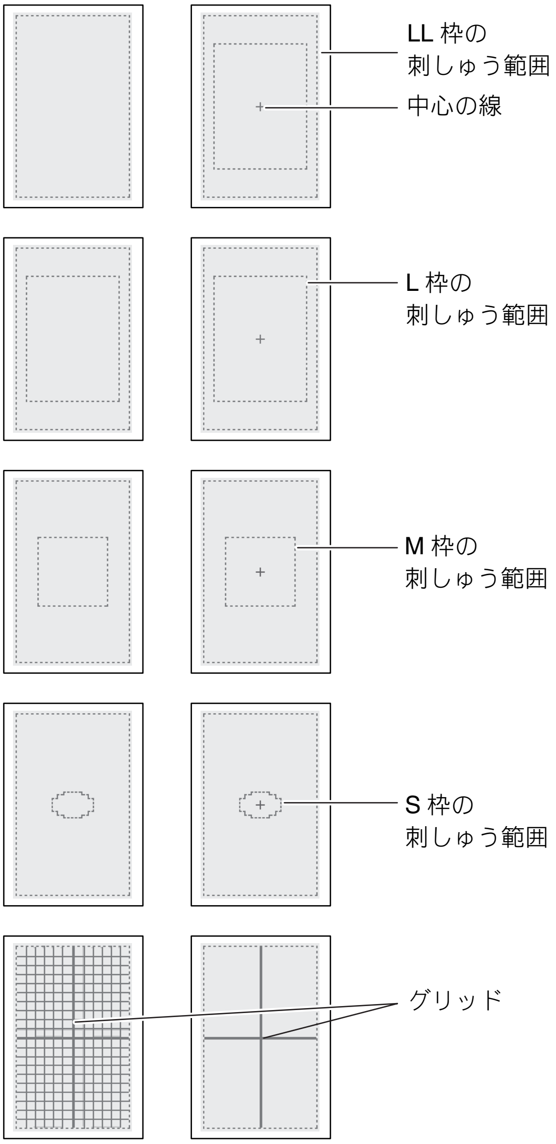
1 を押します。

2

を押します。

3 「刺しゅうの枠表示」で、◀ ▶ を使用して刺しゅうの枠表示モードを変更します。

* 刺しゅうの枠表示は 10 通りあります。



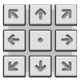
4 閉じる **を押します。**

刺しゅう模様の修正

⚠ 注 意

模様を修正した場合、使用できる刺しゅう枠の表示を確認して、正しい枠を使用してください。表示される枠以外の刺しゅう枠を使用すると、枠が押えに当たり、ケガの原因となります。

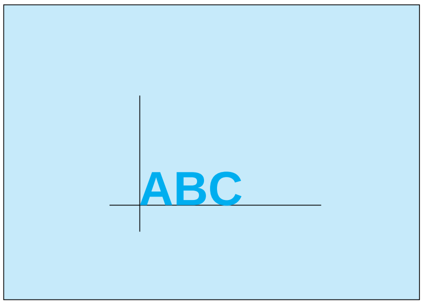
ぬう位置を移動させる

 を使用して、矢印の方向に移動させます。

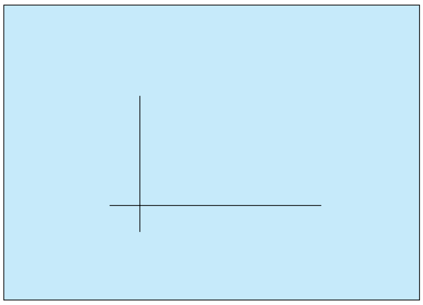
を押すと、中心に戻ります。

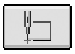
模様と針を合わせる

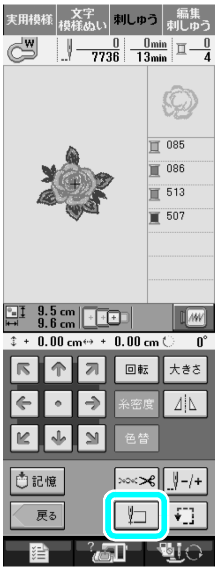
例： 模様の左下と針を合わせます。



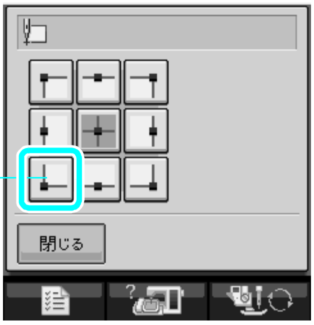
1. 次のように、刺しゅうを始める位置に印をつけます。



2.  を押します。



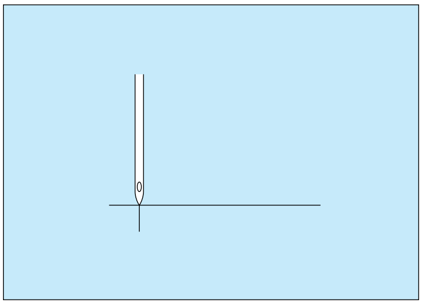
3 を押します。



→ 針が模様の左下に移動します（刺しゅう枠は、針が正しい位置になるように動きます）。

4 閉じる を押します。

5 を使用して、針を合わせ、布地に印をつけて、刺しゅうを始めます。

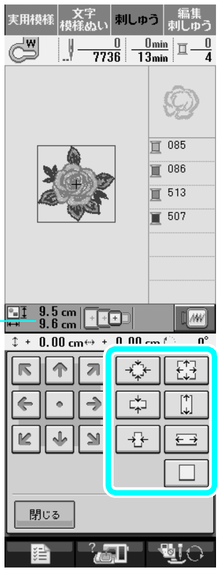


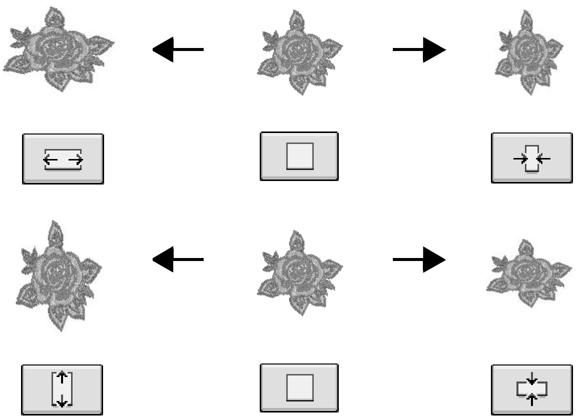
大きさを変える

1 大きさ を押します。

2 大きさを変える方向を選びます。

- を押すと、模様が均等に大きくなります。
- を押すと、模様が均等に小さくなります。
- を押すと、横方向に大きくなります。
- を押すと、横方向に小さくなります。
- を押すと、縦方向に大きくなります。
- を押すと、縦方向に小さくなります。
- を押すと、元の表示に戻ります。



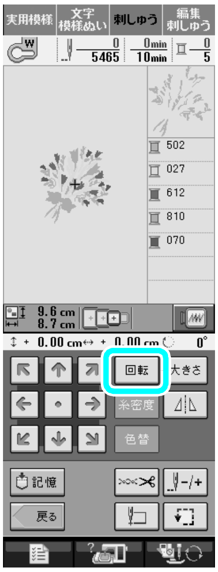


お知らせ
- 文字や模様によって、拡大できる大きさが異なります。
- 文字や模様によっては 90 度回転させると、さらに拡大できます。

3 閉じる を押して、元の画面に戻ります。

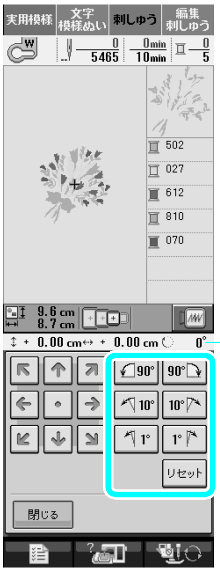
模様を回転させる

1 回転 を押します。



2 模様を回転させる角度を選びます。

- 90° を押すと、押すごとに反時計回りに 90 度ずつ回転します。
- 90° を押すと、押すごとに時計回りに 90 度ずつ回転します。
- 10° を押すと、押すごとに反時計回りに 10 度ずつ回転します。
- 10° を押すと、押すごとに時計回りに 10 度ずつ回転します。
- 1° を押すと、押すごとに反時計回りに 1 度ずつ回転します。
- 1° を押すと、押すごとに時計回りに 1 度ずつ回転します。
- リセット を押すと、元の角度に戻ります 。

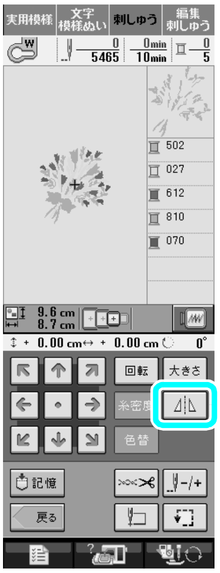


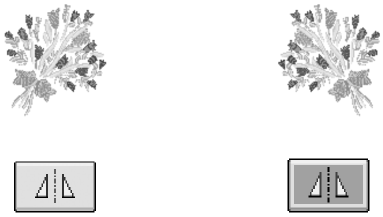
0°

3 閉じる を押して、元の画面に戻ります。

模様を左右反転させる

選んだ模様を左右反転させるには、 を押します。このとき、表示が に変わります。 を押すと、元に戻ります。



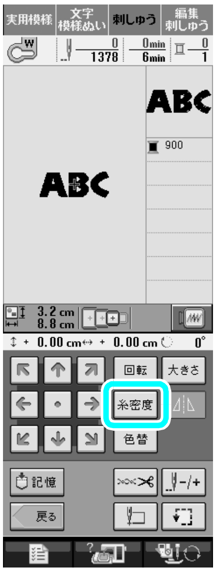


糸密度を変える（文字・枠模様のみ）

文字模様、枠模様には、糸密度を変更できるものがあります。

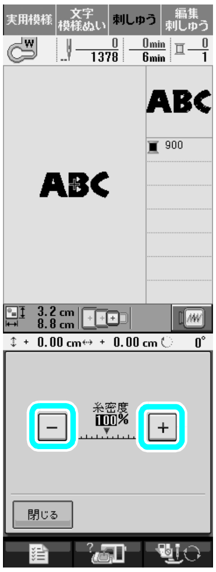
糸密度を 80% と 120% の間で、5% きざみで設定できます。

1 **を押します。**

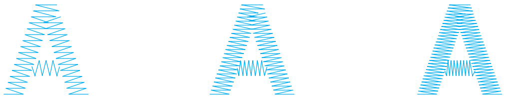


❷ 密度を変えます。

- 密度をあらくする場合は、[−] を押します。
- 密度を細かくする場合は、[＋] を押します。



あらい（ぬい目の間隔が広い）　標準　細かい（ぬい目の間隔が狭い）



[−]　[＋]

→ ボタンを押すたびに模様の密度が変わります。

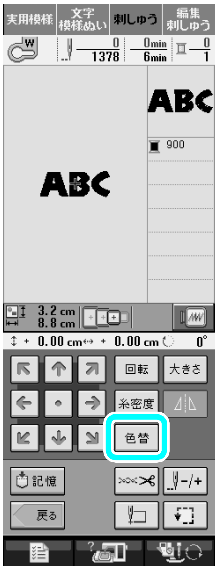
❸ [閉じる] を押して、模様選択画面に戻ります。

1 文字ずつ色を変えてぬう

ひらがな／カタカナまたはアルファベットを選んだとき、1 文字ずつ違う色でぬうことができます。色替を設定すると、1 文字ぬうごとにミシンが止まるので、糸の色を変えることができます。

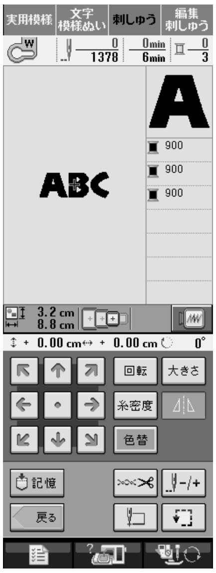
❶ [色替] を押します。

- このキーをもう 1 度押すと、元の設定に戻ります。



→ 表示が [色替] に変わります。

❷ 1 文字ぬい終わったら糸の色を替えて、次の文字をぬいます。



刺しゅう模様の記憶

刺しゅうデータに関する注意

このミシンで作成・記憶したデータ以外の刺しゅうデータを扱うときは、以下の点に注意してください。

注 意

当社正規の模様以外の刺しゅうデータを使用する際は、糸密度が細かすぎる場合や 3 回以上の重ねぬいをする場合があり、糸切れや針折れが発生するおそれがあります。そのような場合は、当社正規のデータ作成装置（刺しゅう PRO など）で、刺しゅうデータを修正して使用してください。

■ 使用可能な刺しゅうデータの種類

- このミシンで扱える刺しゅうデータは、.pen、.pes、.pha、.phb、.phc、および .dst ファイルのみです。.pen ファイルはコピー防止機能付きの刺しゅうデータです。当社正規のデータ作成装置またはミシンで作成された模様以外のデータを扱うと、ミシンが誤作動するおそれがあります。
- .pen ファイルについては、当社インターネットの刺しゅうデータダウンロードサイト「ハートステッチズ」（http://www.heartstitches.com）で今後掲載される情報をご参照ください。

■ 使用可能な USB デバイス／メディア

刺しゅうデータは、USB メディアに記憶し、呼び出すことができます。次の仕様を満たすメディアを使用してください。

- USB フロッピーディスクドライブ
- USB フラッシュドライブ（USB フラッシュメモリー）

呼び出しのみが可能な刺しゅうデータ

- USB CD-ROM、CD-R、CD-RW ドライブ

次の USB メディアを USB メモリーカードリーダー／ライターとともに使うこともできます。

- SD メモリーカード
- コンパクトフラッシュ
- メモリースティック
- スマートメディア
- マルチメディアカード（MMC）
- XD ピクチャーカード

お願い

- 一部の USB メディアは、このミシンで使用できない場合があります。詳細は、ブラザーのホームページ (http://www.brother.co.jp) をご覧ください。
- USB デバイス／メディアの挿入後、アクセスランプが点滅を始めます。デバイス／メディアの認識に、5 ～ 6 秒かかります。（この時間は USB デバイス／メディアによって異なります）。

フォルダを作成する場合は、パソコンを使用します。

■ 使用可能なパソコンの種類と OS

- OS：
  Microsoft Windows 98SE/Me/2000/XP
  （Windows 98SE の場合はドライバが必要です。ブラザーのホームページ (http://www.brother.co.jp) からダウンロードしてください。ドライバが必要なのは、Windows 98SE のみです。）

■ パソコンでデータを作成・保存するときの注意

- 刺しゅうデータのファイル名には半角英数字を使用してください。他の文字を使用すると、模様が表示されないことがあります。
- 縦 30cm ×横 18cm より大きい刺しゅうデータを選ぶと、メッセージが表示され、模様を 90 度回転するか尋ねてきます。
  90 度回転しても、縦 30cm ×横 18cm より大きい刺しゅうデータは扱うことができません。（デザインは全て、デザイン領域縦 30cm ×横 18cm 内にしてください。）
- 針数、色数の制限を越えて記憶した .pes ファイルは使用できません。当社正規のデータ作成装置で、制限内の模様に修正してご使用ください。
- 刺しゅう機を取り付けていない場合にも、このミシンは刺しゅうデータを扱うことができます。

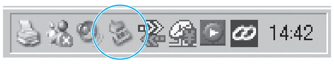
■ Tajima（.dst）刺しゅうデータ

- .dst データは、模様を一覧する画面にファイル名で表示されます（実際のイメージは表示されません）。ファイル名の最初の 8 文字のみが表示されます。
- Tajima（.dst）データには、具体的な糸色の情報が含まれていないため、標準的な糸色で表示されます。プレビューを確認し、必要に応じて糸色を変えます。

お知らせ
本取扱説明書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。ただし、本文中には ® および TM 等のマークは明記しておりません。

注意

USB ケーブルを外す場合：
USB ケーブルを外す前に、**Windows Me/2000** では、タスクバーの「ハードウェアの取り外し」アイコンをクリックし、**WindowsXP** では、タスクバーの「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックします。これで、リムーバブルディスクを安全に外し、パソコンまたはミシンから **USB** ケーブルを取り外すことができます。



Windows 98SE の場合は、パソコンとミシンから **USB** ケーブルを取り外す前に、アクセスランプが点滅していないことを確認してください。

刺しゅう模様を記憶させる

自分の名前など、よく使う文字の組み合わせや、大きさや傾き、位置を変えた模様などをミシンに記憶させることができます。20 組までの模様を記憶させることができます。

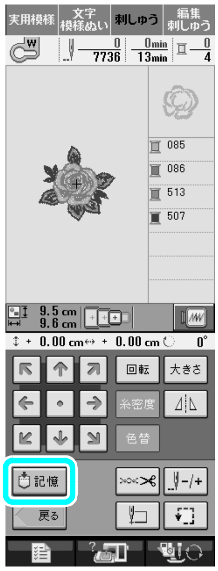
お願い

「記憶中」のメッセージが表示されているときは、電源スイッチを切らないでください。記憶されている模様データが消えるおそれがあります。

お知らせ

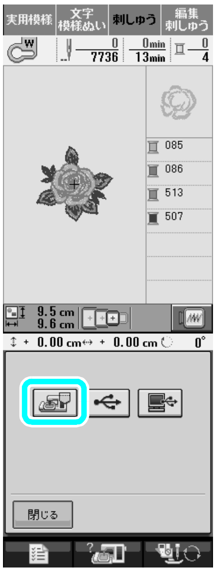
- 記憶するのに数秒かかります。
- 記憶した模様を呼び出すときは、P.191 を参照してください。

1 模様が縫製画面に表示されているときに、[記憶] を押します。



2 [記憶アイコン] を押します。

- [閉じる] を押すと、記憶せずに元の画面に戻ります。



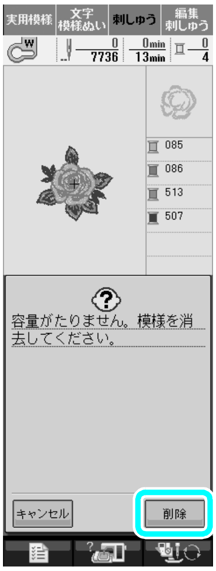
→「記憶中」のメッセージが表示されます。模様が記憶されると、自動的に元の画面に戻ります。

■ 記憶できないときは

下のメッセージが表示されたときは、20 組を超えて記憶させようとしている、または記憶させる模様の使用メモリ量がミシンの残りのメモリ容量を越えています。すでに記憶されている模様を消去すると、新しい模様を記憶できます。

1 [削除] を押します。

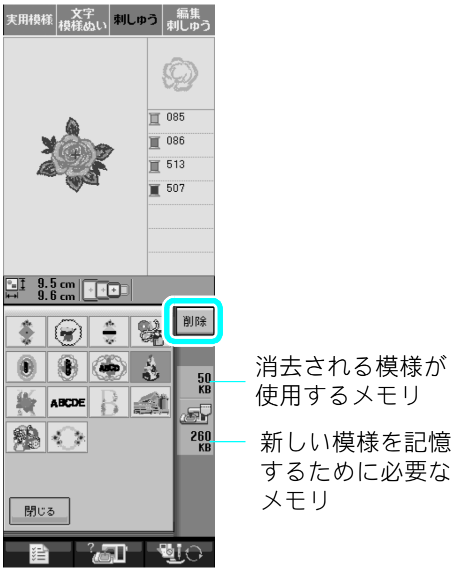
- [キャンセル] を押すと、記憶せずに元の画面に戻ります。



→ 現在、記憶されている模様が表示されます。

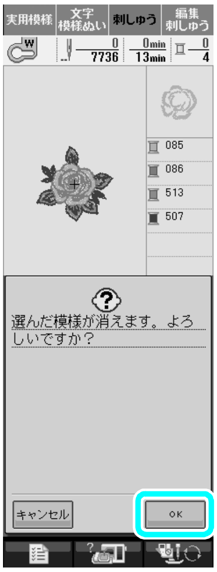
2 **消去する模様を選びます。**

3 **削除 を押します。**



4 **OK を押します。**

- 消去しない場合は キャンセル を押します。



→「記憶中」のメッセージが表示されます。模様が記憶されると、自動的に元の画面に戻ります。

お願い

「記憶中」のメッセージが表示されているときは、電源スイッチを切らないでください。記憶しようとしている模様データが消えるおそれがあります。

お知らせ

- 模様を消去して、不足していたメモリ容量が確保されると、自動的に新しい模様が記憶されます。模様を消去してもメモリ容量が足りないときは、上記の手順を繰り返し、もう一度記憶されている模様を消去してください。
- 模様の記憶には数秒かかります。
- 記憶した模様を呼び出すときは、P.191 を参照してください。

刺しゅう模様を市販の USB メディアに記憶させる

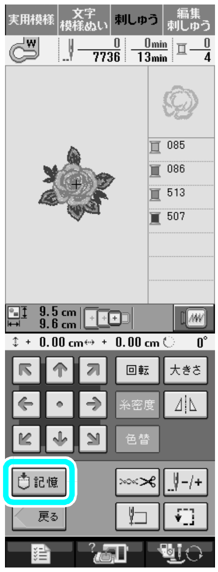
刺しゅう模様をミシンから USB メディアに送るときには、USB メディアのプラグをミシンの USB ポートに差し込みます。USB メディアの種類によって、ミシンの USB ポートに直接差し込むか、ミシンの USB ポートに USB カードライター／リーダーを差し込みます。

お知らせ

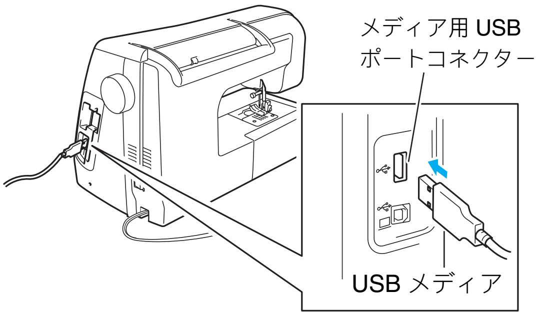
一部の USB メディアは、このミシンで使用できない場合があります。詳細は、ブラザーのホームページ (http://www.brother.co.jp) をご覧ください。

1 **模様が縫製画面に表示されているときに、**

［記憶］を押します。



2 **USB メディアをミシンの USB ポートコネクターに差し込みます。**

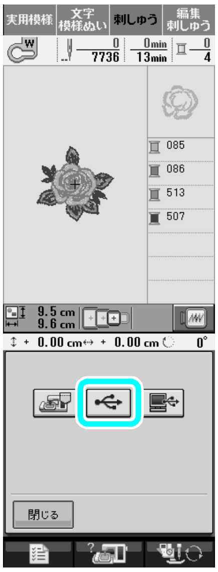


お知らせ

- USB メディアは、いつでも挿入、取り外しができます。
- UBS メディアポートコネクターには、USB メディア以外のものを挿入しないでください。USB メディアドライブの故障の原因となります。

3 **［USB］を押します。**

- ［閉じる］を押すと、記憶せずに元の画面に戻ります。



→「記憶中」のメッセージが表示されます。模様が記憶されると、自動的に元の画面に戻ります。

刺しゅう模様をパソコンに記憶させる

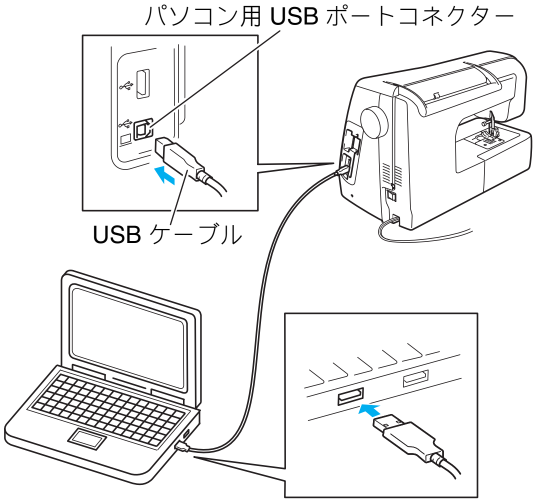
付属の USB ケーブルでミシンをパソコンに接続できます。刺しゅう模様をパソコンに記憶させたり、呼び出したりできます。

お願い

「記憶中」のメッセージが表示されているときは、電源スイッチを切らないでください。記憶しようとしている刺しゅう模様データが消えるおそれがあります。

1 **ミシンとパソコンの USB ポートコネクターに USB ケーブルを差し込みます。**

- パソコンとミシンに電源が入っていないときでも、USB ケーブルでパソコンとミシンを接続できます。

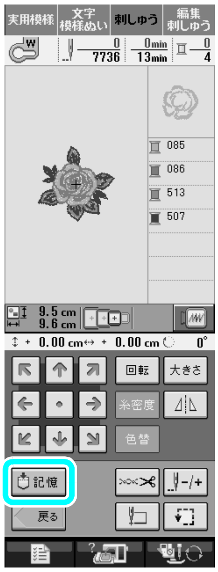


→ パソコンの「マイコンピュータ」に「リムーバブルディスク」のアイコンが表示されます。

お願い

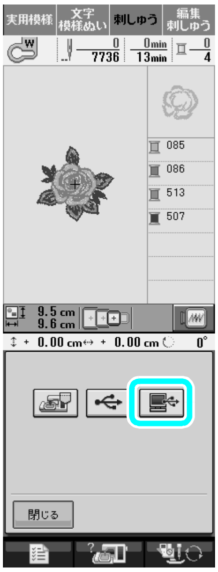
- USB ケーブルは、差し込む向きが決まっています。うまく差し込めない場合は、無理に差し込まず、向きを確認してください。
- パソコンの USB ポート（または USB ハブ）の位置については、ご使用のパソコンの説明書を参照してください。

2 **模様が縫製画面に表示されているときに、[記憶] を押します。**



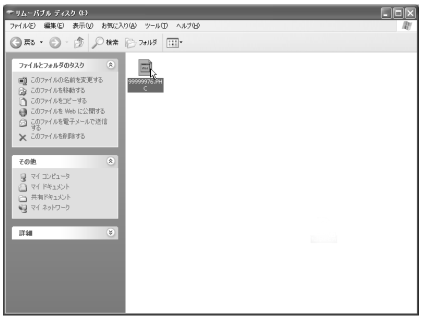
3 **[パソコン] を押します。**

- [閉じる] を押すと、記憶せずに元の画面に戻ります。

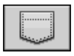


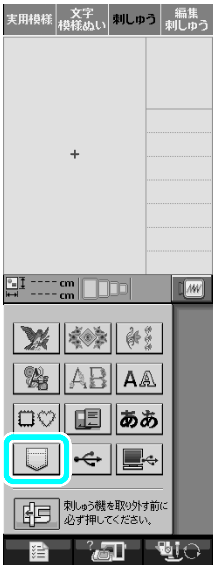
→ 模様は、「マイコンピュータ」の「リムーバブルディスク」に記憶されます。

4 **「リムーバブルディスク」で模様の .phc ファイルを選び、このファイルをパソコンにコピーします。**



刺しゅう模様を呼び出す

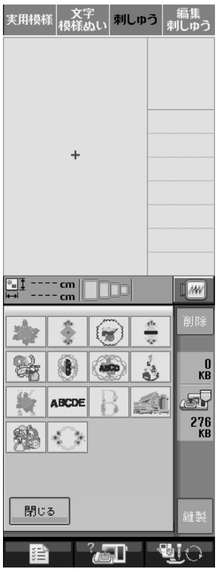
1  **を押します。**



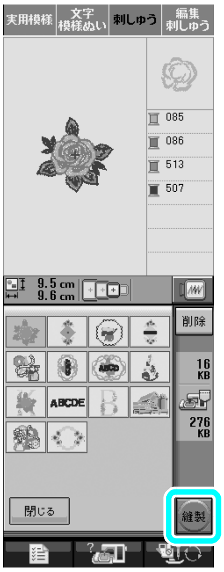
→ 現在記憶されている模様が表示されます。

2 **お好みの模様のキーを押して、呼び出します。**

- 閉じる を押して、元の画面に戻ります。



3 **を押します。**



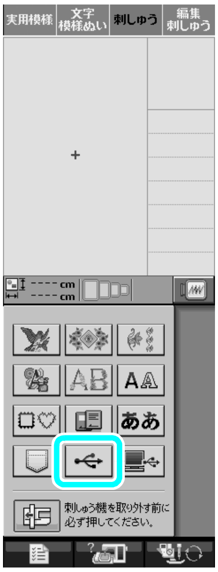
→ 縫製画面が表示されます。

USB メディアから刺しゅう模様を呼び出す

特定の刺しゅう模様を USB メディアから、または USB メディアのフォルダから直接呼び出すことができます。模様がフォルダに格納されている場合は、目的のファイルまで階層をたどります。

1 **USB メディアをミシンの USB ポートコネクターに差し込みます。****（P.189）**

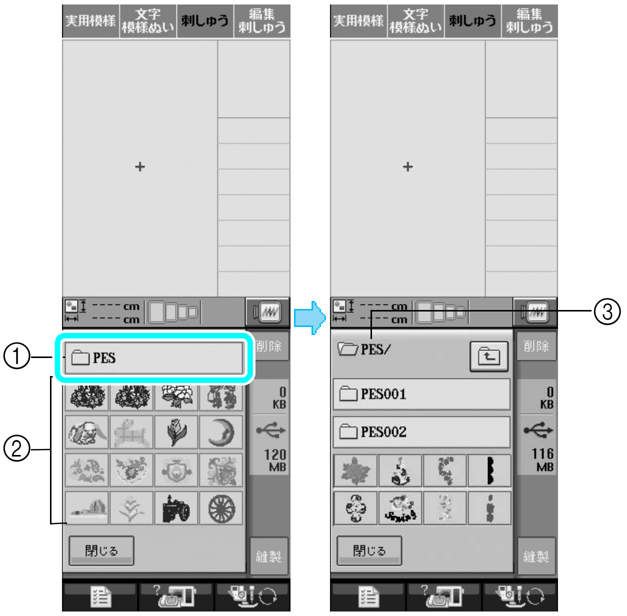
2 **を押します。**



→ 刺しゅう模様と最上位のフォルダが表示されます。

3 複数の模様を分類するためのサブフォルダがある場合は、 を押します。

- 閉じる を押すと、呼び出さずに元の画面に戻ります。



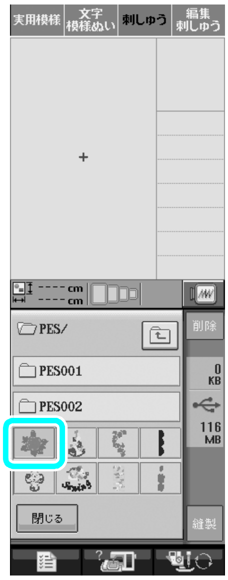
① フォルダ名
② 最上位のフォルダに入っている刺しゅう模様
③ パス

→サブフォルダの刺しゅう模様とフォルダが表示されます。

- を押すと、前のフォルダに戻ります。

4 お好みの模様のキーを押して、呼び出します。

- 閉じる を押すと、元の画面に戻ります。



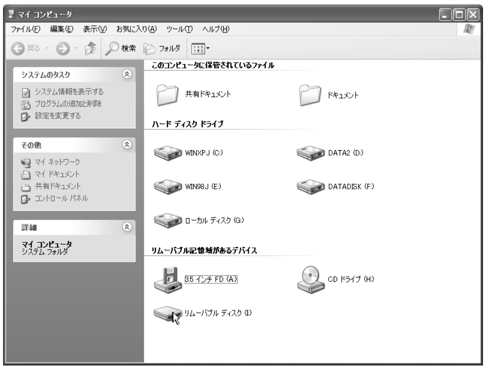
5 縫製 を押します。

→ 選んだ刺しゅう模様が呼び出され、縫製画面が表示されます。

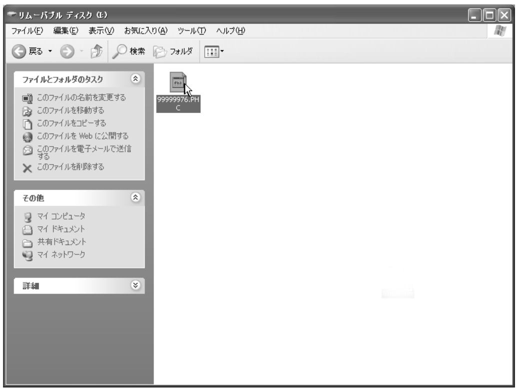
パソコンから刺しゅう模様を呼び出す

1 ミシンとパソコンの USB ポートコネクターに USB ケーブルを差し込みます。(P.190)

2 パソコンで、「マイコンピュータ」を開いて、「リムーバブルディスク」を選択します。



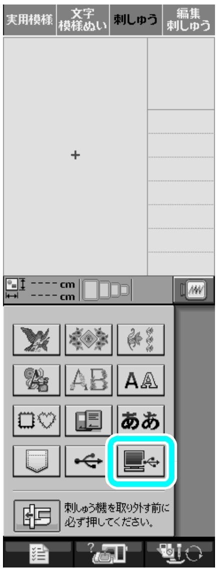
3 模様データを「リムーバブルディスク」に移動／コピーします。



→「リムーバブルディスク」内の模様データがミシンに書き込まれます。

> **お願い**
> - データ書き込み中は USB ケーブルを外さないでください。
> - 「リムーバブルディスク」にフォルダを作成しないでください。フォルダは表示されないため、フォルダ内の模様データを呼び出すことができません。

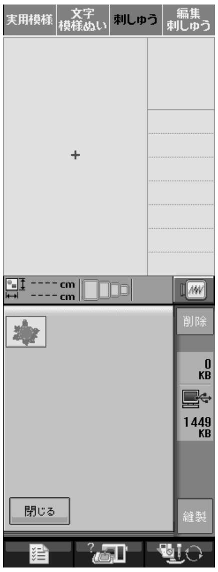
4 を押します。



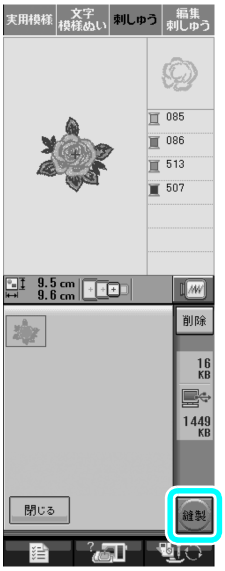
→ パソコンに記憶されている模様が選択画面に表示されます。

5 お好みの模様のキーを押して、模様を呼び出します。

- 閉じる を押すと、元の画面に戻ります。



6 縫製 を押します。



→ 縫製画面が表示されます。

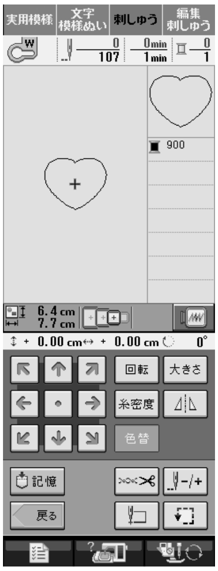
5
刺しゅう

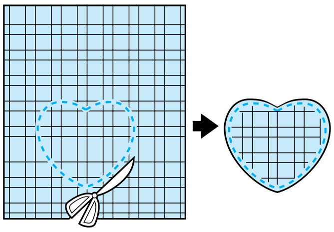
応用ぬい

枠模様を使ってアップリケをする（1）

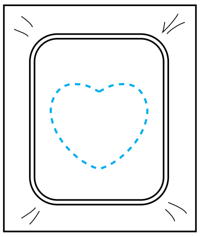
大きさと形が同じ枠模様を使用して、アップリケを作ることができます。直線ぬいで 1 つの模様をぬい、サテンぬいでもう 1 つの模様をぬいます。

1. **直線ぬいの枠模様を選びます。アップリケ布に模様を刺しゅうをしてから、ぬい目の外側をていねいに切り取ります。**

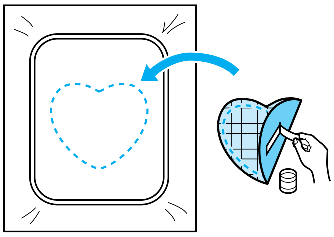




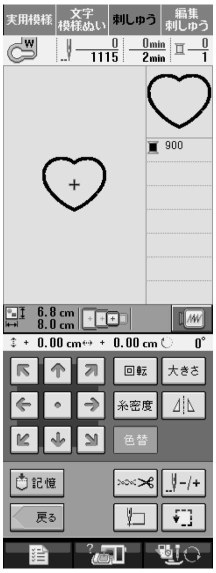
2. **1 と同じ模様を土台布に刺しゅうします。**



3. **1 で作ったアップリケ布の裏側に、薄くのりまたは布用スプレーのりを付け、土台布のぬい目に合わせて、アップリケを貼り付けます。**

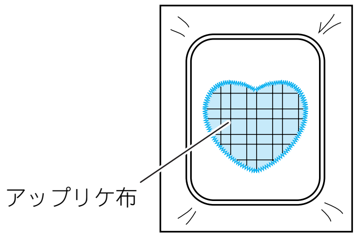


4. **同じ形のサテンぬいの枠模様を選びます。3 のアップリケ布と土台布の上に刺しゅうをして、アップリケを作ります。**



お願い

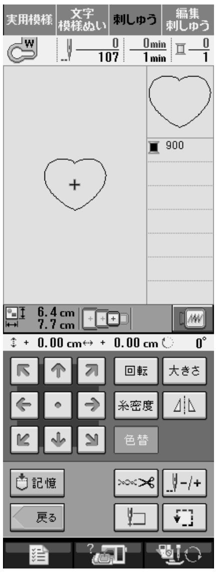
直線ぬいの枠模様を選ぶときに、大きさやぬい位置を変えた場合は、サイズと位置を書き留めてください。サテンぬいの枠模様も同じ大きさ、同じ位置になるように変える必要があります。



枠模様を使ってアップリケをする（2）

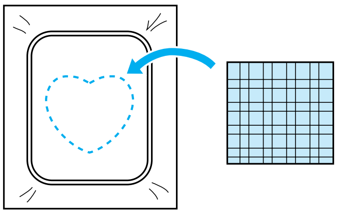
もう１つのアップリケの作り方です。この方法では布地を張り替える必要がありません。直線ぬいで 1 つの模様をぬい、サテン縫いでもう 1 つの模様をぬいます。

1 **直線ぬいの枠模様を選び、土台布に刺しゅうします。**

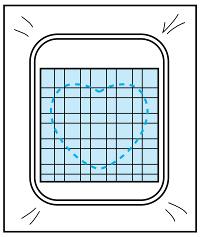


2 **①の刺しゅうの上にアップリケ布を置きます。**

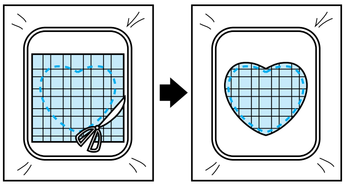
- このとき、ぬい目がアップリケ布からはみでないようにしてください。



3 **アップリケ布の上からもう一度同じ枠模様を刺しゅうします。**

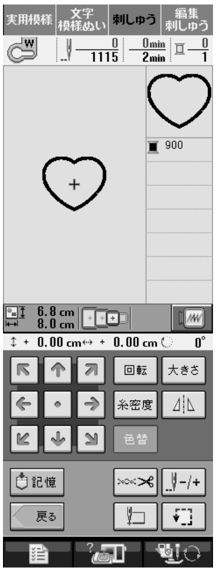


4 **刺しゅう機から刺しゅう枠を外し、ぬい目の外側を切り取ります。**



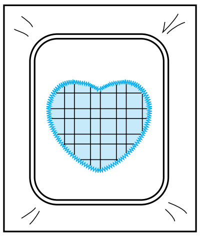
> **お願い**
> 布地は刺しゅう枠にはめたまま切ってください。また、布地に無理な力をかけないでください。枠に張った布地がたるむことがあります。

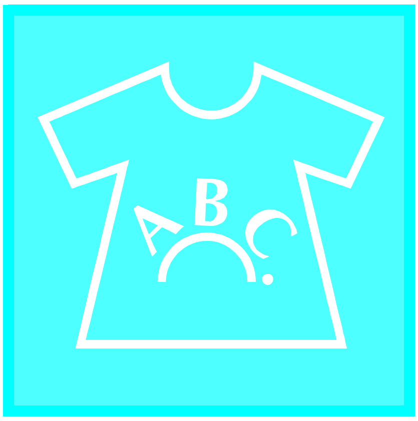
5 **同じ形のサテンぬいの枠模様を選びます。**



> **お願い**
> 模様の大きさや位置を変えないでください。

6 **刺しゅう枠を刺しゅう機にセットし、サテンぬいの模様を刺しゅうしてアップリケを作ります。**





第 6 章 編集刺しゅう

編集刺しゅうでできること 198

刺しゅう模様の選び方 199

ワンポイント / ヘアルーム模様 / ふち飾り / クロスステッチ /
花アルファベット / 枠模様を選ぶ 200
文字模様を選ぶ 200

編集のしかた 202

■ キーのはたらき 203
ぬう位置を移動させる 204
模様を回転させる 204
模様の大きさを変える 205
模様を削除する 205
文字の配列を変える 206
文字の間隔を変える 206
文字の間隔を詰める 207
縦書き / 横書きを切り替える 207
1 文字ずつ色を変えてぬう 208
刺しゅうの糸色を変える 208
色パレットを作成する 209
■ リストからの色パレットへの色の追加 210
色パレットから色を選ぶ 211
連続模様をつくる 212
■ 連続模様をぬう 212
■ 連続模様の中のひとつを繰り返す 213
■ 糸印をつける 214
編集が終わったら 215

模様の組み合わせ 216

組み合わせ模様を編集する 216
組み合わせ模様を刺しゅうする 218

編集刺しゅう模様の記憶 218

編集刺しゅうでできること

編集刺しゅうでは、刺しゅう模様と文字の組み合わせ、模様の大きさの変更、模様の回転など、様々な編集機能を使用できます。このミシンには、次つ 9 つの機能があります。

■ 組み合わせ

刺しゅう模様、枠模様、文字、記憶から呼び出した模様、別売りの刺しゅうカードの模様など、いろいろな模様の組み合わせが簡単にできます。

■ 移動

縦 30cm ×横 18cm の範囲で、模様を移動し、位置を液晶画面で確認できます。

■ 回転

模様を 1 度、10 度、または 90 度ずつ回転することができます。

■ 拡大縮小

模様を縦横に拡大縮小することができます。

- 模様によっては、拡大縮小できないものがあります。

■ 左右反転

模様を左右に反転できます。

- 模様によっては、左右反転できないものがあります。

■ 文字の間隔変更

文字の間隔を詰めたり、広げたりすることができます。

■ 文字の配列変更

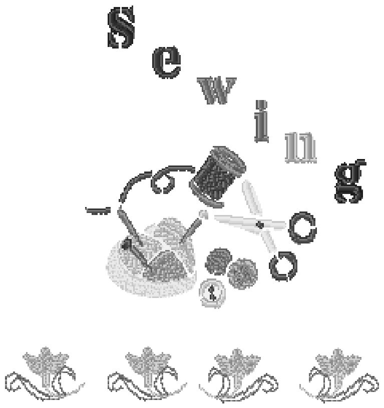
文字を曲線状に並べたり、斜めに並べたり、文字の配列を換えることができます。6 通りの配列があります。

■ 糸色の変更

模様の色をお好みの糸色に変えることができます。

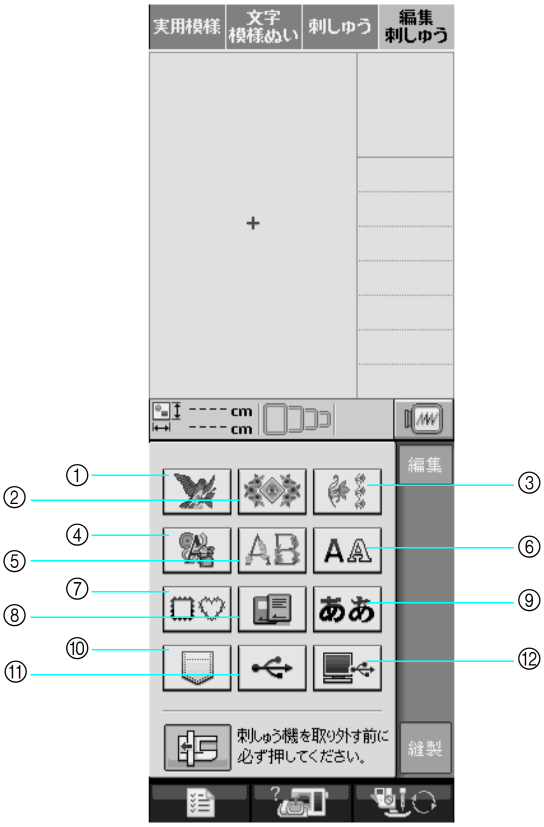
■ 連続模様の作成

縦方向または横方向に同じ模様をコピーして連続模様を作成できます。



刺しゅう模様の選び方

P.146 の説明に従って刺しゅうの準備をし、編集 刺しゅう を押して次の画面を表示します



① ワンポイント
② ヘアルーム模様
③ ふち飾り
④ クロスステッチ
⑤ 花アルファベット
⑥ アルファベット
⑦ 枠模様
⑧ 刺しゅうカード（別売）の模様
⑨ ひらがな / カタカナ
⑩ 記憶した模様の呼び出し（P.191 参照）
⑪ USB メディアからの模様の呼び出し（P.191 参照）
⑫ パソコンからの模様の呼び出し（P.192 参照）

お知らせ

それぞれの模様の選択画面の詳細については、P.151 を参照してください。

お願い

実用模様 または 文字 模様ぬい を押して、刺しゅう機を付けた状態で、実用ぬいや文字・模様ぬいもできます。ぬい始める前に、送り歯を上げて、適した押えを取り付けます。

ワンポイント / ヘアルーム模様 / ふち飾り / クロスステッチ / 花アルファベット / 枠模様を選ぶ

1 **模様の種類を選びます。**

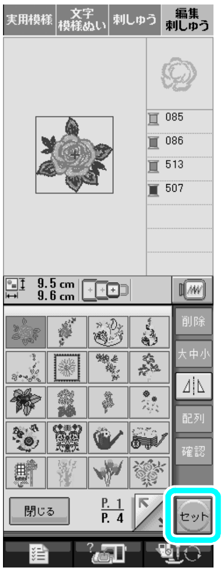
2 **お好みの模様のキーを押して、編集する模様を選びます。**

- 模様選択の詳細については、P.152 または P.154 を参照してください。

→ 模様は、画面の上部に表示されます。

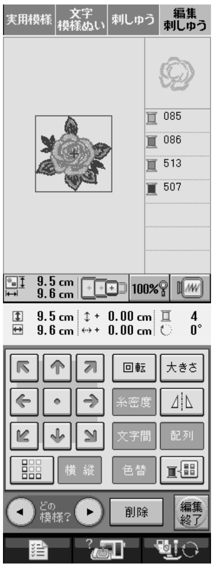
3

を押します。



→ 選んだ模様は、編集刺しゅうの画面で赤い四角の枠で囲まれます。

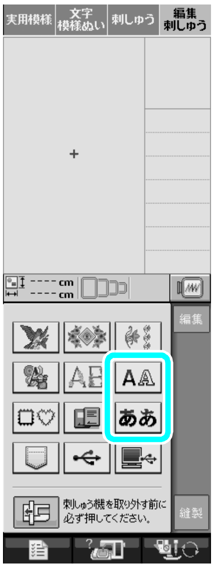
4 **P.202「編集のしかた」に進んで、模様を編集します。**



文字模様を選ぶ

編集刺しゅう画面で文字模様を選ぶときには、同時に編集もできます。

1 **文字の種類を選びます。**

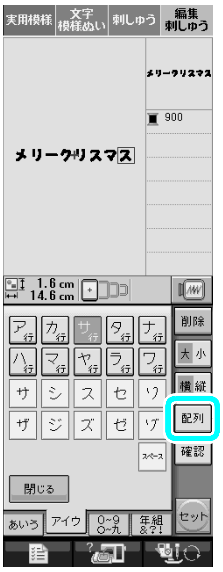


2 **書体を選んで、文字を入力します。（例：メリークリスマス）**

- 文字選択の詳細については、P.153 を参照してください。

3 **【配列】を押して、お好みの文字の配列に変えます。**

- 文字が小さすぎて見えない場合は、【確認】を押すと、入力した文字すべてを確認できます。



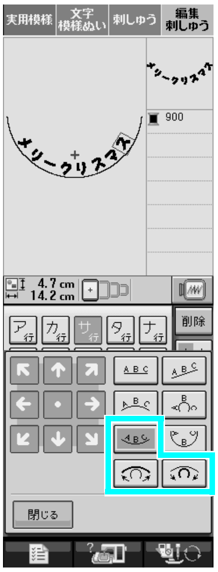
4 **お好みの配列を選びます。（例：　）**

曲線を選ぶ場合は、　と　を使用すると、曲線の角度が変わります。

- ゆるやかな曲線にするときは　を押します。
- 急な曲線にするときは　を押します。

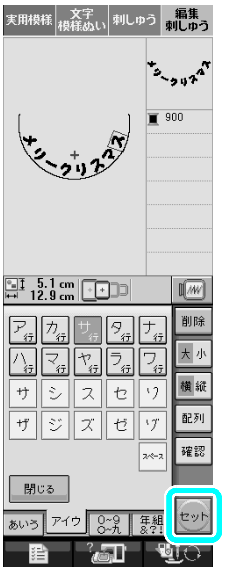
お知らせ

　を選んだときは　および　は、　および　に変わり、傾斜を増加または減少させることができます。



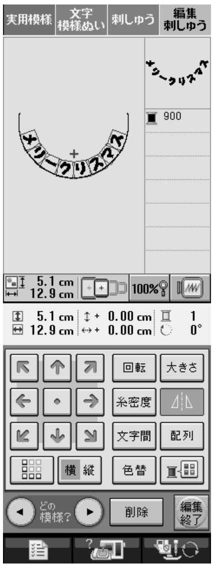
5 **【閉じる】を押して、元の画面に戻ります。**

6 **選択が終わったら、【セット】を押します。**



→ 編集画面が表示されます。

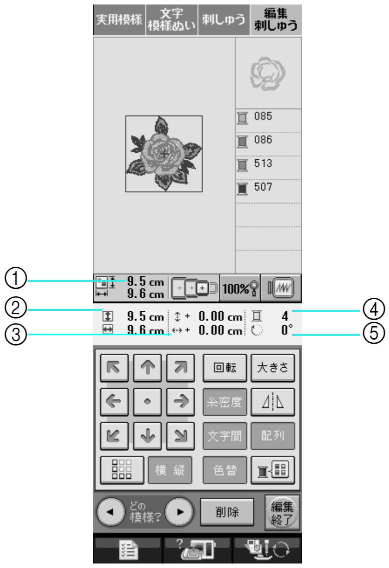
7 **P.202「編集のしかた」に進んで、模様を編集します。**

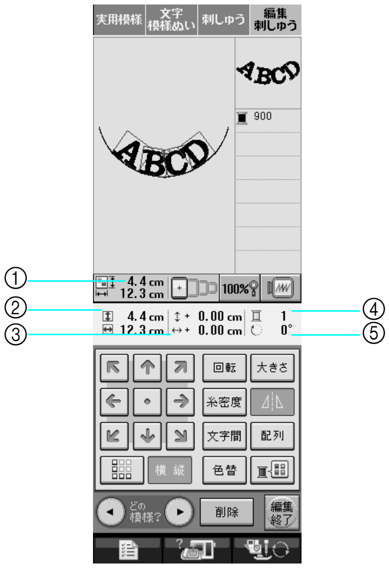


6

編集刺しゅう

編集のしかた

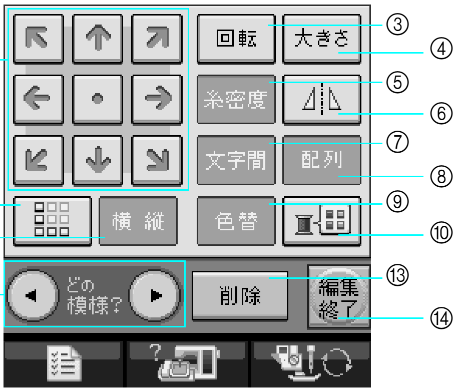


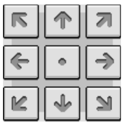
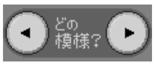


① 全体の模様の大きさを示します。
② 編集している模様の大きさを示します。
③ ぬう位置を移動したときの、中心からの移動距離を示します。
④ 現在選択されている色、模様の色数を示します。
⑤ 模様の回転角度を示します。

お知らせ
キーが灰色で表示されている場合、選んだ模様にその機能を使うことはできません。

■ キーのはたらき

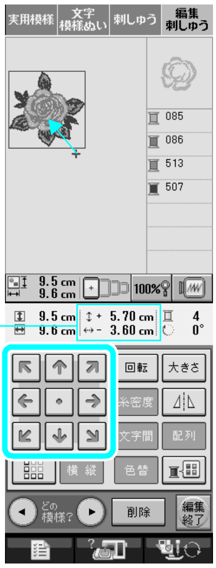


No.	画面表示	名称	はたらき	参照ページ
①		矢印キー（ はセンターキー）	矢印の方向に模様のぬう位置を移動することができます。 を押すと、元の位置に戻ります 。	204
②		ボーダーキー	模様を連続させることができます。	212
③		回転キー	模様を回転することができます。1 回につき 1 度、10 度、または 90 度回転することができます。	204
④		大きさキー	模様の大きさを変えることができます。模様を拡大または縮小できます。	205
⑤		糸密度キー	枠模様や文字模様の密度を変えることができます。	183
⑥		左右反転キー	模様を左右に反転することができます。	183
⑦		文字間キー	文字の間隔を変えることができます。	206
⑧		配列キー	文字の配列を変えることができます。	206
⑨		色替キー	文字の色を 1 文字ずつ変えることができます。	208
⑩		糸パレットキー	表示されている模様の色を変えることができます。	208
⑪		横縦キー	横書き / 縦書きを切り替えることができます。	207
⑫		模様選択キー	模様の組み合わせが選ばれているときは、これらのキーを使用して、編集する部分を選びます。（選ばれた模様は、赤い四角で囲まれます。）	-
⑬		削除キー	選択した模様（赤い四角の枠で囲まれている模様）を削除します。	205
⑭		編集終了キー	次のステップに進みます。	215

ぬう位置を移動させる

移動する方向の 矢印キーを押します。

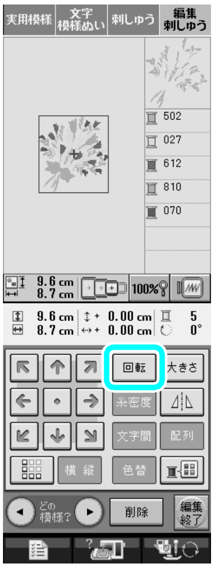
・ を押すと、中心に戻ります。



中心からの移動距離

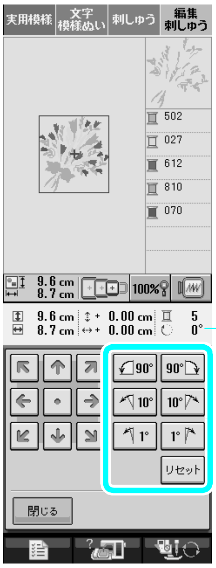
模様を回転させる

1 回転 **を押します。**



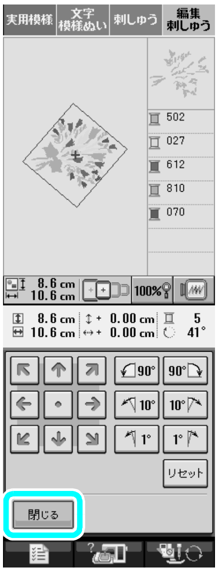
2 **回転する角度を選びます。**

- 90° を押すと、押すごとに反時計回りに 90 度ずつ回転します。
- 90° を押すと、押すごとに時計回りに 90 度ずつ回転します。
- 10° を押すと、押すごとに反時計回りに 10 度ずつ回転します。
- 10° を押すと、押すごとに時計回りに 10 度ずつ回転します。
- 1° を押すと、押すごとに反時計回りに 1 度ずつ回転します。
- 1° を押すと、押すごとに時計回りに 1 度ずつ回転します。
- リセット を押すと、元の角度に戻ります 。



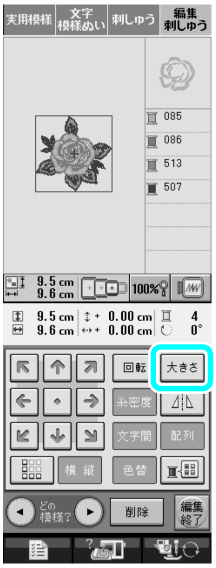
回転の角度

3 閉じる **を押して、元の画面に戻ります。**



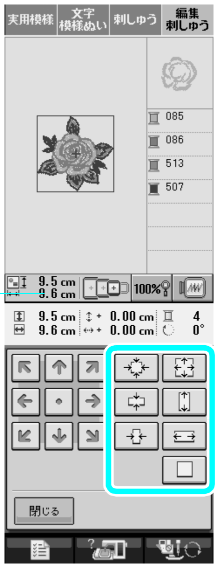
模様の大きさを変える

1 **大きさ を押します。**

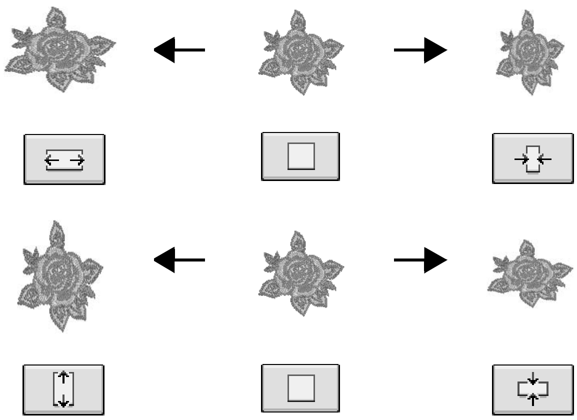


2 **大きさを変える方向を選びます。**

- を押すと、模様が均等に大きくなります。
- を押すと、模様が均等に小さくなります。
- を押すと、横方向に大きくなります。
- を押すと、横方向に小さくなります。
- を押すと、縦方向に大きくなります。
- を押すと、縦方向に小さくなります。
- を押すと、元の表示に戻ります。



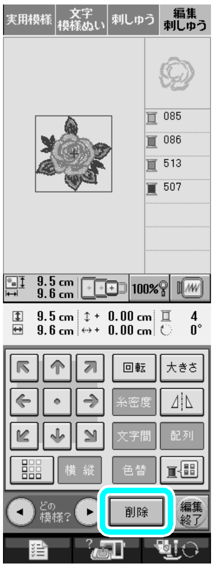
編集している模様の大きさを示します。



3 **閉じる を押して、元の画面に戻ります。**

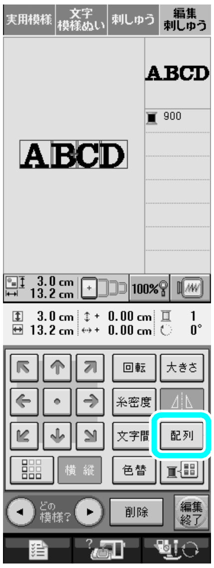
模様を削除する

削除 を押して、画面から模様を削除します。



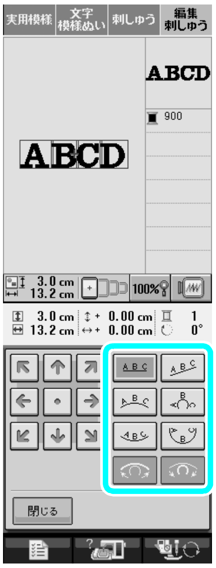
文字の配列を変える

1 配列 **を押します。**



2 **お好みのレイアウトのキーを押します。**

- レイアウトの詳細については、P.201 を参照してください。

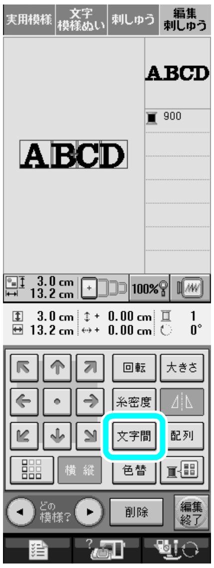


→ 選んだレイアウトが表示されます。

3 閉じる **を押します。**

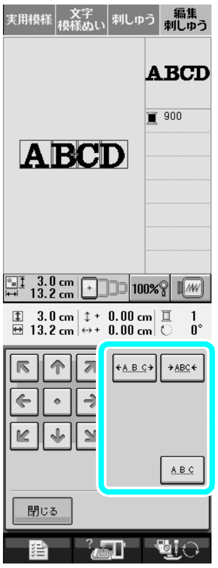
文字の間隔を変える

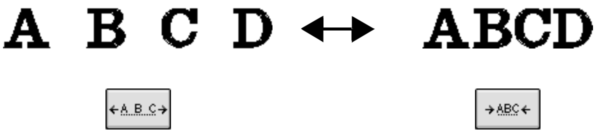
1 文字間 **を押します。**



2 ←A B C→ **または** →ABC← **を使用して、間隔を変えます。**

- ←A B C→ を押すごとに、文字の間隔が広くなります。
- →ABC← を押すごとに、文字の間隔がせまくなります。
- A B C を押すと、元の表示に戻ります。



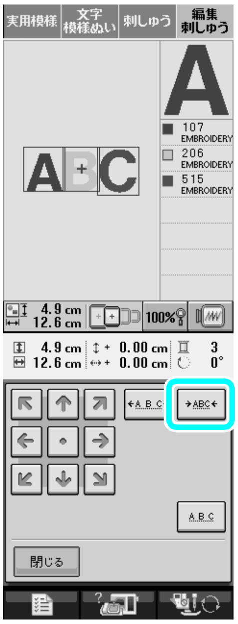


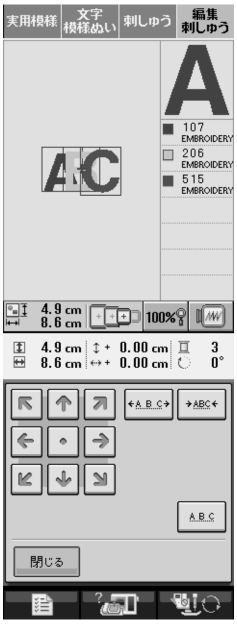
3 閉じる **を押すと、元の画面に戻ります。**

文字の間隔を詰める

グループで最も幅のせまい文字の 50% まで、文字の間隔を詰めることができます。

> **お願い**
> - 編集したデータを他のバージョンのミシンに移すことはお勧めできません。一部の機能は他のミシンに搭載されていないため、問題が発生するおそれがあります。
> - 文字が直線上に配列されている場合のみ、間隔を詰めることができます。

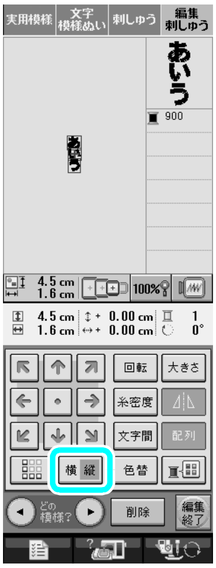




縦書き / 横書きを切り替える

ひらがな／カタカナの、縦書き／横書きを切り替えることがでできます。

1 **横 縦 を押して、縦書き / 横書きを切り替えます。**

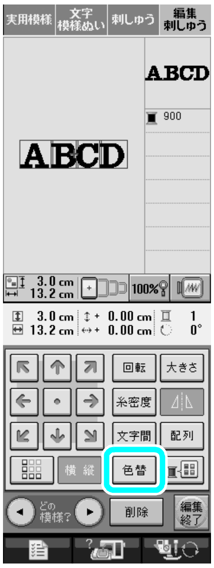


> **お知らせ**
> - 縦書きのときは、文字の配列を変えることはできません。
> - アルファベットを縦書きに切り替えることはできません。

1 文字ずつ色を変えてぬう

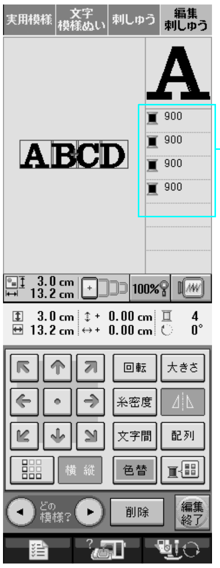
ひらがな / カタカナまたはアルファベットを選んだとき、1 文字ずつ違う色でぬうことができます。
色替を設定すると、1 文字ぬうごとにミシンが止まるので、糸の色を変えることができます。

1 色替 **を押します。**



2 **1 文字ぬい終わったら糸の色を替えて、次の文字をぬいます。**

- を押すと、刺しゅう糸をお好みの色に変えることができます。(本ページの「刺しゅうの糸色を変える」参照)

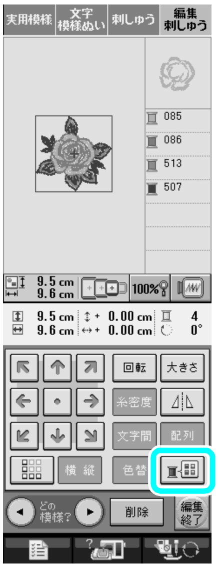


各文字の色

刺しゅうの糸色を変える

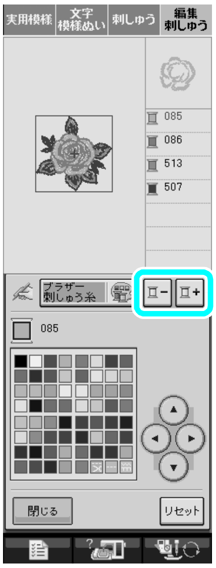
変更する色を色替の順番の最初に移動し、ミシンの糸色から新しい色を選ぶことで、糸色を変更できます。

1 **を押します。**



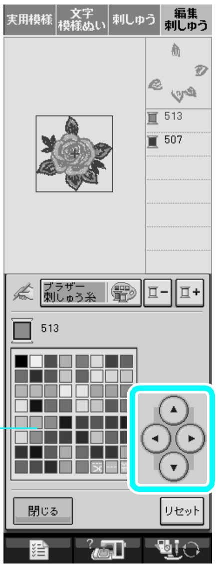
→ 糸色パレット画面が表示されます。

2 **または を押して、変えたい色を色替順の一番上に置きます。**



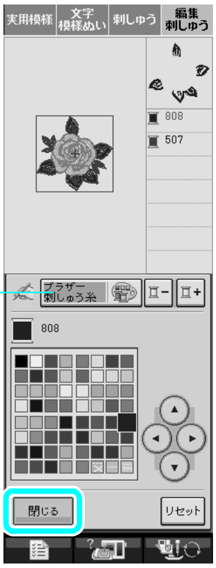
3 ▲ ◀ ▶ ▼ **を押して、カラーパレットで新しい色を選びます。**

- 元の色に戻るには、リセット を押します。複数の色を選んだ場合は、選んだすべての色が元に戻ります。
- タッチペンで画面に直接触れて、カラーパレットから色を選ぶことができます。



→ 選んだ色が色替順の一番上に表示されます。

4 閉じる **を押します。**



→ 変更された色が表示されます。

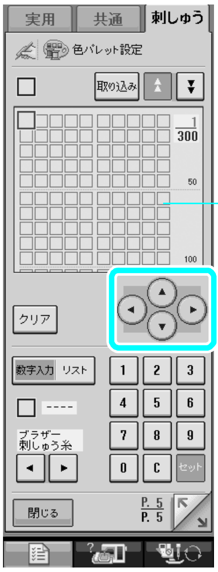
お知らせ
色パレットから色を選ぶ場合は、P.211「色パレットから色を選ぶ」を参照してください。

色パレットを作成する

最もよく使う糸色を含めた色パレットを作成できます。9 種類の刺しゅう糸製品の中から糸色のリストで糸色を選ぶことができます。お好みの色を選んで、色パレットに移動できます。
を押して、次に 刺しゅう を押します。
を押して、P.5 を表示します。

1 ▲ ◀ ▶ ▼ **を使って、色パレットで色を追加する場所を選びます。**

- タッチペンでパレットに直接触れることもできます。
- ▲ と ▼ を使用して、色パレットを一度に 100 色分、スクロールできます。



2 ◀ ▶ **を使用して、刺しゅう糸の製品名を選択します。**

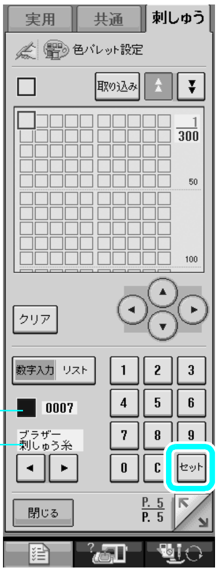
- 本製品は 9 種類の刺しゅう糸製品に対応しています。

6
編集刺しゅう

3 [1] [2] [3] [4] [5] [6] [7] [8] [9] [0] を使用して、色の番号（4 桁）を入力します。

* まちがって入力した場合は、[C] を押して、入力した番号を消去してから、正しい番号を入力します。

4 [セット] を押します。



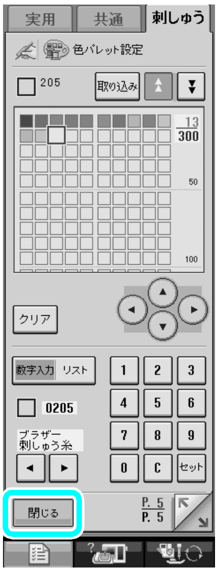
→ 選んだ糸色が色パレットにセットされます。

> **お願い**
>
> [セット] を押していない場合は、糸色の番号は変わりません。

5 上記の手順を繰り返して、お好みの色をすべて指定します。

- 指定した色をパレットから削除するには、[クリア] を押します。

6 [閉じる] を押すと、元の画面に戻ります。



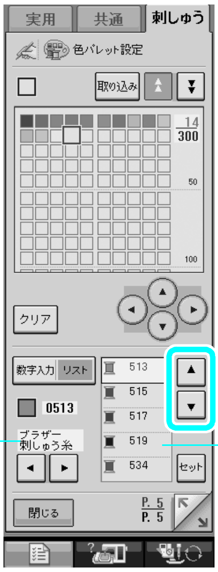
■ リストからの色パレットへの色の追加

1 「色パレットを作成する」の手順から **2** を繰り返します。

2 [数字入力 リスト] を押します。

→ 糸のリストが表示されます。

3 [▲] [▼] を使って糸色を選びます。



4 [セット] を押します。

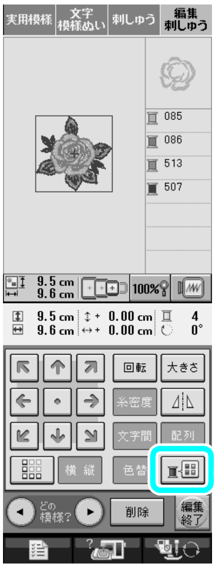
5 上記の手順を繰り返して、お好みの色をすべて指定します。

- 指定した色をパレットから削除するには、[クリア] を押します。

色パレットから色を選ぶ

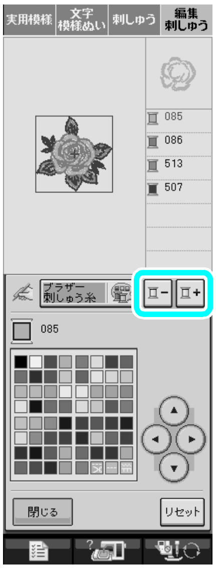
色パレットにセットした、最大 300 色の糸色から選ぶことができます。

1 を押します。

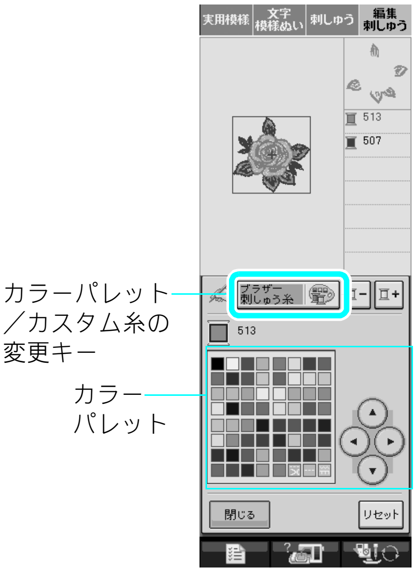


→ 糸色パレット画面が表示されます。

2 または を押して、変えたい色を色替順の一番上に置きます。



3 ［ブラザー刺しゅう糸］を押します。



→ 色パレットが表示されます。

4 を押して、色パレットから新しい色を選びます。

- と を使って、色パレットをスクロールします。
- ［リセット］を押すと、元の色に戻ります。
- タッチペンで画面に直接触れて、色パレットから色を選ぶことができます。

→ 変更された色が表示されます。

5 ［閉じる］を押します。

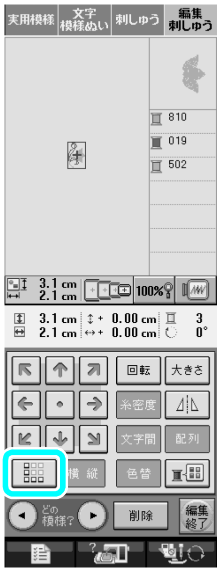
連続模様をつくる

■ 連続模様をぬう

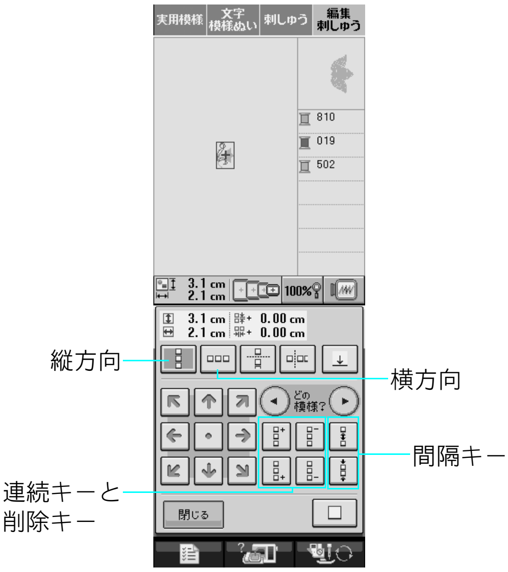
ボーダー機能を使用して、模様を連続させることができます。連続した模様の中で、模様の間隔を調節することもできます。

1 **模様を選んで、セット を押します。**

2 **を押します。**



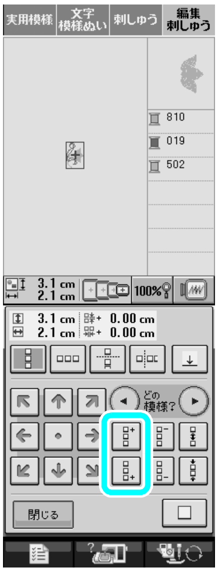
3 **模様を連続させる方向を選びます。**



→ 選んだ方向によって、模様の方向を示す表示が変わります

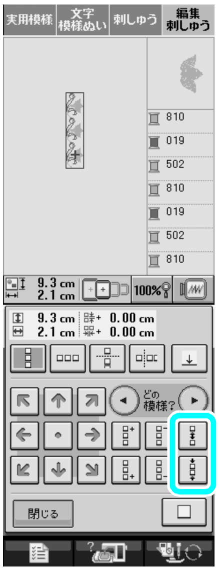
4 **一番上に模様を繰り返すには を、一番下に模様を繰り返すには を使用します。**

- 一番上の模様を削除するには、 を押します。
- 一番下の模様を削除するには、 を押します。



5 **連続模様の間隔を調節します**

- 間隔を広げるには、 を押します。
- 間隔をせまくするには、 を押します。



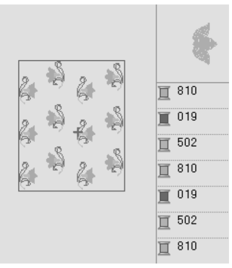
お知らせ
間隔を調節できるのは、赤い枠で囲まれている模様のみです。

6 ③ から ⑤ の手順を繰り返して、連続模様を作成します。

7 閉じる を押して、終了します。

お知らせ

- 複数の模様すべてが、赤い枠で囲われ 1 つの模様になります。



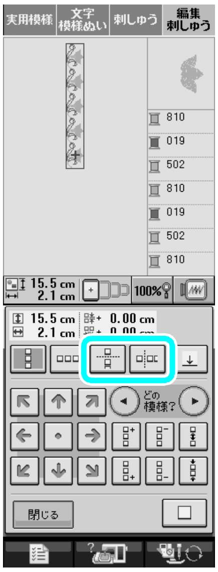
- 模様の連続する方向を変えると、赤い枠の模様すべてが、1 つの連続する模様として自動的にまとめられます。連続模様をひとつの単位に変えるには、 を押します。
  連続した中のひとつを繰り返す方法については、引き続き以下のステップを参照してください。

■ 連続模様の中のひとつを繰り返す

カット機能を使用して、連続模様のひとつを選んで、その単位だけを繰り返すことができます。この機能を使用して、複雑な連続模様をデザインできます。

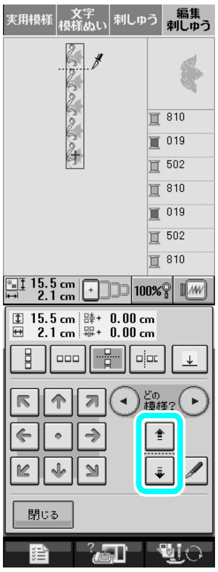
1 連続模様を切る方向を選びます。

- を押すと、縦方向に切ります。
- を押すと、横方向に切ります。



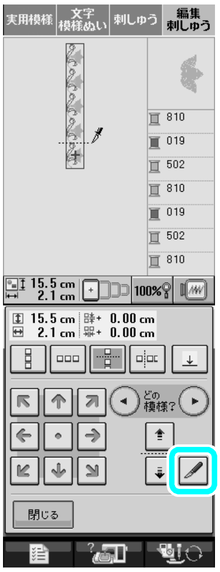
→ 選んだ方向によって、模様の方向を示す表示が変わります

2 と を使って、切り取り線を選びます。



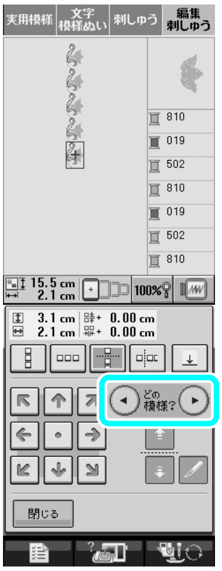
→ 切り取り線が移動します。

3 を押します。



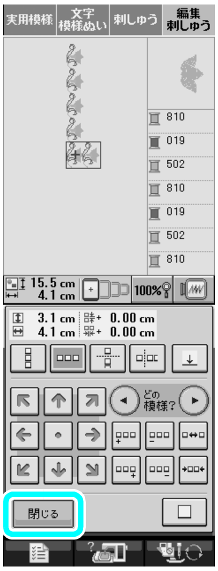
→ 連続模様が別々の単位に切り分けられます。

4 ◀ と ▶ を使って、繰り返す単位を選びます。



5 選んだ単位を繰り返します。

6 閉じる を押して、終了します。



お願い
連続模様をそれぞれの単位に切り分けると、元の状態に戻すことはできません。

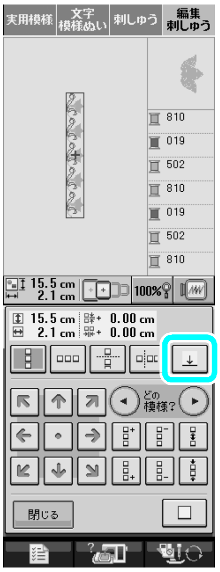
■ 糸印をつける

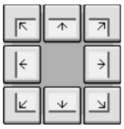
連続模様をさらに続けてぬう場合、糸印をつけると簡単に次の連続模様を配列することができます。模様がぬい終わると、そのまま最後の糸で、矢印の形をした糸印がぬわれます。続けて連続模様をぬう場合は、この矢印の先が次の模様のぬいはじめの位置になります。

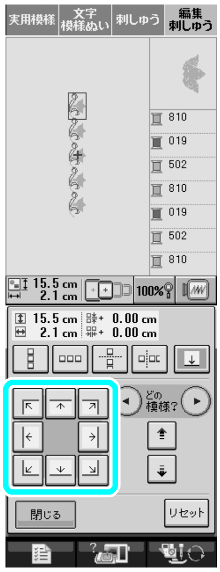
お知らせ
それぞれの模様を繰り返してぬう場合、糸印は模様の周囲にぬいつけることができます。

1 [ボタン] を押します。

2 [↓] を押します。

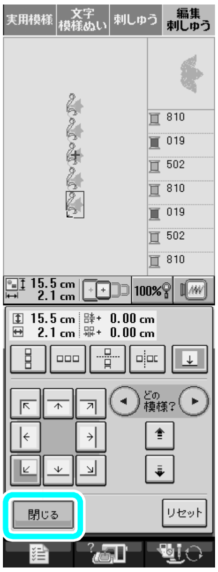


3  を押して、糸印をつける箇所を選びます。



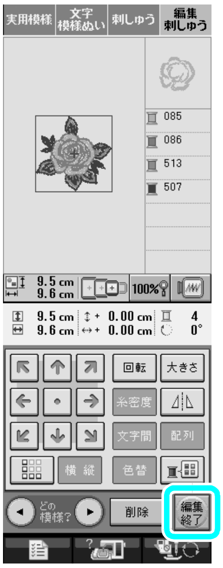
> **お知らせ**
> カット機能を使った場合には、連続した模様が複数になります。その場合、◀ と ▶ または ⬆ と ⬇ を使用して、糸印を割り当てる模様を選びます。

4 閉じる を押します。

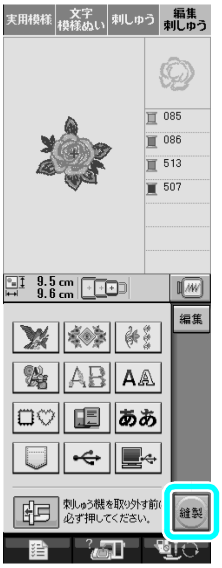


編集が終わったら

1 編集終了 を押します。



2 すぐに模様をぬう場合は、縫製 を押して縫製画面を表示します。



- 編集 を押すと、編集画面に戻ることができます。
- 他の模様と組み合わせるには、この画面から次の模様を選びます。(P.216 参照)
- 模様のぬい方の詳細については、P.165 を参照してください。

> **お知らせ**
> 縫製 を押した後で編集画面に戻る場合は、戻る を押してから 編集 を押します。

6

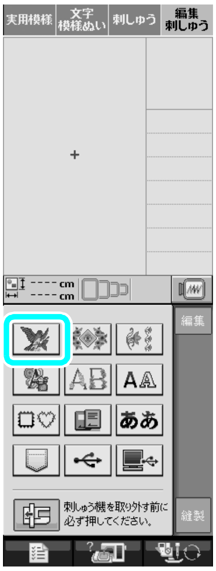
編集刺しゅう

模様の組み合わせ

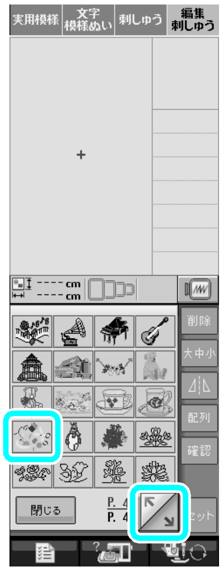
組み合わせ模様を編集する

例： アルファベットと刺しゅう模様を組み合わせて編集する。

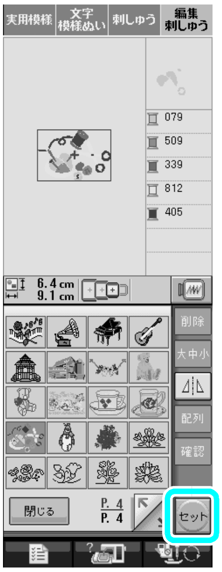
1 を押します。



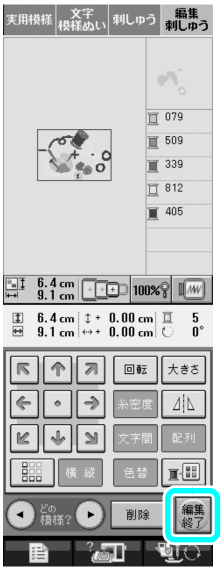
2 を使ってP.4を表示して、を選びます。



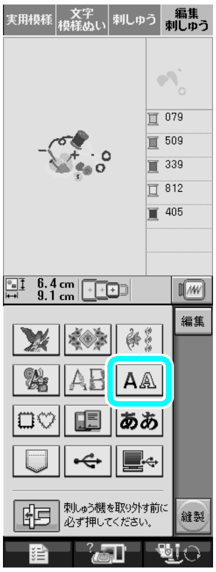
3 を押します。



4 を押します。

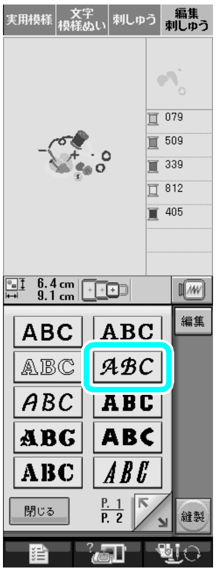


5 [AA] を押します。



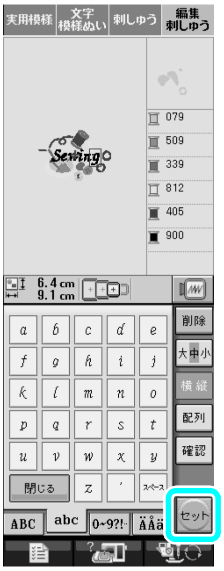
6 [ABC] を選んで、「Sewing」と入力します。

- [S] を選択したら、[abc] を押してから、残りの文字を入力します。



→ 入力した文字が、中央に表示されます。

7 [セット] を押します。



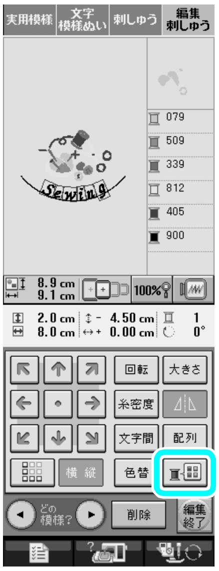
8 [矢印キー] を使って、文字を移動します。

9 [配列] を押して、文字の配列を変えます。

- レイアウトの詳細については、P.206 を参照してください。

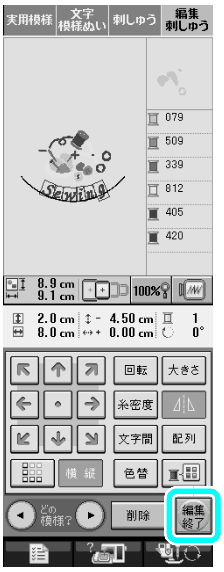
10 [糸色キー] を押して、文字の色を変えます。

- 色の変更の詳細については、P.208 を参照してください。



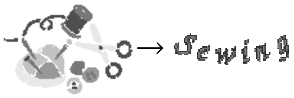
6
編集刺しゅう

11 すべての編集が終わったら、編集終了を押します。



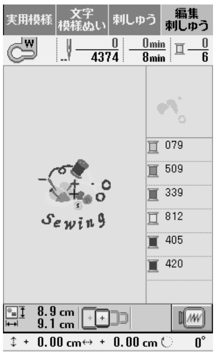
組み合わせ模様を刺しゅうする

組み合わせ模様は、模様を選んだ順番に刺しゅうされます。この例では、以下のような順番で刺しゅうされます。



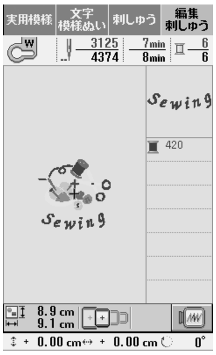
> **お願い**
> P.166「刺しゅうする」の操作手順に従ってください。

1 画面右の順番に従って模様を刺しゅうします。



→ 模様の刺しゅうが終わると、[+] カーソルが組み合わせ模様の「Sewing」の部分に移動します。

2 Sewing を刺しゅうします。



→「Sewing」をぬい終わると、縫製画面に戻ります。

編集刺しゅう模様の記憶

第 5 章の刺しゅう模様と同じ方法で、編集した刺しゅう模様をミシンのメモリ、パソコン、または USB メモリーへ、記憶したり、後で呼び出したりできます。詳細については、P.185 を参照してください。

第 7 章
マイイラスト機能

イラストデザイン......220

イラストの入力......222

■キーのはたらき......222
■ポイントの移動......224
■イラストの移動......225
■新しいポイントの挿入......226

マイイラストの記憶......227

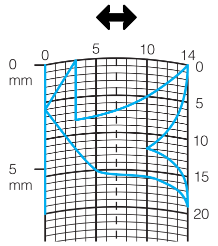
マイイラストをリストに保存する......227
■記憶できないときは......227
保存した模様を呼び出す......228

イラストデザイン

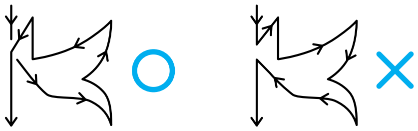
マイイラスト機能を使用して、オリジナルの模様を登録できます。マイイラスト機能で作成したデザインと他の模様を組み合わせたデザインをぬうこともできます。（P.130 参照）

お知らせ
- マイイラスト機能を使用して作成できる模様の大きさは、最大 7mm（幅）× 37mm（長さ）です。
- 最初に、付属のマイイラスト用紙に模様を描くと、マイイラスト機能を使用して、より簡単に模様をデザインすることができます。

1 マイイラスト用紙に模様のデザインを描きます。



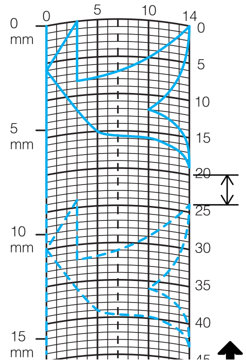
お知らせ
模様を閉じるように線を交差させると、よりきれいに仕上がります。

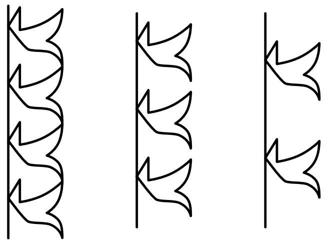


一筆書きの要領で、線の始めと終わりの高さが同じになるように描きます。

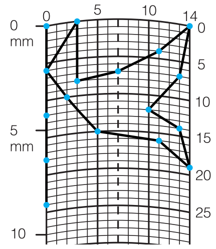
2 模様が繰り返される間隔を決めます。

- 模様の間隔を調節すると、1 つの模様で様々な模様を作ることができます。

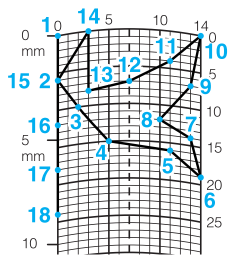




3 目盛りと交差する点を直線で結びます。

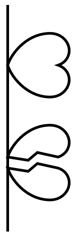


4 ぬい順を決めます。

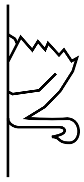


お知らせ
これで、刺しゅうする模様のデザインが決定されます。

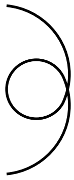
作品例



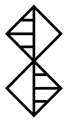
ぬい方	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
↕	0	12	18	22	23	21	17	14	12	9	6	3	1	3	6
↔	0	0	3	6	10	13	14	13	11	13	14	13	10	6	3
ぬい方	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
↕	12	41	43	40	41	38	35	32	30	32	35	41	45	47	44
↔	0	0	4	7	11	13	14	13	10	6	3	0	0	4	7
ぬい方	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45
↕	45	47	50	54	56	55	51	45	70						
↔	11	13	14	13	10	6	3	0	0						



ぬい方	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
↕	0	30	32	32	32	33	35	35	37	35	32	30	30	29	26
↔	0	0	1	7	10	12	11	8	12	14	14	11	5	3	8
ぬい方	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
↕	24	18	13	12	13	10	12	8	12	7	12	6	10	5	10
↔	10	13	14	14	12	11	10	9	8	6	6	3	2	0	2
ぬい方	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45
↕	16	19	23	22	17	22	23	19	42						
↔	1	0	0	6	10	6	0	0	0						



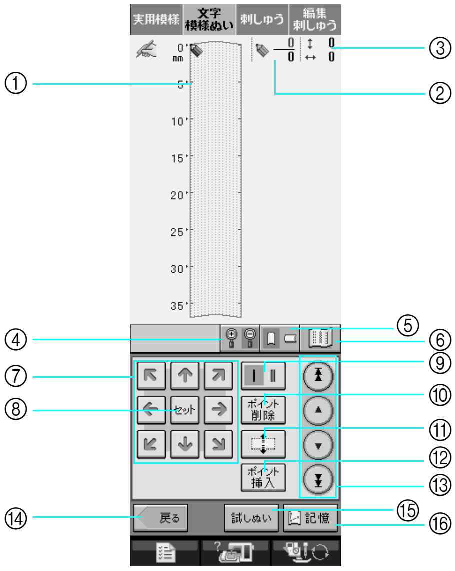
ぬい方	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
↕	0	3	5	8	12	17	20	24	27	29	31	32	30	27	24
↔	0	5	8	11	13	14	14	13	12	11	9	6	3	1	0
ぬい方	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
↕	21	18	16	15	15	16	18	21	25	28	33	37	41	43	44
↔	0	1	3	5	8	10	12	13	14	14	13	11	8	5	0
ぬい方	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45
↕															
↔															



ぬい方	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
↕	0	5	4	5	8	7	8	11	11	11	16	11	7	4	0
↔	7	7	3	7	7	0	7	7	3	7	7	3	0	3	7
ぬい方	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
↕	4	7	11	16	21	20	21	24	23	24	27	27	27	32	27
↔	11	14	11	7	7	11	7	7	14	7	7	11	7	7	11
ぬい方	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45
↕	23	20	16	20	23	27	32								
↔	14	11	7	3	0	3	7								

イラストの入力

■ キーのはたらき



① ここに作成中の模様が表示されます。

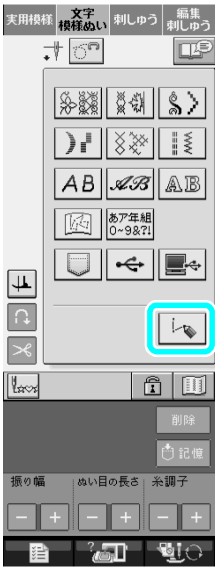
② 模様のポイントの総数の上に、現在セットされているポイントの数を表示します。

③ の座標を表示します。

No.	画面表示	名称	はたらき	参照ページ
④		拡大キー	作成中の模様を拡大して表示することができます。	223
⑤		グリッド方向キー	マイイラスト用紙の方向を変えることができます。	223
⑥		イメージキー	模様のイメージを表示することができます。	224
⑦		矢印キー	表示領域で を移動します。	223-226
⑧	セット	設定キー	模様のデザイン上でポイントを設定することができます。	223-225
⑨		1 重ぬい／ 3 重ぬいキー	2 つのポイントの間で 1 針ぬうか、3 針ぬうかを選ぶことができます。	223
⑩	ポイント削除	ポイント削除キー	選んだポイントを削除することができます。	224
⑪		ブロック移動キー	ポイントをグループにまとめて、いっしょに移動することができます。	225
⑫	ポイント挿入	ポイント挿入キー	模様のデザインに新しいポイントを挿入することができます。	226
⑬		ポイント移動キー	を模様の上でポイントからポイントに移動したり、最初に入力されたポイントや最後に入力されたポイントに移動することができます。	224-226
⑭	戻る	戻るキー	模様データの入力画面が終了します。	—
⑮	試しぬい	試しぬい	模様の試しぬいができます。	224, 227
⑯	記憶	記憶キー	作成中の模様を記憶することができます。	227

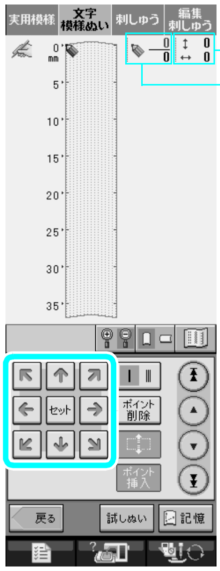
❶ 文字模様ぬい を押します。

❷ を押します。



❸ を使って、 をマイイラスト用紙の最初のポイントの座標に移動します。

- を押すと、マイイラスト用紙の方向を変えることができます。
- を押すと、作成中の模様のイメージを拡大します。

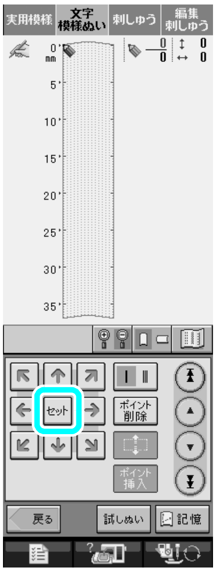


お知らせ

が液晶画面の左上に表示されているときは、タッチペンを使ってデータを入力できます。

❹ セット を押して、 が示すポイントを追加します。

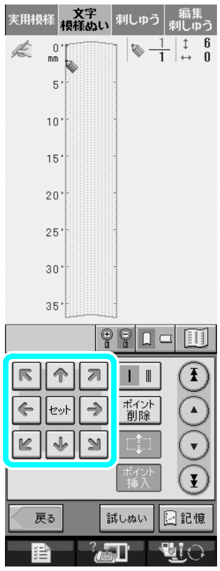
- タッチペンでポイントを挿入するには、タッチペンの先を目標の位置に移動します。画面のポイントからペンを離すと、ペンを離した位置に、ポイントが入力されます。



❺ 最初の 2 つのポイント間で 1 針ぬうか、3 針ぬうかを選びます。

- 3 針ぬうには、 を押して、 にします。

❻ を使って を 2 つ目のポイントに移動し、セット を押します。

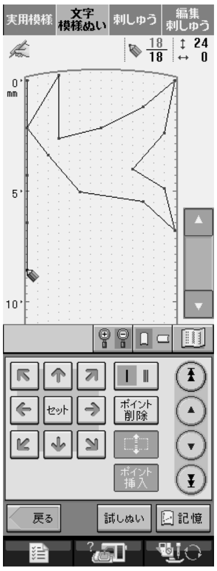


7

マイイラスト機能

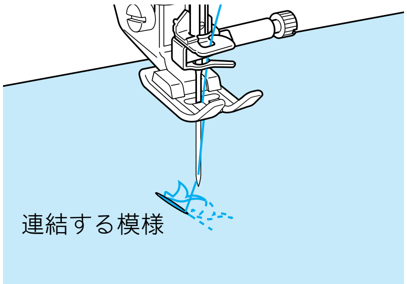
7 **マイイラスト用紙にデザインしたとおりになるまで、上記の手順を繰り返します。**

- 入力したポイントを削除するには、［ポイント削除］を押します。
- 模様の試しぬいをするには、［試しぬい］を押します。
  元の画面に戻るには、［編集］を押します。
- 模様のイメージを表示するには、［　］を押します。



お知らせ

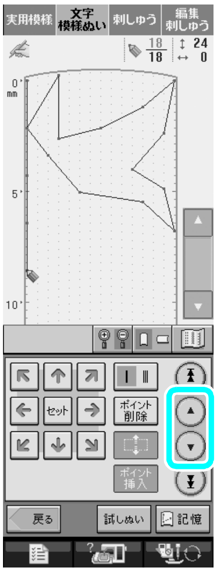
- 入力したポイントが近すぎる場合、布地が正しく送られないことがあります。その場合模様データを編集して、ポイントの間隔を広げます。
- 模様のデザインを繰り返してつなげる場合は、模様のデザインが重ならないように注意して模様を追加してください。

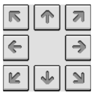


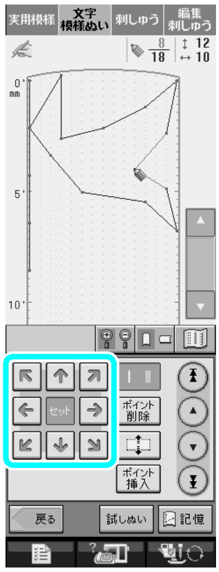
■ ポイントの移動

1 **［▲］または［▼］を押して、［　］を移動したいポイントに移動します。**

- ［　］を最初のポイントに移動するには、［　］を押します。
- ［　］を最後のポイントに移動するには、［　］を押します。
- タッチペンを使って、［　］を移動することもできます。



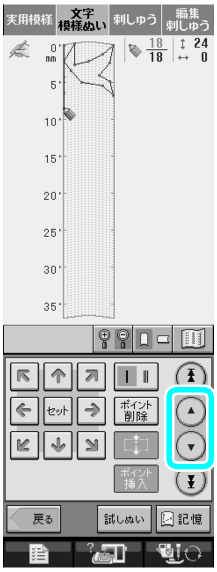
2  **を使って、ポイントを移動します。**



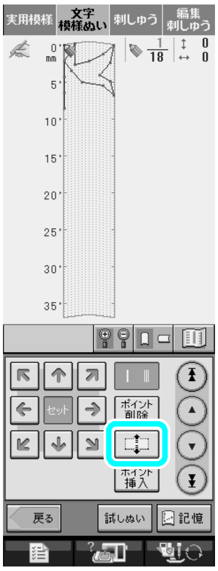
■ イラストの移動

1 または を押して、 を移動したいイラスト部分の最初のポイントに移動します。

- を最初のポイントに移動するには、 を押します。
- を最後のポイントに移動するには、 を押します。
- タッチペンを使って、 を移動することもできます。

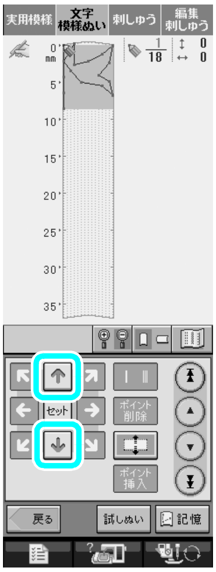


2 を押します。

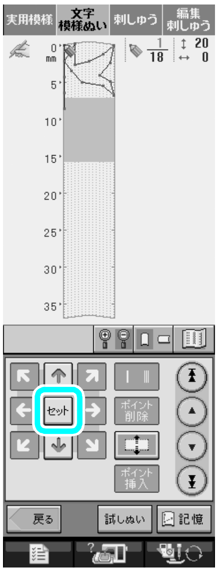


→ 選んだポイントと、その後で入力したすべてのポイントが選択されてます。

3 または を押して、選択されたポイントすべてを移動します。



4 セット を押します。

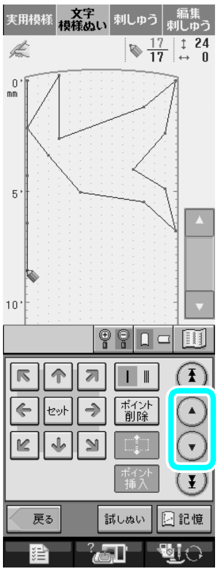


→ 選択したイラストの部分が移動します。

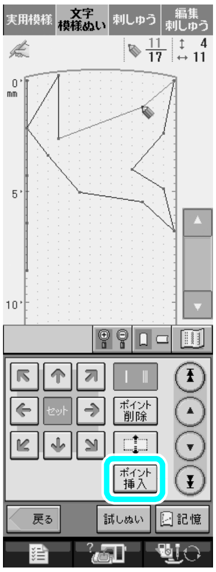
■新しいポイントの挿入

1 または を押して、新しいポイントを追加したい場所に を移動します。

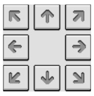
- を最初のポイントに移動するには、 を押します。
- を最後のポイントに移動するには、 を押します。
- タッチペンを使って、 を移動することもできます。

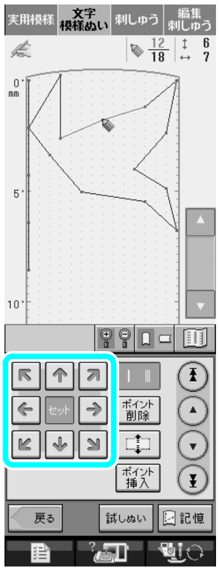


2 を押します。



→ 新しいポイントが挿入されます。

3  を使って、ポイントを移動します。

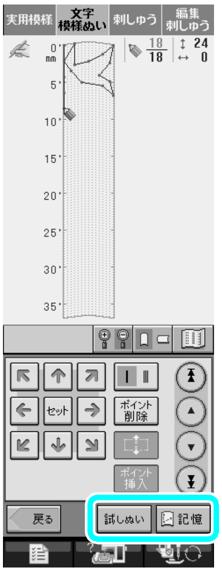


マイイラストの記憶

マイイラストをリストに保存する

マイイラスト機能を使って作成した模様は、保存して、後で使うことができます。模様データの入力が終わったら、記憶 を押します。「記憶中」のメッセージが表示され、模様が保存されます。

模様を保存する前に、試しぬい を押して、試しぬいをすることもできます。



お知らせ

- 模様の保存には数秒かかります。
- 保存した模様の呼び出しについては、P.228 を参照してください。

お願い

「記憶中」のメッセージが表示されているときは、電源スイッチを切らないでください。記憶されている模様データが消えるおそれがあります。

■ 記憶できないときは

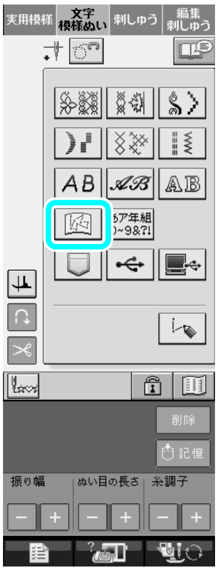
記憶 を押した後で次のメッセージが表示される場合は、ミシンのメモリ容量がいっぱいであるか、保存する模様が大きすぎて、メモリの容量が足りないために模様を保存できません。ミシンのメモリに模様を保存するには、以前に保存した模様を消去する必要があります。

お願い

マイイラスト機能を使って作成した模様を、USB メディアまたはパソコンに保存することもできます。P.140「模様を市販の USB メディアに記憶する」または P.141「模様をパソコンに記憶する」を参照してください。

保存した模様を呼び出す

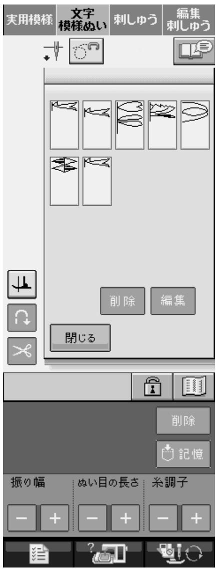
1 **を押します。**



→ 保存されている模様のリストが表示されます。

2 **模様を選びます。**

- 模様を呼び出さずに元の画面に戻るには、閉じる を押します。



3 **閉じる を押します。**

- 保存した模様を削除するには、削除 を押します。
- 保存した模様を編集するには、編集 を押します。

第 8 章
付録

お手入れのしかた.......230

画面の汚れの掃除.......230
本体表面の汚れの掃除.......230
かまの掃除.......230

画面の調整.......232

画面が見にくい.......232
タッチパネルが反応しない.......232

簡単なミシンの調整.......234

エラーメッセージ.......237

■ブザー.......242

仕様.......243

アップグレードの方法.......244

USB メディアを使用してアップグレードする.......244
パソコンを使用してアップグレードする.......245

お手入れのしかた

⚠ 注 意

必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。ケガまたは感電の原因となります。

画面の汚れの掃除

画面が汚れた場合は、乾いたやわらかい布地等で軽くふきとってください。有機溶剤や洗剤は使用しないでください。

本体表面の汚れの掃除

本体表面の汚れを取るときは、中性洗剤を薄めて布地に浸し、固くしぼってふきとってください。汚れを取った後は、乾いた布でふきとってください。

⚠ 注 意

- **電源スイッチが「切」になっていることを確認してから、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。ケガ・感電の原因となります。**
- **ベンジン、シンナー、みがき粉は使用しないでください。変色や変形の原因となります。**

かまの掃除

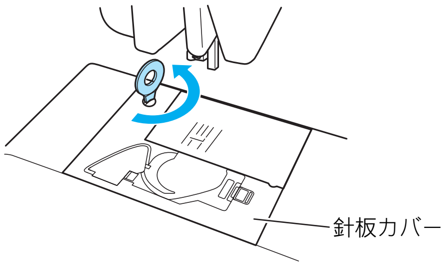
ほこりがたまると縫製不良になったり、下糸検出が効かない場合があります。いつもきれいにしておきましょう。

1. **（針上下スイッチ）を押して針を上げます。**
2. **電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。**

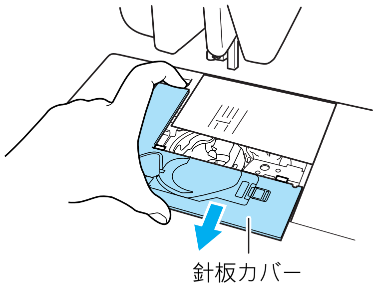
⚠ 注 意

電源スイッチが「切」になっていることを確認してから、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。ケガ・感電の原因となります。

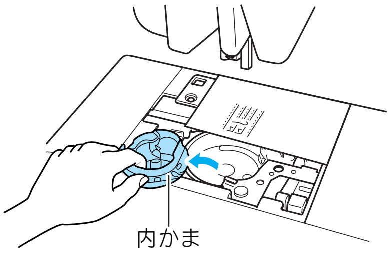
3. **針と押えホルダーを外します。（P.43 参照）**
4. **補助テーブルまたは刺しゅう機を取り付けている場合は外します。**
5. **付属のネジ回しを使って、針板カバーのネジをゆるめて外します。**



6. **針板カバーを手前に引いて外します。**

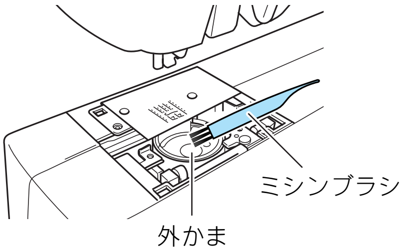


7. **内かまを取り出します。**

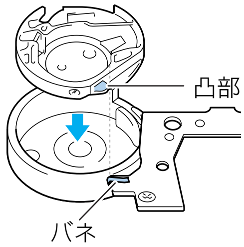


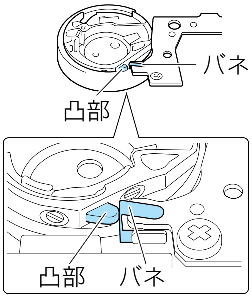
8 ブラシや掃除機で、外かまとその周辺の糸くずやほこりを取り除きます。

- 内かまには油をささないでください。

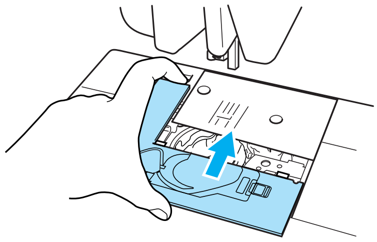


9 内かまを取り出したときと、同じ位置に外かま切欠部があることを確認し、内かま凸部とバネが合うように、内かまを取り付けてください。



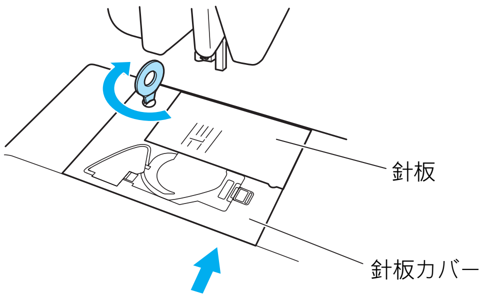


10 針板カバーのタブを差し込み、スライドさせて元の位置に戻します。



11 付属のねじ回しを使ってネジをしめます。

- 針板カバーを針板に押し付けながらネジをしめてください。



⚠ 注 意

- 傷がついた内かまは使用しないでください。万一使用すると、上糸がからみ、針折れや縫製不良の原因となります。新しい内かまが必要な場合は、最寄りの販売店にご連絡ください。
- 内かまは正しい位置に取り付けてください。針折れの原因となります。

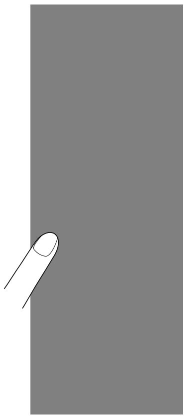
12 補助テーブルまたは刺しゅう機を取りつけます。

画面の調整

画面が見にくい

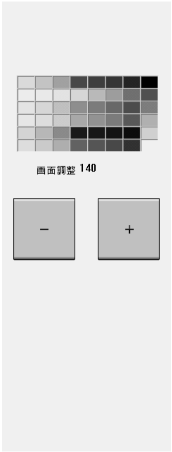
電源スイッチを入れたときに画面が見にくい場合は、以下の手順に従ってください。

1 電源スイッチを切り、画面（どの部分でもよい）を指で押しながら電源スイッチを入れます。



→「画面調整」画面が表示されます。

2 [+]、[−] を押して、よく見えるようになるまで、画面の濃さを調整します。

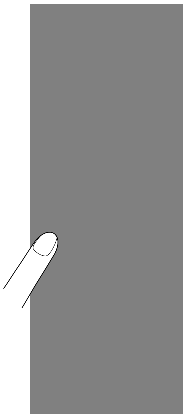


3 電源スイッチを切り、もう一度電源を入れます。

タッチパネルが反応しない

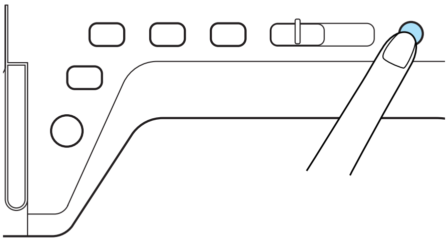
液晶画面のキーを押しても反応しない（キー入力ができない、またはキーがずれている）場合、以下の手順に従ってください。

1 電源スイッチを切り、画面（どの部分でもよい）を指で押しながら電源スイッチを入れます。



→「画面調整」画面が表示されます。

2 （自動糸通しスイッチ）を押します。

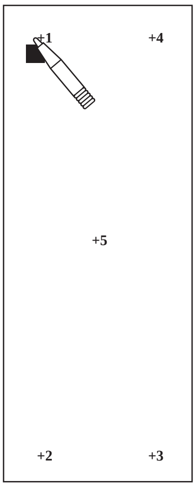


→ タッチパネル調整画面が表示されます。

3 **付属のタッチペンを使って、画面に表示されている×印の中心を 1 から 5 まで順番に軽く押します。**

- 1、2、3、4、5 の順に押し、5 の×印を押したときに、ブザーが 1 回鳴ったら入力終了です。5 の×印を押したときにブザーが 2 回鳴ったときは入力エラーです。もう一度、1 から順に押し直してください。

> **お願い**
> 必ず付属のタッチペンを使用して調整してください。シャープペンシル、ピンなどの先のとがったものを使用しないでください。また、画面に無理な力をかけないでください。故障の原因となります。



4 **電源スイッチを切り、もう一度電源を入れます。**

> **お願い**
> 調整をしても画面が反応しない場合、または調整ができない場合は、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」0120-340-233 にご連絡ください。

8

付録

簡単なミシンの調整

修理を依頼される前に、次の項目を点検してください。それでも直らないときは、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」0120-340-233 にご相談ください。

を押し、トラブルチェック を押すと、ぬっていて困ったときのための簡単なトラブルチェックをご使用いただけます。

症状	原因	対処	参照ページ
上糸が切れる	上糸の通し方がまちがっている（糸こまが正しくセットされていない、糸こま押えの大きさが合っていない、糸が針棒糸かけから外れているなど）。	糸を正しく通します。	35
	糸にこぶや結び目がある。	糸のこぶや結び目を取り除きます。	32, 35
	針に比べて糸が太すぎる。	針と糸の組み合わせを確認します。	45
	上糸調子が強すぎる。	糸調子を調節します。	54, 174
	糸がからまっている。	かまなどにからんだ糸をはさみなどで切って取り除きます。	—
	針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	針を交換します。	44
	針の取り付け方がまちがっている。	針を正しく取り付けます。	44
	針板の穴の周辺にキズがある。	針板を交換するか、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」0120-340-233 にご相談ください。	69
	押えの穴の周辺にキズがある。	押えを交換するか、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」0120-340-233 にご相談ください。	42
	内かまにキズがある。	内かまを交換するか、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」0120-340-233 にご相談ください。	230
	本機純正のボビンを使用していない。	厚みの違う従来品では正しく動作しません。本機純正ボビンを使用してください。	29
下糸が切れる	下糸セットのしかたがまちがっている。	下糸を正しくセットします。	32
	下糸が正しく巻かれていない。	下糸を正しく巻きます。	29
	ボビンにキズがあり、回転がなめらかでない。	ボビンを交換します。	32
	糸がからまっている。	かまなどにからんだ糸をはさみなどで切って取り除きます。	—
	本機純正のボビンを使用していない。	厚みの違う従来品では正しく動作しません。本機純正ボビンを使用してください。	29
ぬい目が飛ぶ	上糸の通し方がまちがっている。	糸を通す順序を調べて通し直します。	35
	布地に合った針・糸を使っていない。	布地と糸と針の組み合わせ表を見て確認します。	45
	針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	針を交換します。	44
	針の取り付け方がまちがっている。	針を正しく取り付けます。	44
	品質の悪い針を使っている。	針を交換します。	44
	針板の下にゴミがたまっている。	ブラシなどでゴミを取り除きます。	230
布地にしわがよる	上糸の通し方、または下糸のセットのしかたがまちがっている。	糸を通す順序を調べて通し直します。または、下糸を正しくセットします。	32, 35
	糸こまが正しくセットされていない。	糸こまの付け方を調べて付け直します。	35
	布地に合った針・糸を使っていない。	布地と糸と針の組み合わせ表を見て確認します。	45
	針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	針を交換します。	44
	薄地に対してぬい目があらすぎる。	ぬい目を細かくします。	53
	糸調子が合っていない。	糸調子を調節します。	54, 174
	模様に合った押えを使用していない。	指定の押えを取り付けます。	「ぬい方早見表」
ぬい音が高い ガタガタと音がする	送り歯にゴミがたまっている。	ゴミを取り除きます。	230
	かまの部分に糸くずが巻きこまれている。	かまの掃除をします。	230
	上糸の通し方がまちがっている。	糸を通す順序を調べて通し直します。	35
	内かまにキズがある。	内かまを交換するか、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」0120-340-233 にご相談ください。	230
	本機純正のボビンを使用していない。	厚みの違う従来品では正しく動作しません。本機純正ボビンを使用してください。	29

症状	原因	対処	参照ページ
糸通しができない	針が正しい位置にない。	針上下スイッチを押して針を上げます。	10
	糸通し装置のフックが針穴に入らない。	針上下スイッチを押して針を上げます。	10
	針の取り付け方がまちがっている。	針を正しく取り付けます。	44
押えレバーで押えを下げることができない。	押え上下スイッチを使って、押えが上げられている。	押え上下スイッチを押して、押えを下げます。	10
糸調子が合わない	上糸の通し方がまちがっている。	糸を通す順序を調べて通し直します。	35
	下糸セットのしかたがまちがっている。	下糸をセットし直します。	32
	布地に合った針・糸を使っていない。	布地と糸と針の組み合わせ表を見て確認します。	45
	押えホルダーが正しく取り付けられていない。	押えホルダーを正しく取り付けます。	43
	糸調子が合っていない。	糸調子を調節します。	54, 174
	本機純正のボビンを使用していない。	厚みの違う従来品では正しく動作しません。本機純正ボビンを使用してください。	29
文字模様がくずれる。	模様に合った押えを使用していない。	指定の押えを取り付けます。	「ぬい方早見表」
	模様が正しく調整されていない。	模様の調整をし直します。	123
	薄地や伸びる布地なのに芯を貼っていない。	布地に接着芯を貼ります。	122
	糸調子が合っていない。	糸調子を調節します。	54, 174
	糸がからまって、かまなどに詰まっている。	からんだ糸を取り除きます。かまに詰まっていた場合は、掃除します。	230
刺しゅう模様がくずれる	糸がからまっている。	かまなどにからんだ糸をはさみなどで切って取り除きます。	—
	刺しゅう枠に布地がきちんと張られていない（布地の張り方がゆるいなど）。	布地の張り方がゆるいと、模様くずれやぬい縮みの原因となります。刺しゅう枠に布地を正しく張ります。	160
	接着芯を貼っていない。	特に伸びる布地、薄地、目の粗い布地、ぬい縮みしやすい布地には、必ず刺しゅう用接着芯を貼ります。適切な接着芯については、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」0120-340-233 にご相談ください。	158
	キャリッジや刺しゅう枠が周辺に置いてある物に当たっている。	キャリッジや刺しゅう枠が物にぶつかると模様くずれの原因となります。刺しゅう枠が動く範囲には物を置かないようにします。	165
	刺しゅう枠からはみでた布地をアーム側に置いている。（刺しゅう枠がつかえて動かない）	刺しゅう枠からはみ出た布地がアームの反対側になるようにして枠を張り替え、模様を 180 度回転して刺しゅうをします。	160
	重い衣類に刺しゅうして、刺しゅう機の動きが悪くなった。	アームベットと水平になるように電話帳などを置いたり、重い側を軽く持ち上げるようにしてぬいます。	—
	テーブルから刺しゅうする布地が垂れ下がっている。	布地が垂れ下がった状態で刺しゅうをすると、刺しゅう機の動きが悪くなります。テーブルから布地が垂れ下がらないようにします。	165
	布地がひっかかっている、またははさみ込まれている。	ミシンを止めて布地を正しい位置に直します。	—
	下糸交換などでぬっている途中に刺しゅう枠を外したり、セットするときに枠を刺しゅう押えにあてたり、押したりした。または刺しゅう機を動かした。	ぬっている途中で刺しゅう押えに物がぶつかったり、刺しゅう機が動いたりすると模様くずれの原因となります。ぬっている途中で刺しゅう枠を外したり、セットしたりするときには注意してください。	170
針が折れる	針の取り付け方がまちがっている。	針を正しく取り付けます。	44
	針のとめネジがゆるんでいる。	とめネジをしっかりしめます。	45
	針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	針を交換します。	44
	布地に合った針・糸を使っていない。	布地と糸と針の組み合わせ表を見て確認します。	45
	模様に合った押えを使用していない。	指定の押えを取り付けます。	「ぬい方早見表」
	上糸調子が特に強すぎる。	糸調子を調節します。	54, 174
	布地を不当に引っ張っている。	布地を引っ張らないようにします。	—
	糸こまが正しくセットされていない。	糸こまの付け方を調べて付け直します。	35
	針板の穴の周辺にキズがある。	針板を交換するか、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」0120-340-233 にご相談ください。	69

症状	原因	対処	参照ページ
針が折れる	押えの穴の周辺にキズがある。	押えを交換するか、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」0120-340-233 にご相談ください。	42
	内かまにキズがある。	内かまを交換するか、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」0120-340-233 にご相談ください。	230
	品質の悪い針を使っている。	針を交換します。	44
	本機純正のボビンを使用していない。	厚みの違う従来品では正しく動作しません。本機純正ボビンを使用してください。	29
布地を送らない	送り歯が下がっている。	ドロップレバーで送り歯を上げます。	85
	ぬい目が細かすぎる。	ぬい目の長さを長くします。	53
	模様に合った押えを使用していない。	指定の押えを取り付けます。	「ぬい方早見表」
	針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	針を交換します。	44
	糸がからまっている。	かまなどにからんだ糸をはさみなどで切って取り除きます。	—
ミシンが動かない	電源プラグがコンセントに差し込まれていない。	電源プラグをコンセントに差し込みます。	16
	模様が選ばれていない。	模様を選びます。	63, 116, 150, 199
	スタート／ストップスイッチを押していない。	スタート／ストップスイッチを押します。	10
	電源スイッチが入っていない。	電源スイッチを入れます。	16
	押えが下がっていない。	押えを下げます。	10
	フットコントローラーを接続したままスタート／ストップスイッチを押している。	フットコントローラーを外すか、フットコントローラーで操作します。	50
	スピードコントロールレバーがジグザクの振り幅を調節するように設定されている	スタート／ストップスイッチではなく、フットコントローラーを使って、ミシンを操作します。	50
	すべてのキーとスイッチが でロックされている。	を押して、すべてのキーとスイッチを解除します。	42, 44
	ボタン穴かがりレバーが下がった状態で、ボタン穴かがりまたはかんどめ以外の模様を選択してスタート／ストップスイッチを押した。	ボタン穴かがりレバーを上げます。	—
	ボタン穴かがりレバーが上がった状態で、ボタン穴かがりまたはかんどめの模様を選択してスタート／ストップスイッチを押した。	ボタン穴かがりレバーを下げます。	100
刺しゅう機が動かない	模様が選ばれていない。	模様を選びます。	150, 199
	電源スイッチが入っていない。	電源スイッチを入れます。	16
	刺しゅう機が正しくセットされていない。	刺しゅう機を正しくセットします。	148
	刺しゅう枠を付けた状態で初期設定を行った。	正しく初期設定を行います。	148
液晶画面が見にくい。	液晶のコントラストが合っていない。	画面の調整をします。	25, 232
液晶画面を押しても、反応しない。	画面がロックされている。	次のいずれかのキーを押して、画面ロックを解除します。	—
ランプが点灯しない	ランプが故障した。	お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」0120-340-233 にご相談ください。	—
刺しゅうした布地の表側に糸のループができる	糸調子が正しく調節されていない。	糸調子を調節します。	174
	布地、糸、模様の組み合わせによって、上糸が浮いてしまう。	刺しゅう専用針板カバーを使用します。	165

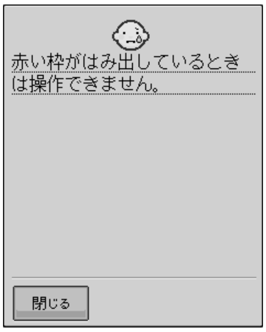
お願い

- このミシンには、糸切れ確認装置が付いています。上糸が通されていない状態でスタート／ストップスイッチを押しても、ミシンは正常に作動しません。また、選択した模様によっては、針が上で停止したまま布を送ります。これは針棒の解除機能によるものです。そのとき縫製音と異なった音が発生しますが、故障ではありませんのでご了承ください。
- 運転中に停電が発生した場合
  電源スイッチを切って、電源プラグを抜いてください。
  再度電源スイッチを入れる場合は、運転の手順に従って正しく行ってください。

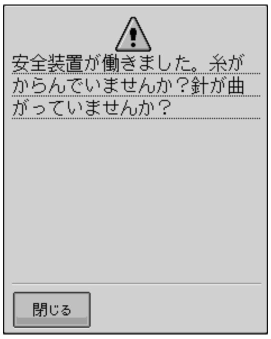
エラーメッセージ

ミシンが正しくセットされていない状態でスタート／ストップスイッチや返しぬい／止めぬいスイッチを押したときや、誤った操作をしたときは、ミシンが止まりブザーとエラーメッセージでお知らせします。エラーメッセージが表示されたときは、メッセージの内容に従って対処してください。

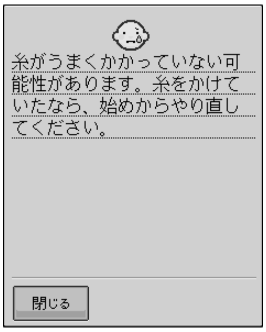
（表示中のエラーメッセージは 閉じる を押すか、正しい操作すると消えます）。



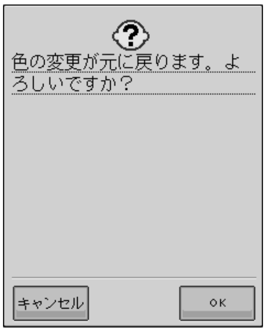
編集刺しゅうで、模様が赤い切り取り線からはみ出している状態で編集機能を使おうとしたときに表示されます。



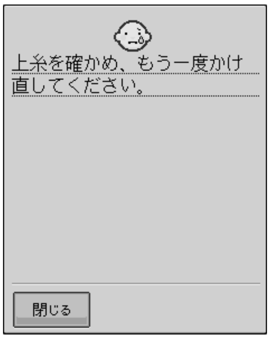
糸がらみなどで、モーターがロックしたときに表示されます。



上糸が正しく通されていない可能性があるときに表示されます。



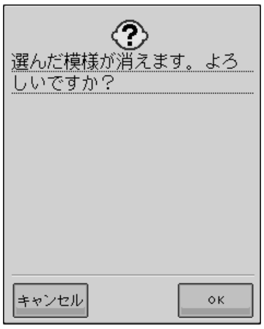
糸色を変更中に リセット を押したときに表示されます。



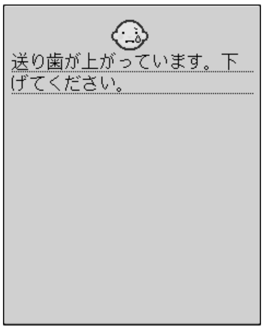
上糸が切れたときなど、上糸が正しく通っていない状態で、スタート／ストップスイッチまたは返しぬいスイッチを押したときに表示されます。

注 意

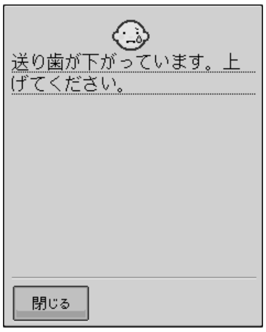
必ず糸をかけ直してください。糸をかけ直さずに（スタート／ストップスイッチ）を押すと、針折れや糸調子不良、故障の原因となります。



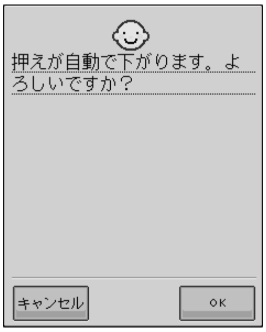
模様を選んだ後に、実用模様 、または 文字模様ぬい 、刺しゅう 、編集刺しゅう を押したときに表示されます。

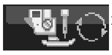


刺しゅうモードまたは編集刺しゅうモードで、送り歯が上がっているときに表示されます。



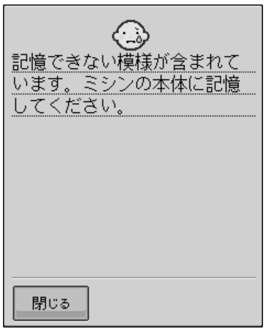
送り歯が下がっている状態で、実用模様 または 文字模様ぬい を押したときに表示されます。



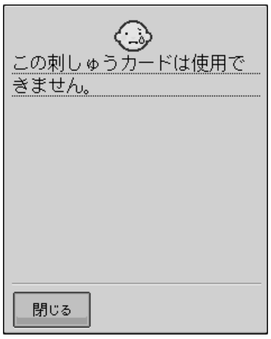
押えが上がった状態で を押したときに表示されます。

押えが上がっている状態で、スタート／ストップスイッチなどのスイッチを押したときに表示されます。

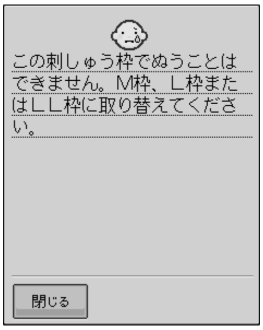
押えレバーが上がっていて針が下がっている状態で、押え上下スイッチを押したときに表示されます。



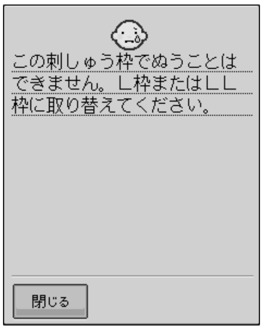
著作権で保護されている模様をUSB メディアやパソコンに記憶しようとしたときに表示されます。著作権法に従い、複製または編集が禁じられている模様は、USB メディアやパソコンにコピーできません。このメッセージが表示された場合は、模様をミシンのメモリに記憶してください。



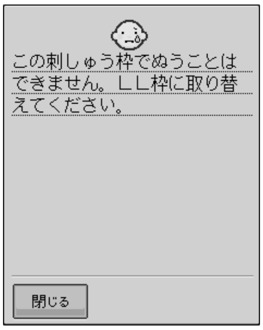
使用できない刺しゅうカードを差し込んで、 を押したときに表示されます。



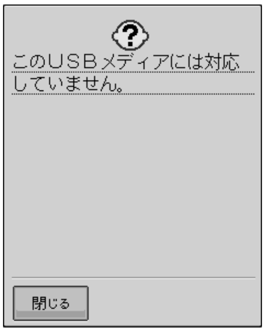
刺しゅうで、S 枠がセットされた状態で、S 枠の縫製範囲よりも大きいサイズの模様を選んだときに表示されます。



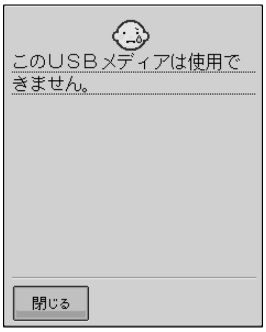
刺しゅうで、S 枠または M 枠がセットされた状態で、M 枠の縫製範囲よりも大きいサイズの模様を選んだときに表示されます。



刺しゅうで、S 枠または M 枠、L 枠がセットされた状態で、L 枠の縫製範囲よりも大きいサイズの模様を選んだときに表示されます。

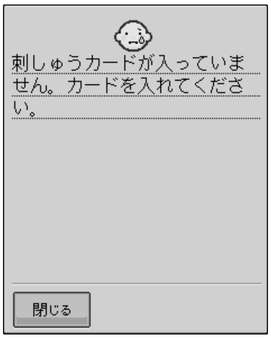


使用できない USB メディアを使おうとしたときに表示されます。

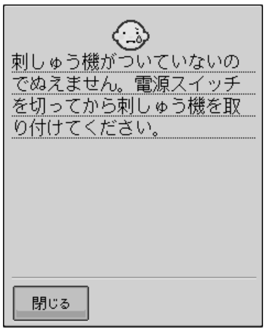


使用できないメディアを使おうとしたときに表示されます。

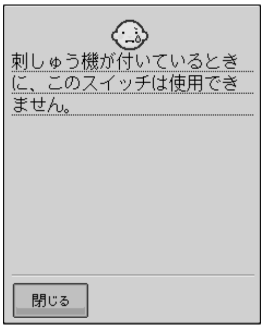
71 個以上の模様を組み合わせようとしたときに表示されます。



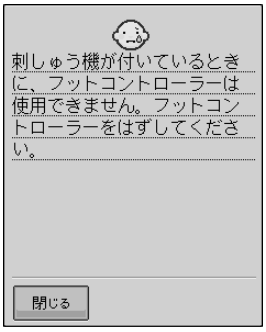
刺しゅうカードが差し込まれていない状態で を押したときに表示されます。



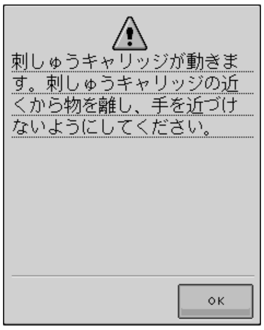
刺しゅうで、刺しゅう機がセットされていない状態でスタート／ストップスイッチを押したときに表示されます。



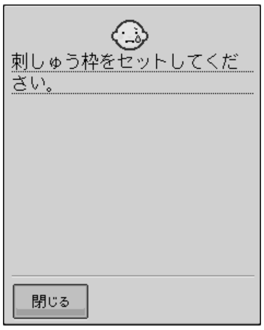
刺しゅう機が取り付けられた状態で返しぬい／止めぬいスイッチを押したときに表示されます。



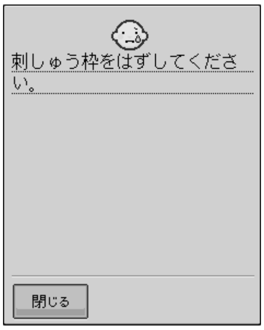
刺しゅう機が取り付けられた状態でフットコントローラーを押したときに表示されます。



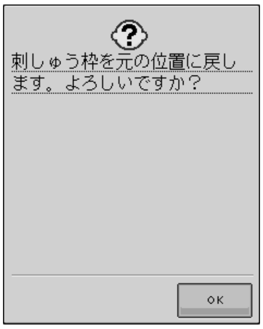
刺しゅう機の初期設定をするときに表示されます。



刺しゅう枠が取り付けられていない状態で、スタート／ストップスイッチを押したときに表示されます。



刺しゅうで、刺しゅう枠がセットされた状態で初期設定をしようとしたときに表示されます。



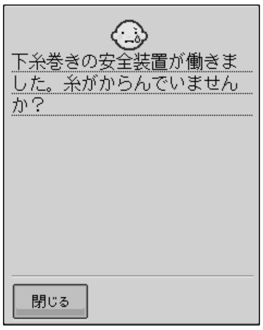
刺しゅう用の下糸を取り替えるときに表示されます。

8

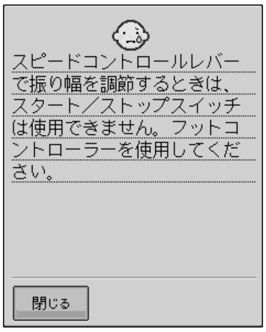
付録

電源スイッチを入れ、刺しゅう機のキャリッジが初期設定の位置に移動したときに、この確認メッセージが表示されます。

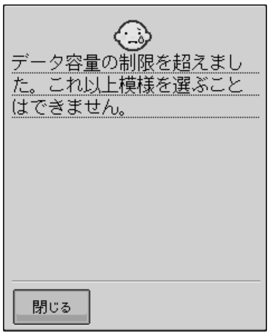
下糸が少なくなったときに表示されます。



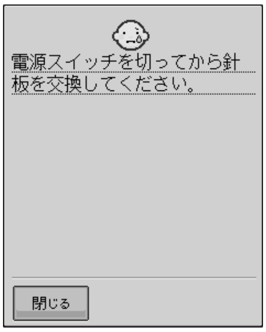
下糸巻き中に、糸がらみなどでモーターがロックしたときに表示されます。



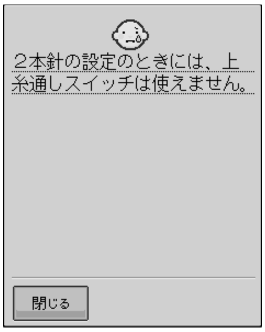
スピードコントロールレバーがジグザクの振り幅を調節するように設定されている状態でスタート／ストップスイッチを押したときに表示されます。フットコントローラーでミシンを操作してください。



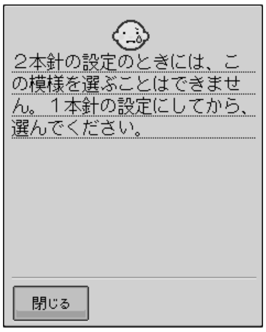
編集刺しゅうで、データ容量の制限を超える模様を読み込んだり、たくさんの模様を編集したりしたときに表示されます。



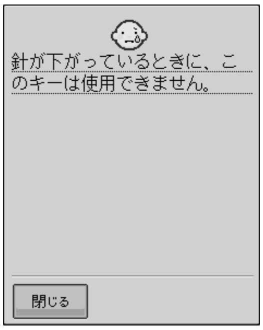
直線針板を取り付けた状態で、中基線以外の模様でぬおうとしたときに表示されます。ミシンの電源を入れたまま針板を取り外したとき、刺しゅうモードまたは編集刺しゅうモードでミシンの電源を入れたときに表示されます。



2 本針が設定されている状態で自動糸通しスイッチを押したときに表示されます。

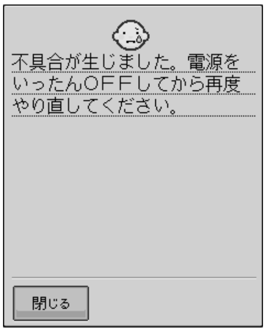


2 本針が設定されている状態で、2 本針が使用できない模様を選んだときに表示されます。

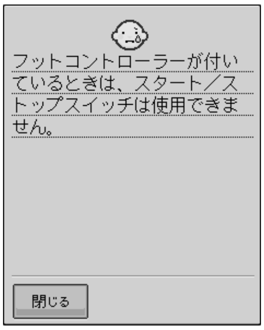


針が下がった状態で画面上のキーを押したときに表示されます。

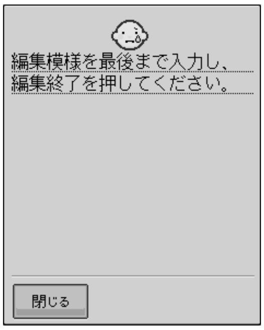
刺しゅう機が取り付けられているときに、針が下がった状態で電源スイッチを入れると表示されます。



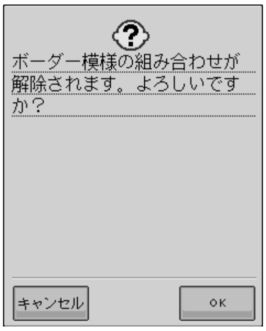
誤作動が起きたときに表示されます。



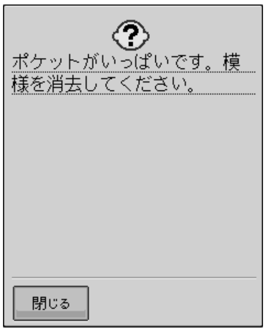
フットコントローラーを取り付けた状態で、実用ぬいや文字・模様ぬいをするためにスタート／ストップスイッチを押したときに表示されます。（刺しゅうをしている間、このメッセージは表示されません。）



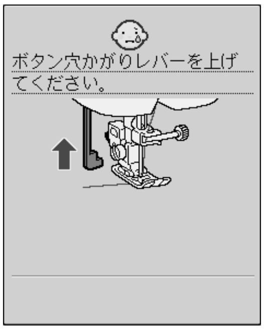
編集刺しゅうで模様が編集されている状態でスタート／ストップスイッチを押したときに表示されます。



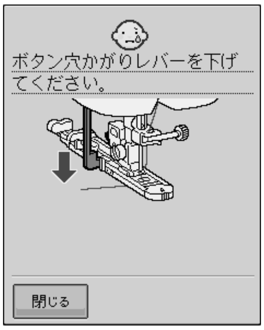
連続模様が登録されている状態で縫製画面にて模様の回転処理を行うときに表示されます。



記憶容量がいっぱいで、模様を消去する必要があるときに表示されます。

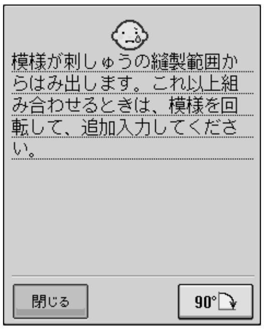


ボタン穴かがりレバーが下がった状態で、ボタン穴かがり以外の模様を選んで、スタート／ストップスイッチまたは返しぬい／止めぬいスイッチを押したときに表示されます。

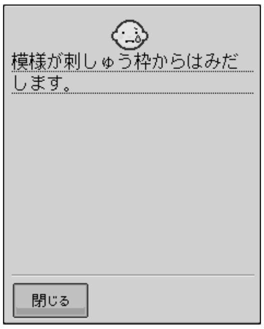


ボタン穴かがりレバーが上がった状態で、ボタン穴かがりの模様を選んで、スタート／ストップスイッチまたは返しぬい／止めぬいスイッチを押したときに表示されます。

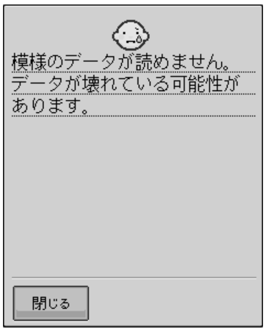
文字数が多くて曲線の配列ができないときに表示されます。



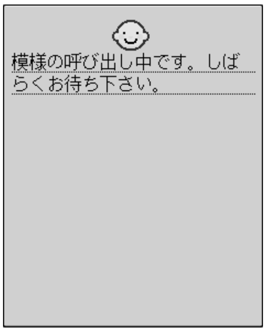
刺しゅうで、刺しゅう枠からはみ出るまで、模様を組み合わせたときに表示されます。模様を 90 度回転するとさらに組み合わせることができます。



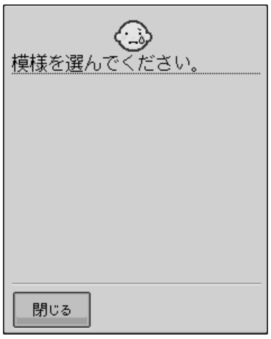
刺しゅうで、刺しゅう枠からはみ出るまで、模様を組み合わせたときに表示されます。



選んだ模様のデータがこわれている可能性のあるときに表示されます。



編集刺しゅうで、模様を呼び出しているときに表示されます。



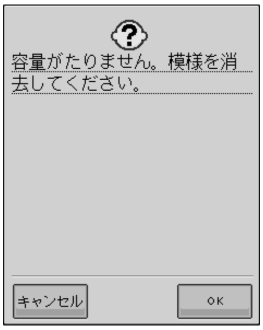
模様が選択されていない状態でスタート／ストップスイッチまたは返しぬい／止めぬいスイッチを押したときに表示されます。

USB メディアとの通信中に表示されます。

USB メディアでエラーが発生したときに表示されます。

呼び出したい模様が記憶された USB メディアを取り出した後で、その模様を選択しようとしたときに表示されます。

USB メディアを挿入していない状態で、模様を呼び出そうとしたり、保存しようとしたときに表示されます。



記憶容量がいっぱいで記憶できないときに表示されます。

■ ブザー

正しい操作をすると、ミシンのブザーが 1 回鳴ります。誤った操作をすると、2 回または 4 回鳴ります。

お知らせ

を押して、ブザーの ON ／ OFF を切り替えることができます。詳細については、P.23 を参照してください。

仕様

	項目	仕様
ミシン本体	本体寸法	55.6cm（幅）×30.5cm（高さ）×25.8cm（奥行）
	ケースセット寸法	59.2cm（幅）×33.4cm（高さ）×29.4cm（奥行）
	製品質量	12kg（ケース付き：14.3kg）
	ぬい速度	毎分 70 ～ 1000 針
	針	家庭用ミシン針（HA × 1）
	搭載模様	実用 : 118 大型飾り : 133 7mm 飾り : 73 サテンステッチ : 20 クロスステッチ : 17 飾りサテン : 63 実用飾り模様 : 63 英数 : 97 × 3 書体 日本語（ひらがな、カタカナ、数字、記号、漢字）: 203
刺しゅう機	本体寸法	45.8cm（幅）×13.1cm（高さ）×46.2cm（奥行）
	ミシンセット時寸法	72.4cm（幅）×30.5cm（高さ）×46.2cm（奥行）
	製品質量	3.6kg
	搭載模様	ワンポイント : 80 ヘアルーム模様 : 15 ふち飾り : 102 クロスステッチ : 28 花アルファベット : 57 枠模様 : 10 × 12 ステッチ 英数 : 100 × 12 書体 73 × 1 書体 日本語（ひらがな、カタカナ、数字、記号、漢字）: 215 × 3 書体

アップグレードの方法

USB メディアまたはパソコンを使ってミシンにインストールされているソフトウェアをアップグレードすることができます。

お願い

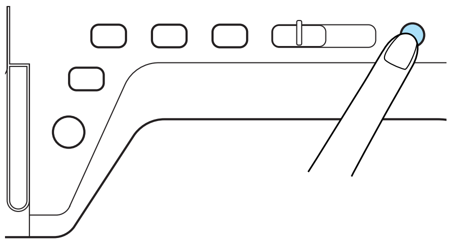
ブラザー工業のホームページ上で異なったモデルのアップグレードファイルを取り込むと動作しなくなる恐れがあります。その場合は再度このモデルのアップグレードファイルを取り込んでください。

お知らせ

- アップグレードを行うと、記憶した文字・模様ぬいの組み合わせ模様データが消去されます。なお、記憶した刺しゅうデータは消去されません。
- ソフトウェアのアップグレード中は、キーを押してもブザーが鳴りません。

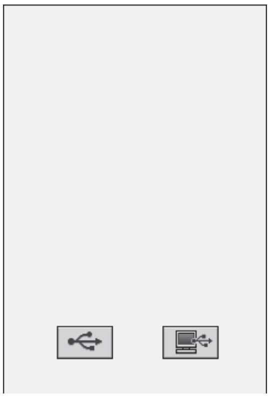
USB メディアを使用してアップグレードする

1 **（自動糸通しスイッチ）を押しながら、電源スイッチを入れます。**



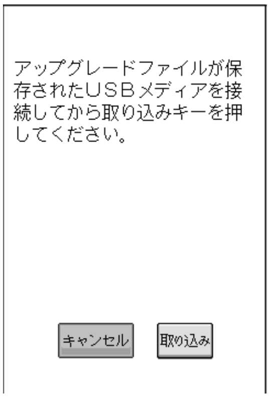
→ 次の画面が表示されます。

2 **を押します。**



3 **ミシンの USB ポートコネクターに USB メディアを挿入し、メディアにアップグレードファイルのみが含まれていることを確認します。**

4 **取り込み を押します。**



→ アップグレードファイルがダウンロードされます。

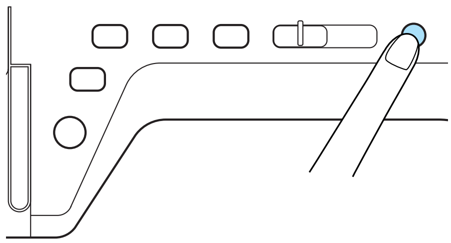
お願い

エラーが発生すると、エラーメッセージが赤い文字で表示されます。ダウンロードが正常に行われると、アップグレード完了のメッセージが表示されます。

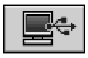
5 **USB メディアを外し、ミシンの電源スイッチを入れ直します。**

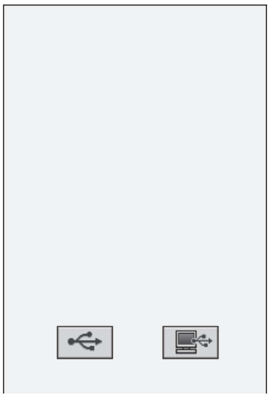
パソコンを使用してアップグレードする

1 （自動糸通しスイッチ）を押しながら、電源スイッチを入れます。



→ 次の画面が表示されます。

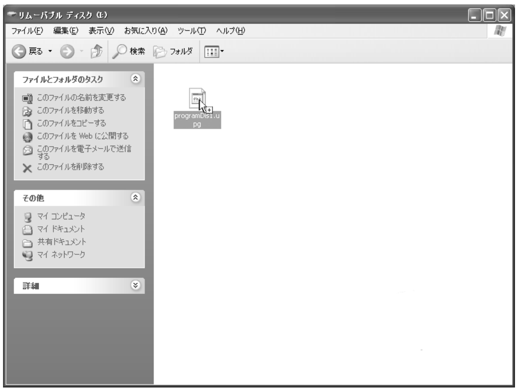
2  を押します。



3 ミシンとパソコンの USB ポートコネクターに USB ケーブルを差し込みます。

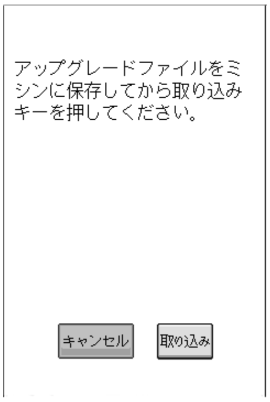
→「マイコンピュータ」に「リムーバブルディスク」が表示されます。

4 アップグレードファイルを「リムーバブルディスク」にコピーします。



→「PC と通信中です。USB ケーブルを抜かないでください」のメッセージが表示されます。

5 メッセージが消えたら、取り込み を押します。



→ アップグレードファイルがダウンロードされます。

> **お願い**
> エラーが発生すると、エラーメッセージが赤い文字で表示されます。ダウンロードが正常に行われると、アップグレード完了のメッセージが表示されます。

6 USB ケーブルを外し、ミシンの電源スイッチを入れ直します。

ぬい方早見表

ぬい方	名前	押え		主な用途	ジグザグの振り幅 *		ぬい目の長さ *		2 本針 **
					自動	手動	自動	手動	
1-01	直線（左基線）	J		地ぬい、ギャザー、ピンタックなどに使用します。返しぬい／止めぬいスイッチを押すと返しぬいをします。	0.0	0.0 - 7.0	2.5	0.2 - 5.0	○
1-02	直線（左基線）	J		地ぬい、ギャザー、ピンタックなどに使用します。返しぬい／止めぬいスイッチを押すと止めぬいをします。	0.0	0.0 - 7.0	2.5	0.2 - 5.0	○
1-03	直線（中基線）	J		地ぬい、ギャザー、ピンタックなどに使用します。返しぬい／止めぬいスイッチを押すと返しぬいをします。	3.5	0.0 - 7.0	2.5	0.2 - 5.0	○
1-04	直線（中基線）	J		地ぬい、ギャザー、ピンタックなどに使用します。返しぬい／止めぬいスイッチを押すと止めぬいをします。	3.5	0.0 - 7.0	2.5	0.2 - 5.0	○
1-05	3 重ぬい	J		丈夫なぬい目なので、袖つけや股下をぬうときに便利です。また、伸びる布地をぬうときやステッチをかけるときに使用します。	0.0	0.0 - 7.0	2.5	1.5 - 4.0	○
1-06	伸縮ぬい	J		伸縮性のあるぬい目なので、伸びる布地をぬうときに使用します。また、飾りぬいとしても使用します。	1.0	1.0 - 3.0	2.5	1.0 - 4.0	○
1-07	飾りぬい	N		飾りぬいに使用します。	0.0	0.0 - 7.0	2.5	1.0 - 4.0	○
1-08	しつけぬい	J		しつけに使用します。	0.0	0.0 - 7.0	20.0	5.0 - 30.0	×
1-09	ジグザグぬい	J		裁ち目かがりやアップリケなどに使用します。返しぬい／止めぬいスイッチを押すと返しぬいをします。	3.5	0.0 - 7.0	1.4	0.0 - 4.0	○
1-10	ジグザグぬい	J		裁ち目かがりやアップリケなどに使用します。返しぬい／止めぬいスイッチを押すと止めぬいをします。	3.5	0.0 - 7.0	1.4	0.0 - 4.0	○
1-11	ジグザグぬい（右基線）	J		右の針位置からぬい始まります。	3.5	2.5 - 5.0	1.4	0.3 - 4.0	○
1-12	ジグザグぬい（左基線）	J		左の針位置からぬい始まります。	3.5	2.5 - 5.0	1.4	0.3 - 4.0	○
1-13	2 点ジグザグぬい	J		普通地、伸びる布地の裁ち目かがりやゴムひもつけ、つくろいぬいなど幅広い用途に使用します。	5.0	1.5 - 7.0	1.0	0.2 - 4.0	○
1-14	2 点ジグザグぬい	J		普通地、伸びる布地の裁ち目かがりやゴムひもつけ、つくろいぬいなど幅広い用途に使用します。	5.0	1.5 - 7.0	1.0	0.2 - 4.0	○
1-15	3 点ジグザグぬい	J		普通地、厚地、伸びる布地の裁ち目かがりやゴムひもつけ、つくろいぬいなど幅広い用途に使用します。	5.0	1.5 - 7.0	1.0	0.2 - 4.0	○
1-16	裁ち目かがり	G		薄地、普通地の裁ち目かがりに使用します。	3.5	2.5 - 5.0	2.0	1.0 - 4.0	×

* —：調節できません。** ○：使用できます。×：使用できません。

ぬい方	名前	押え		主な用途	ジグザグの振り幅 *		ぬい目の長さ *		2 本針 **
					自動	手動	自動	手動	
1-17	裁ち目かがり	G		厚地の裁ち目かがりに使用します。	**5.0**	2.5 - 5.0	**2.5**	1.0 - 4.0	×
1-18	裁ち目かがり	G		厚地の裁ち目かがりや飾りぬいに使用します。	**5.0**	3.5 - 5.0	**2.5**	1.0 - 4.0	×
1-19	裁ち目かがり	J		伸びる布地の裁ち目かがりに使用します。	**5.0**	0.0 - 7.0	**2.5**	0.5 - 4.0	○
1-20	裁ち目かがり	J		普通地、厚地の裁ち目かがりや飾りぬいに使用します。	**5.0**	0.0 - 7.0	**2.5**	0.5 - 4.0	○
1-21	裁ち目かがり	J		伸びる布地の裁ち目かがりや飾りぬいに使用します。	**4.0**	0.0 - 7.0	**4.0**	1.0 - 4.0	○
1-22	裁ち目かがり	J		伸びる布地の裁ち目かがりに使用します。	**5.0**	0.0 - 7.0	**4.0**	1.0 - 4.0	×
1-23	裁ち目かがり	J		伸びる布地の裁ち目かがりに使用します。	**6.0**	1.0 - 7.0	**3.0**	1.0 - 4.0	○
1-24	裁ち目かがり	J		伸びる布地の裁ち目かがりに使用します。	**6.0**	1.0 - 7.0	**1.8**	1.0 - 4.0	○
1-25 S	サイドカッター	S		布を切りながら直線ぬいをします。	**0.0**	0.0 - 2.5	**2.5**	0.2 - 5.0	×
1-26 S	サイドカッター	S		布を切りながらジグザグぬいをします。	**3.5**	3.5 - 5.0	**1.4**	0.0 - 4.0	×
1-27 S	サイドカッター	S		布を切りながら裁ち目かがりをします。	**3.5**	3.5 - 5.0	**2.0**	1.0 - 4.0	×
1-28 S	サイドカッター	S		布を切りながら裁ち目かがりをします。	**5.0**	3.5 - 5.0	**2.5**	1.0 - 4.0	×
1-29 S	サイドカッター	S		布を切りながら裁ち目かがりをします。	**5.0**	3.5 - 5.0	**2.5**	1.0 - 4.0	×
1-30 P	ピーシング直線(右基線)	J		ピーシング用の直線です。押えの右端に布地を合わせてぬうと、ぬいしろの幅が 7.0mm でぬえるように針位置が設定されています。	**5.5**	0.0 - 7.0	**1.6**	0.2 - 5.0	×
1-31 P	ピーシング(中基線)	J		ピーシング用の直線です。	**—**	—	**1.6**	0.2 - 5.0	×
1-32 P	ピーシング直線(左基線)	J		ピーシング用の直線です。押えの左端に布地を合わせてぬうと、ぬいしろの幅が 7.0mm でぬえるように針位置が設定されています。	**2.0**	0.0 - 7.0	**1.6**	0.2 - 5.0	×
1-33 Q	手ぬい風直線	J		上糸にナイロン透明糸、下糸にキルトに合った色の糸を使うと手ぬい風のキルト直線がぬえます。	**0.0**	0.0 - 7.0	**2.5**	1.0 - 4.0	×
1-34 Q	ジグザグ	J		アップリケキルトやフリーモーションキルト、サテンぬいなどに使用します。	**3.5**	0.0 - 7.0	**1.4**	0.0 - 4.0	×
1-35 Q	アップリケ	J		アップリケやバインディングをするときに使用します。	**1.5**	0.5 - 5.0	**1.8**	1.0 - 4.0	×

* — : 調節できません。** ○ : 使用できます。× : 使用できません。

ぬい方	名前	押え		主な用途	ジグザグの振り幅 *		ぬい目の長さ *		2 本針 **
					自動	手動	自動	手動	
1-36	キルティング模様	J		キルトで背景を埋めるときに使用します。	7.0	1.0 - 7.0	1.6	1.0 - 4.0	×
2-01	まつりぬい	R		普通地のまつりぬいに使用します。	0.0	+3.0 - -3.0	2.0	1.0 - 3.5	×
2-02	まつりぬい	R		伸びる布地のまつりぬいに使用します。	0.0	+3.0 - -3.0	2.0	1.0 - 3.5	×
2-03	アップリケ	J		アップリケに使用します。	3.5	2.5 - 7.0	2.5	1.6 - 4.0	○
2-04	シェルタック	J		シェルタックは貝殻を直線状にならべたような円弧状のひだを作るもので、ふち取りなどに用いるほか、ブラウス、ワンピースなどの胸元や袖に飾りぬいとして使用します。	4.0	0.0 - 7.0	2.5	0.2 - 4.0	○
2-05	サテンスカラップ	N		スカラップは半月状の丸いカーブの連続した波形の模様をいいます。ブラウスやハンカチなどのふち飾りに使用します。	5.0	2.5 - 7.0	0.5	0.1 - 1.0	○
2-06	スカラップ	N		スカラップは半月状の丸いカーブの連続した波形の模様をいいます。ブラウスやハンカチなどのふち飾りに使用します。	7.0	0.0 - 7.0	1.4	1.0 - 4.0	×
2-07	つきあわせ	J		パッチワークや飾りぬいに使用します。	4.0	0.0 - 7.0	1.2	0.2 - 4.0	○
2-08	つきあわせ	J		パッチワークや飾りぬいに使用します。	5.0	2.5 - 7.0	2.5	1.0 - 4.0	○
2-09	つきあわせ	J		コードなどを使った飾りぬいに使用します。	5.0	0.0 - 7.0	1.2	0.2 - 4.0	○
2-10	スモッキング	J		スモッキングや飾りぬいに使用します。	5.0	0.0 - 7.0	1.6	1.0 - 4.0	○
2-11	ファゴティング	J		ファゴティングは布地と布地の間を離して糸でかがる方法をいい、ブラウスや子供服などに使用します。また、飾りぬいとしても使用します。	5.0	0.0 - 7.0	2.5	1.0 - 4.0	○
2-12	ファゴティング	J		ファゴティングは布地と布地の間を離して糸でかがる方法をいい、ブラウスや子供服などに使用します。また、飾りぬいとしても使用します。	5.0	2.5 - 7.0	2.5	1.0 - 4.0	○
2-13	ごむひもつけ	J		伸びる布地にゴムひもをつけるときに使用します。	4.0	0.0 - 7.0	1.0	0.2 - 4.0	○
2-14	飾りぬい	J		飾りぬいに使用します。	4.0	0.0 - 7.0	3.0	2.0 - 4.0	×
2-15	飾りぬい	J		飾りぬいに使用します。	4.0	0.0 - 7.0	2.5	1.0 - 4.0	○
2-16	飾りぬい	J		飾りぬいに使用します。	1.0	1.0 - 3.0	2.5	1.0 - 4.0	○

* —：調節できません。** ○：使用できます。×：使用できません。

ぬい方	名前	押え		主な用途	ジグザグの振り幅 *		ぬい目の長さ *		2 本針 **
					自動	手動	自動	手動	
2-17	飾りぬい	J		飾りぬいに使用します。	**5.5**	0.0 - 7.0	**1.6**	1.0 - 4.0	○
2-18	飾りぬい	N		飾りぬいやゴムひもつけに使用します。	**5.0**	1.5 - 7.0	**1.0**	0.2 - 4.0	○
2-19	飾りぬい	N		飾りぬいやアップリケに使用します。	**6.0**	1.0 - 7.0	**1.0**	0.2 - 4.0	○
2-20	飾りぬい	N		飾りぬいに使用します。	**7.0**	1.0 - 7.0	**1.6**	1.0 - 4.0	×
3-01	飾りぬい	N		左基線の 3 重ぬいで、すそ飾りなどに使用します。	**1.0**	1.0 - 7.0	**2.5**	1.5 - 4.0	○
3-02	飾りぬい	N		中基線の 3 重ぬいで、すそ飾りなどに使用します。	**3.5**	1.0 - 7.0	**2.5**	1.5 - 4.0	○
3-03	飾りぬい	N		ふち飾りなどに使用します。	**6.0**	1.5 - 7.0	**3.0**	1.0 - 4.0	○
3-04	飾りぬい	N		レースつけやふち飾りなどに使用します。	**3.5**	1.5 - 7.0	**2.5**	1.6 - 4.0	×
3-05	飾りぬい	N		ふち飾りなどに使用します。	**3.0**	1.5 - 7.0	**3.5**	1.6 - 4.0	×
3-06	飾りぬい	N		ふち飾りなどに使用します。	**6.0**	1.5 - 7.0	**3.0**	1.5 - 4.0	×
3-07	飾りぬい	N		ふち飾りなどに使用します。薄地、普通地の平織りの布に適しています。	**5.0**	1.5 - 7.0	**3.5**	1.6 - 4.0	×
3-08	飾りぬい	N		ふち飾りなどに使用します。薄地、普通地の平織りの布に適しています。	**5.0**	1.5 - 7.0	**3.5**	1.5 - 4.0	×
3-09	飾りぬい	N		ふち飾りなどに使用します。薄地、普通地の平織りの布に適しています。	**5.0**	1.5 - 7.0	**3.5**	1.6 - 4.0	○
3-10	飾りぬい	N		ふち飾りなどに使用します。薄地、普通地の平織りの布に適しています。	**5.0**	1.5 - 7.0	**4.0**	1.5 - 4.0	○
3-11	飾りぬい	N		ふち飾りなどに使用します。薄地、普通地の平織りの布に適しています。	**4.0**	1.5 - 7.0	**2.5**	1.5 - 4.0	○
3-12	飾りぬい	N		ふち飾りなどに使用します。薄地、普通地の平織りの布に適しています。	**5.0**	1.5 - 7.0	**2.5**	1.5 - 4.0	○
3-13	飾りぬい	N		ふち飾りなどに使用します。薄地、普通地の平織りの布に適しています。	**6.0**	1.5 - 7.0	**3.5**	1.5 - 4.0	○
3-14	飾りぬい	N		ふち飾りなどに使用します。薄地、普通地の平織りの布に適しています。	**6.0**	1.5 - 7.0	**1.6**	1.0 - 4.0	○
3-15	飾りぬい	N		ふち飾りなどに使用します。薄地、普通地の平織りの布に適しています。	**6.0**	1.5 - 7.0	**3.0**	1.5 - 4.0	×

* — : 調節できません。** ○ : 使用できます。× : 使用できません。

ぬい方	名前	押え		主な用途	ジグザグの振り幅 *		ぬい目の長さ *		2 本針 **
					自動	手動	自動	手動	
3-16	飾りぬい			ふち飾りなどに使用します。薄地、普通地の平織りの布に適しています。	**6.0**	1.5 - 7.0	**4.0**	1.5 - 4.0	○
3-17	飾りぬい			ふち飾りなどに使用します。薄地、普通地の平織りの布に適しています。	**4.0**	1.5 - 7.0	**2.5**	1.6 - 4.0	×
3-18	飾りぬい			ふち飾りなどに使用します。薄地、普通地の平織りの布に適しています。	**5.0**	1.5 - 7.0	**2.0**	1.5 - 4.0	○
3-19	飾りぬい			つき合わせや飾りぬいに使用します。	**6.0**	1.5 - 7.0	**2.0**	1.5 - 4.0	○
3-20	飾りぬい			ふち飾りやぬった後にリボンを通して飾りとして使用します。	**5.0**	1.5 - 7.0	**3.0**	1.5 - 4.0	○
3-21	飾りぬい			飾りぬいやスモッキングに使用します。	**6.0**	1.5 - 7.0	**1.6**	1.0 - 4.0	×
3-22	飾りぬい			飾りぬいやスモッキングに使用します。	**5.0**	1.5 - 7.0	**1.6**	1.0 - 4.0	×
3-23	飾りぬい			飾りぬいやスモッキングに使用します。	**5.0**	1.5 - 7.0	**1.6**	1.0 - 4.0	×
3-24	飾りぬい			ふち飾りなどに使用します。	**5.0**	1.5 - 7.0	**1.6**	1.0 - 4.0	×
3-25	飾りぬい			ふち飾りやぬった後にリボンを通して飾りとして使用します。	**7.0**	5.0 - 7.0	**1.6**	1.0 - 4.0	×
4-01	ボタン穴かがり			ねむり穴、横穴用。薄地から普通地のボタン穴かがりに使用します。ブラウス、シャツなどに使用します。	**5.0**	3.0 - 5.0	**0.4**	0.2 - 1.0	×
4-02	ボタン穴かがり			横穴用。厚地の布や厚みのあるボタンを使うときに使用します。	**5.5**	3.5 - 5.5	**0.4**	0.2 - 1.0	×
4-03	ボタン穴かがり			横穴用。ウエストベルトなど力がかかるところに使用します。	**5.0**	3.0 - 5.0	**0.4**	0.2 - 1.0	×
4-04	ボタン穴かがり			横穴用。厚地のボタン穴かがりに使用します。	**5.0**	3.0 - 5.0	**0.4**	0.2 - 1.0	×
4-05	ボタン穴かがり			ボタン穴かがり + かんどめ	**5.0**	3.0 - 5.0	**0.4**	0.2 - 1.0	×
4-06	ボタン穴かがり			ねむり穴。普通地から厚地のボタン穴かがりに使用します。ジャケットやブラウスに使用します。	**5.0**	3.0 - 5.0	**0.4**	0.2 - 1.0	×
4-07	ボタン穴かがり			両止めボタン穴かがり。麻、木綿など、ある程度腰のある素材に適しています。ホームウェアやブラウスなど手軽にぬえるものに使用します。	**5.0**	3.0 - 5.0	**0.4**	0.2 - 1.0	×
4-08	ボタン穴かがり			両止めボタン穴かがり。厚地の布や厚みのあるボタンを使うときに使用します。	**5.5**	3.5 - 5.5	**0.4**	0.2 - 1.0	×
4-09	ボタン穴かがり			横穴用。厚地のボタン穴かがりに使用します。	**5.0**	3.0 - 5.0	**0.4**	0.2 - 1.0	×

* —：調節できません。** ○：使用できます。×：使用できません。

ぬい方	名前	押え		主な用途	ジグザグの振り幅 *		ぬい目の長さ *		**2 本針 ****
					自動	手動	自動	手動	
4-10	ボタン穴かがり	A		伸びる布地や編み地のボタン穴かがりに使用します。芯ひもを入れてぬいます。	**6.0**	3.0 - 6.0	**1.0**	0.5 - 2.0	×
4-11	ボタン穴かがり	A		伸びる布地のボタン穴かがりに使用します。芯ひもを入れてぬいます。	**6.0**	3.0 - 6.0	**1.5**	1.0 - 3.0	×
4-12	ボタン穴かがり	A		玉ぶち穴かがり（バウンドボタンホール）を作るときに使用します。	**5.0**	0.0 - 6.0	**2.0**	0.2 - 4.0	×
4-13	ボタン穴かがり	A		はとめ穴。厚地や毛足の長い布のボタン穴かがりに使用します。ブレザー、スーツ、コートなどに使用します。	**7.0**	3.0 - 7.0	**0.5**	0.3 - 1.0	×
4-14	ボタン穴かがり	A		はとめ穴。普通地から厚地のボタン穴かがりに使用します。ジーンズ、ズボンなどに使用します。	**7.0**	3.0 - 7.0	**0.5**	0.3 - 1.0	×
4-15	ボタン穴かがり	A		はとめ穴。厚地や毛足の長い布の横穴ボタン穴かがりに使用します。厚手のコートなどに使用します。	**7.0**	3.0 - 7.0	**0.5**	0.3 - 1.0	×
4-16	**4** ステップボタン穴かがり ステップ **1**	N		4 ステップボタン穴かがりの左側をかがります。	**5.0**	1.5 - 7.0	**0.4**	0.2 - 1.0	×
4-17	**4** ステップボタン穴かがり ステップ **2**	N		4 ステップボタン穴かがりのかんどめ部分をかがります。	**5.0**	1.5 - 7.0	**0.4**	0.2 - 1.0	×
4-18	**4** ステップボタン穴かがり ステップ **3**	N		4 ステップボタン穴かがりの右側をかがります。	**5.0**	1.5 - 7.0	**0.4**	0.2 - 1.0	×
4-19	**4** ステップボタン穴かがり ステップ **4**	N		4 ステップボタン穴かがりのかんどめ部分をかがります。	**5.0**	1.5 - 7.0	**0.4**	0.2 - 1.0	×
4-20	ダーニング	A		普通地のつくろいぬいに使用します。	**7.0**	2.5 - 7.0	**2.0**	0.4 - 2.5	×
4-21	ダーニング	A		厚地のつくろいぬいに使用します。	**7.0**	2.5 - 7.0	**2.0**	0.4 - 2.5	×
4-22	かんどめ	A		ぬい目がほどけやすい箇所やポケット口などのあき止まり部分の力の加わる部分を補強したい場合に用います。	**2.0**	1.0 - 3.0	**0.4**	0.3 - 1.0	×
4-23	ぼたんつけ	M		ボタンつけに使用します。	**3.5**	2.5 - 4.5	**—**	—	×
4-24	アイレット	N		ベルトの調節用の穴をかがるときなどに使用します。普通地に使用します。	**7.0**	7.0 6.0 5.0	**7.0**	7.0 6.0 5.0	×
4-25	アイレット	N		ベルトの調節用の穴をかがるときなどに使用します。厚地に使用します。	**—**	—	**—**	—	×
5-01	横送り直線	N		でき上がった服の袖やズボンのすそにワッペンをつけるときに使用します。	**—**	—	**—**	—	×
5-02	横送り直線	N		でき上がった服の袖やズボンのすそにワッペンをつけるときに使用します。	**—**	—	**—**	—	×
5-03	横送り直線	N		でき上がった服の袖やズボンのすそにワッペンをつけるときに使用します。	**—**	—	**—**	—	×

* — : 調節できません。** ○ : 使用できます。× : 使用できません。

ぬい方	名前	押え		主な用途	ジグザグの振り幅 *		ぬい目の長さ *		2 本針 **
					自動	手動	自動	手動	
5-04	横送り直線	N	O	でき上がった服の袖やズボンのすそにワッペンをつけるときに使用します。	—	—	—	—	×
5-05	横送り直線	N	O	でき上がった服の袖やズボンのすそにワッペンをつけるときに使用します。	—	—	—	—	×
5-06	横送り直線	N	O	でき上がった服の袖やズボンのすそにワッペンをつけるときに使用します。	—	—	—	—	×
5-07	横送り直線	N	O	でき上がった服の袖やズボンのすそにワッペンをつけるときに使用します。	—	—	—	—	×
5-08	横送り直線	N	O	でき上がった服の袖やズボンのすそにワッペンをつけるときに使用します。	—	—	—	—	×
5-09	横送りジグザグ	N	O	でき上がった服の袖やズボンのすそにワッペンをつけるときに使用します。	—	—	—	—	×
5-10	横送りジグザグ	N	O	でき上がった服の袖やズボンのすそにワッペンをつけるときに使用します。	—	—	—	—	×
5-11	横送りジグザグ	N	O	でき上がった服の袖やズボンのすそにワッペンをつけるときに使用します。	—	—	—	—	×
5-12	横送りジグザグ	N	O	でき上がった服の袖やズボンのすそにワッペンをつけるときに使用します。	—	—	—	—	×

* — : 調節できません。** ○ : 使用できます。× : 使用できません。

索引

数字

1 重ぬい /3 重ぬいキー 223

U

USB ポートコネクター
　パソコン用 8, 141, 190
　メディア用 8, 140, 189
USB メディア
　記憶する 140, 189
　種類 136, 185
　呼び出す 143, 191

あ

アイレット 110
アップグレードの方法 244
アップリケ
　キルトぬい 83
　刺しゅうの枠模様を使用する 194
　刺しゅう模様 168
　ジグザグぬい 75
アップリケぬい 91
アルファベット
　刺しゅう 153
　編集刺しゅう 200
　文字・模様ぬい 118

い

糸
　糸調子 54, 174
　布地と針と糸の組み合わせ 45
糸案内 8, 30, 32
糸案内板 8, 32, 35
糸切り 8, 49
糸切りスイッチ 10
糸こま押え 8
糸こまネット 41
糸印 214
糸設定キー 174
糸たて棒 8
糸パレットキー 208, 211
糸密度キー 128
イメージキー 63, 129, 164, 224
色糸表示 177
色替キー 184, 208
色パレット 209, 211

う

上ふた 8
ウォーキングフット 43
内かま 230
上糸通し
　糸こまネットを使用する 41
　手動で上糸を通す 37
　自動糸通しスイッチ 35
　2 本針モード 39

え

液晶画面 8, 17
　掃除 230
　調整 232
　ロックする 59
エコーキルト 88
エラーメッセージ 237

お

大きさキー 181, 205
大きさ選択キー 126
送り歯 9, 85
押え
　圧力 59
　種類 247
　取り付ける 42
　取り外す 42
押え記号 17, 156
押え上下スイッチ 10
押えホルダー 9, 42
押えホルダーのネジ 9
押えレバー 8, 51
折り伏せぬい 72

か

回転キー 182, 204
ガイド付きピーシング押え 82
返しぬい／止めぬい 50, 55
返しぬい／止めぬいスイッチ 10, 50, 55
拡大キー 223
位置確認キー 163
飾りぬい
　デイジーステッチ 96
　ドロンワーク 96
換気口 8
かんどめ 106

き

記憶する
　USB メディア 140, 189
　刺しゅう模様 187
　実用ぬい 64
　パソコン 141, 190
　マイイラスト 227
　ミシンのメモリ 138, 187
　文字・模様ぬい 138
　模様の設定 64
キーのはたらき
　刺しゅう 157
　実用ぬい 18
　編集刺しゅう 203
　マイイラスト機能 222
　文字・模様ぬい 125
キルト
　フリーモーション 85
キルトぬい 81
　サテンぬい 84
ギャザー 71

く

クレイジーキルト 75
グリッド方向キー 223

こ

ゴムひもつけ 76, 95
ゴールデン針 45

さ

サイドカッター押え 79
サテンステッチ 128
サテンぬい 84
左右反転キー 63, 127, 183

し

シェルタックぬい 92
刺しゅう
　糸色表示 177
　キーのはたらき 157
　自動糸切り機能 175
　速度を調節する 177
　小さい布地にぬう 161
　電源を切った後、刺しゅうを再開する 172
　布地の隅 161
　始めからぬい直す 172
　模様を選ぶ 150
　リボンテープ 161
　渡り糸切り機能 175
刺しゅう押え＜Ｗ＞ 147
刺しゅうカード 155
刺しゅうカード差し込み口 8
刺しゅう機 9, 148
　キャリッジ 9
　キャリングケース 10
刺しゅうシート 161
刺しゅう専用針板カバー 165
刺しゅうの枠表示 178
刺しゅう模様
　アップリケ模様 168

位置の確認 163
選び方 199
選ぶ 150
記憶する 187, 189, 190
組み合わせ 216
刺しゅうする 165
修正 180
編集 202
模様選択画面 151
呼び出す 191, 192
枠模様を使ってアップリケをする 194, 195
刺しゅう枠
刺しゅうシートの使い方 161
種類 159
セットする 162
取り外し方 162
布地の張り方 160
下糸通し
下糸をセットする 32
下糸を引き出す 34
下糸を巻く 29
下糸巻き案内 8, 30, 32
下糸巻き装置 8
しつけぬい 70
仕様 243
ジグザグぬい 74
実用ぬい
アドバイスキー 28
選び方 62
記憶する 64
キーのはたらき 18
ぬい方キー 66
ぬい方早見表 247
模様選択画面 62
読み出す 65
自動糸切りキー 56
自動糸通しスイッチ 10, 35
自動止めぬいキー 55
自動ドロップレバー 85
自動布地センサーシステム 59

す

スカラップぬい 93
スタート／ストップスイッチ 10
ステップ模様 134
スピードコントロールレバー 8, 10, 48
スモッキングぬい 94

せ

接着芯 158
設定
糸切り 175
糸調子 54, 174
画面の明るさ 25
刺しゅうの設定 24
自動糸切り 56, 175
自動止めぬいをする 55
設定キー 22, 177, 209
その他の設定 23
ぬい方の設定 22
ぬい目の長さ 53
表示言語 26
振り幅 53
設定キー 223

そ

操作スイッチ 8, 10
掃除
内かま 230
液晶画面 230
本体表面 230
挿入キー 226

た

たちめかがり 74, 76, 77
タッチペン 209, 223, 233
ホルダー 8
縦書き／横書き 207
試しぬい 224
試しぬいキー 227
ダーツ 71
ダーニング（つくろいぬい） 104

ち

調整
画面 232
画面の明るさ 25
直線押え 69
直線ぬい 67
直線針板 69

つ

使い方キー 27, 234
つき合わせぬい 93

て

点線ジグザグぬい 76
てんびん 38
てんびん確認窓 8, 38
電源コード 16
電源スイッチ 8, 16

と

トラブルチェック 234
ドロップレバー 8, 9

に

ニーリフター 8, 57
2 本針 39
2 本針キー 39

ぬ

ぬい方キー 66
ぬい方早見表 247
ぬい始めの位置キー 180
ぬい目戻る／進むキー 171
ぬい戻る／進むキー 172
布地
厚地をぬう 51
薄地をぬう 52
特に厚い布地をぬう 52
布地と針と糸の組み合わせ 45
伸びる布地をぬう 52, 101

は

配列キー 201, 206
針位置 69
ハードケース 12
針
2 本針 39
布地と針と糸の組み合わせ 45
針位置の変え方 69
針の交換 44
モード 17
針板 9
針板カバー 69, 230
針板ふた 9
針・押え交換キー 37, 39, 42, 44, 147
針上下スイッチ 10
針のとめネジ 9
針棒糸かけ 9, 39, 40
ハンドル 8
ボタン穴かがり
4 ステップ 102
ボタン穴かがり 98
ボタンが台皿にのらない場合 101
パッチワーク 75

ひ

ひらがな／カタカナ
刺しゅう 153
編集刺しゅう 200
文字・模様ぬい 119
ピーシング 82
ピボット 57
ピンタック 73

ふ

ファゴティングぬい 94
ファスナーつけ
つき合わせ 112
脇あき 113
付属品 10
別売品 13
付属品入れ 10
フットコントローラー 8, 50

フリーモーションキルト
- エコーキルト押え<Ｅ> ... 88
- オープントゥキルト押え<Ｏ> ... 87
- フリーモーションキルト押え<Ｃ> ... 85

フリーモーションモード ... 85
ブロック移動キー ... 225
プーリー ... 8, 37

へ

ヘアルーム ... 96
編集
- 刺しゅう ... 180
- 編集刺しゅう ... 202
- マイイラスト機能 ... 222
- 文字・模様ぬい ... 125

編集刺しゅう
- 糸色を変える ... 208
- 色パレット ... 209, 211
- キーのはたらき ... 203
- 組み合わせ模様 ... 216, 218
- 編集刺しゅうでできること ... 198
- 連続模様 ... 212

編集終了キー ... 215

ほ

補助糸たて棒 ... 8, 29, 40
補助テーブル ... 8, 148
ボタン穴かがりレバー ... 9
ボタンつけ ... 108
- 4 つ穴ボタン ... 109
- 糸足 ... 109

ボーダーキー ... 212, 214
ボビン
- 下糸が少なくなったら ... 170
- 下糸を引き出す ... 34
- 設定 ... 32
- 巻く ... 29

ボビンホルダー（スイッチ） ... 30
ポイント削除キー ... 224

ま

マイイラスト機能
- 記憶する ... 227
- キーのはたらき ... 222
- デザイン ... 220
- データの入力 ... 222
- 呼び出す ... 228
- リストに保存する ... 227

まつりぬい ... 90

み

ミシン糸
- 布地と針と糸の組み合わせ ... 45

ミシン針
- 布地と針と糸の組み合わせ ... 45

密度キー ... 183

も

文字間隔キー ... 206
文字・模様ぬい
- 選び方 ... 116
- 記憶する ... 138, 140
- キーのはたらき ... 125
- 組み合わせ ... 130
- 調整 ... 123
- ぬう ... 122
- 編集 ... 125
- 模様選択画面 ... 117
- 呼び出す ... 142, 143, 144

模様の頭出しキー ... 128
模様の組み合わせ
- 編集刺しゅう ... 216
- 文字・模様ぬい ... 130

模様の長さキー ... 127

や

矢印キー ... 180, 204, 217, 223

よ

横送り ... 111
よこたてキー ... 128
呼び出す
- USB メディア ... 143, 191
- 刺しゅう模様 ... 191
- パソコン ... 144, 192
- マイイラスト ... 228
- ミシンのメモリ ... 142, 191
- 文字・模様ぬい ... 142

読み出す
- 実用ぬい ... 65
- 模様の設定 ... 65

れ

連続／単独ぬいキー ... 127
連続模様 ... 212

アフターサービス

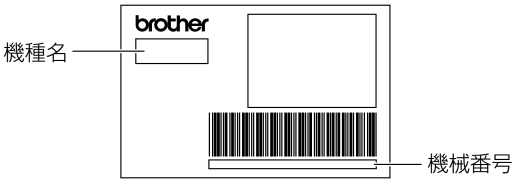
● ご購入の際、販売店でお渡しする保証書は大切に保管してください。
● 無料修理保証期間は、お買い上げ日より3年間です。詳しくは保証書をご覧ください。それ以後の修理については、お買い上げの販売店、または下記の「お客様相談室（ミシン119番）」にご相談ください。
● 当社はこのミシンの補修用性能部品を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
● アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または下記の「お客様相談室（ミシン119番）」へお問い合わせください。

お客様相談室（ミシン119番）0120-340-233

本製品についての、使い方やアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン119番）」までお問い合わせください。

〒467-8577　愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1
お客様相談室（ミシン119番）
TEL：0120-340-233
FAX：052-824-3031
営業時間：
月曜日～金曜日　9：00～17：30
（祝祭日、ブラザー販売株式会社の休日を除く）

●お客様相談室は、ブラザー販売株式会社が運営しています。
●機能および操作方法が機種によって異なるため、お問い合わせの際に「機種名」と「機械番号」をご連絡いただきますと、スムーズにお答えすることができます。
ミシン背面の定格ハリマーク（銀色シール）の下記部分をご確認ください。



●ブラザー製品についてのご意見、ご要望は、お買い上げの販売店、または上記「お客様相談室（ミシン119番）」にご連絡ください。
● 上記の電話番号および住所は、都合により変更する場合がありますので、ご了承ください。

ホームページ

●ブラザー工業のホームページでは、家庭用ミシンに関する様々な情報を掲載しております。
http://www.brother.co.jp/
●ブラザーソリューションセンターでは、製品に関するサポート情報を掲載しております。
http://solutions.brother.co.jp/

ブラザー工業株式会社　　取扱店

愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1　〒467-8561

114-S92
XE1996-101①
Printed in Taiwan